

二 早期破水
三 未熟粗暴又ハ頻回ノ内外診、陣痛促進法ノ濫用。

圖六三三 過強陣痛ノ分娩經過

- 一 產道抵抗甚小ノ時……急産(墜落分娩)ノ危險アリ。
(六三三問)
- 二 產道抵抗稍大ノ時……普通陣痛ニテハ自然分娩ヲ得ザルモノモ、無事分娩ヲ遂ゲ得。II(適チノ功名)
- 三 產道抵抗甚大ノ時……「早期破水」又ハ「胎盤早期剝離」ヲ來シ、終ニ(1)疲勞微弱陣痛又ハ(2)子宮破裂ヲ起ス。

圖六三六 過強陣痛ノ處置

- 一 豫防法 原因(六三三問)參照。
- (一) 產道抵抗強キ時(橫位・狹骨盤等)ハ醫師ノ診察ヲ乞フ。
- (二) 早期破水ヲ豫防シ、未熟粗暴又ハ頻回ノ内外診、

陣痛促進法ノ濫用ヲ戒ム。
二 急産ノ豫防又ハ處置ヲナス。(六三三問ノ西)

圖六三三モ 急産(墜落分娩)ニ就イテ

- 一 意義
分娩經過甚ダ速カニシテ、母兒ニ危險ヲ來ス分娩ヲ云フ。
急産ニシテ胎兒ガ墜落娩出スル場合之ヲ墜落分娩ト稱ス。
- 二 原因
過強陣痛ト共ニ產道抵抗甚ダ小ナル時ニ來ル。
- (1) 過強陣痛ノ原因ハ六三三問
- (2) 產道抵抗甚ダ小ナル場合ノ重要ノモノハ廣骨盤ナリ
- 三 經過
(一) 分娩時間甚ダ短クシテ分娩準備ノ暇ナク、
(二) 胎兒ハ屢々正常ノ分娩機轉ヲ營マズ、
(三) 兒頭ノ應形機能モ著シカラズ。
- 四 危險

圖六三〇 痙攣陣痛ニ就イテ
一定 義……六三三問
二 原因……六三三問

第一章 娩出力ノ異常

- (一) 小兒危險 (二) 臍帶離斷 (三) 胎盤早期剝離
- (四) 子宮內翻 (五) 弛緩出血 (六) 頭管・會陰ノ裂傷
- 五 處 置
(一) 分娩近ジキタル時ハ外出ヲ禁ジ、安靜ヲ守ラシム。
- (二) 分娩ノ開始ト共ニ早ク臥牀セシメ、努責ヲ禁ジ、會陰保護ニ注意スベシ。

圖六三六 過強陣痛ノ母兒ニ及ボス影響

〔解〕 六三三問及ビ六三三問ノ三四

圖六三九 過強陣痛ノ障礙

〔解〕 六三三問ノ三及ビ六三三問ノ四

三 陣 痙……六三三問
四 處 置……六三六問

圖六三二 痙攣陣痛ノ種類

- (一) 痙攣陣痛(狭意)
- (二) 子宮強直
- (一) 一部痙攣陣痛
- (二) 全般痙攣陣痛

圖六三三 痙攣陣痛ト子宮強直ノ定義

一 痙攣陣痛
(1) 發作長ク、子宮收縮(疼痛)甚ダ強ク、(2) 間歇殆ト無キ程ニ甚ダ短カク、而モ弛緩ノ完全ナラザルヲ云フ

二 子宮強直
子宮ハ絶エズ同ジ度ニ強ク收縮シ、間歇全然無キモノヲ云フ。

圖六三三 痙攣陣痛トハ如何

一定 義……六三三問
二 種類……六三三問

圖六三三 痙攣陣痛ノ原因◎

〔解〕 過強陣痛ノ原因(六三三問)ニ同ジ

圖六三五 痙攣陣痛ノ障礙◎

一分娩遷延

只強キ陣痛ヲ感ズルノミニテ分娩進行セズ。從ツテ傳染發熱—甚ダシキハ遂ニ死亡ス。

二胎盤早期剝離又ハ子宮破裂

ノ危險ヲ來スコトアリ。

三胎兒假死—死亡

(1)分娩遷延及(2)子宮壁ノ持續的收縮ニヨル血行障礙ノタメニ起ル

圖六三六 痙攣陣痛ノ症狀◎

〔解〕 定義ニ述ベタル狀態(六三三問)及ビ障礙(六三三問)ヲ記スベシ。

圖六三七 痙攣陣痛ノ母兒ニ及ボス影響◎

〔解〕 障礙(六三三問)ヲ母體ト胎兒ニ分ケテ答フベシ。

圖六三八 痙攣陣痛ノ處置◎

一豫防法 過強陣痛ノ豫防法(六三六問)ト同ジ。

二微温濕布ヲ腹部ニ貼ジ、安靜ヲ命ジ、醫藥ヲ乞フ

圖六三九 微弱腹壓ノ原因◎

(甲)原發微弱腹壓ノ原因

膀胱直腸ノ充滿、腸内瓦斯ノ充滿

ニ神經質ノ初産婦、腹壁弛緩ノ頻産婦

(乙)續發微弱腹壓

第一期ノ無益ノ腹壓ノ結果。

圖六四〇 微弱腹壓ノ障礙◎

(一)第二期：胎兒娩出遷延、(二)第三期：胎盤残留

圖六四一 腹壓不全ノ處置◎

一興奮劑又ハ滋養物ニヨリ體力ヲ養フコト。

二膀胱直腸ヲ空虚ニスルコト。

三四肢ニカヲ加ヘ得ル裝置(産綱、腹壓補助器等)ヲ與フルコト。

四口ヲ結ビテ陣痛發作時ニ努責セシムルコト。

圖六四二 過強腹壓ノ原因◎

(一)故意ニ努責スルコト

(二)排便・嘔吐

(三)坐産

圖六四三 過強腹壓ノ障礙◎

(一)第一期：早期破水

(二)第二期：子宮頸管裂傷、會陰裂傷

(三)第三期：卵膜・胎盤片遺殘

圖六四四 過強腹壓ノ處置◎

一豫防法

(一)第一期ニ努責ヲ加ヘザルコト

第二章 産道ノ異常

(一)排便時ニ強ク努責セズ、嘔吐ハ醫藥
(二)坐産ヲ避ケ、仰臥又ハ側臥ニテ分娩取扱ヲナスコト
二處置
腹壓ヲ禁ズベキ時ニハ、四肢ニカヲ加ヘシメズ、口ヲ閉キテ、輕キ呼吸ヲナサシムベシ。

圖六四五 腹壓異常ノ種類◎

(1)微弱腹壓、(2)過強腹壓

第二章 産道ノ異常

圖六四六 廣骨盤(過大骨盤)ニ就イテ◎

一定義

骨盤外徑ガ正常平均値ヨリ二—三種以上長クシテ、分娩經過ニ異常ヲ來ス骨盤ヲ云フ。

二經過：墜落分娩ノ經過(六三七問)ヲ記ス。

三危險：墜落分娩ノ危險(六三七問)ヲ記ス。

四處置：墜落分娩ノ處置(六三七問)ヲ記ス。

圖六三〇 廣骨盤トハ如何〇

〔解〕 廣骨盤ノ定義(前問ノ)ヲ述ベ、之ニ分娩經過(前問ノ)ヲ附記スベシ。

圖六三一 廣骨盤ノ分娩經過〇

〔解〕 急産(六三〇問)ノ經過及危險ヲ記スベシ。危險ハ危險ナル經過ト見做スベシ。

圖六三二 廣骨盤ノ診斷〇

- 一 問診 急産ヲ經過シタルモノハ廣骨盤ヲ疑フベシ。
- 二 視診 ニヨリ骨盤ノ廣大ナルヲ認メ得。
- 三 外計側 ニヨリ骨盤外徑ガ二―三種以上長キコトニヨリ知ル。

圖六三三 廣骨盤ノ處置〇

〔解〕 六三七問ノ五

圖六三四 廣骨盤ノ種類〇

- (一) 一般平等廣骨盤
- (二) 一部廣骨盤

圖六三五 狹骨盤ニ就イテ記セ〇

- 一定義……六三三問
- 二種類……六三四問
- 三障礙……六三五問
- 四危險……六三六問
- 五診斷……六三七問
- 六處置……六三六問

圖六三六 狹骨盤ノ定義〇

骨盤外徑ノ全部又ハ一部分ガ、正常平均値ヨリ二―三種以上短ク、正常娩出力ニヨルモ成熟兒ノ通過ニ障礙ヲ來ス骨盤ヲ云フ。

圖六三七 狹骨盤ノ種類〇

A、狹小ノ度ニヨル分類

- 三 斜狹骨盤 (一) ホーグレー氏骨盤
- (二) 後天斜狹骨盤
- 四 歪狹骨盤

圖六三八 狹骨盤ノ分娩障礙〇

- 一 胎位胎勢ノ異常ヲ來シ易シ。例(ハ)横位、反屈位、後頭位ノ異例
- 二 下向部嵌入障礙ヲ來シ易シ。假令嵌入スルモ下向部前進キタメ分娩ニ長時間ヲ要ス。
- 三 早期破水ヲ來シ易シ。從ツテ臍帶上肢ノ脱出ヲ來シ易シ。
- 四 陣痛異常ヲ來シ易シ。例(ハ)疲勞微弱陣痛、過強陣痛等。
- 五 危險ナル障礙……六三六問

圖六三九 狹骨盤ノ母兒ニ及ボス危險〇

- (甲) 母體ノ危險
 - 一 微弱陣痛ノ時ハ……軟産道壓挫―發熱
 - 尿囊

一 第一度狹骨盤…眞結合線九・平九種
屢々人工分娩ヲ要スルモ、陣痛適當ナラバ成熟生活兒ヲ自然娩出シ得

二 第二度狹骨盤…眞結合線九―六種

(1) 必ず人工分娩ヲ要ス

(2) 其度強キモノハ成熟兒ノ縮小術ヲ要ス

三 第三度狹骨盤…眞結合線六種以下

胎兒縮小術ニヨルモ骨盤ヲ通過シ得ズ、從ツテ帝王切開術ノ絕對適應症トナル。

B、形狀ニヨル分類

(甲) 全平等狹骨盤

- 一 縱狹骨盤 (一) 單扁平骨盤
- (二) 佝僂病扁平骨盤
- (三) 全狹扁平骨盤
- (四) 脊椎脫位骨盤

(乙) 扁平骨盤

- 一 骨軟化症骨盤
- (二) 關節強直骨盤
- (三) 脊柱後彎骨盤

(乙) 一部狹骨盤…二 橫狹骨盤

- ニ過強陣痛ノ時ハ……子宮破裂
- (乙) 胎兒ノ危險
 - 一 假死、死亡
 - ニ 頭蓋骨又ハ腦ノ損傷

圖六三三 狹骨盤ノ診斷

一 問診

小兒期發育狀態、既往ノ分娩經過ヲ問診スベシ。

二 視診

(一) 骨盤ノ大小、殊ニ骨盤ノ外觀

(二) 脊柱ノ彎曲又ハ下肢ノ跛行ナキヤ、

(三) 懸垂腹又ハ尖腹ナキヤヲ視ルベシ

三 觸診

(一) 胎位胎勢ノ異常アラバ狹骨盤ヲ疑フ。

(二) 胎兒下部ノ骨盤入口嵌入障礙アラバ狹骨盤ヲ疑フ

(三) 下部ノ前進ガ遲延セバ狹骨盤ヲ疑フ。

四 外計測

以上ニヨリ狹骨盤ヲ疑フトキハ骨盤ノ外計測ヲナスベシ……(ノ五問 三三三問)

五 內診

外計測ニヨリ骨盤狹小ヲ認メタルトキハ、更ニ內診ヲナシ、骨盤腔ノ廣サ殊ニ對角結合線ヲ測ルベシ……(三三三問)

圖六三六 狹骨盤ノ處置

甲、妊娠中ノ處置 醫師ノ診察ヲ乞ハレム。

乙、分娩中ノ處置 速カニ醫師ノ診察ヲ乞フベシ。

▲醫師來診マデノ間ハ……

一 胎位胎勢ノ異常ナキヤニ注意シ

二 下部ガ骨盤入口ニ嵌入シガタキ時ハ……

(1) 下部ノ偏在側ヲ下ニ側臥ヲトラシメ

(2) ワルヘル氏懸垂位ヲトラシム。(ノ六問)

三 早期破水ヲ豫防セントシタメニハ、努責ヲ禁ジ、內診ヲ

節スベシ。

早期破水アリタルトキハ臍帶脫出ノ存否ニ注意スベシ

四 微弱陣痛ヲ豫防セントシタメニ、滋養物及ビ興奮劑ヲ與フベシ。

五 母體發熱及子宮破裂ノ切迫ニ注意スベシ。

六 胎兒ニ假死、死亡ヲ來シ易キヲ以テ、胎兒心音ノ聽取ヲ忽ニスベカラズ。

圖六三九 狹骨盤トハ如何

〔解〕 定義ヲ三三三問ヲ記シ之ヲ説明シ、種類ヲモ簡單ニ附記スルヲヨロシトス。

圖六三〇 狹骨盤ノ原因

甲、先天的原因 (1) 全平等狹骨盤 (2) 單偏平骨盤 (3) 關節強直骨盤

(4) ローベルト氏骨盤 (5) ネーグラー氏骨盤

乙、後天的原因 (1) 佝僂病 (2) 脊椎脫位 (3) 骨軟化症 (4) 脊柱後彎

(5) 脊柱側彎 (6) 下肢跛行

圖六三一 眞結合線ニヨル狹骨盤ノ分類

〔解〕 六三四問ノA

圖六三二 狹骨盤ノ一度、二度ノ區別及其經過並ニ處置

〔解〕 區別及經過ハ六三四問。處置ハ六三六問

圖六三三 第三度狹骨盤ヲ説明セヨ

〔解〕 六三四問AノB

但シ學者ニヨリテハ左ノ如ク分ツ



此ノ場合ノ第三度ハ六三四問第二度ノ強度ニ相當ス。此ノ場合ノ第四度ハ六三四問第三度ニ相當ス。

圖六三四 絕對的狹骨盤ニ於ケル眞結合線ノ長サ

サ

三度ニ分ツトキハ第三度即チ六種以下(六三三問)
四度ニ分ツトキハ第四度即チ五・五種以下(六三三問)

圖六三三 全平等狹骨盤ノ分娩機轉ニ於ケル特
有ナル點○

全平等狹骨盤ハ全徑線ガ平等ニ短縮スルヲ以テ、骨盤腔ノ形狀ハ
正常骨盤ノソレト同一ニシテ、只大キサガ小ナルノミナリ。
而モ外計測數ノ小ナル割ニ骨質ガ薄キヲ以テ腔ハ割合ニ廣ク、從
ツテ通過障礙ハ比較的少ナキモノナリ。殊ニ其母體ノ體格小ナル
時ハ胎兒ノ大キサモ通常小ナルヲ以テ、所謂「案ズルヨリモ産ム
ガ易キ結果」ヲ見ルコト尠カラズ。

圖六三六 扁平骨盤トハ何ゾヤ○

縱狹骨盤ノ別名ニシテ、之ニ次ノ四種アリ。(六三三問乙ノ一)

- (1) 單扁平骨盤
- (2) 尙復病扁平骨盤
- (3) 全狹扁平骨盤
- (4) 脊椎脫位骨盤

圖六三七 扁平骨盤ノ分娩機轉○

〔解〕 低在横定位、前頭頂骨定位、後頭頂骨定位等ノ經過ヲ取
リ、普通ノ分娩機轉ニ從ハヌコト多シ。

圖六三八 單扁平骨盤ニ就イテ○

一 説明。扁平骨盤ノ一種ニシテ、眞結合線ノミ單ニ短縮シ横徑ハ
却ツテ長キモノナリ。故ニ一見狹骨盤トハ思ハレズ、前後徑ヲ測
リ見テ初メテ其狹小ヲ知ルモノナリ。

二 原因。先天性ニ起ルト云フ説ト、後天性ニ來ルト云フ説トアリ
三分娩經過。兒頭ノ應形機能ニヨリ前後徑ノ短縮ハ横徑ノ方面ニ
融通セラレ、通過障礙ハ比較的少ナキモノトス、然レドモ屢々
低在横定位、前頭頂骨定位、後頭頂骨定位ノ經過ヲ取ル。

圖六三九 扁平骨盤ノ分娩機轉ニ於ケル特有ナ
ル點○

〔解〕 前問ノ三

圖六三〇 狹骨盤ニ於ケル分娩ノ難易ハ如何ナ
ル條件ニヨルヤ○

- 一 骨盤以外ノ條件
 - (1) 娩出力
 - (2) 胎兒ノ大小形態及胎位胎勢
- 二 骨盤自身ノ條件
 - (1) 全般狹小ナルカ又ハ一部狹小ナルカ
 - (2) 一部狹小ニテハ横徑

殊ニ眞結合線ノ長サガ主ナル條件トナル。

圖六三一 狹骨盤ノ徵候○

- (甲) 妊娠中ノ徵候
 - 一 骨盤外觀小
 - 二 屢々尖腹又ハ懸垂腹ヲナス。
 - 三 屢々胎位胎勢ノ異常ヲ伴ヒ、下部ノ嵌入ガ妨ゲラル。
- (乙) 分娩中ノ徵候
 - 六三三問参照

圖六三二 狹骨盤ノ分娩ニ及ボス影響○

〔解〕 六三三問

圖六三三 狹骨盤ノ妊娠經過○

〔解〕 六三三問ノ一、二、ト懸垂腹、尖腹ヲ來ス。

圖六三四 狹骨盤ノ頭位分娩ノ障礙○

〔解〕 六三三問ノ中ヨリ横位ヲ除ク。

圖六三五 狹骨盤分娩ノ母體ニ及ボス影響○

第二章 産道ノ異常

〔解〕 障礙六三三問ノ中ヨリ母體ニ關スル部丈ケ記ス。

圖六三六 狹骨盤ノ分娩經過○

〔解〕 六三三問

圖六三七 狹骨盤ノ開口期經過○

〔解〕 六三三問一、二、三

圖六三八 狹骨盤ノ疑ヲ來スベキ症狀○

〔解〕 診斷(六三七問)ノ二、三

圖六三九 計測セスニ狹骨盤ヲ推定スル諸點○

〔解〕 診斷(六三七問)ノ一、二、三

圖六四〇 分娩ニ際シ狹骨盤ヲ疑フベキ諸點○

〔解〕 診斷(六三七問)ノ一、二、三、殊ニ三、ヲ詳細ニ記ス。

圖六六一 妊婦ニ狹骨盤ヲ疑フベキ徵候ヲ認メ
タル時ノ産婆ノ處置○

第三編 母體ノ異常

〔解〕 (1) 外計測ヲナシ、必要ニヨリ内計測ヲ行ヒテ之ヲ確ムベキコト

(2) 六三六問ノ處置中妊婦ニ關スル處置ヲ記ス(本問ハ産婦ニ關係ナキモ、妊娠中ヨリ既ニ分娩中ノ處置ヲ構ズル必要ナキニアラス)

圖六三六二 ワルヘル氏懸垂位ヲ説明セヨ

産婦ヲ横牀ニ仰臥セシメ、其臀部ヲ牀縁ニオキ、兩脚ヲ十分ニ懸垂セシムル法ナリ。

コレニヨリ眞結合線ノ長サヲ〇・五種以上延長セシメ得

圖六三六三 妊婦ニ左側臥ヲトラシムベキ場合〇

〔解〕 本問ノ妊婦ハ産婦ト認メテ三ノ九問ヲ答フベシ。

圖六三六四 早期娩出ノ要件ヲ記セ

〔解〕 妊娠中絶術ノ要件(三三三問)ト同シ

圖六三六五 先天股關節脱臼ニ就イテ

一定義

股關節ガ先天的ニ脱臼セルモノヲ云フ。

原因

(一) 胚葉缺損、強制胎位ノ二説未定(六三六問参照)

(二) 女兒ニ多シ

三 症狀

(一) 分娩當初ノ發見ハ甚ダ稀、小兒ノ歩行初メガ遅レ、其際跛行ニヨリ本病ヲ發見セラル、ヲ普通トス。

(二) 一側又ハ兩側ニ來ル。

(三) 早ク治療セザル時ハ跛行ノ結果「斜狹骨盤」ヲ起ス。

四 診斷

(一) 小兒ヲ仰臥セシメ大腿骨頭ヲ觸レザルコトニヨリ知ル。

(二) 脱臼足ニテ立タシムレバ其側ノ臀部ハ健側ヨリモ沈下ス。

(三) 大轉子突端ハローゼル、ネラトソ氏線(腸骨前上棘坐骨結節間線)ヨリ上部ニ來ル。

五 處置

醫師ノ整形ヲ乞フコト

早期ニ發見シタル時ハ幅廣キ襪ニヨリ兩脚ヲ十分ニ擴ゲ置クコト。

圖六三六六 第一度狹骨盤分娩取扱

〔解〕 六三六問ノ五、六、ヲ除ク

圖六三六八 軟産道異常ノ名稱ヲ擧ゲヨ

第二章 産道ノ異常

圖六三七七 帝王切開術、禁忌、怒張、糜爛ヲ説明セヨ

帝王切開術：妊娠子宮ヲ切開シテ胎兒及後産ヲ取出シ母子ノ救助ヲ目的トスル手術。

腹式、腔式、典型、頸部、經腹膜、膜腹外、等ノ區別アリ

禁忌：シテナラマ事、授乳禁忌

怒張：強ク張レタル事、靜脈怒張

糜爛：タマレ

圖六三七b 尖腹トハ何カ

(一) 定義 妊婦ノ腹部ガ前方ニ強ク突出シテ尖レルモノヲ云フ。

(二) 原因 (1) 稍強キ前屈妊娠子宮。

(2) 狹骨盤。

(3) 脊柱後彎ニヨル腹部上下徑短縮。

軟産道異常中胎兒通過障礙ヲ來スモノ次ノ如シ

一 子宮發育異常 例ヘバ重積子宮

二 子宮位置異常 例ヘバ懸垂腹

三 軟産道ノ開大障礙

(一) 子宮腫部硬靱、子宮口ノ癒着又ハ狹小。

(二) 膈壁及膈口ノ硬靱又ハ狹小。

(三) 會陰ノ硬靱。

四 軟産道ノ腫瘍 例ヘバ子宮癌、子宮筋腫。

圖六三六九 軟産道狹小ノ原因

一 高年又ハ弱年初産婦

二 組織ノ硬變：(腫瘍又ハ炎症ニヨル)

三 瘢痕：(手術又ハ炎症ニヨル)

圖六三六〇 軟産道狹小ノ分娩障礙

娩出力強クトモ分娩ニ長時間ヲ要ス

(甲) 母體ノ危険

一 疲勞微弱陣痛：時ニ子宮鼓張症
二 過強陣痛：從ッテ子宮破裂

(乙) 胎兒ノ危険……假死又ハ死亡

〔註〕「軟産道異常ト分娩ノ關係」ノ答モ同右。

圖六三九 子宮口開大困難ノ原因○

〔解〕六三九問ノ他ニ「早期破水」

圖六三三 高年初産婦ノ分娩經過※

一分娩各期ノ時間遷延ス。「從ツテ人工分娩」後産娩出術ノ率多シ。

二過強陣痛從ツテ早期破水ヲ來シ、遂ニ……

(一) 疲勞微弱陣痛ニナリ、其結果……

(1) 母體ノ發熱—産褥熱、第三期弛緩出血

(2) 胎兒ニ假死、死亡

(二) 頸管裂傷、會陰裂傷ヲ起スコトアリ。

三子癇、妊娠腎、妊娠浮腫等ノ頻度多キ故其方面ノ障礙アリ。

圖六三三 高年初産婦ニ起リ易キ分娩異常ヲ列

記シ且ツ其各症ノ診斷ヲ述ベヨ○

〔解〕分娩異常ハ前問、診斷ハ其各症ニツキ簡單ニ述ブベシ。

圖六三四 高年初産婦ノ分娩ニ産婆トシテノ注意事項◎

〔解〕六三三問各項ニ關シテ注意事項ヲ記スベシ

圖六三五 骨盤内臓器異常ニシテ分娩障礙トナルベキ主ナルモノニ就テ○

ルベキ主ナルモノニ就テ○

〔解〕(一) 軟産道異常(六三九問)殊ニ重複子宮等ノ畸形・子宮筋腫・癌腫

(二) 膀胱直腸ノ充滿(六三七問)

(三) 子宮附屬器ノ腫瘍殊ニ卵巢囊腫(六三三問)ニノ(二)

圖六三六 子宮隣接器官ノ異常ニ因スル分娩遷延ノ診斷並ニ處置○

〔原因〕膀胱・直腸ノ充盈、子宮附屬器ノ腫瘍

〔診斷〕膀胱ハ下腹部ノ膨滿、腫瘍ハ双合診ヲ要ス。

〔處置〕排尿・灌腸、腫瘍ハ醫療ヲセフベシ。

圖六三七 膀胱及直腸ノ充滿ガ分娩各期ニ及ボス影響◎

〔第一期〕陣痛腹壓ノ微弱、下部部嵌入障礙

〔第二期〕陣痛腹壓ノ微弱、通路ノ狹小

〔第三期〕胎盤滯留—弛緩出血

圖六三八 分娩時排尿ノ必要ナル理由及處置

又ハ排尿法◎

〔解〕「理由」(1)前問ノ障礙アルタメ

(2)内外診ヲ妨ゲ、醫師ノ手術ヲ妨グルタメ。

「排尿法」七二七五問

圖六三九 導尿ノ目的○

〔解〕六三七問、六四〇問ノ障礙ヲ去ルヲ目的トス。

圖六四〇 膀胱直腸充滿ノ妊娠ニ及ボス影響○

(一) 膀胱充滿ハ妊娠初期ニ子宮後轉ヲ助ク。

(二) 直腸充滿ハ惡阻ヲ誘發シ、食慾ヲ害ス。

第三章 分娩中ノ異常出血

圖六四一 膀胱直腸充滿ノ産褥ニ及ボス影響及處置◎

一影響

(一) 膀胱充滿ハ子宮後轉ヲ助ケ、子宮復故不全ヲ誘フ。

(二) 直腸充滿ハ食慾ヲ害シ、子宮復故不全ヲ誘フ。

二處置

尿閉處置ハ六三六問、直腸充滿ハ灌腸。

第三章 分娩中ノ異常出血

圖六四二 分娩中ノ異常出血ニ就イテ◎

一原因……六四四問

二症狀……

三診斷……右原因中ノ主要ナルモノニツキ簡單ニ記ス

四處置……

(一) 一般處置ハ六四三問

圖六四三 妊産褥異常出血ノ原因及其處置◎

(解) 妊婦異常出血ノ原因ハ五三〇八問、産婦異常出血ノ原因ハ六四四問、褥婦異常出血ハ七二七問、其處置ハ主要ナルモノニツキ何レモ簡單ニ記ス。

「出血ニ對スル一般處置」

一止血法

- (一) 安靜、氷囊貼用。(胎盤剝離出血ハ腹壓ヲ禁ズ)
- (二) 低—高温腔洗滌 (少出血又ハ内出血ニハ禁ズ)
- (三) 腔強填タンポン
- ニ貧血ノ處置……六四六問

圖六四四 分娩中ノ異常出血ノ原因◎

- 一第一—第二期出血
 - (一) 前置胎盤……第一及二期
 - (二) 常位胎盤早期剝離……第一及二期
 - (三) 軟産道損傷例(ハ)頭管裂傷、子宮破裂……第二期
 - (四) 子宮腫瘍……不定期
 - (五) 靜脈瘤ノ破裂……不定期

二第三期出血

- (一) 軟産道ノ損傷
- (二) 弛緩出血

三分娩直後出血

- (一) 軟産道ノ損傷
- (二) 弛緩出血

圖六四五 分娩第一期出血ノ原因◎

- 一前置胎盤
- ニ常位胎盤早期剝離 (他ニ不定期出血)

圖六四六 分娩第二期出血ノ原因◎

- 一前置胎盤
- ニ常位胎盤早期剝離
- 三軟産道損傷 例(ハ)子宮破裂、頭管裂傷 (他ニ不定期出血)

圖六四七 分娩第一期第二期異常出血ノ原因◎

〔解〕六四四問ノ一

圖六四八 分娩時出血ノ原因◎

四處置……六四四問

圖六四二 子宮破裂ノ原因◎◎

(甲) 自發破裂

過強陣痛(痙攣陣痛)ト共ニ

一典型破裂

産道ノ甚ダ強キ抵抗 (一) 狹骨盤、懸垂腹 (二) 腦水腫、過熟兒、橫位

二特發破裂……子宮筋肉ノ弱點

- (一) 子宮發育異常
- (二) 子宮腫瘍
- (三) 子宮手術後ノ瘢痕

(乙) 加害破裂……未熟粗暴又ハ無法ノ分娩取扱。

圖六四三 子宮破裂ノ種類◎

(甲) 原因ニヨル分類

- 一自發破裂 (一) 典型破裂……子宮收縮輪ノ附近破裂 (二) 特發破裂……子宮筋肉脆弱部破裂
- ニ加害破裂……人為ニヨリ誘發又ハ損傷セラル

(乙) 裂傷ノ深サニヨル分類

一原因……六四二問

二種類……六四三問

三症狀……六四三問

第三章 分娩中ノ異常出血

一正常出血

- 第一期 卵膜剝離ニヨル出血……微量
- 第二期 産道小損傷ニヨル出血……少量
- 第三期 後産剝離時ノ出血……
- 分娩直後 後産剝離面ヨリノ出血……二—三〇〇㍉
- ニ異常出血……六四四問

圖六四九 妊娠及分娩中内出血ノ原因症狀◎

一妊娠中

- (1) 常位胎盤早期剝離 (2) 子宮外妊娠中絶
- 二分娩中

- (1) 常位胎盤早期剝離 (2) 子宮破裂
- (3) 弛緩出血

〔註〕 症狀ハ五三〇八問、五三〇六問、六四三問、六四四問

圖六四〇 子宮破裂ニ就イテ◎

一原因……六四二問

二種類……六四三問

三症狀……六四三問

- 一 全破裂……子宮全壁穿通
- 二 不全破裂……腹膜ハ破レズ

圖六四三 子宮破裂ノ症狀

(甲) 子宮破裂切迫症

一 (下腹部ノ狀態)

- (一) 子宮收縮輪ハ次第ニ上昇シ、膈高又ハ其上ニ達シ、
 - (二) 円靱帯ハ陣痛間歇時ニモ認めラレ
 - (三) 子宮體ハ硬ク上方ニ退縮シ、
- 子宮下節(狹部)並ニ頸部ハ益々薄ク延長シ(壓痛甚ダシク)此ノ薄キ部分ヲ隔テ、陣痛間歇時ニ胎兒下向部ヲ著明ニ觸レ得。

ニ (全身ノ狀態)

- (一) 精神興奮シテ不安ニ陥リ
 - (二) 苦痛ヲ訴ヘ
 - (三) 脈搏頻細トナリ、體温モ多少上昇ス。
- (乙) 破裂症狀

一 (疼痛ニ關スル事)

- (一) 下腹部ニ突然激痛ヲ感ジ、往々喚聲ニヨリテ之ヲ訴フ。

且ツ下腹部ニ破裂感ヲ覺エ、又破裂音ヲ發ス。

- (二) 同時ニ突然陣痛ノ停止スルコト多シ。

- (三) 破裂後ハ疼痛減ズルモ、破裂部ニ尙ホ疼痛ヲ殘ス。

ニ (出血ニ關スル事)

- (一) 内出血……腹腔内出血ノタメニ下腹部膨大シ、急性貧血ノ症狀(六四三問)ヲ呈ス。
- (二) 外出血……通常少量。

三 (胎兒ニ關スルコト)

- (1) 胎兒部分ヲ腹壁直下ニ觸知、
- (2) 胎位ヲ急ニ變ジ、
- (3) 固定セシ下向部モ移動ス。

不全破裂ノ症狀

- 一 破裂ト同時ニ陣痛全ク消失セズ
- 二 内出血ノ症狀モ輕ク
- 三 子宮ハ縮小セズ、胎兒部分ヲ腹壁直下ニ觸知セズ

圖六四四 子宮破裂ノ處置

一 原因ニ注意スベシ。

(1) 自發破裂ノ原因ノ何レカラ認めタルトキハ、必ズ醫師ノ診察ヲ乞ハシムベシ、殊ニ陣痛強激ナルニ拘ラズ破水後ノ分娩遷延スルトキハ速カニ醫師ノ診療ヲ受ケザルベカラズ。

(2) 加害破裂ノ原因ヲ作ラザル様注意スベシ。

ニ 破裂切迫症ヲ認めタル時ハ、産婦ノ安靜ヲ旨トシ極メテ速カニ醫師ノ來診ヲ求ムベシ。

三 破裂症狀ヲ起スニ至リテハ一刻モ速カニ病院ニ送ルコトヲ計ラザルベカラズ。

◇ 止血法ノ如キ諸種ノ操作ハ徒ラニ時間ヲ空費スルコトアルノミナラズ却ツテ内出血ヲ促シ又ハ往々傳染ノ機會

ヲ與フル虞アルヲ以テ、寧ロ之ヲ避ケ、送院ノ途中ハ自ラ同伴シ専ラ急性貧血ニ對スル處置(六四三問)ニ力ヲ致スベシ。

圖六四五 子宮破裂ノ部位及其理由

[解] 六四三問ノ(甲)ヲ參照

圖六四六 子宮破裂ノ切迫症

[解] 六四三問ノ(甲)

圖六四七 子宮破裂ハ何故恐ルベキカ

[解] 六四八問

圖六四八 子宮破裂ノ危險

一 母體ノ危險……亡血死

ニ 胎兒ノ危險……假死・死亡(胎盤早期剝離、母體急性貧血ノタメ)

圖六四九子宮頸管裂傷ニツイテ

- 一 原因……六四〇問
- 二 部位……六四三問
- 三 症狀……六四三問
- 四 診斷……六四三問
- 五 處置……六四三問

圖六四〇子宮頸管裂傷ノ原因

- 一 頸管ノ伸展不良 例へば高年初産婦
- 二 胎兒殊ニ兒頭過大、胎勢異常 例へば過熟兒・互屈位
- 三 胎兒急激ノ通過 例へば、墜落産、牽出手術

圖六四三子宮頸管裂傷ノ部位

通常子宮前唇ト後唇トノ連合部(殊ニ左方ニ多シ)ヨリ深ク上方ニ破レ、時ニ側腔円蓋ニ及ブ。

圖六四三子宮頸管裂傷ノ症狀

醫師ノ來診ヲ乞フ、救急手當トシテハ……

- 一 輪狀摩擦ニヨリ收縮セシメ得タル子宮ヲ一手ニテ骨盤軸ノ方向ニ壓シ込ミ、他手ニ持チタル消毒綿ニテ外陰ヨリ骨盤軸ノ方向ニ逆ニ壓シ上ゲ、兩手相挾壓シテ止血ヲ待ツベシ。
- 二 高温(低温)腫洗滌、腫強填タンポン

圖六四六會陰裂傷ニ就イテ

- 一 原因……六四七問
- 二 種類……六四八問
- 三 障礙……六四九問
- 四 豫防法……六四〇問
- 五 處置……六四三問

圖六四七會陰裂傷ノ原因

- 一 會陰ノ伸展不良 例へば初産婦
- 二 胎兒殊ニ兒頭過大、胎勢異常、例へば過熟兒、互屈位

裂傷ハ娩出期ニ起ルモ胎兒部分ノタメ壓迫セラレテ出血多カラズ。胎兒娩出直後ニハ、裂傷深キ時、殊ニ太キ子宮血管ノ破レタル時、出血甚ダシクシテ急性貧血ヲ起ス。

圖六四三子宮頸管裂傷ノ診斷

胎兒娩出直後、子宮收縮良好ニシテ、外陰附近ニ著シキ裂傷ナク、腔内ヨリ多量ノ出血アルトキハ頸管裂傷ト見做ス。

圖六四四頸管裂傷ト子宮破裂ノ區別

| 子宮頸管裂傷 | 子宮破裂 |
|--------------------------------------|--------------------------------|
| 部位 子宮口唇連合部ヨリ深ク上方ニ破ル | 典型破裂ハ子宮收縮輪ノ近傍特發破裂ハ其他弱部 |
| 診斷 分娩第二期ヨリモ第三期ニ多量ノ外出血アリ。内出血ノ徴候ナシ。 | 典型破裂ハ分娩第二期ニ於テ切迫症ニ次デ突然内出血ノ徴候ヲ來ス |

圖六四五子宮頸管裂傷ノ處置

- 三 胎兒ノ急激通過 例へば急産・牽出術
- 四 會陰保護不十分(又ハ行ヒ得ザリシ時)

圖六四六會陰裂傷ノ種類

- 一 第一度會陰裂傷……粘膜及皮膚ノミ
- 二 第二度會陰裂傷……筋膜及皮肉マデ
- 三 第三度會陰裂傷……肛門又ハ直腸前壁マデ
- 四 中央會陰裂傷……會陰ノ中央ノミ(六四三問)

圖六四九會陰裂傷ノ障礙

- 一 出血 大裂傷殊ニ中央會陰裂傷ニ於テ甚シキ事アリ。
- 二 傳染 創傷傳染ハ殊ニ第三度裂傷ニ多シ。
- 三 婦人科病續發 例へば子宮内膜炎・子宮下垂脱出
- 四 大瘻痕形成 次ノ分娩ニ通過障礙・大裂傷

圖六四〇會陰裂傷ノ豫防法

一 妊娠中ヨリ伸展不良ヲ認メタルトキハ、豫メ醫師ノ診察ヲ乞ハシムベシ(三、三〇(問進記))

二分娩時 法ニ從ヒ會陰保護ヲ十分ニ施スベシ。

圖六四三 會陰裂傷ノ處置

會陰裂傷ノ大小ヲ論ゼズ決シテ之ヲ陰蔽スベカラズ。
一 淺小ナル會陰裂傷

- (一) 分娩直後 (1) 創面清淨後「アイロール」等ヲ撒布シ
- (2) 殺菌壓抵布ヲ置キ丁字帶ヲカケ
- (3) 兩下肢ヲ伸シ安靜ニ仰臥セシム。
- (二) 產褥 日々ノ外陰消毒ニ際シ
- (1) 創面清淨ト「アイロール」等ノ撒布ヲ反復
- (2) 壓抵布交換ヲ忘ラヌコト

二 大裂傷殊ニ中央會陰裂傷

- (一) 速カニ醫師ヲ招キ、殺菌ガーゼニテ創面ヲ壓迫シ、縫合術ノ準備ヲナスベシ。
- (二) 「第三度裂傷」ハ特ニ消毒ニ注意シ、軟便ノ排泄ヲハカルベシ。
- (三) 醫師ノ拔糸ニ對スル介助ノ打合セラナスベシ

圖六四三 中央會陰裂傷ヲ説明セヨ

兒頭ガ會陰ノ中央部ニ向ツテノミ壓迫セラレ、第三廻旋ヲ十分ニ營ミ得ザル場合ニ生ズ。

會陰ノ中央ガ破レ陰唇小帯ハ破レズ兒頭ハ此裂孔ヲ通シテ娩出シ裂傷ヲ益々大ニスルコトアリ。

圖六四三 會陰裂傷ノ症狀

〔解〕 種類(六四三問)ト障礙(六四三問)ヲ記スベシ。

圖六四四 會陰裂傷ノ影響

〔解〕 障礙(六四三問)ヲ記スベシ。

圖六四五 會陰裂傷ガ自然分娩ノ際ニ起ル原因

〔解〕 原因(六四三問)ノ中ヨリ牽出術ヲ省キテ答フベシ

圖六四六 會陰裂傷ノ程度及其發生助成ノ場合

〔解〕 種類(六四三問)ト原因(六四三問)ヲ答フベシ。

圖六四七 第三度會陰裂傷ヲ説明セヨ

〔解〕 種類(六四三問)ノ三及處置(六四三問)ノ二ノ(一)參照

圖六四八 不良ナル會陰保護法ノ及ボス影響

- 一 不十分ナレバ會陰裂傷ヲ來ス。
 - 二 中央ノミヲ強ク壓迫シ第三廻旋ヲ助ケザレバ、中央會陰裂傷ヲ起ス。
 - 三 過度ニ娩出ヲ抑止スレバ胎兒ノ假死・死亡ヲ招ク。
- 〔註〕 右影響ノ除去法ハ以上ノ不良ノ原因ヲ禁止スルニアリ。

圖六四九 外陰(陰門)血腫ニ就イテ

一 原因
兒頭ノ陰門通過ニアタリ、皮膚及粘膜ハ尙ホ克ク延長ニ耐ヘルモ組織内ノ血管ガ極度ニ緊張セラレ、トキハ、終ニ離斷シ、其組織内ニ出血シテ血腫ヲ來ス。

二 症狀
分娩直後ニ於テハ血腫ハ小ナルモ、分娩後時日ヲ經ルニ從ヒテ益

々腫大シニ二三日ノ頃ニ著シ。
之ヲ外表ヨリ見ルトキハ、陰門部ニ於テ、皮膚ヲ通シテ藍赤色ノ血腫トシテ膨隆スルヲ認ム。

三 危險
時トシテハ細菌ノ浸入シテ化膿スル虞アリ。
四 處置
速カニ醫師ノ來診ヲ乞フ。

圖六四〇 産婆學ニテ知レル血腫ヲ列舉セヨ

- (1) 胎盤後血腫 (2) 子宮後血腫 (3) 外陰血腫
- (1) 頭血腫 (2) 内頭血腫 (3) 胸鎖乳様筋血腫

〔註〕 子宮血腫ハ「子宮溜血腫」ト改稱セラレタリ。

圖六四二 第三期異常出血ニ就イテ

一 軟産道ノ損傷……………六四四問
二 弛緩出血……………六四七問

圖六四三 第三期異常出血ノ原因

- 一 軟産道損傷ニヨル出血、六四六問ノ一
- 二 弛緩出血

圖六四三 第三期異常出血ノ鑑別診斷○

〔解〕 六四六問ノ二

- 一 軟産道損傷出血ノ處置(六四六問)
- 二 弛緩出血ノ處置(六四四問)

圖六四四 分娩第三期及直後ノ異常出血ノ原因及處置○

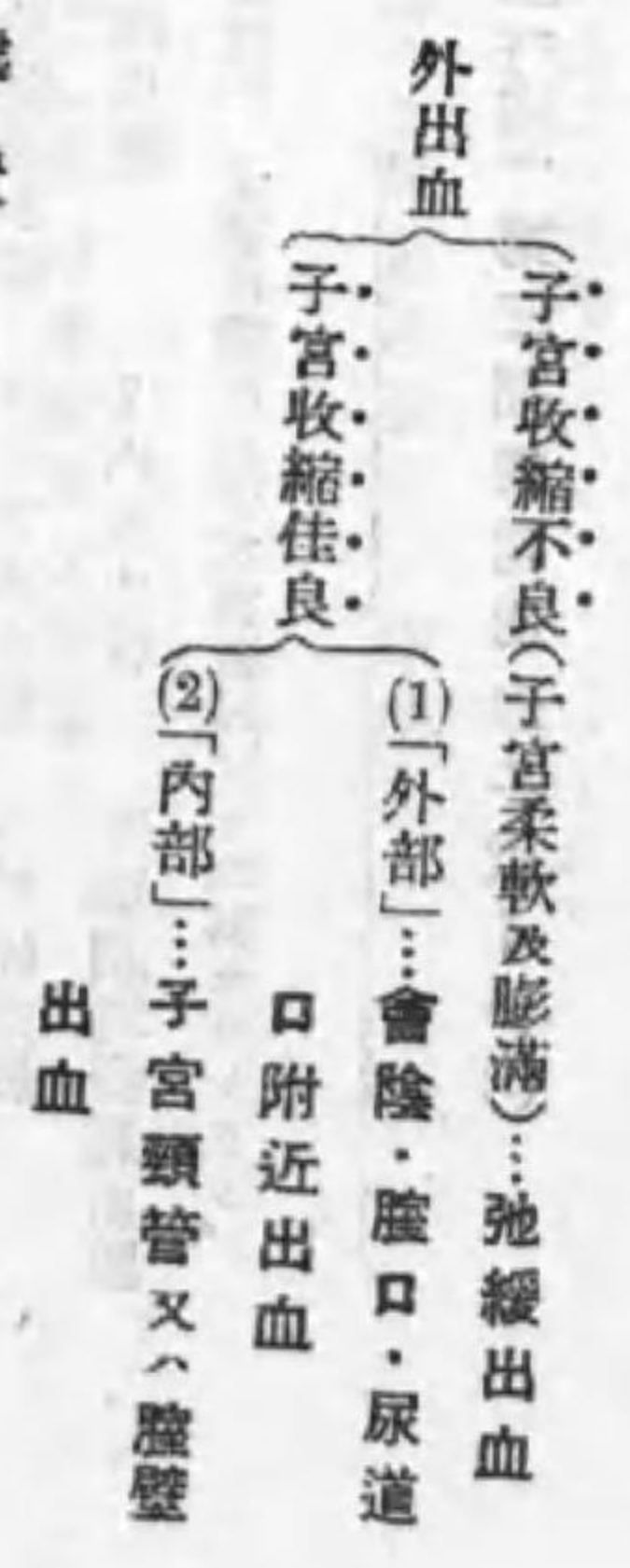
〔解〕 六四二問及六四四問。直後ノ出血ハ第三期出血ト殆ド同様ナルモ、直後出血ノ處置ニハ後産壓出法ナシ。

圖六四六 軟産道ノ損傷ニヨル第三期出血○

- 一 原因
 - (一) 子宮頸管裂傷、腔壁裂傷

- (二) 會陰裂傷、腔口又ハ尿道口周圍等ノ裂傷

第三期ニ異常多量ノ外出血ヲ認ムルトキハ次ノ如ク鑑別ス。



- 三 處置
 - (一) 外陰裂傷……殺菌ガーゼニヨル壓迫止血後アイロー
 - (二) 頸管、腔壁裂傷……六四三問

圖六四七 弛緩出血(無力性出血)ニ就イテ○

- 一 原因……六四五問

- 二 症 狀……六四五問
- 三 診 斷……六四三問
- 四 處 置……六四四問

圖六四八 胎盤殘留(滯留又ハ稽留)ニ就イテ○

- 一 單純胎盤殘留……六四九問
- 二 出血胎盤殘留……六四五問

圖六四九 單純胎盤殘留トハ何ゾ○

胎盤滯留ト子宮弛緩ハアルモ、胎盤ハ少シモ剝離セザルタメ未ダ出血ニ至ラザルモノヲ云フ。此場合ニ若シ一部タリトモ剝離ヲ始ムルトキハ直チニ弛緩出血ノ状態トナルモノナリ。

圖六五〇 弛緩出血トハ何ゾヤ○

後産期又ハ分娩直後ニ於テ、子宮壁弛緩ノタメ胎盤剝離部ノ血管ヨリ多量ノ出血ヲ來シ、母體ニ危険ヲ起ス症状ヲ云フ。

圖六五二 弛緩出血ノ原因○

一 子宮壁ノ弛緩
最初先ツ子宮壁ガ弛緩シ爲メニ胎盤滯留シ、其剝離部ヨリ多量ニ出血ス。此ノ弛緩ノ原因ニ次ノ如キモノアリ。

- (一) 第一——二期ヨリ引續キタル微弱陣痛ノタメ弛緩スルモノ。
- 例ヘバ前置胎盤、常位胎盤早期剝離、羊水過多症

- (二) 第二期ニ始メテ起ル原因
多胎分娩、重症腎炎——脚氣、疲勞、痙攣陣痛
- 例ヘバ急産、露出術

二 後産ノ滯留
後産先ヅ滯留シ、タメニ子宮壁弛緩シ、胎盤剝離部ヨリ多量ニ出血ス。此ノ滯留ノ原因ニ次ノ如キモノアリ。

- (一) 胎盤ノ剝離困難
- (2) 胎盤ノ強キ癒着 例ヘバ病的癒着、早産

- (2) 胎盤ノ形態異常 例へば膜狀胎盤、副胎盤
- (3) 胎盤附着位置異常 例へば側壁附着
- (二) 子宮内口ノ痙攣
- (1) 違法粗暴ノ子宮摩擦。
- (2) 子宮緊縮藥ノ濫用。

圖六四三 弛緩出血ノ症狀◎

- 一 外出血 子宮壁弛緩シ、胎盤滯留スルトキハ、其剝離部ノ血管ヨリ多量ニ出血ス。
- 二 内出血 子宮頸管ガ凝血等ニヨリ閉塞セラル、時ハ、血液ハ子宮腔内ニ滯リ爲メニ子宮ハ益々膨滿シ柔軟ナル。
- 三 急性貧血 以上ノ内外出血ヲ再三反復スルトキハ、急性貧血ノ症狀(六四七問)益々加ハリ、遂ニ死亡スルコトアリ。

圖六四四 弛緩出血ノ診斷◎

第三期ニ於ケル強度ノ外出血及ビ子宮内出血ニヨリテ之ヲ診斷シ得。

術シテ此子宮内出血ハ、子宮ノ柔軟及ビ膨滿ト同時ニ急性貧血ノ症狀ヲ呈スルコトニヨリテ之ヲ知り得ベシ。

圖六四五 弛緩出血ノ處置◎◎

直チニ醫師ノ來診ヲ乞ヒ、左ノ救急處置ヲナスベシ。

- 一 子宮底輪狀摩擦、氷嚢貼用ニヨリ子宮收縮ヲ促スコト。
- 二 而モ尙ホ弛緩ノ虞アルトキハクレテ氏胎盤壓出法(三二五問)ヲ施スベシ。

「後産歴出後」モ手ヲ子宮底部ニ置キ其收縮状態ニ注意シ、弛緩ノ兆アルトキハ直チニ摩擦ヲ續行スベシ。

若シ尙ホ弛緩スルトキハウルサーメル氏壓迫法ヲ行ヒ已ム無キトキハモンブルヒ氏虛血法(六四六問)ヲ試ミル事アリ。

三 急性貧血ニ對スル一般處置ヲナスベシ。

圖六四六 後産後出遅延ノ原因◎

〔解〕 弛緩出血ノ原因(六四三問)

圖六四七 弛緩出血ノ原因及影響◎

〔解〕 原因ハ六四三問、影響ハ六四三問ノ症狀就中急性貧血症狀ヲ詳記スベシ

圖六四八 弛緩出血ノ鑑別診斷◎

一 軟産道損傷出血トノ鑑別……六四六問ノ二

二 ダンカン氏式胎盤剝離出血トノ鑑別……六四八問

圖六四九 第三期異常出血トダンカン氏式胎盤剝離出血トノ鑑別◎

| | |
|-------------------|--------------|
| 第三期異常出血 | ダンカン氏式胎盤剝離出血 |
| 子宮收縮弛緩出血ハ不良 | 住良 |
| 後陣痛損傷出血ハ無關係 | 發來ト同時ニ出血 |
| 血液ノ色通常新鮮 | 多クハ暗赤色 |
| 血液ノ量甚ダ多量、急性貧血症狀來ル | 二—三〇〇瓦、貧血ナシ |
| 出血連續—反復 | 一回出血後ハ殆ド停止 |

圖六四九 微弱陣痛ノ分娩第三期ニ及ボス影響及其處置◎

〔解〕 弛緩出血ノ症狀六四三問及處置六四五問

圖六四〇 弛緩出血ノ場合胎盤娩出前後何レガ危険多キヤ其理由◎

後産殘留ノ間ハ子宮壁弛緩シ易ク、從ツテ出血ノ危険多シ。

圖六四一 弛緩出血ニ腫強填タンポンヲ行フノ可否ヲ説明セヨ◎

強填タンポンニヨリ外出血ヲ止メ得ルトスルモ、子宮内出血ハ益々増加スル事アルヲ以テ不可ナリ。

圖六四二 モンブルヒ氏虛血法ヲ説明セヨ◎

太キゴム管ヲ以テ腹部ヲ徐々ニ而モ十分ニ強く絞扼シ、腹部大動脈ヲ壓迫シ、下部血管ヲ空虚ニスル法ナリ。

圖六四三 高度假死胎兒娩出ニ次グ大出血ノ處

置○

〔解〕 先ツ母體ノ處置(六四四問)次ニ假死ノ處置。
但シ他ニ適當ノ者アルトキハ同時ニ假死ノ處置ヲ任スベシ。

ニ 症狀―診斷……………六四六問

三 危險―出血・傳染

四 處 置……………六四六問

圖六四七 子宮內膜炎ノ原因◎

一 臍帶牽引 例ヘバ墮落産。

二 弛緩セルマ、ノ子宮ニクレデ氏胎盤壓出法。

圖六四八 子宮內膜炎ノ症狀診斷◎

一 外陰ニ於テ胎盤ノ附着セル肉塊ヲ認ム。

二 子宮底ハ全ク消失シ、之ヲ觸レ得ズ。

圖六四九 子宮內膜炎ノ處置◎

一 出血ナキ時、清潔ニシテ醫師ノ來診ヲ待ツ。

二 出血甚ダシキトキハ、十分ニ消毒シタル手指ニヨリテ胎盤ヲ剝離シ、子宮ヲ正常位置ニ還納スベシ。

圖六四〇 子宮內膜炎ノ意義ヲ説明セヨ○

圖六四四 胎盤形狀異常ニヨル分娩障礙○

一 胎盤剝離困難ニヨル障礙(六四四問ノ二)(二)

二 副胎盤又ハ重複胎盤ノ際卵膜中ヲ走ル血管ガ破水ニヨリ離斷セラレ出血シ、胎兒ノ危險ヲ招ク。

圖六四五 胎盤滯留ノ徵候ト褥瘡ノ影響○

徵候ハ六四四問
褥瘡ノ影響ハ(1)弛緩出血(2)子宮復故不全

圖六四六 子宮內膜炎ニ就イテ答ヘヨ◎

一 原因……………六四七問

ニ 症狀―診斷……………六四六問

三 危險―出血・傳染

四 處 置……………六四六問

圖六四七 子宮內膜炎ノ原因◎

一 臍帶牽引 例ヘバ墮落産。

二 弛緩セルマ、ノ子宮ニクレデ氏胎盤壓出法。

圖六四八 子宮內膜炎ノ症狀診斷◎

一 外陰ニ於テ胎盤ノ附着セル肉塊ヲ認ム。

二 子宮底ハ全ク消失シ、之ヲ觸レ得ズ。

圖六四九 子宮內膜炎ノ處置◎

一 出血ナキ時、清潔ニシテ醫師ノ來診ヲ待ツ。

二 出血甚ダシキトキハ、十分ニ消毒シタル手指ニヨリテ胎盤ヲ剝離シ、子宮ヲ正常位置ニ還納スベシ。

圖六四〇 子宮內膜炎ノ意義ヲ説明セヨ○

弛緩セル子宮ニ於テ、子宮底ガ子宮腔内ニ纏繞シ、出血傳染ノ危險ヲ伴フモノヲ云フ。

圖六四一 分娩直後ニ於ケル異常出血ニ就イテ◎

一 原因……………六四二問

二 症狀―診斷……………六四三問

三 處 置……………六四三問

圖六四二 分娩直後異常出血ノ原因◎

一 軟産道損傷ヨリノ出血……………六四三問ノ一

二 子宮弛緩ニヨル出血(後産娩出後)

圖六四三 分娩直後異常出血ノ症狀診斷○

一 軟産道ノ損傷ヨリノ出血ハ六四三問ノ二

二 子宮弛緩ニヨル出血ハ……………

- (一) 外出血
- (二) 内出血―子宮膨滿・柔軟
- (三) 急性貧血

圖六四四 分娩直後出血ノ處置◎

速カニ醫師ノ來診ヲ乞ヒ次ノ救急處置ヲナス。

一 軟産道損傷ノ出血ハ……………六四三問ノ三

二 弛緩出血ノ處置ハ……………六四三問ノ中ヨリクレデ氏胎盤壓出法ヲ省ク

圖六四五 急性貧血ニ就イテ◎

一 原因……………六四六問

二 症狀……………六四七問

三 處 置……………六四八問

圖六四六 急性貧血ノ原因◎

一 妊娠中ノ大出血……………前置胎盤、常位胎盤早期剝離、

胞狀鬼胎、流産大出血、子宮外妊娠中絶。
二分娩中ノ大出血：前置胎盤、常位胎盤早期剝離、
子宮破裂、頸管裂傷、弛緩出血。

圖六四七 急性貧血ノ症狀○

- (1) 全身—顔面蒼白(殊ニ口唇・眼瞼結膜ノ蒼白)
- (2) 眩暈・眼花閃發・視力減退 (3) 耳鳴・難聴
- (4) 欠伸・惡心・嘔吐・口渴 (5) 胸内苦悶・呼吸促迫
- (6) 脈搏頻細・四肢厥冷・冷汗 (7) 身神不安又ハ人事不省
- (8) 遂ニ死亡

圖六四八 急性貧血ノ處置○

最モ速カニ醫師ノ來診ヲ乞ヒ、次ノ救急處置ヲナス。
一 止血ノ處置

先ヅ出血ノ原因及部位ヲ確メ、然ル後各々適當ノ處置ヲ
ナスベシ。例ヘバ

- (一) 水囊貼用、高温—低温腫洗、腔強填タンボン法。
- (二) 子宮收縮ノ促進(子宮底輪狀摩擦、後産壓出)

- (三) ウルサーメル氏壓迫法、モンブルヒ氏虛血法。
- ニ貧血ニ對スル處置

(一) 驅血法

頭部ヲ低クシ、四肢ヲ高ク、時ニ驅血帶ヲ卷ク。

(二) 液體供給

生理的食鹽水ノ飲用—注腸、(血液ノ注腸)

(三) 強心法

ホフマン氏液、葡萄酒、其他ノ酒類ノ飲用
芥子泥ノ心臓部貼用

(四) 身體ノ保温

被褥、室溫ヲ適當ニシ、湯婆又ハ温濕布ニテ温ム。

圖六四九 分娩後ニ於ケル急性貧血ノ處置○

〔解〕 六四八問中ヨリ後産壓出ヲ省ク

圖六五〇 妊娠分娩産褥中ノ大出血ノ處置○

〔解〕 六四八問ト同ジ、産褥中出血ハ六四八問。

圖六四一 分娩中母體死亡ノ原因○

- 一 亡血死：前置胎盤、常位胎盤早期剝離、
子宮破裂、頸管裂傷、弛緩出血。
- 二 栓塞死：腦エンボリー等
- 三 創傷傳染(殊ニ子宮鼓脹症)：巨大兒、横位、狹骨盤
- 四 妊娠中毒症：子癇
- 五 重症偶發病：腎臟病、心臟病、脚氣、結核等

圖六四二 分娩中母體急激死亡ノ原因○

〔解〕 六四八問ノ三ヲ省ク

圖六四三 分娩中母體又ハ胎兒ノ危險ノ原因○

〔解〕 母體ノ危險ハ六四八問

胎兒危險ハ六三三問 假死死亡

第七集 異常產褥

圖七一產褥二起リ易キ疾病ノ名稱及其ノ豫
防法○

| 名 | 稱 | 豫 | 防 | 法 |
|------|--------------|------------------|---|---|
| (一) | 產褥熱 | ヲ三〇問ノ三 | | |
| (二) | 產褥肺結核 | 原因(七五)問ヲ防グコト | | |
| (三) | 子宮復故不全 | 四二六問ノ豫防法 | | |
| (四) | 產褥子宮位置異常 | 七五問ノ原因ヲ防グコト | | |
| (五) | 惡露異常 | 原因(七五)問ノ一ヲ防グコト | | |
| (六) | 產褥異常出血 | 七五問ノ三 | | |
| (七) | 乳頭乳輪ノ表皮剝脫・皸裂 | 原因(四九)問乙(一)ヲ防グコト | | |
| (八) | 乳腺炎 | 七五問ノ三 | | |
| (九) | 乳汁過少 | 原因(四九)問乙(一)ヲ防グコト | | |
| (一〇) | 膀胱炎 | 人工排尿ノ制限及消毒 | | |
| (一一) | 產褥腎盂炎 | ヲ三〇問ノ二 | | |
| (一二) | 產褥脚氣 | ヲ三九問ノ二 | | |

〔註〕 答案ニハ、名稱ヲ先ヅ列記シ、次ニ豫防法ハ產褥熱ニツキ詳記シ他ハ時間ニ應ジ適當ニ簡單ニ記スヲ宜シトス。

第七集 異常產褥

圖七二褥婦ノ罹リ易キ傳染性疾患ノ名稱及各
原因○

〔解〕 七五問ノ名稱ト原因。
(尙ホ頻度ハ少ナイガ、流行感冒、破傷風、丹毒ヲ加ヘテモヨカラウ)

圖七三褥婦ニ起ル疾病ヲ擧ゲヨ○

〔解〕 褥婦疾病ノ目次ヲ列記スルコト、即チ七二問ノ他ニ白股腫、肋膜炎、急性肺炎、乳汁漏、尿道及其附近ノ損傷、尿瘻及尿失禁、產褥精神病等ヲ加ヘルコト。

圖七四產褥ノ經過ヲ障礙スル異常ヲ列記セヨ○

〔解〕 大體七二問ト同ジ、乳汁過少ナドハ省クモヨシ。

圖七五產褥時ノ主ナル疾病ヲ擧ゲ其原因及處置ヲ記セ○

〔解〕 名稱ハ大體七二問ト同ジ。
原因處置ハ各々ニツキ簡單ニ記スガヨロシ。

第一編 梅毒ノ異常

圖七六 產褥期ニ起リ易キ疾病ノ名稱及症狀ノ大要○

〔解〕 名稱ハ右二問ト同ジ。症狀ハ簡單ニ記ス。

圖七七 產褥時ニ起リ易キ子宮ノ位置異常並ニ豫防法○

〔解〕 問一六問ヨリ原因ヲ除ク。

圖七八 產褥期ニ褥婦ノ體温脈搏呼吸ニ異常ヲ來ス場合ヲ列舉シ簡單ニ説明セヨ○

〔解〕

- (一) 産褥熱
 - (二) 産褥熱以外ノ發熱ヲ三問
 - (三) 惡露滯溜
- 説明ハ各疾病ノ發熱脈搏呼吸ニ關シ説明スル。

第一編 梅毒ノ異常

第一章 産 褥 熱

圖七九 産褥熱ニ就イテ

一定義……セ二問

二原因……セ三問

三種類……セ五問

四症狀……セ六問

五豫後……セ七問ノ二

六診斷……セ九問

七豫防法……セ三問

八處置……セ三問

圖七八 産褥熱ノ定義○

主ニ分娩時ニ性器ニ生ジタル創傷ノ傳染ニ因スル、産褥經過中ノ熱性疾患ヲ云フ。

圖七九 産褥熱トハ如何○

〔解〕 定義(前問)ノ他ニ種類(セ二五問)ノ大體ヲ附記スルガヨイ。

圖七八 産褥熱ノ原因○

一 病原菌……セ二問

二 傳染徑路……セ三問

三 補助原因……セ二問

圖七八 産褥熱ノ病原菌並ニ傳染徑路○

一 病原菌

連鎖狀球菌、葡萄狀球菌、腐敗菌、大腸菌等

二 傳染徑路

(一) 存在場所 一般物體又ハ肢體

(二) 媒介 消毒不完全ナル手指、外陰、器械、繃帶

(三) 侵入門 外陰、腔、子宮等ノ創面。

圖七八 産褥熱ノ補助原因○

一 陰部損傷、前置胎盤。

二 分娩遷延……(セ三問ノ甲)

三 卵膜片、胎盤片、凝血、惡露ノ残留、不全流産。

四 頻回内診。

五 抗菌力弱小(貧血、栄養不良等)

圖七八 産褥熱ノ種類○

一 創傷中毒症ニ吸收熱

腐敗菌等ガ生活ナキ組織(胎盤片、卵膜片、凝血等)ノ内

ニ繁殖シテ、其毒素ガ創面ヨリ吸收セラレテ發熱スル

モノ。

二 創傷傳染病ニ産褥熱

連鎖狀球菌、葡萄狀球菌等ガ生活組織内へ進入繁殖シ

テ發熱スルモノ。

(一) 産褥潰瘍、子宮内膜炎

(2) 汎發腹膜炎、骨盤結締織炎。

(3) 血栓靜脈炎、白股腫、膿毒症、敗血症。

圖七八 産褥熱ノ症狀○

一 全身症狀

(一) 發熱 分娩後三、四日ノ頃、惡寒戰慄ニ次デ、

第一章 産 褥 熱

第一編 褥婦ノ異常

三八—九度(又ハ其以上)ニ發熱ス。

(二)脈搏 亢進(遂ニ微弱頻數)。

(三)熱症狀 熱感、口渴、頭痛不眠(遂ニ神身不安)。
二性器症狀

(一)外陰、腫等ニ產褥潰瘍ヲ生ジ、其部ニ灼熱、腫脹、發赤ヲ來ス。

(二)惡露ハ屢々増量、汚變、多クハ惡臭アリ。

(三)下腹殊ニ子宮又ハ其兩側ニ壓痛アル事アリ。

子宮收縮概ネ不良。

三危險症狀：(セ)二間ノ(シ)

圖七五 產褥熱ノ豫後◎

一良好 (1)適當處置ノ早キ時、(2)病毒弱少、

(3)褥婦ノ抵抗力強大ノ時。

二危險 (1)治療ノ機ヲ失フカ、(2)病毒強烈カ、(3)褥婦

ノ抵抗力弱小ノ時ハ、病菌ハ血液中ニ侵入シテ全身ヲ環リ、膿毒症又ハ敗血症ヲ發シ、遂ニ死亡ス。(セ)ハ

問追記)

圖七八 產褥性膿毒症及敗血症ノ區別◎

| 膿毒症 | 敗血症 |
|---|--|
| <p>意 病菌ガ血中ヲ環リ、諸臟器ノ毛細管ニ岡ヘ、コ、ニ無數ノ膿點ヲ作ル</p> | <p>意 病菌ヨリ生ゼシ毒素ノタメ血液ヲ變敗セシメ、以テ諸臟器ニ著シキ病變ヲ來ス。</p> |
| <p>一 惡寒戰慄ノ反復、次デ四〇度以上ノ高熱</p> <p>二 熱ノ弛張甚ダシ、三重篤ナルモ經過稍緩慢、精神明瞭</p> | <p>一 惡寒戰慄ハ最初ダケ、熱度稍低シ。</p> <p>二 弛張甚シカラズ。</p> <p>三 最初ヨリ極メテ重篤、早ク膿毒症ヲ起ス。</p> |

圖七九 產褥熱ノ診斷◎

(一)分娩後三、四日ノ發熱

(二)產道粘膜炎ノ變化(產褥潰瘍)

(三)惡露ノ増量、惡臭

(四)子宮又ハ附近ノ壓痛

圖七〇 產褥熱ノ豫防法◎◎

一 分娩—產褥ノ取扱ニ際シ、手指・外陰・器械・繃帶材料ノ消毒ヲ嚴重ニスベシ。

二 補助原因ノ來ラザル様ニカムベシ。(會陰裂傷豫防・頻回内診ノ禁止等)二間ヲ参照シテ詳記スベシ)

三 三八度以上ノ發熱ハ速カニ醫師ニ報告スベシ。

四 產褥熱又ハ其疑似症ヲ取扱ヒタル時ハ二日間業務ヲ休息シ、入浴・手指消毒ヲ行フベシ。

其褥婦ニ用ヒタル器械・衣類ハ嚴重ニ消毒シ、繃帶材料ハ寧ろ焼却スベシ。

圖七一 產褥熱ノ處置◎

一 速カニ醫療ヲ乞フベシ

二 產婆ノ義務：(セ)二間ノ(三)四

三 看護法

(一)安靜 神身ヲ安靜ニセシメ、

(二)清潔 (1)外陰ヲ清潔ニシ、

圖七三 產褥創傷傳染病トハ如何◎

主ニ分娩時ニ性器ニ生ジタル創傷ニ、連鎖狀球菌等ノ細菌ガ侵入シテ、產褥時ニ發熱其他ノ症狀ヲ呈スル創傷傳染病ヲ云フ。

圖七三 褥婦ニ創傷傳染ノ起リ易キ理由◎

一 正常分娩ニ於テモ 陰門其他產道ノ創傷ガ免レ難キコト及子宮内面ニ妊卵剝離後ノ創面ノ必在ニヨリ侵入門開放セルタメ。

(2) 身體・衣類・寢具等ヲ清淨ニシ以テ褥瘡ヲ豫防シ、

(3) 室内ノ空氣ヲ新鮮ナラシムベシ。

(三) 食物 (1) 滋養アル流動食物ヲ與ヘ、半流動又ハ固形物ヲ食シ得ル場合ハ肉類ヨリモ消化シ易キ野菜ヲ選ブベシ。

(2) 酒類ノ適量ハ可ナルモ醫師ノ許可ヲ得テ後與フベシ。

(四) 其他 (1) 氷囊ヲ頭部・心臓部・下腹部ニ貼テ、

(2) 體溫脈搏ニ注意シ、

(3) 惡露ノ取扱ニ注意スベシ。

ニ分娩遅延ノ後ニハ軟産道壓挫セラレ、細菌ノ侵入繁殖ヲ一層容易ナラシムルタメ、

三後産片、凝血、悪露ノ殘留ニヨリ細菌ノ繁殖ヲ助長スルタメ。

四性器組織ガ潤軟シ、血管及淋巴管ガ増殖擴張シ、細菌進入ヲ容易ナラシムルタメ。

五分娩時出血ニ次グ貧血ニヨリ抗菌力減弱ノタメ。

圖七二四 産褥熱ト前置胎盤トノ關係

前置胎盤ニ於テハ、胎盤剝離面ガ外方ニ近キ故ニ、創傷傳染ノ機會多シ。

圖七二五 産褥熱ノ種類及ビ其發生徑路

〔解〕 種類…七二五問。

發生徑路…七二五問ノ(一)ハ表在組織ニ限リ發生シ、(二)ハ創傷面ヨリ深部ニ進入發生ス、就中(1)ハ淋巴道ニ進入シ、(2)ハ血行ニ進入發生スルモノナリ。

〔註〕 本問ノ「發生徑路」ハ「産褥熱ノ傳染徑路」トモ解シ得ル故ニ注意スベシ。

圖七二六 産褥熱發生ノ時期

(一)發生ノ基原 通常分娩時(二)發病ノ時期 分娩後三―四日

圖七二七 産褥熱ノ初期徴候

〔解〕 七二六問ノ一、但シ刮弧内ヲ除ク。

圖七二六 體温脈搏ノ狀態ハ産褥熱ノ輕重判定ニ補助トナリ得ルカ、若シ得ルトセバ其鑑別法如何

- (一)脈搏微弱頻數
 - (1) 高熱ハ不良
 - (2) 低熱モ不良
- (二)脈搏強實緩除
 - (1) 高熱概シテ良
 - (2) 低熱良
- (三)基ダシキ弛張熱モ多クハ不良

圖七二八 産褥性潰瘍ニ就イテ

〔解〕 七二五問ヲ述ベ

七二六問ニ(一)(二)ヲ追記。

圖七二九 産褥性子宮周圍炎ニ就イテ

一原因 連鎖狀球菌又ハ葡萄狀球菌ガ、子宮内膜炎、子宮筋膜炎ニ次デ淋巴道ヲ經テ子宮周圍組織ヲ侵シテ生ズ

ニ症狀 (一)發熱其他ノ全身症狀 (二)子宮又ハ附近ノ

壓痛。

三處置 醫療、安靜、下腹ノ氷囊。

圖七三〇 産褥性膿毒症及敗血症ノ徴候

〔解〕 七二八問ノ症狀

圖七三一 産褥熱診斷上ノ注意點

〔解〕 七二九問ノ各項ヲ記シ、其(三)ハ必發ナラザル由ヲ注意スベシ。

圖七三二 産褥熱防止ノタメ妊産婦ニ注意セシムベキ事項

- (一)妊娠中ヨリ身體殊ニ外陰ノ清潔ニ注意セシムベキ事。
- (二)妊娠末期夫婦間ノ攝生ヲ嚴守セシムル事。
- (三)妊娠中ヨリ栄養補血ニ注意シ、身體ヲ強壯ニセシムル事。
- (四)分娩産褥中綿帶材料等ハ嚴重消毒セルモノヲ使用スベク心得シムル事。
- (五)産褥中ノ發熱ハ假令輕度タリトモ油斷ナク注意セシムル事

圖七三四 産褥熱ヲ取扱ヘル産婆ノ注意ト義務

〔解〕 七三〇問ノ目

圖七三五 産褥熱患者接觸後他ノ分娩取扱上ノ方針

〔解〕 七二七問ノ危險アレバナリ。

圖七三六 産褥熱ハ何故恐ルベキヤ

〔解〕 七三三問ノ一ノ腐敗菌ヲ除ク。

圖七三七 創傷傳染病ノ病原菌

〔解〕 七三三問ノ一ノ腐敗菌ヲ除ク。

(一)生理的吸収熱…一般産褥取扱ヲ行ヒ、體温脈搏其他ノ經過ヲ注視スベシ。

(二)病的吸収熱…醫療ヲ乞ヒ其指導ニ從ヒ腔洗滌ヲ行フベシ。其他神身ヲ安靜ニシ、外陰ヲ清潔ニシ、氷囊ヲ子宮部ニ貼ジ、惡露取扱ニ注意スベシ。

圖七三九 産褥熱患者ニ對スル産婆ノ心得

〔解〕 七三三問ニ同ジ。

圖七四〇 産褥熱ノ看護法

〔解〕 七三三問ノ目

圖七四一 産褥創傷中毒症ノ原因症狀處置

一原因・症狀ハ四三三問ニ處置

圖七四二 産褥熱患者接觸後他ノ分娩取扱上ノ方針

〔解〕 七二七問ノ危險アレバナリ。

圖七四三 産褥熱ハ何故恐ルベキヤ

〔解〕 七三三問ノ一ノ腐敗菌ヲ除ク。

圖七四四 創傷傳染病ノ病原菌

〔解〕 七三三問ノ一ノ腐敗菌ヲ除ク。

(一)生理的吸収熱…一般産褥取扱ヲ行ヒ、體温脈搏其他ノ經過ヲ注視スベシ。

(二)病的吸収熱…醫療ヲ乞ヒ其指導ニ從ヒ腔洗滌ヲ行フベシ。其他神身ヲ安靜ニシ、外陰ヲ清潔ニシ、氷囊ヲ子宮部ニ貼ジ、惡露取扱ニ注意スベシ。

第一編 褥瘡ノ異常

- (一) 七〇問ノ四ニ從フヲ萬全トス。
- (二) 其場合必ズ他ノ同業者ヲ推薦シ産家ニ迷惑ナキ様處置スベシ。
- (三) 僻地等ニテ他ニ代ルベキ者ナキ時ハ、總テ嚴重ナル消毒ノ下ニ助産ヲ取扱ヒ、手指ニハ必ズ殺菌ゴム手袋ヲ使用スベシ。

圖七四一 白股腫ニ就イテ

一原因

股靜脈ノ血栓(多クハ有菌)ニヨリ、下肢ノ血液還流ガ妨ゲラル、ニヨリ起ル。

二症狀

(一) 患側(多ク左)下肢ガ蒼白色ニ腫脹シ、疼痛ヲ訴ヘ、

(二) 多少ノ發熱ヲ伴フ。

三處置

(一) 速カニ醫師ノ來診ヲ乞ヒ、

(二) 靜臥ヲ命ジ、患肢ヲ高クシ、ブリースニツツ氏電法ヲ施ス。

第二章 産褥熱以外ノ發熱

圖七四二 産褥熱以外ノ發熱

- (一) 乳腺炎、膀胱炎、腎孟炎、急性腎炎、
- (二) 肺結核、粟粒結核、肋膜炎、腹膜炎、肺炎、
- (三) 諸種ノ傳染病(流行感冒、腸チフス、猩紅熱等)

圖七四三 産褥發熱ノ原因ニ就イテ

〔解〕 吸收熱・創傷傳染病、其他ヲ四問。

圖七四四 産褥第一週内ニ起ル發熱

〔解〕 前問ト同ジ。

圖七四五 産褥時ニ發熱スル疾病ノ名稱、原因、豫防法及處置ニ就イテ詳記セヨ

〔解〕 名稱ハ七五問。

主ニ産褥熱ニ就イテ最モ詳記シ、他ハ時間ノ許ス限リ詳記スルコト。

| 名稱 | 原因 | 豫防法 | 處置 |
|-----|--------|------------|---------------|
| 産褥熱 | 七三問 | 七三問 | 七三問 |
| 乳腺炎 | 七九問ノ一 | 七九問ノ二 | 七九問ノ三 |
| 腎孟炎 | 五三問 | 五三問 | 五三問 |
| 肺結核 | 結核菌 | 五三九問 | 五三〇問ノ三 |
| 肋膜炎 | 結核菌、其他 | 妊娠中ヨリ榮養ニ留意 | 速カニ醫藥、身ヲ安靜、榮養 |
| 腹膜炎 | 結核菌、其他 | 五三三問ノ一 | 五三三問ノ四 |
| 流産 | 五三三問ノ一 | 五三三問ノ三 | 醫藥、隔離。 |
| 傳染病 | 各病ノ病原菌 | 豫防消毒 | |

圖七四六 産褥ノ罹リ易キ傳染性疾患ノ名稱及原因

〔解〕 七五問ノ名稱ト原因。

圖七四七 産褥第三ノ四日頃ノ母兒發熱原因三種

- (1) 吸收熱 (2) 産褥熱 (3) 饑餓熱

圖七四八 分娩後ニ於ケル細菌性疾患ノ名稱及其主要症狀

第二章 産褥熱以外ノ發熱 第三章 子宮復故不全

〔解〕 名稱ハ七五問ト同ジ。

症狀ハ七六問、七九問ノ二、五三問、五三七問、五三三問ノ二

圖七四九 産褥發熱取扱ニ消毒ヲ怠リタル爲起ル母兒ノ疾病ヲ擧ゲヨ

- (一) 母：吸收熱、創傷傳染病(産褥熱)、乳腺炎、膀胱炎、腎孟炎。
- (二) 兒：破傷風、丹毒、化膿瘡、膿漏眼。

圖七五〇 産褥初期母兒兩者發熱ノ場合

母：七五問
兒：饑餓熱、饑餓熱。
其他七九問ノ(二)

圖七五一 弛張熱ノ大要

朝夕ノ差一度以上ノ熱ヲ云フ。
例、膿毒症、腎孟炎、其他一般化膿熱。

第三章 子宮復故不全

圖七五二 子宮復故不全ニ就イテ一定義……七五問

- 二原因 因……七五問
- 三症狀 狀……七五問
- 四處置 ……七五問

圖七五 子宮復故不全ノ定義○

產褥時ニ於ケル子宮復舊作用ガ遲々トシテ、惡露排泄ニ異常ヲ來ス症狀ヲ云フ。

圖七五 子宮復故不全トハ如何○

〔解〕 定義(七五問)ノ外ニ症狀(七五問)ヲ参照附記スベシ。

圖七五 子宮復故不全ノ原因○

- 一主要原因
 - (一) 子宮腔内異物殘留(後産片・凝血)
 - (二) 動作不攝生(過度運動・早期離牀)
- 二其他ノ原因
 - (一) 子宮發育異常
 - (二) 子宮位置異常(子宮後轉)
 - (三) 產褥熱

(四) 子宮腫痛

(五) 分娩時強出血(前置胎盤・胎盤早期剝離・強經血)

(六) 子宮過度延長(羊水過多症・多胎分娩)

(七) 膀胱直腸充滿

(八) 頻産婦(殊ニ授乳セズ者)

圖七五 子宮復故不全ノ症狀○

一子宮 大、軟

二惡露 多量、持續長時、血性長期

圖七五 子宮復故不全ノ處置○

- 一醫療ヲ乞ハシム。
- 二產婆ノ處置
 - (一) 原因ノ排除(動作ノ攝生、排尿排便、故ナキ授乳ノ禁止)
 - (二) 子宮ノ輪狀摩擦、氷囊。

圖七五 天褥婦子宮底下降障礙ノ原因○

〔解〕 七五問ト同ジ。

圖七五 子宮復故ノ良否鑑別○

三症狀

- (1) 子宮復故不全ノ症狀(七五問、又ハ)
- (2) 惡露滯溜ノ症狀(七五問)。

四障礙

產褥熱ノ誘因。

五處置

- (1) 子宮底ノ輪狀摩擦、氷囊。
- (2) 卵膜片ノ腔口ニ見ユル時ハコツヘル氏鉗子ニテ挟ミ之レヲ捩リナガラ牽出除去ス。

圖七五 產褥時ニ胎盤卵膜ノ遺殘セル徵候障礙處置○

〔解〕 遺殘トハ胎盤卵膜一部ノ遺殘ト解スベシ。七五問ノ三、四、五、六。

圖七五 產褥子宮萎縮症ニ就テ○

一定義……產褥子宮復故過度ニ行ハレ、子宮ガ正常ヨリ萎縮スルモノヲ云フ。

二原因 因……子宮緊縮藥ノ長期濫用、長期授乳

三症狀 狀……無月經(甚シキハ不妊)

四徵防……原因ノ排除

五處置……醫療

圖七三 分娩後ノ子宮殘留物ニ就テ○

一原因

- (一) 分娩時 (1) 後産ノ牽引 (2) 後産ノ違法壓出
- (二) 產褥時 (1) 子宮收縮不良

二種類

- (1) 卵膜片、胎盤片、凝血、惡露。
- (2) 子宮口ノ閉塞(卵膜片・胎盤片・凝血等ニヨル)

第三章 子宮復故不全

| | | |
|-----|--------------|--------------|
| | 復故完全 | 復故不全 |
| 一子宮 | 大サ正常、硬 | 大軟 |
| 二惡露 | 少量、持續短時、血性短期 | 多量、持續長時、血性長期 |

圖七三 產褥婦過早離褥ノ障礙○

〔解〕 四七五問ノ二ノ害。

圖七三 子宮復故不全ニヨル出血ノ原因○

- (一) 子宮收縮不良ノ爲メ子宮血管ノ壓迫不十分ニシテ、子宮内面血管開口部ヨリノ出血多シ。
- (二) 子宮復故不全ナレバ卵膜凝血等ノ壓出不十分ニシテ子宮内面創傷治癒不完全、從ツテ創面ヨリノ出血又ハ分泌多量トナル。

第四章 惡露ノ異常

圖七五 異常惡露ニ就イテ

一 性質ノ異常

- (一)原因 (1) 産褥熱 (2) 腔又ハ子宮ノ疾患。
- (二)症狀 (1) 汚色 (2) 惡臭 (3) 時ニ膿様。
- (三)處置 (1) 醫療 (2) 之ヲ取扱ヒタル手指ノ嚴重消毒。

二 惡露ノ多量

- (一)原因 (1) 子宮復故不全 (殊ニ異物残留、動作不攝生) (2) 性器創傷ノ治癒不全。
- (二)症狀 (1) 惡露多量 (2) 持續長時日 (3) 血性長期
- (三)處置 (1) 醫療 (2) 原因ノ排除 (3) 子宮ノ輪狀摩擦。

三 惡露ノ少量 (セセリ問)

圖七六 異常惡露トハ何ゾヤ

[解] セセリ問ノ三項目ヲ答ヘ、各ノ症狀ヲ説明スベシ。

圖七五 異常惡露ノ原因

[解] セセリ問ノ三項ノ各原因ヲ記スベシ。

圖七六 異常惡露ノ症狀

[解] セセリ問ノ三項ノ各症狀ヲ記スベシ。

圖七六 異常惡露ノ處置

[解] セセリ問ノ三項ノ各處置ヲ記スベシ。

圖七五 良性惡露ト惡性惡露トノ鑑別

| | | |
|------|----|----------|
| 量 | 正常 | 過多又ハ過少 |
| 色 | 順調 | 汚色(又ハ膿様) |
| 惡臭 | 無 | 有 |
| 熱 | 無 | 有 |
| 子宮壓痛 | 無 | 有 |
| | 良 | 惡 |
| | 性 | 性 |

圖七七 長キ血性惡露ヲ説明セヨ

[解] セセリ問ノ二(一)(二)

圖七五 産褥時異常出血ニ就イテ

一 原因

(一) 血性惡露多量

- (1) 子宮復故不全殊ニ異物残留、動作ノ不攝生
- (2) 性器創傷ノ治癒不全
- (三) 單純出血

二 症狀

- (一) 産褥初期又ハ數日ノ後、突然多量出血シ、急性貧血ヲ來スモノアリ。
- (二) 出血ヲ長時日持續スルモノハ、少量ナリトモ貧血ヲ増進ス。

三 處置

(一) 血性惡露多量

第四章 惡露ノ異常

圖七七 妊娠分娩産褥ニ關シ起リ得ル内出血

ノ總テヲ列舉セヨ

(1) 醫療 (2) 復故不全ノ原因ノ排除

(二) 單純出血

- (1) 醫療 (2) 弛緩出血ハ子宮ノ輪狀摩擦・水囊
- (3) 貧血ノ手當。

圖七五 産褥時異常出血ノ原因

[解] セセリ問ノ一

圖七五 産褥時異常出血ノ症狀

[解] セセリ問ノ二

圖七五 産褥時異常出血ノ處置

[解] セセリ問ノ三

圖七七 妊娠分娩産褥時ニ於ケル性器出血ノ

原因

- [解] (1) 妊娠中出血ハセセリ問、(2) 分娩中出血ハセセリ問、(3) 産褥中出血ハセセリ問。

- (1) 妊娠時ハ胎盤早期剝離、子宮外妊娠中絶、胎状鬼胎。
- (2) 分娩時ハ胎盤早期剝離、子宮破裂、弛緩出血。
- (3) 産褥時ハ弛緩出血、絨毛上皮腫及其轉移。

圖七六六 産褥時ニ異常出血ヲ伴フ疾患ノ名稱○

〔解〕 産褥時異常出血ノ原因(七六六問ノ一)ヲ病名トシテ列記スベシ。

圖七六九 惡露滯溜ニ就イテ○

一定義

惡露ガ其排泄ヲ妨ゲラレ滯溜シテ障礙ヲ來スモノヲ云フニ原因

- (一) 子宮收縮不良ニヨル子宮壓出力ノ不足
 - (二) 後産片凝血ニヨル子宮口ノ閉塞
- 三 症 狀
- (一) 發 熱
 - (二) 下腹ノ壓痛
 - (三) 子宮收縮不良(膨大・柔軟)
 - (四) 惡露少量・汚色・惡臭。

四 診 斷

| | | | |
|----------|-------|---------|-----------|
| (一) 體 温 | 發 熱 | 惡 露 滯 溜 | 生 理 的 少 量 |
| (二) 下 腹 | 壓 痛 | | |
| (三) 子宮收縮 | 不 良 | | |
| (四) 惡露性状 | 汚色・惡臭 | | |
| | | | 正 常 |

五 處 置

(一) 醫 療

(一)(二)下腹ニ氷囊(三)惡露ニ觸レタル手指ノ嚴重消毒。

圖七六八 惡露滯溜トハ何ゾヤ○

分泌セラレタル惡露ガ其排泄ヲ妨ゲラレタル爲メ内部ニ滯溜シテ、發熱、下腹壓痛、子宮收縮不良等ノ症狀ヲ呈スル異常状態ヲ惡露滯溜(惡露蓄積症)ト稱シ、之ヲ惡露分泌量ノ實際ニ少キ爲ニ排泄ノ少量ナル生理的惡露過少ト區別ス。

圖七六八 惡露滯溜ノ原因○

〔解〕 七六八問ノ二

圖七六二 惡露滯溜ノ症狀○

〔解〕 七六二問ノ三

圖七六三 惡露滯溜ノ診斷○

〔解〕 七六三問ノ四

圖七六四 惡露滯溜ノ處置○

〔解〕 七六四問ノ五

圖七六五 惡露分泌ノ障礙○

〔解〕 「分泌ノ障礙」ト「排泄ノ障礙」トノ區別ヲ述ベ、分泌障礙ハ分泌多量即チ惡露ノ多量(七六五問ノ一)ヲ答フベシ。(排泄障礙ハ惡露滯溜(七六九問))

第五章 過強後陣痛

圖七六六 過強後陣痛ニ就イテ○

一定義

後陣痛頻繁ニシテ且ツ疼痛甚ダ強キヲ云フ。

ニ原因

- (一) 後産片・凝血ノ子宮内残留

第五章 過強後陣痛

圖七六八 後陣痛ノ強ク起ル場合ヲ列舉セヨ○

〔解〕 七六八問ノ二

(一) 分娩(殊ニ第二期)ガ甚ダ急速ニ經過シタル後、

(二) 經産婦(殊ニ授乳スルモノ)ニ多シ。

三 症 狀

(一) 子宮部ニ發作性强痛ヲ訴フ。

(二) 子宮收縮一子宮復故良好。

四 診 斷

(一) 疼痛ハ發作性(二) 壓痛ナシ(三) 無熱

五 處 置

(一) 下腹部ニ濕性温電法(又ハ氷電法)ヲ施シ、安靜ヲ命ズ。

(二) 之ニヨリ效ナキ時ハ醫療ヲ乞ハシム。

圖七六七 後陣痛ノ異常ニ就イテ○

(一) 過強後陣痛(七六六問)

(二) 微弱後陣痛(子宮復故不全ヲ三問ヲ起ス。

圖七六八 後陣痛ノ強ク起ル場合ヲ列舉セヨ○

〔解〕 七六八問ノ二

圖七六九 強烈ナル後陣痛ノ處置〇

〔解〕 七六四問ノ五

第六章 梅毒泌乳器ノ異常

圖七六〇 褥婦乳房ノ異常ニ就イテ〇

- 一 乳輪乳頭ノ表皮剝脫及皸裂……七六三問
- 二 乳腺炎(乳房炎)……七六四問
- 三 乳汁異常……七六五問

圖七六一 褥婦乳房疾患ノ豫防法〇

- 〔解〕 (一) 乳輪乳頭ノ表皮剝脫皸裂ノ豫防法(七六三問ノ三)
- (二) 乳腺炎ノ豫防法……(七六四問ノ三)

圖七六二 褥婦乳房疾患ノ取扱法〇

- 〔解〕 (一) 乳輪乳頭表皮剝脫・皸裂ノ取扱法……(七六三問ノ四)
- (二) 乳腺炎ノ取扱法……(七六四問ノ四)
- (三) 乳汁漏ノ取扱法……(七六五問ノ二)

圖七六三 褥婦乳輪乳頭ノ表皮剝脫及皸裂ニ就イテ〇

- 一 原因 (一) 皮膚ノ薄弱―不潔 (二) 小兒哺乳力過強
- 二 症狀 (一) 授乳時激痛―哺乳不能 (二) 乳腺炎へ移行。

- 三 豫防法 常ニ冷水等ニテ乳頭乳輪ヲ清拭シ、皮膚ヲ強韌ニスル事。

- 四 處置 (一) 患部ノ硼酸水濕布 (二) 乳頭帽、吸乳器又ハ搾乳器ノ使用。
- (三) 頑症ニハ醫療。

圖七六四 褥婦乳腺炎ニ就イテ〇

- 一 原因 (1) 化膿菌(連鎖狀球菌・葡萄狀球菌)ガ(2) 不潔ノ取扱ノ爲メ (3) 乳輪乳頭ノ創傷ヨリ侵入シテ起ル。

- 二 症狀 (1) 惡寒ニ次デ發熱 (2) 乳房ノ腫脹・潮紅・激痛 (3) 放任セバ遂ニ自潰シテ膿汁ヲ排出ス。

- 三 豫防法 (1) 乳輪乳頭ノ損傷ヲ適當ニ手當シ、(2) 其頑症ハ早く醫療ヲ加フ。

四 處置 (1) 醫療

- (2) 乳房ニ氷褌法、提乳帶、授乳禁止。

圖七六五 乳汁異常ノ原因※

一 性質ノ異常

- (一) 全身疾患 (1) 脚氣 (2) 腎炎 (3) 重症熱病(殊ニ膿毒症・敗血症)

(藥物攝取・月經ハ影響輕度)

- (二) 乳房疾患 (1) 乳腺炎 (2) 乳汁漏泄 (3) 乳腺腫瘍

ニ量ノ異常

- (一) 過多……乳汁漏泄七六六問
- (二) 過少……乳汁過少(四七五問ノ乙ノ一ヲ詳記)

圖七六六 乳汁漏泄(乳汁漏)ニ就イテ〇

一 症狀 (1) 授乳セザル時ニ、點滴流出ス。

- (2) 授乳婦ヲ衰弱セシメ、異常ノ成分ニヨリ小兒ヲモ害ス。

ニ處置

- (1) 醫療
- (2) 液體攝取ノ制限、提乳帶、授乳禁止。

第六章 褥婦泌乳器ノ異常

圖七六七 乳汁過少(乳汁缺乏症)ニ就イテ〇

一 原因……四七五問ノ乙ノ一

ニ處置……四七五問

- (甲) 全身催乳法 (一) 醫師ノ指圖ニヨリ、榮養劑、ホルモン劑其他ノ催乳劑ヲ與フ。

- (二) 適當ノ運動、精神ノ安靜、整便。

- (二) 哺乳刺戟ヲ十分ニシ、乳汁鬱滯ヲ避け、

(乙) 局所催乳法

- (一) マッサージ、溫褌法、電氣、紫外線照射等。

〔注意〕 諸種ノ催乳法ヲ盡スモ無効ナル時ハ、乳兒ハ

乳母乳又ハ人工榮養ヲ以テ養フベシ。

圖七六八 褥婦乳頭創傷ノ原因〇

〔解〕 七六四問ノ一

圖七六九 褥婦乳頭創傷ノ危險及豫防法〇

〔解〕 危險ハ乳腺炎ヘノ移行、豫防法ハ七六四問ノ三

第一編 褥婦ノ異常

圖七〇〇 褥婦乳頭裂創ノ處置○

〔解〕 七〇三問ノ四

圖七〇一 乳腺炎(乳房炎)ノ原因○

〔解〕 七〇四問ノ一

圖七〇二 乳腺炎ノ症狀○

〔解〕 七〇四問ノ二

圖七〇三 乳腺炎ノ豫防法○

〔解〕 七〇四問ノ三

圖七〇四 乳腺炎ノ處置○

〔解〕 七〇四問ノ四

圖七〇五 乳汁分泌ノ異常ニ就テ説明セヨ○

〔解〕 原因(七〇五問)ヲ列記シ、其各ニ就イテ説明ヲ加フベシ。

圖七〇六 乳汁分泌異常ノ種類及處置○

〔解〕 原因(七〇五問)ノ分類ヲ記シ、各處置ヲ〇九問ヲ述ブベシ。

圖七〇七 乳汁分泌量及ビ性質ニ影響スル母體疾病○

〔解〕 七〇五問ノ中カラ母體疾病ヲ選ビ記ス。

圖七〇八 乳汁分泌ニ影響ヲ與フル諸件○

〔解〕 七〇五問全部ヲ答フベシ。

圖七〇九 乳汁分泌異常ノ處置○

〔解〕 性質異常：原因的疾患(七〇五問ノ一)ノ醫療ヲセシ。

量ノ異常 乳汁漏泄(七〇六問)ノ處置

乳汁過少(七〇七問)ノ處置

圖七一〇 乳汁分泌過少ノ原因○

〔解〕 七〇七問ノ乙ノ一

圖七一一 乳汁過少ノ處置○

〔解〕 七〇七問ノ處置

第七章 褥婦泌尿器ノ異常

圖七一二 褥婦泌尿器疾患ニ就イテ○

一 尿道及其附近ノ損傷……………七二七問

二 膀胱炎……………七二八問

三 尿瘻及尿失禁……………七二九問

四 尿閉……………七三三問

五 腎炎及腎盂炎……………七三三問

圖七二三 褥婦泌尿器障礙ノ種類、各ノ原因

症狀處置○

| 種類 | 原因 | 症狀 | 處置 |
|----------|---------------|--------|--------|
| 一 尿道損傷 | 七二七問ノ一、七二七問ノ二 | 七二七問ノ三 | 七二七問ノ三 |
| 二 膀胱炎 | 七二八問ノ一、七二八問ノ二 | 七二八問ノ三 | 七二八問ノ三 |
| 三 尿瘻、尿失禁 | 七二九問ノ一、七二九問ノ二 | 七二九問ノ三 | 七二九問ノ三 |
| 四 尿閉 | 七三〇問ノ一、七三〇問ノ二 | 七三〇問ノ三 | 七三〇問ノ三 |
| 五 腎炎、腎盂炎 | 七三三問 | 七三三問 | 七三三問 |

圖七二四 褥婦ノ泌尿障礙ニツキ記セ△

〔解〕 先ヅ、泌尿障礙ト排尿障礙ノ別ヲ記シ、泌尿障礙デハ腎炎ヲ主トシテ答ヘ、念ノ爲メ排尿障礙(七二五問)ヲ別項トシテ附記スベシ。

圖七二五 褥婦ノ排尿障礙ニツキ記セ○

〔解〕 七二三問ノ一、二、三、四ヲ詳説スベシ。

圖七二六 産褥時ノ膀胱直腸障礙ニ就イテ○

〔解〕 七二三問ノ一、二、三、四ヲ詳説スベシ。

第七章 褥婦泌尿器ノ異常

圖七二七 褥婦尿道及其附近ノ損傷△

一 原因 分娩時胎兒通過ノ際ニ生ズ。

二 症狀 排尿時ノ疼痛。

三 處置 創傷部ノ清潔、「アイロール」等ノ撒布

圖七二八 褥婦膀胱炎(膀胱カタル)○

一 原因

(一) 病原菌 大腸菌、連鎖狀球菌、葡萄狀球菌時ニ淋菌、
稀ニ結核菌

(二) 媒介 消毒不完全ノ人工排尿

(三) 誘因 頻繁ナル人工排尿

二 症狀

(一) 排尿時疼痛、下腹・外陰ノ持續疼痛、時ニ發熱

(二) 尿意頻數、殘尿感、尿濁濁

(三) 尿意頻數、殘尿感、尿濁濁

第一編 褥婦ノ異常

三處 置

- (一) 醫療
- (二) 產婆ノ取扱 (1) 安靜、保温、(2) 無刺戟食物ト飲料
- (3) 膀胱部濕性温瘧法。

圖七二九 褥婦ノ尿瘻及尿失禁ニ就イテ

| | |
|-------------------------|-------------|
| 膀胱頸管瘻、膀胱腫瘍、尿道腫瘍 | 尿失禁 |
| 一原因 分娩時ノ壓迫—損傷(殊ニ狹骨盤) | 膀胱括約筋麻痺 |
| 二症狀 尿持續流出、惡臭、糜爛 | 同上、多クハ一日後治療 |
| 三處置 醫療、外陰清潔 | 外陰清潔 |

圖七三〇 產褥性尿瘻ノ原因豫防法、處置

〔解〕 前問参照、豫防法ハ分娩第二期遲延ノ豫防、殊ニ狹骨盤ニ於ケル注意。

圖七三一 褥婦ノ尿閉ニ就イテ

〔解〕 原因ハ同上問、結果ハ同上問ノ六、處置ハ同上問。

圖七三二 褥婦腎炎及腎盂炎

褥婦腎炎ハ通常妊婦腎炎ノ移行。其ノ症狀ハ同上問、處置ハ

同上問、

褥婦腎盂炎ハ妊婦ノ腎盂炎ト異ナリ、大腸菌ヨリモ化膿菌(連鎖球菌、葡萄球菌)ニヨルモノ多ク、膀胱炎ヨリ上昇性ニ進ムモノ多シ。症狀ハ同上問、處置ハ同上問。

圖七三三 尿ヲ消毒スル必要アル疾病ノ名稱

〔解〕 腸チフス、バラチフス、淋疾等尿ニ傳染力アル疾病

圖七三四 產褥性膀胱炎ノ診斷

〔解〕 セレハ問ノ症狀アレバ膀胱炎ト診斷シ得。

圖七三五 褥婦腎炎ニ罹リタル時ノ授乳ノ可否及其理由

〔解〕 輕度ノ場合ハ可、稍重症以上ハ乳兒消化不良症ヲ來スヲ以テ醫療ニヨリ母ヲ治療シツ、授乳セシメ、乳兒ノ障礙甚シキ時ハ醫師ノ指圖ニヨリ授乳ヲ廢ス。

圖七三六 產褥期ニ浮腫ヲ起ス疾病

(1) 脚氣 (2) 腎炎 (3) 其他妊娠期ノ諸種浮腫(同上問)ノ殘存。

圖七三七 膀胱直腸ノ過度充盈ノ妊娠分娩産褥ニ及ボス影響

ニ及ボス影響

第二編 新産兒ノ異常

〔解〕 (一) 妊娠中ノ六四〇問

(二) 分娩中ノ六三七問

(三) 産褥中ノ六四二問ノ一

圖七三六 淋疾ノ妊婦褥婦及新産兒ニ及ボス影響

影響

〔解〕 妊娠トノ關係ハ同上ノ八九問

褥婦ニハ膀胱炎—腎盂炎、産褥熱

新産兒ニハ膿漏眼。

圖七三九 産褥期生殖器疾患ノ種類及其處置

- (1) 産褥潰瘍
- (2) 子宮内膜炎
- (3) 子宮筋膜炎
- (4) 子宮腹膜炎
- (5) 子宮後轉症
- (6) 子宮下垂・脱
- (7) 子宮復故不全…セ毛問

第二編 新産兒ノ異常

圖七三〇 新産兒ニ來ル主ナル異常ノ名稱ヲ列記セヨ

記セヨ

一分娩前ニ基因スルモノ

(一) 畸形 (二) 發育不全 (三) 先天微毒

二分娩ニ基因スルモノ

(一) 新産兒膿漏眼 (二) 頭血腫 (三) 胸鎖乳樣筋血腫

(四) 骨折脱臼、其他ノ損傷 (五) 新産兒分娩麻痺

(六) 新産兒假死

三分娩後ニ基因スルモノ

(一) (1) 驚口瘡 (2) 新産兒消化不良症 (3) 新産兒メレ

ナ (4) 新産兒病的黃疸 (5) 乳兒脚氣

(二) (1) 破傷風 (2) 丹毒

(三) (1) 皮膚硬變症 (2) 糜爛 (3) 汗疹 (4) 皮脂漏

(四) (1) 臍出血 (2) 臍炎 (3) 臍ヘルニア (4) 臍ボリー

第二編 新産兒ノ異常

圖七三三 新産兒疾病ヲ分娩ニ因リ起ルモノト産後ニ起ルモノトニ分類セヨ

〔解〕 前問ノニトミヲ答フベシ。

圖七三二 新産兒ニ發シ易キ疾病ノ名稱

〔解〕 「發シ易キ」ト云フ言葉ヲ嚴密ニ解スレバ、現今稀ニ見ル破傷風等ハ此ノ中ニ加ハラヌ管ナルモ、本問ヲ「主ナル疾病」ト見做シテセ二三問ヲ答ヘテ宜シ。

圖七三三 母體ノ疾病ニヨリ起ル新産兒ノ疾病

ヲ舉ゲ之ヲ簡單ニ説明セヨ

〔解〕 (一) 先天微毒、(二) 發育不全(母ノ結核・腎炎等ニヨル) (三) 虛弱(貧血(母體營養不全ニヨル)) (四) 中毒症(母體中毒ニヨル) (五) 新産兒膿漏眼 (六) 乳兒脚氣

説明ハ各疾病ノ原因症狀豫防法ヲ簡單ニ説明スベシ。

圖七三三 新産兒ニ來リ易キ傳染性疾患ノ名稱

先天微毒、膿漏眼、驚口瘡、破傷風、丹毒、化膿性肺炎。本問モ亦「來リ易キ」ノ意味ハ頗度多キト云フ意ニ解釋セズ、「主ナル疾患」ト見做ス。

圖七三三 新産兒ニ來リ易キ非傳染性疾患五ツ

ヲ舉ゲ之ヲ説明セヨ

〔解〕 例ヘバ頭血腫、新産兒假死、新産兒消化不良症、皮膚糜爛、臍ボリープ等ヲ舉ゲル。説明ハ各疾病ノ原因症狀等ヲ説明スル。

圖七三三 新産兒ニ來リ易キ疾病ニシテ發熱ヲ

伴フモノ、名稱

膿漏眼、破傷風、丹毒、肺炎、膿毒症、敗血症。

圖七三三 産婆ノ不注意ニヨリ生ズル新産兒ノ

疾患ニ就イテ述ベヨ

〔解〕 (1) 新産兒膿漏眼、(2) 胸鎖乳襞筋血腫、(3) 骨折脱臼其他ノ損傷、(4) 新産兒假死。

(5) 驚口瘡、(6) 消化不良症、(7) 破傷風・丹毒、(8) 皮膚硬變症、(9) 臍爛・汗疹、(10) 臍出血・肺炎

本問ハ名稱ノミナラズ、各疾病ニ就イテ時間ノ許ス限リ詳解ヲ要ス

圖七三三 新産兒ニ發シ易キ疾病ノ名稱ト其

原因

〔解〕 本問ハ原因ノ明カナル疾病即チ前問ノ疾病。

其他ニ先天微毒ヲ加フベシ。

圖七三三 新産兒ニ發シ易キ疾病ノ名稱ト其

豫防法

〔解〕 前問ノ疾病ヲ舉ゲテ其豫防法ヲ述ブベシ。

圖七三三 新産兒ノ主ナル疾患ヲ舉ゲ其症狀ヲ

記セ

〔解〕 セ二三問ノ疾患ノ名稱ヲ列記シ、其ノ症狀ヲ簡單ニ記スベシ。

圖七三三 新産兒ノ主ナル疾患ヲ舉ゲ其處置ヲ

記セ

〔解〕 セ二三問ノ疾患ノ名稱ヲ列記シ、其處置ヲ簡單ニ記入スベシ。

圖七三三 新産兒疾患ノ種類(分類)ヲ問フ

〔解〕 一分娩前、時、後ニ起ル疾病(セ二三問)

ニ消化器系疾病、傳染病、皮膚疾患、臍疾患、其他ノ疾患(セ二三問ノ三)

第二編 新産兒ノ異常

圖七三三 母體ノ疾病ヨリ起ル乳兒ノ疾病ト其豫防法

〔解〕 母體疾病ニヨリ起ル疾病ト否ラザル疾病(セ二三問) 傳染性疾患ト非傳染性疾患(セ二三問、セ二三問) 産婆ノ豫防シ得ル疾患ト否ラザル疾患(セ二三問) 本問ノ他ニ、其原因、症狀、處置等ヲ記セト云フ問題ニ對シテハ、更ニ主ナル病名ヲ舉ゲテ夫々原因症狀處置等ヲ簡單ニ記スベシ。

圖七三三 新産兒ノ疾病ニ就キ述ベヨ

〔解〕 乳兒ヲ廣意ニ解スレバ新産兒ヲモ含ム、故ニ本問ノ疾病ハセ二三問ノ名稱ト同ジニテヨシ。其豫防法ハ各疾病ニツキ答フベシ。特ニ乳兒脚氣ニツキ詳記スルガ宜シ。

圖七三三 新産兒ニ最モ起リ易キ疾病ノ名稱

〔解〕 セ二三問ノ答ニテモ宜シ、然シ「最モ」ト云フ字ヲ嚴密ニ解スレバ、其中膿漏眼、頭血腫、假死、驚口瘡、消化不良症、臍爛、汗疹、臍ボリープ位ヲ答フベシ。

圖七二四 新産兒疾患ノ種類ヲ舉ゲ簡單ニ説明セヨ○

〔解〕 種類ハセリ三問ト同ジ、説明ハ各分類ニ屬スル疾病ヲ舉ゲテ説明スレバ宜シ。

圖七二五 新産兒ニ發シ易キ傳染病ノ名稱及豫防法○

〔解〕 セリ三問ノ名稱ヲ舉ゲ其各ノ豫防法ヲ述ブベシ。

圖七二六 新産兒死亡ノ原因ニツイテ○

- (1) 重キ畸形、(2) 重キ先天微毒。
- (1) 重キ内頭血腫、(2) 重キ分娩外傷、(3) 重症假死。
- (1) 重症露口瘡、(2) 重症消化不良症、(3) 新産兒メレナ。
- (1) 破傷風、(2) 丹毒。
- (1) 皮膚硬變症、(2) 重症臍出血、(3) 膿毒症・敗血症。

圖七二七 新産兒ノ授乳困難ヲ來ス疾病ヲ列舉セヨ○

- (1) 兔唇、(2) 狼咽、(3) 軟口蓋破裂、(4) 鼻腔閉塞、(5) 口腔腫瘍
- (1) 内頭血腫、(2) 下顎關節脫臼。
- (1) 露口瘡、(2) 消化不良症、(3) 破傷風、(4) 皮膚硬變症其他ノ重症疾患。

第一章 分娩前ニ基因スル新産兒異常

圖七二八 新産兒ノ發育異常ニ就キテ詳記セヨ○

- 一 畸形……(六六問)
- 二 發育不全……(七二五問)

圖七二九 新産兒發育不全ニ就キテ原因ヲ

一 母體原因

- (一) 母體疾病……結核、肋膜炎、腎炎等
- (二) 母體栄養不全……殊ニウイタミン、カルシウム、鐵、等ノ缺乏
- (三) 母體中毒症……鉛、酒精、モルヒネ等ノ中毒

二 胎兒附屬物原因

- (一) 胎盤病變、(二) 胎帶眞結節、強度捻轉、(三) 羊水過少症

圖七三〇 先天微毒ニ就イテ記セ○

- 一定 義 分娩前ノ傳染ニ因ル微毒ヲ云フ
- 二 原因 「スピロヘーテ、バリーダ」ノ傳染
- 三 症狀

圖七三一 先天微毒ノ大要ヲ記セ○

〔解〕 セリ三問ノ大要ヲ記スベシ。

圖七三二 先天微毒兒ノ徵候○

〔解〕 浸軟兒ノ状態(五、一〇〇問ノ二)及ビセリ三問ノ三ノ(二)

第一章 分娩前ニ基因スル新産兒異常

四 處置

- (一) 必ズ醫療
- (二) 必ズ母乳榮養ヲ要ス。

理由 (1) 母乳中ニハ微毒ニ對シ抗菌力アル事 (2) 微毒ナキ母乳ニハ感染ノ虞アル事 (3) 人工榮養ニテハ育テ難キ事

圖七三三 先天微毒ヲ説明セヨ○

〔解〕 前問ノ一ニテ簡單ニ説明スベシ。

圖七三四 先天微毒ノ大要ヲ記セ○

〔解〕 セリ三問ノ大要ヲ記スベシ。

圖七三五 先天微毒兒ノ徵候○

〔解〕 浸軟兒ノ状態(五、一〇〇問ノ二)及ビセリ三問ノ三ノ(二)

第一章 分娩前ニ基因スル新産兒異常

圖七三六 先天微毒ノ症狀○

〔解〕 セリ三問ノ三

圖七三七 先天微毒兒ノ處置○

〔解〕 セリ三問ノ四

圖七三八 先天微毒兒ノ榮養法○

〔解〕 セリ三問ノ四ノ(二)

圖七三九 成熟兒分娩ニ於テ母體ニ微毒脚氣妊 娠腎炎アル場合ノ兒ノ榮養法○

母體微毒……(七、一五問ノ四ノ(二))

母體脚氣……(七、二〇問)

母體腎炎 (1) 輕症。母體ノ腎炎ヲ治療シツ、母乳ヲ與フ。 (2) 重症。乳母乳又ハ人工榮養。

圖七四〇 先天微毒兒ノ診斷○

- 一 微毒兒ノ徵候(セリ三問ノ三)ヲ認ム事。
- 二 親ニ微毒アル事、習慣妊娠中絶アリシ事。

圖七四一 父及母ノ微毒ト胎兒トノ關係ニ就テ○

- (一) 父ニ微毒アル時ハ先ヅ母ニ傳染シ、然ル後胎盤傳染ニヨリ胎兒ニ先天微毒ヲ起ス。
- 父ノ精子ヲ微毒菌ガ侵シテ、其ノ精子ヨリ先天微毒兒ヲ生ズルトノ考ハ今日信ゼラレズ。
- (二) 母ノ微毒ハ胎盤傳染ニヨリ胎兒ノ先天微毒ヲ生ズ。母ノ卵子ヲ微毒菌ガ侵シテ、其ノ卵子ヨリ先天微毒兒ヲ生ズルトノ考モ亦信ゼラレズ。

第二章 分娩ニ基因スル新産兒異常

圖七二三 分娩ノ爲ニ發スル新産兒疾患ヲ列記セヨ。

〔解〕 七二四問ノ二

圖七二五 分娩ト直接關係アル新産兒外傷ノ種類原因。

〔解〕 七二六問ノ名稱ヲ擧ゲ、且ツ其原因丈ケテ記ス。

圖七二六 新産兒膿漏眼ニ就イテ

一原因

(一) 病原菌……淋菌(淋疾双球菌)

(二) 傳染徑路

- (1) 分娩時傳染
母體泌尿性器ニ淋菌アル時、胎兒ノ産道通過ニ際シ眼ヨリ侵入ス
- (2) 分娩後傳染ハ稀(沐浴又ハ惡露ヲ介シ)

二症狀

(一) 分娩後一三日頃ヨリ眼瞼ニ灼熱・腫脹・發赤・疼痛ヲ來シ、

(二) 熱淚ニ次デ膿汁ヲ旺ニ漏出ス。

(三) 腫脹・疼痛ノ爲メニ全然眼ヲ閉ク事ヲ得ズ、頻リニ啼泣ス。

三危險

治療ノ機ヲ失スル時ハ、全眼球ヲ破壊シ遂ニ失明ヲ來シ、而モ兩眼ヲ侵ス事多シ。

四豫防法

(一) 妊娠時ノ膿樣帶下ハ速カニ醫療ヲ受ケシメ、

(二) 分娩時ハ必ズクレデ氏豫防點眼法ヲ施シ

(三) 産褥時

ノ膿樣惡露ノ取扱ニ注意シ、以テ他ヘノ傳染ヲ豫防ス。

五處置

(一) 必ズ醫療

(二) 應急處置トシテ二%硼酸水又ハ五千倍昇末水ニテ眼裂ヲ清拭スベシ。

(三) 取扱ニ際シ膿汁ニ觸レヌ様注意シ、而モ取扱ヒタル手拭ハ嚴重ニ消毒シ、膿ノ着キタル繻帶材料ハ燒却スベシ。

圖七二七 新産兒膿漏眼ノ原因

〔解〕 七二八問ノ原因

圖七二八 新産兒淋毒性結膜炎ハ分娩中如何ナル時期ニ感染スルヤ

〔解〕 七二九問原因(二)ノ(1)

圖七二九 新産兒膿漏眼感染ノ時期

〔解〕 七三〇問ノ原因(二)

第二章 分娩ニ基因スル新産兒異常

圖七二六 新産兒膿漏眼ノ症狀

〔解〕 七二七問ノ症狀及危險ヲ記ス、(危險ハ危險ナル症狀ナリ)

圖七二七 新産兒膿漏眼ノ危險

〔解〕 七二八問ノ危險丈ケテ答フベシ。

圖七二八 新産兒膿漏眼ノ豫防法

〔解〕 七二九問ノ豫防法。

圖七二九 新産兒膿漏眼ノ處置

〔解〕 七三〇問ノ處置ヲ記スベシ。

圖七三〇 新産兒眼炎ニ就イテ

一單純結膜炎

〔原因〕 (1) 眼ノ不潔ナル取扱

(2) 不良ノ濃厚ノ過量ノ豫防點眼液使用。

〔症狀〕 結膜充血、少量膿樣分泌。

〔豫防〕 原因ノ防止。

〔處置〕 眼ヲ硼酸水ニテ清拭、硼酸水濕布。

二新産兒淋毒結膜炎(七二九問)

第二編 新産兒ノ異常

圖七二五 新産兒ニ起ル眼ノ異常〇

- 一 單純結膜炎(セ二七問ノ一)
- 二 新産兒膿漏眼(セ二六問)
- 三 眼球結膜溢血

〔原因〕 分娩時兒頭壓迫ニヨル血壓亢進ノ結果溢血ス
 〔症狀〕 角膜ニ接シテ、眼球結膜上ニ三角ノ血色斑ヲ認ム。
 〔處置〕 特別ノ處置ヲセズトモ、數日ノ後ニ自然消退ス。

圖七二六 新産兒ニ淋毒傳染ヲ起シタ時如何ナル疾病ヲ生ズルヤ其豫防法〇

〔解〕 (一) 新産兒膿漏眼、其豫防法ハセ二六問ノ豫防法。

(二) 新産兒淋疾性陰門炎、其豫防法ハセ二六問豫防法ノ(一)及(三)ト同様。

圖七二七 分娩ニ直接關係アル新産兒疾患ニ就テ記セ〇

- (一) 新産兒膿漏眼……………セ二六問
- (二) 頭血腫……………セ二七問
- (三) 胸鎖乳樣筋血腫……………セ二九問

(四) 骨折脱臼、其他ノ損傷……………セ二八問、セ二九問

(五) 新産兒分娩麻痺……………セ二九問

(六) 新産兒假死……………セ三〇問

圖七二八 新産兒淋毒性陰門腫炎ニ就イテ〇

- 一 原因…母體泌尿性器ニ淋菌アル時、分娩時ニ胎兒産道通過ニ際シ、淋菌ガ陰門ヨリ侵入傳染ス。
- 二 症狀…陰門及腫粘膜ニ腫脹發赤等ヲ起シ、膿汁ヲ分泌ス。
- 三 豫防法…セ二六問(一)及(三)ト同様。
- 四 處置…セ二六問(一)及(三)ト同様。

圖七二九 新産兒頭血腫ニツイテ〇

一 原因

狹骨盤又ハ兒頭過大ナドノ爲メ頭蓋ガ長時間強ク壓迫セラレタル時ニ、其骨膜下ノ血管ガ破裂シテ生ズ。

ニ 症狀—鑑別

| 頭 血 腫 | 産 瘤 |
|----------------------|------------------------------|
| (一) 第一日ニ輕度、二—三日ノ後ニ強度 | (一) 分娩直後ニ著シク、十二時間後遅クモ二—三日ニ消失 |
| (二) 稀ニ二個 | (二) 必ズ一個 |
| (三) 邊縁ニ骨邊、中央ハ軟ク時ニ波動 | (三) 邊縁ニ硬キ境界ナシ |
| (四) 凶門縫合ヲ越エズ | (四) 凶門縫合ヲ越エル事アリ |
| (五) 時ニ化膿シテ危険アリ | (五) 危険ナシ |

三 處 置

- (一) 硼酸水ノ濕布ヲ施シ、
- (二) 創傷ヲ作ラザル様ニ清潔ニ保護スベシ

圖七二九 頭血腫ヲ説明セヨ〇

〔解〕 原因(セ二七問ノ一)ト症狀(セ二七問ノ二)ノ上段ヲ記ス。

圖七三〇 頭血腫ト産瘤ノ鑑別〇

〔解〕 セ二七問ノ二

第二章 分娩ニ基因スル新産兒異常

圖七三〇 頭血腫ト産瘤ノ區別〇

〔解〕 (一) 成因上ノ區別(セ二七問ノ一、二、三、四問)
 (二) 鑑別(セ二七問ノ二)

圖七三一 頭血腫ト産瘤ヲ比較セヨ〇

〔解〕 前問ニ同ジ。

圖七三二 産瘤ト頭血腫トヲ見テ如何ナル事ヲ想像スルカ〇

〔解〕 産瘤ハ診斷價值(ラ二九問)頭血腫ハ其成因(セ二七問ノ一)ヲ想像スル。

圖七三三 頭血症ノ處置〇

〔解〕 セ二七問ノ三
 (註) 何等特別ノ處置ヲ要セザルモ、著シキモノニハ硼酸水ノ濕布ヲ施スベシ。

圖七三四 頭血腫發生ノ部位〇

- (一) 外頭血腫(頭血腫)ハ頭蓋骨ガ骨盤壁ニ強ク壓迫セラレタル部位ノ骨膜下ニ發生ス。
- (二) 内頭血腫ハ頭蓋骨ガ骨盤壁ニ強ク壓迫セラレタル部

第二編 新産兒ノ異常

位ノ硬膜、下ニ發生ス。

圖七二五 頭血腫ノ成因○

〔解〕 七二七問ノ一

圖七二六 血腫ヲ説明セヨ○

- 〔解〕 (1) 胎盤後血腫(三六問) (2) 子宮後血腫(五二問ノ三)
 (3) 外陰血腫(六四九問)
 (4) 頭血腫(七二七問) (5) 内頭血腫(七二八問)
 (6) 胸鎖乳様筋血腫(七二九問)ヲ簡單ニ説明スル。

圖七二七 頭血腫ノ意義○

〔解〕 七二七問ノ答ト同ジ。

圖七二八 内頭血腫ニ就テ○

一成因

狹骨盤又ハ兒頭過大ナドノ爲メ頭蓋ガ長時間強ク壓迫セラレタル時頭蓋骨ト硬膜(内面ノ骨膜)トノ間ノ血管ガ破レテ其間ニ出血シテ生ズ。

二症 狀

- (一) 大凶門膨隆、(二) 嗜眠、不安、痙攣、(三) 眼球震盪

斜視、瞳孔不同、(四) 呼吸緩徐不整、吸乳運動障礙。

三處 置 醫療ヲ乞ヒ、頭部ヲ高ク安靜ヲ保タシム。

圖七二九 胸鎖乳様筋血腫ニ就イテ○

一原因

分娩時ニ胸鎖乳様筋ヲ損傷シ、コ、ニ出血シタル爲ニ生ズ。

二症 狀

主トシテ右胸鎖乳様筋ノ上半部ニ丸キ、瘤ヲ生ジ、後日斜頸ヲ胎ス事アリ。

三處 置

頭血腫ニ同ジ。

圖七三〇 新産兒分娩外傷ニ就イテ簡單ニ記セ○

一頭血腫、内頭血腫、胸鎖乳様筋血腫……

二骨折、脱臼、頭蓋骨壓痕—腦損傷……(七二七問)(七二八問)(七二九問)

三内臓(腸・肝・脾等)ノ損傷……(六二二問)(六三三問)

以上損傷ノ原因症狀等ニツキ簡單ニ記スベシ。

圖七二九 新産兒分娩麻痺ニ就イテ○

一原因

分娩時ニ胎兒頸部ヲ走ル神經ガ強ク長ク壓迫サレタル爲ニ來ル、(時ニ兒頭ガ鉗子等ニテ壓迫セラレシタメ、顔面神經ノ麻痺ヲ起スコトアリ)。

二症 狀

其側ノ上肢ノ運動ガ妨ゲラル(顔面神經ノ麻痺ノ爲ニハ顔殊ニ口邊ガ歪ム)。

三診 斷

健側ト比較シテ運動ノ出來ヌ事、別ニ脱臼、骨折ヲ發見セズ。

四豫 後

多クハ自然ニ治癒ス。

三處 置

醫療ヲ乞フ事、麻痺上肢ハ安靜ニシ、頸ヨリ鎖骨ヘカケ濕褌法ヲ施ス。

第三章 分娩後ニ因スル新産兒異常

第一節 新産兒ノ消化器病

圖七三一 新産兒ニ罹リ易キ消化器病ヲ記セ○

一驚口瘡……(七二九問)

二新産兒消化不良症……(七二六問)

圖七三一 驚口瘡ニ就イテ○

一原因

驚口瘡菌ニ因ル。

〔補助原因〕

- (1) 乳頭及ピロ内ノ不潔、(2) 人工榮養、(3) 早産—虛弱

二症 狀

(一) 口唇・口腔・舌等ノ粘膜ニ初メ少數ノ小白斑ヲ生ジ、速カニ蔓延シ、之ヲ剝離シガタシ。

(二) 哺乳時ニ激シキ疼痛アルユエ哺乳ヲ妨ゲラル。

三豫 防 法

(一) 哺乳前後ニ乳頭ヲ清潔ニシ、

(二) 人工榮養ノ授乳器ヲ清潔ニシ、

(三) 早産—虛弱兒ニ特ニ注意

四處 置

(一) 小白斑ハ一%重曹水又ハ二%硼酸水ニテ清拭。

(二) 蔓延ノ傾向アラバ速カニ醫療。

第三章 分娩後ニ因スル新産兒異常

圖七二五 新産兒口腔粘膜炎及眼疾患中主ナルモノヲ各一ツ擧ゲ之ヲ簡單ニ説明セヨ○

〔解〕 霰口瘡(七二五問) 膿漏眼(七二六問)ヲ簡單ニ説明スベシ。

圖七二六 新産兒口腔内ノ主ナル疾患ニ就イテ○

〔解〕 一 霰口瘡(七二五問)ニアフタ(七二六問)

(主ナル異常ト云フ問ニ對シテハ兎唇狼咽ヲ加フ)

圖七二七 新産兒アフタニ就イテ△

一原因

口内ニ附着セル凝固乳ニ繁殖セシ桿菌ニ因ル。

〔補助原因〕

口腔粘膜炎ノ強キ清拭摩擦

二症狀

(一) 粘膜炎ニ上皮剝脱又ハ浸瘍ヲ生ジ、周圍ハ發赤ス。

(二) 哺乳時ニ疼痛アリ。

三處置：霰口瘡ノ處置(七二五問)ニ同ジ。

圖七二八 新産兒ノ耳・眼・口ニ發シ易キ疾病ノ名稱及豫防法○

〔解〕 一 外耳道炎、中耳炎(七二九問)
二 膿漏眼……………(七三〇問)
三 霰口瘡・アフタ……………(七二五問、七二六問)

圖七二九 新産兒消化不夏症○

一原因

(一) 人工榮養兒ニ多シ殊ニ不規則若シクハ過量ノ授乳

(二) 自然榮養兒ニアリテモ不規則若シクハ過量ノ授乳

二症狀

(一) 哺乳力ヲ減ジ、吐乳ヲ來シ

(二) 便通回數ヲ増シ、

綠便、顆粒便、粘液便、水様便、泡沫便ヲ排泄ス。

(三) 不安啼泣、漸次ニ瘦セテ遂ニ死亡スル事アリ。

三豫防法

自然榮養ヲ選ビ、授乳ヲ規則正シクスベシ

四處置

速カニ醫療ヲ乞フベシ

(1) 人工榮養兒ハ、得ルナラ自然榮養ニ轉ズベシ。
(2) 自然榮養兒ハ、授乳時間ヲ短縮シ回數ヲ減ズ。

圖七二九 新産兒メレナニ就イテ○

一定義

新産兒ノ胃腸粘膜炎ヨリ出血シ、吐血・下血ヲ主徴トスル

特殊疾患ヲ云フ。

二原因

不明(其半數ニハ胃腸ニ潰瘍ヲ認ム)

三症狀

(一) 産後二―三日ノ頃ニ突然吐血及ビ下血ヲ來ス。

(吐血ハ黒褐色、下血ハ多ク黒色)

(二) 皮膚蒼白、體溫下降(患兒ノ半數ハ死亡ス)

四處置

速カニ醫療ヲ乞ヒ、兒ヲ安靜ニシ、腹部ニ冷電法、

他部ヲ保温。

圖七三〇 新産兒メレナノ種類ヲ擧ゲ之ヲ説明セヨ△

一眞メレナ 普通單ニメレナト稱スルモノ(七二九問)

二偽メレナ 母體産道ノ血液、乳汁中ノ血液、自身ノ凝血等ヲ消化管内ヘ飲ミ込ミタルモノヲ後ニ吐出スルモノ。

三症候メレナ 新産兒敗血症又ハ先天梅毒等ノ一症候トシテ來ルモノ。

圖七三〇 眞メレナニ就イテ問フ○

〔解〕 七二九問ノハ

圖七三〇 新産兒ノ吐血ヲ説明セヨ○

〔解〕 七二九問

圖七三一 新産兒黃疸ニ就イテ○

一 新産兒生理的黃疸……………(七三六問)

二 新産兒病的黃疸

(一) 原因

肝臟微毒、敗血症等ノ一症候トシテ來ル(故ニ之ヲ

症候黃疸トモ云フ。

(一) 症狀

- (1) 其原因タル疾病ニヨリ時期不定。(既ニ分娩前ヨリ發スルモノアリ)
- (2) 黃疸ハ強度、尿ニヨリ襪襪ヲ黄染ス。
- (3) 發熱・消化障礙・體重減少・不安啼泣等ノ障礙アリ。

(三) 處置

必ず醫療ヲ乞ハシムベシ。

圖七二〇 新産兒黃疸ノ原因

- 一 新産兒生理的黃疸ノ原因……アノ間
 - 二 新産兒病的黃疸ノ原因……アノ間(一)
- 圖七二〇 新産兒黃疸ノ處置
- 一 新産兒生理的黃疸ハ何等特別ノ處置ヲ要セズ。
 - 二 新産兒病的黃疸ハ必ず醫療ヲ乞ハシムベシ。

圖七二〇 乳兒脚氣ニ就イテ記セ

- 一 原因……アノ間
- 二 症狀……アノ間
- 三 豫防法……アノ間
- 四 處置……アノ間

圖七二〇 乳兒脚氣ノ原因

ビタミンB₁ノ不足セル人乳ニヨリ養ハル、タメニ起ル

圖七二〇 乳兒脚氣ノ症狀

- 一 吐乳ヲ以テ初發スル事多シ。
- 二 便秘スル事多ク(又ハ消化不良便ヲ出シ) 尿利減少ス。
- 三 呼吸促進、心悸亢進、脈搏頻細。
- 四 「チアノーゼ」、浮腫ヲ來シ。
- 五 聲音嘶嚶ス。

圖七二〇 乳兒脚氣ノ豫防法

授乳者ニビタミンB₁ヲ十分ニ供給スルコト。

圖七二〇 乳兒脚氣ノ處置

醫療ヲ乞ハシメ、醫師ノ指圖ナキ間ハ授乳ヲ濫リニ禁ズベカラズ。

症狀重キ時ハ脚氣婦人ノ授乳ヲ廢シ、速カニ醫療ヲ乞ハシムベシ。

圖七二二 脚氣ノ妊娠分娩及産褥並ニ新産兒ニ

及ボス影響ヲ記セ

〔解〕 妊娠、分娩、産褥ニ及ボス影響ハ五三六間ノニ新産兒ニハ新産兒脚氣(新産兒脚氣ハ乳兒脚氣ニ比シ甚ダ稀)

圖七二三 母乳性質ガ直接乳兒疾患ノ原因トナルベキ場合ヲ列舉セヨ

- (一) 乳兒脚氣、(二) 消化不良症(授乳者ノ熱性疾患又ハ腎炎等)
- (三) 鉛中毒(所謂腦膜炎)、(四) 乳兒僞メレナ(乳汁内ノ血液吸引ニヨル)

圖七二三 新産兒吐乳ノ原因

- (一) 先天性幽門狹窄、神經性幽門痙攣、

理由 脚氣ヲ恐レテ濫リニ人工營養ヲ施ス時ハ却ツ

適當ナル乳母乳ヲ得ルニアラザレバ輕卒ニ授乳ヲ廢

スベカラズ。

其理由

(一) 適當ナル乳母乳ヲ得ルニアラザレバ輕卒ニ授乳ヲ廢

スベカラズ。

理由 脚氣ヲ恐レテ濫リニ人工營養ヲ施ス時ハ却ツ

適當ナル乳母乳ヲ得ルニアラザレバ輕卒ニ授乳ヲ廢

スベカラズ。

第二編 新産兒ノ異常

テ消化不良症ノ危険ヲ招ク事恰モ前門ノ虎ヲ防ギ後門ノ狼ノ難ヲ求ムルニ似タリ。

(一) 重症乳兒脚氣ハ一時母乳ヲ禁ジ速カニ醫療ヲ乞フベシ。

理由 乳兒ニ心臟麻痺ノ危険アリ。

圖七三〇 新産兒ニ發熱ヲ來ス疾患並ニ之カ原因

〔解〕 發熱ノ疾患名ハセ三九問、原因ハ各ニツキ之ヲ説明スベシ

圖七三一 新産兒ニ高熱ヲ發スル疾患及其處置

〔解〕 疾病名ハセ三九問、處置ハセ三三問

圖七三二 新産兒脚氣ノ原因症狀及豫後ヲ記セ

〔解〕 原因ハセ二〇六問、症狀ハセ二〇六問
豫後ハ速カニ適當ノ處置ヲ施セバ良、否ラザルトキハ死亡ノ危険アリ。(死亡率二〇%)

圖七三三 新産兒高熱ニ對スル産婆ノ處置

〔解〕 發熱原因 ヲ確メ、ソレニ從ツテ適當ノ處置ヲナス。
(一) 發熱原因 (二) 一般處置 安靜、冷水枕及頭部ノ冷水療法、水分補給、榮養ハ成ルベク人乳。

第二節 新産兒傳染病

圖七三九 新産兒ノ發熱ヲ説明セヨ

〔解〕

- (1) 體熱(湯熱)……セ三六問
- (2) 熱積熱……セ三九問ノ一ノ二

圖七三三 新産兒ノ痙攣ヲ説明セヨ

〔解〕

- (1) 破傷風、(2) 一般高熱、(3) 腦膜炎又ハ所謂腦膜炎、(4) 内頭血腫、(5) 新産兒子癩ニツキ簡單ニ説明スベシ。

圖七三四 新産兒傳染性疾患ノ名稱病原菌症狀

其豫防法及處置

- (1) 先天梅毒(梅毒ナキ乳母へ傳染ス)
- (2) 新産兒膿漏眼 (3) 唇口瘡 (4) 破傷風・丹毒
- (5) 化膿性肺炎。

〔註〕 病原菌、症狀、豫防法及處置ハ各々ニツキ殊ニ主ニ破傷風丹毒ニツキ説明スベシ(セ三五問、セ三九問)

圖七三五 新産兒破傷風ニ就イテ

- 一 原因……セ三六問
- 二 症狀……セ三七問
- 三 豫防法……セ三八問
- 四 處置……セ三九問

圖七三六 新産兒破傷風ノ原因

破傷菌ガ、消毒不十分ナル取扱ニ際シ、臍帶剪斷面臍創面ヨリ侵入スルニ因ル。

圖七三七 新産兒破傷風ノ症狀

第三章 分娩後ニ因スル新産兒異常

一 多クハ臍帶脱落ノ頃ニ發熱ト痙攣(顔面筋ノ痙攣殊ニ牙關緊急、後弓反張)ヲ來ス。
二 大多數ハ死亡ス。

圖七三六 新産兒破傷風ノ豫防法及處置

臍帶剪斷及臍部取扱ニ際シ消毒ヲ嚴重ニスルコト。發病後速カニ醫療ヲ乞ヒ、高熱ノ處置(セ三三問)

圖七三九 新産兒丹毒ニ就イテ

- 一 原因……セ三三問
- 二 症狀……セ三三問
- 三 豫防法……セ三三問
- 四 處置……セ三三問

圖七三〇 新産兒丹毒ノ原因

丹毒菌ガ臍部其他皮膚ノ創傷ヨリ侵入シテ起ル。

圖七三一 新産兒丹毒ノ症狀

一 顔面・頭部又ハ臍部・外陰等ノ皮膚ニ、灼熱・腫脹・潮紅ヲ來シ、速カニ蔓延ス。

ニ高熱、啼泣、遂ニ死亡。

圖七二三 新産兒丹毒ノ豫防法◎

皮膚ノ濕疹糜爛創傷等ハ速カニ治療ヲハカリ、清潔ニ取扱ヒ。

臍部ノ處置ニ際シ消毒ヲ守ルベシ。

圖七二三 新産兒丹毒ノ處置◎

一 醫療

ニ丹毒兒ヲ取扱ヒタル最後ノ日ヨリニ日間休業シ其間身體ノ清潔ニカムベシ。

圖七二三 破傷風菌、丹毒菌、驚口瘡菌、淋菌ノ形態並ニ傳染徑路◎

破傷風菌ハ桿菌、丹毒菌ハ連鎖狀球菌、驚口瘡菌ハ絲狀ノ菌、淋菌ハ双球菌。

〔註〕 傳染徑路ハ(1)菌ノ存在場處、(2)媒介、(3)侵入門ヲ記スベシ。

圖七二三 新産兒丹毒ト糜爛トノ鑑別、各ノ處置◎

| | | | |
|----|----------------------------|-------------------|-------------------------|
| 丹毒 | 發赤 蔓延 速カ 高熱 アリ | 邊縁ニ強シ 速カ アリ | 丹毒ノ處置：七二三問、糜爛ノ處置：七三三問ノ四 |
| 糜爛 | 否ラズ 否ラズ ナシ | | |

圖七三三 新産兒敗血症ニ就イテ◎

一 原因 丹毒、臍化膿、其他ノ化膿ニ於テ、病菌ノ毒素ガ血液中ニ侵入シ、全身諸臟器ニ病變ヲ來スニ因ル。

二 症狀 (1)高熱、啼泣、(2)吐血、皮下溢血(黃疸) (3)哺乳力減退、遂ニ死亡。

三 處置 (1)速カニ醫療、(2)高熱ノ手當(七三三問)

第三節 新産兒皮膚異常

圖七三三 新産兒皮膚硬變症ニ就イテ◎

一 原因 (1)早産兒虛弱兒ニ來リ易ク、(2)寒冷營養不良ハ誘因トナル。

二 症狀 (1)皮膚ノ硬變ト厥冷(足背、腓腸部ニ始マリ

漸次上行ス)

(2) 體溫下降。

(3) 體重減少……遂ニ死亡

三 處置 (1) 必ズ醫療

(2) 保温・營養ニ注意

圖七三三 新産兒皮膚糜爛ニ就イテ◎

一 原因 (一) 皮膚ノ濕潤・不潔。

(二) 好發部位……外陰肛門ノ附近、頸窩腋窩等ノ皮膚接觸面。

二 症狀 (一) 皮膚濕潤、赤色、表皮剝離。

(二) 疼痛ノタメ啼泣・不眠。

三 豫防法 皮膚ノ清潔・乾燥。

四 處置 (一) 清潔乾燥セシメタル後、等分亞鉛華滑石末(又ハ代用品)ノ撒布。

(二) 其效ナキ時ハ必ズ醫療。

圖七三三 新産兒汗疹ニ就イテ◎

一 原因 多量ノ發汗

第三章 分娩後ニ因スル新産兒異常

二 症狀 赤色無數ノ小水疱疹ヲ生ジ、癢痒ノタメ不眠。

三 處置 室溫及衣服ヲ適當ニシ、亞鉛華滑石末(又ハ代用品)ノ撒布。

圖七三四 新産兒皮脂漏ニ就イテ◎

一 原因 (1) 清潔法ノ不足、(2) 體質ニモ關ス。

二 症狀 頭部ニ灰白色鱗狀ノ痂皮ヲ生ズ。

三 處置 オレーフ油濕布ニヨリ軟カクシタル後、良質石鹼ニテ清洗ス。

圖七三四 新産兒ノ水疱疹ニ就イテ◎

一 微毒水疱疹(天疱瘡)ハ手掌、足趾ニ生ズ、虛弱ノタメ死亡ス、(七三五問)

一 單純天疱瘡ハ手掌、足趾ヲ侵サズ、約二週ノ後治癒ス。

二 汗疹ノ水疱疹ハ(七三三問)

圖七三四 新産兒皮膚疾患ノ種類及處置◎

(一) 皮膚硬變症(脂肪硬變症及浮腫硬變症)

(二) 糜爛、(三) 汗疹、(四) 皮脂漏、(五) 水疱疹、(六) 微毒發疹、(七) 丹毒。

〔註〕 處置ハ各ニ就キ記スベシ。

第四節 新産兒臍部異常

圖七二四 新産兒臍部疾病ニ就イテ○

一種類 (一) 非傳染性臍疾患

(1) 臍出血、(2) 臍ヘルニア、(3) 臍ポリープ、

(二) 傳染性臍疾患

(1) 臍炎、(2) 臍壞疽、(3) 臍丹毒・臍破傷風。

二原因、症狀、處置(各疾患ニ就キ記スベシ)

圖七二四 臍出血ニ就イテ○

一輕症臍出血

原因 (1) 臍帶結紮不全。(2) 假死娩出兒又ハ虛弱兒、

處置 結紮ヲ更ニ十分ニス。

二重症臍出血

原因 先天梅毒、敗血症、先天血友病等。

症狀 臍帶脱落ノ頃ニ出血、止血困難、

胃腸出血、皮下溢血等アリ、多クハ死亡ス。

處置 醫療

圖七二五 臍炎ニ就イテ○

一原因

臍部取扱不潔ニヨル細菌ノ侵入。

二症狀

(一) 臍輪ノ腫脹潮紅、膿汁分泌。

(二) 發熱、疼痛(不安啼泣)

重キハ、膿毒症、敗血症ヲ起シ死亡。

三豫防法 臍部取扱ニ消毒嚴守。

四處置 醫療。取扱ヒタル手指ノ嚴重消毒。

圖七二五 臍「ヘルニア」ニ就イテ○

一原因 (1) 大ナル臍輪。(2) 強キ腹壓。

二症狀 臍部囊狀ニ膨出、壓迫ニヨリ内容(腸管等)ハ

一種ノ音響ト共ニ還納ス。

三處置 壓迫繃帶、強度ノモノハ醫療。

圖七二五 臍ポリープ(臍息肉)ニ就イテ○

臍帶脱落後、臍窩ニ生ズル通常有莖ノ肉芽組織ニシテ、

其根部ヨリ稀キ膿汁ヲ分泌ス。

處置。臍部ヲ硼酸水、酒精、過酸化水素等ニテ清潔ニシ、

治療ノ傾向ナキモノハ速カニ醫療ヲ受クベシ。

圖七二六 臍壞疽ニ就イテ○

原因 腐敗菌ノ繁殖ニヨル。

症狀 (一) 臍帶殘片ノ濕潤・汚色・惡臭。

(二) 臍輪ノ腫脹・潮紅、往々化膿ス。

處置 速カニ醫療。

圖七二六 新産兒臍創傷傳染病發生機轉及

豫防法○

〔解〕 臍破傷風、臍丹毒、臍化膿ノ傳染徑路及豫防法ヲ記スベシ。

圖七二七 「ヘルニア」ノ原因及處置○

〔解〕 臍ヘルニア、鼠蹊ヘルニア、腹ヘルニアノ原因處置ヲ記スベシ(六七四問、七二四問、七二五問)。

圖七二八 新産兒臍部ノ炎症性疾患ニ就イテ

記セ○

〔解〕 臍炎(臍輪炎)七二四問、臍破傷風七二五問、臍丹毒七二六問ヲ記スベシ。

圖七二九 新産兒ノ臍帶疾患ヲ舉ゲヨ○

〔解〕 主ニ臍帶壞疽及臍帶出血ニツキ記スベシ。

〔註〕 本問ハ胎兒臍帶異常又ハ新産兒臍部疾患ト區別スベシ。

第五節 其ノ他ノ新産兒異常

圖七三〇 母乳ヲ與フルノ可否△

母乳ヲ與フルノ可否△

腸チフスト確認シタルトキハ、母乳ヲ與フベカラズ。

理由 (1) 母體ノ栄養ヲ害シ、其經過ヲ不良ナラシムルヲ以テナ

リ。

(2) 新産兒ニ傳染セシ事實ハ殆ド無キモ隔離ニ如クハナ

圖七三一 乳兒鉛中毒(所謂乳兒腦膜炎)ニ就イテ○

一原因 (1) 鉛中毒ニ罹レル婦人ノ乳ニヨル栄養。

(2) 授乳婦ノ皮膚ニ使用セル含鉛白粉ヲ哺乳時ニ吞ミ

込ムタメ。

二症狀 (1) 發熱 (2) 痙攣 (3) 失神 (4) 嘔吐等。

三豫防 含鉛白粉ヲ使用セザルコト。

四處置 醫療、其母乳ノ禁止。

圖七二三 新産兒體溫異常ニ降下スル原因及
早産兒看護上ノ注意

- 一 體溫異常降下ノ原因
- (1) 分娩直後ノ生理的體溫降下
 - (2) 早産兒又ハ虛弱兒
 - (3) 氣溫ノ降下殊ニ保温ノ不十分
 - (4) 皮膚硬變症
 - (5) メレナ、重症臍出血其他ノ大出血
 - (6) 重症疾患ノ末期
- 二 早産兒看護上ノ注意ハセシメテ

圖七二五 新産兒ノ啼泣ニ對シ産婆ハ如何ニ
處置スルカ

- (1) 襁褓ガ濕リ居ラザルカ、
 - (2) 飢餓ナキカ、
 - (3) 寒暖適當ナラザルヤヲ注意シ
- 右ノ原因ヲ認メザルトキハ、其他ノ原因ヲヨク精査シ、ソレニ應ジテ醫師ノ診療ヲ乞フベシ。

圖七二五 新産兒ノ外耳道炎及中耳炎ニ就イテ
一原因

| | |
|------|--|
| 外耳道炎 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 吐乳ガ外耳孔ヨリ侵入シタルタメ。 (2) 分娩時又ハ沐浴時ニ不潔物ガ外耳孔ヨリ侵入ノタメ。 |
| 中耳炎 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 吐乳ガ耳咽頭ヨリ中耳ニ入リタルタメ。 (2) 咽喉カタルヨリ傳播。(急性傳染病ノ時起ル) |

二 症狀ニ對シ

| | |
|------|--|
| 外耳道炎 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 耳介ヲ引張ルト疼痛表情アリ。 (2) 膿汁ハ糸ヲ引ク事ナシ。 |
| 中耳炎 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 耳朵ノ下ノ凹處ヲ壓セバ疼痛表情アリ。 (2) 膿汁ハ糸ヲ引ク。 |

三 處置
醫療ヲ乞フ、患耳ヲ上ニシテ臥牀セシム。

第四章 早産兒取扱法

圖七二五 早産兒ノ取扱法ニ就イテ
一一般健康状態ノ注意

體溫、脈搏、呼吸、便通、尿利、皮膚(血色・硬軟等)、睡眠、啼泣ニ注意スベシ。
若シ絶エズ睡眠スルトキハ、之ヲ高聲ニ啼泣セシメ、以テ深呼吸ヲ促スベシ。

二 清潔

沐浴ニヨリ身體殊ニ糜爛好發部位ノ清潔ヲ計リ、又乾燥ニ注意スベシ。

三 保温

- (一) 衣服及寢具ハ季節ニ應ジテ適當ニ厚クシ、
- (二) 室温ヲ攝氏二〇度ニ近カラシメ、且ツ換氣ニ留意スベシ。
- (三) 虛弱早産兒ハ湯羹、溫槽又ハ溫育器(クウズ)ニヨリ温ムルヲ要ス。

四 榮養

- (一) 榮養ハ専ラ母乳ヲ用ヒ、已ムラ得ザレバ乳母乳ヲ選ブベシ、人工榮養ハ避クルニ如カズ。
- (二) 哺乳中睡眠スルトキハ、故意ニ之ヲ覺醒セシムルヲ要ス。

而モ一回哺乳量ハ少ナキヲ以テ哺乳ノ回數ヲ多クシ、且ツ乳房等ノ清潔ニ注意スベシ。
(三) 哺乳力弱キトキハ、搾取セル母乳ヲ匙等ヲ以テ與ヘザルベカラズ

[注意] 詳細ハ醫師ノ指導ニ從フヲ安全トス。

圖七二六 早産兒ノ看護法

[解] サニエ問

圖七二六 虛弱新産兒ノ看護法

[解] サニエ問

圖七二七 早産兒看護上ノ注意點

[解] サニエ問ノ中ヨリ、「榮養ニ注意スベシ」トカ「何々ニ注意スベシ」ト云フ様ニ、個條書ニ分ケテ答ヘ、詳シキ方法ハ省ク。

圖七二八 早産兒ノ榮養法

[解] サニエ問ノ四

圖七二九 早産兒ノ養護法及處置

[解] 養護法ハサニエ問、處置ハ醫師ノ指導ヲ乞フ。

圖七二五 早産兒トハ何ゾ及其取扱法

〔解〕 早産兒ノ説明ハ三ノ二間ノニ、取扱法ハ三ノ二間

圖七二五 早産ノ原因ト早産兒ノ看護法

〔解〕 原因ハ三ノ二間、看護法ハ三ノ二間

圖七二六 早産兒ノ徴候及其看護法

〔解〕 徴候ハ三ノ二間、看護法ハ三ノ二間

圖七二七 早産兒活力薄弱ノ徴候及其看護上ノ

注意事項

〔解〕 活力薄弱ノ徴候ハ早産兒徴候中生活現象ノ部分丈ケ答フ

ベシ。三ノ二間ノニ、看護上ノ注意事項ハ三ノ二間

圖七二八 流産早産ノ區別及早産兒ノ看護法

〔解〕 區別ハ三ノ二間ノニ、看護法ハ三ノ二間

補足知識

第一章 重要ナル看護法及介助法

圖七二九 褥婦ノ清潔及更衣ニ就イテ

一 褥婦ノ清潔

- (一) 毎朝洗面ヲ助ケ、口中及手指ヲ清潔ナラシムベシ。
- (二) 汚レタル衣類ハ之ヲ交換シ、皮膚ヲモ拭スベシ。

二 褥婦ノ更衣

- (1) 清潔ナル衣ノ左一半ヲ離ニ巻キ、
- (2) 舊衣ヲ右肩ヨリ、脱ガセ新衣ノ右袖ヲ着セシメ、
- (3) 體ヲ左側ニ傾ケ、新衣ト共ニ舊衣ヲ左側ニ押し送り、
- (4) 體ヲ右側ニ傾ケ、舊衣ヲ左肩ヨリ脱シ去リ、新衣ヲ解キテ左肩ニ着セシムベシ。

圖七三〇 検脈及呼吸測定法

検脈ハ通常検温毎ニ橈骨動脈ニ於テ、脈搏ノ數・大小・強弱・整不整等ヲ檢ス。

呼吸ハ手ヲ輕ク前胸部ニ貼テ、成ルベク患者ニ氣付カレザル様、其數・淺深・整不整等ヲ檢ス。

圖七三一 腔洗滌法

一 方法

患者ヲ仰臥セシメ下肢ヲ股及膝ニテ輕ク屈ゲ之ヲ左右ニ開カシメ、防水布、腰枕及受水盤ヲ臀部ニ整ヘ、「イリリガートル」ニ盛リタル洗滌液ノ水表ヲ腔口ヨリ凡ソ二尺ノ高サニ舉ゲ、左手ノ指示兩指ニテ小陰唇ヲ開キ、右手ノ食指ヲ嘴管ニ添ヘテ腔内ニ挿入シ、内部ヲヨク洗滌スベシ。

二 注意

- (一) 洗滌ヲ終リタル時ハ、腔後壁ヲ壓シ下ゲ、殘留液ヲ悉ク流出セシムベシ。
- (二) 洗滌液ノ種類ハ成ルベク醫師ノ指圖ニ從フベシ。
- (三) 洗滌液ノ温度ニ注意スベシ。

圖七三二 腔洗滌ヲ行フベキ場合及其方法

一行フベキ場合

- (一) 傳染ノ危惧アル場合(豫防)、既ニ傳染發熱シタル場合(治療)
- (二) 陣痛催進法トシテノ高温腔洗滌。

圖七三三 腔強填タンポン法

第一章 重要ナル看護法及介助法

先ズ腔内ヲ洗滌シ、殺菌腔鏡ヲ以テ腔ヲ開キ、子宮ピンセットヲ用ヒテ、初メニ腔周蓋ヲ填塞、然ル後成ルベク後周蓋ニ向ヒテ押しツケツ、腔内ヲ強ク填塞シ、同時ニ腔鏡ヲ少シク、抜キ出し、填塞ヲ了ルト共ニ腔鏡ヲ除去スベシ。

圖七三三 腔強填タンポンヲ行フベキ場合

一行フベキ場合

種々ノ方法ヲ盡スモ自然排尿ヲナサシメ得ザル時已ムヲ得ズ之ヲ行フ。

ニカテーテルノ種類及消毒法

- (一) ネラトソン氏ゴム「カテーテル」
- (二) 硝子「カテーテル」
- (三) 金屬「カテーテル」
- (四) S狀「カテーテル」

何レモ五分十分煮沸消毒スベシ。
但シホラトソン氏「カテーテル」ハ五分ヲ限り煮沸スルカ又
ハ消毒液ニ三十分以上浸置スベシ。

三「カテーテル」挿入法

先ヅ産婦ヲ仰臥セシメ、膝及股ヲ輕ク屈ケ大腿ヲ左右ニ
開カシメ、産婆ハ通常産婦ノ右側ニ來リ、消毒シタル左
手ノ拇中兩手ニテ小陰脣ヲ開キ尿道口ヲ露ハシ、消毒
液ヲ浸シタル脱脂綿ヲ用ヒテ、右手ニテ尿道口及其附近
ヲヨク消毒シ、然ル後右手ニ「カテーテル」ヲ持チ、其出口
ヲ拇指ニテ塞ギタルマ、コレヲ尿道口ヨリ徐々ニ尿道
内ニ、骨盤軸ノ方向ニ從ヒテ約七糎挿入シ、尖端ノ孔ガ
膀胱内ニ達シタル後「カテーテル」ノ出口ノ拇指ヲハナセ
バ尿ハ自然ニ流出スベシ。
斯クシテ尿ノ全ク排出シタル時ハ、拇指ヲ以テ出口ヲ閉
ヂ(ゴムカテーテルハ管腔ヲ壓迫閉塞シ)テ「カテーテル」
ヲ徐々ニ引キ出シ、「カテーテル」及外陰ハ排尿後毎ニ之
ヲ消毒スベシ。

圖七二五 導尿「カテーテル」ノ種類及消毒法

〔解〕 サ三五問ノ二

圖七二七 導尿「カテーテル」ノ使用法

〔解〕 サ三五問ノ三

圖七二八 導尿ヲ行フベキ場合及目的

〔解〕 場合ハサ三五問ノ一、目的ハ六三九問。

圖七二九 灌腸ノ種類方法及注意

一種類

(一) 排便灌腸

(二) 藥液灌腸

(三) 滋養灌腸

(四) 高位灌腸

(五) 灌腸ノ方法

(六) 灌腸ノ種類

(七) 灌腸ノ注意

- (1) 止痢灌腸
 - (2) 止血灌腸
 - (3) 興奮灌腸
 - (4) 殺菌灌腸
 - (5) 鎮痛灌腸
 - (6) 鎮吐灌腸
 - (7) 催眠灌腸
- (一) 準備 防水布ヲ敷キタル臥牀ノ上ニ側臥セシメ臀部ヲ明
ルキ方ニ向ケ(又ハ仰臥位ニ於テ兩下肢ヲ膝及股ニテ輕ク
屈ケ、大腿ヲ開カシメ臀部ニ腰枕ト受水盤ヲ置ク)
(二) 液及器具 石鹼水(約百倍)半—一リートル 浣水器使用

グリセリン(水ト等分)三〇—四〇坫 水銃式
灌腸器。

- (三) 挿入 左手ノ指示兩指ニテ肛門ヲ露ハシ、嘴管ノ尖端ニオ
リーフ油ヲ塗リ、骨盤軸ノ方向ニ從ヒ約二寸挿入スベシ。
- (四) (1) 浣水器内液表ハ肛門ヨリ約一メートル高クシ、液ノ注入
中ハ腹壓ヲ禁ゼシムベシ。
(2) 腹痛ヲ感ジタルトキハゴム管ヲ壓迫シテ液ノ注入ヲ止
メ、決シテ浣水器ヲ下ゲルベカラズ、
(3) 注入後ハ便意ヲ催スモ約十分間ハ液ヲ流出セシメ
ザル様抑制セシムベシ。

圖七二〇 妊娠、分娩、産褥ニ必要ナル灌腸ニ就テ

記セ

〔解〕 分娩時灌腸ハ石鹼灌腸ヲ可トスルモ、妊娠中又ハ産褥中
ハ石鹼又ハグリセリン液何レニテモ可ナリ。
方法等ハサ三五問

圖七二一 腹部温覆法ノ助産上ノ應用及方法

- 一 應用 陣痛微弱ニ際シ陣痛催進法トシテ應用ス。
- 二 方法 火傷ヲ起サザル程度ノ高温ノ湯ヲ浸シテ輕ク絞リタル
「タオル」ヲ腹壁上ニ貼ジ防水布ヲ以テ被ヒ、二個ヲ交
互ニ貼用ス。

第二章 産婆ニ關スル法令

圖七二二 「ラミナリア」ヲ説明セヨ

「ラミナリア」トハ昆布類ナリ、産科ニテ「ラミナリア」ト稱スルハ
「ラミナリアブリージー」ノ略稱ニシテ、昆布ノ莖ヲ乾燥シ作りタル
ブリージー云フ。

醫師ガ人工流産術ヲ行フニ際シ、之ヲ乾燥消毒シテ子宮頸管内ニ
挿入スルトキハ、自ラ水分ヲ吸收シテ數倍ノ太サニ膨脹スルヲ以
テ、頸管ヲ徐々ニ擴大ス。

圖七二三 「メトロイリントル」ヲ説明セヨ

「メトロイリントル」トハ、ゴム製ノ囊ニシテ子宮頸管擴張ニ用ユ
ルモノナリ。

第二章 産婆ニ關スル法令

圖七二四 如何ナル者ガ産婆ヲ開業シ得ルヤ

〔解〕 一五問ノ三

圖七二五 産婆規則ニヨリ産婆ニ許サレタル

技術上ノ範圍

- 一 正常妊婦産婦褥婦又ハ新産兒ニ對スル一般處置。
- 二 同上ニ對スル異常豫防ノ處置。

三 異常妊婦産婦婦又ハ新産兒ニ對スル救急ノ手當及醫療ノ介助

〔註〕 各項ノ例ヲ擧ゲテ説明スルヲヨロシトス。

圖七二六 産婆ノ爲スベカラザル事〇

〔解〕 センセ間ニ同ジ。

圖七二六 産婆規則第七條但シ書「臨時救急ノ

手當」ニツキ例示説明セヨ〇

〔解〕 骨盤位率出術、タレデ氏胎盤壓出法等ニツキテ説明スベシ。

圖七二七 産婆規則ニヨリ罰金刑ニ處セラル、
場合ヲ列記セヨ〇

圖七二七 産婆ガ藥品ヲ投與シ又ハ之ガ指示ヲ
ナシタル時ノ處罰如何〇

五拾圓以下ノ罰金ニ處セラル。

一 産婆名簿ニ登録ヲ受ケズシテ産婆ノ業務ヲナシタルモノ。

二 産婆名簿ノ登録ヲ取消サレタル後、産婆ノ業務ヲナシタルモノ。

三 産婆ノ業ヲ禁止又ハ停止セラレタル後、産婆ノ業務ヲ爲シタル者。

四 産婆試験ニ關シ虚偽ノ證明又ハ陳述ヲ爲シタル者。

五 妊婦産婦婦又ハ胎兒生兒ニ異常アリト認ムルモ、醫師ノ診療ヲ乞ハシメザル場合、又ハ自ら其處置ヲ爲シタル場合。

六 妊婦産婦婦又ハ胎兒生兒ニ對シ外科手術ヲ行ヒ、産科器械ヲ用ヒ、藥品ヲ投與シ又ハ之ガ指示ヲ爲シタル場合。

七 妊婦産婦婦又ハ胎兒生兒ノ取扱ヲ、産婆名簿登録ヲ受ケザル者ニ、專任シタル場合。

八 自ら檢案セズシテ死産證書又ハ死胎檢案書ヲ交付シタル場合。

圖七二八 産婆ノ「業務上不正行爲」トハ如何ナル
場合力之ヲ例示説明セヨ〇

圖七二八 産婆ノ業務上ナスベカラザル事項〇

一 産婆ノ業ヲ禁止シ又ハ停止シ得ル場合。

(1) 産婆ノ罪其他業務ニ關スル罪(七二六間)ヲ犯シタル時。

(2) 禁錮以上ノ刑ニ處セラルベキ罪ヲ犯シタル時。

二 産婆名簿ノ登録ヲ取消シ得ル場合。

(1) 産婆ニシテ三年間其業ヲ營マザル時。

(2) 瘋癲白痴不具癡疾トナリ、其業ヲ營ムニ堪ヘズト認ムル時。

圖七二九 産婆名簿登録ノ手續〇

舊地方廳ニ一旦「産婆名簿取消願」ヲ出シ、新地方廳ニ登録替ノ「産婆名簿登録願」ヲ提出スベシ、此ノ登録願ニハ新舊ノ開業地ヲ記載スル事。

圖七三〇 産婆名簿登録ノ手續〇

産婆試験合格證書又ハ卒業證書又ハ免許證(何レモ賞物及寫シノ兩方)及戸籍謄本ヲ添ヘテ「産婆名簿登録願」ヲ地方長官宛ニ、區長又ハ町村長ヲ經テ提出スベシ。

圖七三一 産婆其任處ヲ移轉シタル時ノ手續〇

二十日以内ニ「産婆名簿登録事項訂正願」ヲ地方長官宛ニ區長又ハ町村長ヲ經テ提出スベシ。

但シ他府縣ヘ轉居シタルトキハセンセ間

圖七三二 産婆廢業失職又ハ死亡シタル時ハ如何ナル手續ヲ取ルカ〇

廢業シタル時ハ二十日以内ニ「産婆名簿取消願」ヲ地方長官宛ニ區長又ハ町村長ヲ經テ提出スベシ

失職又ハ死亡シタル時ハ二十日以内ニ「産婆名簿取消願」ヲ戸籍法ニ依ル届出義務者ヨリ前同様ニ提出スベシ。

圖七三三 管轄地方廳ヲ異ニセル地ニ移轉シタル場合ノ手續〇

第二章 産婆ニ關スル法令

圖七二四 産婆其任處ヲ移轉シタル時ノ手續〇

二十日以内ニ「産婆名簿登録事項訂正願」ヲ地方長官宛ニ區長又ハ町村長ヲ經テ提出スベシ。

但シ他府縣ヘ轉居シタルトキハセンセ間

圖七二五 産婆廢業失職又ハ死亡シタル時ハ如何ナル手續ヲ取ルカ〇

廢業シタル時ハ二十日以内ニ「産婆名簿取消願」ヲ地方長官宛ニ區長又ハ町村長ヲ經テ提出スベシ

失職又ハ死亡シタル時ハ二十日以内ニ「産婆名簿取消願」ヲ戸籍法ニ依ル届出義務者ヨリ前同様ニ提出スベシ。

圖七二六 管轄地方廳ヲ異ニセル地ニ移轉シタル場合ノ手續〇

第二章 産婆ニ關スル法令

第二章 産婆ニ關スル法令

第二章 産婆ニ關スル法令

第二章 産婆ニ關スル法令

第二章 産婆ニ關スル法令

第二章 産婆ニ關スル法令

第二章 産婆ニ關スル法令

第二章 産婆ニ關スル法令

圖七三九 死産證書ノ記載事項◎

- 一 父ノ氏名、生年月日、職業、及ビ母ノ生年月日（但シ私生子ニアツテハ母ノ氏名、生年月日、職業）
 - 二 分娩時ノ妊娠月數、分娩ノ時、分娩ノ場處、
 - 三 死胎男女ノ別、死胎ノ嫡出子庶子私生子ノ別
- 以上ノ項目ヲ列記シタル後ニ右證明候也ト記シ、年月日及産婆ノ住所氏名ヲ署シ、捺印ス。但シ必ズ産婆ノ二字ヲ冠スベシ。

圖七三〇 死産證書ト死胎檢案書トノ區別◎

- 一 死産證書ハ、妊娠四ヶ月以上ノ死胎ニ係ル場合ニ、醫師又ハ産婆ノ作爲スルモノ。
- 二 死胎檢案書ハ、戶籍法ニヨリ胎兒ヲ家督相續人トシテ届出タル後ニ、其胎兒ガ死體ニテ生レタルトキ、醫師又ハ出産ニ立會ヒタル産婆ノ作爲スルモノヲ云フ。

圖七三一 毎日診察中ノ妊婦突然死兒ヲ分娩シ

タリトテ死産證書ノ交附ヲ要求シ來レリ、此場合如何ニスベキヤ◎

元來産婆ハ死産シタル胎兒ト生産後死亡シタル胎兒トヲ鑑別スル事困難ナルヲ以テ、カ、ル場合ニハ成ルベク醫師ノ檢案ヲ受ケシムルヲ可トス。
只浸軟兒等ニテ死産セシコト明カナル場合ニ限り自ラ死産證書ヲ交附スルモ宜シ。
此ノ場合ニ死胎檢案書ヲ交附スルハ誤ナルコトハセヨ問ニヨリテ知ルベシ。

圖七三二 死亡診斷書死産證書死胎檢案書ノ區別◎

死亡診斷書ハ生キテ生レタル後ニ死亡シタルモノニ對シ醫師ノ作爲スベキ證書ナリ、其他ハセヨ問

圖七三三 死胎檢案書ノ記載事項◎

- 〔解〕セ三九問ト同ジ、只見出ノ「死産證書」ヲ「死胎檢案書」ト記シ、「右證明候也」ヲ「右檢案候也」トスレバ宜シ。
- 圖七三四 嫡出子、庶子、私生子ノ別ヲ問フ◎
 - (一) 嫡出子ハ父母ノ婚姻届ノ済ミタル場合ノ子。
 - (二) 庶子ハ父母ノ婚姻届ナキ時ニ生レタルヲ父親ノ籍ニ入ルベキ場合ノ子。
 - (三) 私生子ハ父母ノ婚姻届ナキ時ニ生レタルヲ母親ノ籍ニ入ルベキ場合ノ子。

圖七三〇 死胎檢案上産婆ノ注意スベキ點◎

〔解〕 本問ノ死胎檢案トハ、産婆自ラ出産ニ立チ會ハザル死胎兒ヲ檢案スルモノト見做ス。其場合ニ留意スベキ點ハ次ノ如シ。

- (一) 死胎兒ガ果シテ死産セシモノナルカ、或ハ生産後死亡シタルモノカニ留意スベシ。
若シ此ノ區別困難ナル時ハ、必ズ醫師ノ檢案ヲ受ケシメ、浸軟兒等ニテ死産ノ明カナル時ハ妊娠四ヶ月

以上ノモノニ對シ、産婆自ラ死産證書ヲ交附スルモ宜シ。セ三〇問ノ「ハ」出産ニ立會ヒタル産婆トサレ、「ニハ」立會ヒタルトノ制限ナキ點カラ見レバ、出産ニ立會ハザル産婆モ、或ル場合ニハ死産證書ヲ交附シテ差支ナキモノト解スルヲ得)

(二) 以上ノ場合ニ、往々死胎檢案書ヲ交附スルモノアレドモ、法規上ノ誤ニツキ、胎兒ガ妊娠中ヨリ家督相續人トシテ届出タル後ニアラザル限り、死産證書トシテ交附スル様留意スベシ(セ三〇問参照)

第八集 追加新題

圖八三〇瓦ノリゾールニテニ%リゾール水ノ調製法○

$$2:100 = 30:2$$

$$100 \times \frac{30}{2} = 1500$$

$$1500 - 30 = 1470$$

答 リゾール 三〇瓦
水 一四七〇瓦

圖八二外診上必要ナル妊婦骨部ノ名稱部位○

恥骨結合上縁……………腹部中線ノ下端

第五腰椎棘状突起……………ミハヘリス氏菱窩上角部

腸骨前上縁……………腸骨翼ノ上縁

腸骨前上縁……………腸骨前ノ前縁

腸骨後上縁……………腸骨前ノ後縁

大腿骨大轉子……………大腿骨上部外側ノ突隆

坐骨結節……………臀部ノ中心、(肛門ノ左右)

尾骨尖端……………尾骨ノ下端、(肛門ノ後方)

圖八三骨盤ニ於テ産科内診ニ必要ナル部位、其必要理由○

薦骨岬……………真結合線、對角結合線ノ測點トシテ必要

恥骨結合……………下部ノ高サ診定ニ必要

坐骨棘……………骨盤峽部横徑ノ測點トシテ必要

下部ノ高サ診定ニ必要

尾骨尖端……………骨盤出口縦徑ノ測點トシテ必要

下部ノ高サ診定ニ必要

圖八四排出卵ガ受胎セル場合トセザル場合ノ

子宮内膜ノ相異○

一 受胎(受精)セザル場合…

子宮内膜ハ月經出血期ノ状態トナル

二 受胎(受精)セル場合…

圖八三 狹骨盤ヲ疑ハシムル既往症ノ徵候ヲ記セ○

〔解〕 六三三問ノ一

圖八三 狹骨盤ヲ疑ハシムル婦人外觀上ノ徵候ヲ記セ○

〔解〕 六三三問ノ二

圖八三 狹骨盤ヲ疑ハシムル妊娠末期ノ様子ヲ簡單ニ記セ○

〔解〕 六三三問ノ三(一)及(二)

圖八三 狹骨盤ヲ疑ハシムル分娩時ノ様子ヲ簡單ニ記セ○

〔解〕 六三三問ノ三(一)及(三)

圖八三 分娩時異常出血ノ症狀ヲ問フ○

〔解〕 先づ異常出血ノ原因(六三三問)ヲ記シ、其各々ニツキ症狀

ヲ記ス、殊ニ前置胎盤(六三三問)常位胎盤早期剝離(六三三問)子宮破裂(六三三問)、弛緩出血(六三三問)ヲ詳記スベシ。

圖八三 胎盤殘留(稽留)トハ如何○

一 單純胎盤殘留……六三三問

二 出血胎盤殘留トハ……

(一) 先づ子宮壁ガ弛緩シ爲メニ胎盤殘留シ、其剝離部ヨリ多量ニ出血スルモノト

(二) 後産ガ先づ殘留シ、爲メニ子宮壁弛緩シ、胎盤剝離部ヨリ多量ニ出血スルモノトアリ

圖八三 胎盤殘留ノ診斷○

一 單純胎盤殘留、(1)後産ノ娩出遲延シ、(2)子宮柔軟、子宮底高ク、(3)而モ未ダ出血ナシ

二 出血胎盤殘留 (1)後産ノ娩出遲延シ、(2)子宮柔軟、子宮底高ク、(3)子宮内ヨリ多量ノ出血アリ。

圖八三 胎盤殘留ノ處置○

圖八三 新産兒吐乳ノ原因及症狀○

原因……六三三問

症狀

(1) 液狀乳ヲ吐出スル場合ト、凝固乳ヲ混ズル場合トアリ

(2) 哺乳後直チニ吐乳スル場合ト、若干時ノ後吐乳スル場合トアリ

(3) 嘔氣様顔鏡ヲ呈シテ後吐乳スル場合ト、突然吐乳スル場合トアリ

(4) 其他、原因タル疾病ノ如何ニヨリ吐乳以外ノ症狀ヲ隨伴ス

圖八三 クグーズ(クベース)トハ何カ○

説明

クグーズ(溫育器)トハ、早産兒又ハ虛弱兒ヲ溫メ育ツル函内ノ空氣ヲ電氣其他ノ熱ニヨリ攝氏三〇ノ温度ニ温メ、之ヲ常ニ交流セシメ、適當ノ濕氣ヲ送ル様ニ工夫シ、兒ノ身體ニ直觸スル牀温ハ攝氏三七度位ヲ理想トス

構造

函内ノ空氣ヲ電氣其他ノ熱ニヨリ攝氏三〇ノ温度ニ温メ、之ヲ常ニ交流セシメ、適當ノ濕氣ヲ送ル様ニ工夫シ、兒ノ身體ニ直觸スル牀温ハ攝氏三七度位ヲ理想トス

圖八三 後天性乳汁分泌過少症ノ原因及處置○

原因……六三三問乙ノ一ヨリ體質不良ト乳腺發育不全(先天)ヲ

除ク

處置……六三三問

一 單純胎盤殘留ハ何時弛緩出血ヲ起サヤ計ラレザル危險

ノ狀態ニアルモノナルヲ以テ、六三三問ノ(二)ニ從ツテ速カニ後産娩出ヲ計ルベシ

三 出血胎盤殘留ノ處置ハ六三三問

圖八三 褥癆發熱時ノ検査スベキ主要點○

一 檢温、檢脈、(呼吸モ検査ス)

二 惡露ノ量及性状殊ニ惡臭無キヤヲ検査ス

三 外陰ニ潰瘍等ノ異常ナキヤヲ検査ス

四 子宮ノ收縮狀態、子宮及附近ノ厭痛ノ有無ヲ検査ス

五 乳房ノ發赤、腫脹、疼痛ノ有無ヲ検査ス

六 尿殊ニ其濁否ヲ検査ス

七 食欲、便通、惡心惡寒、睡眠、疼痛等ニツキ問診ス

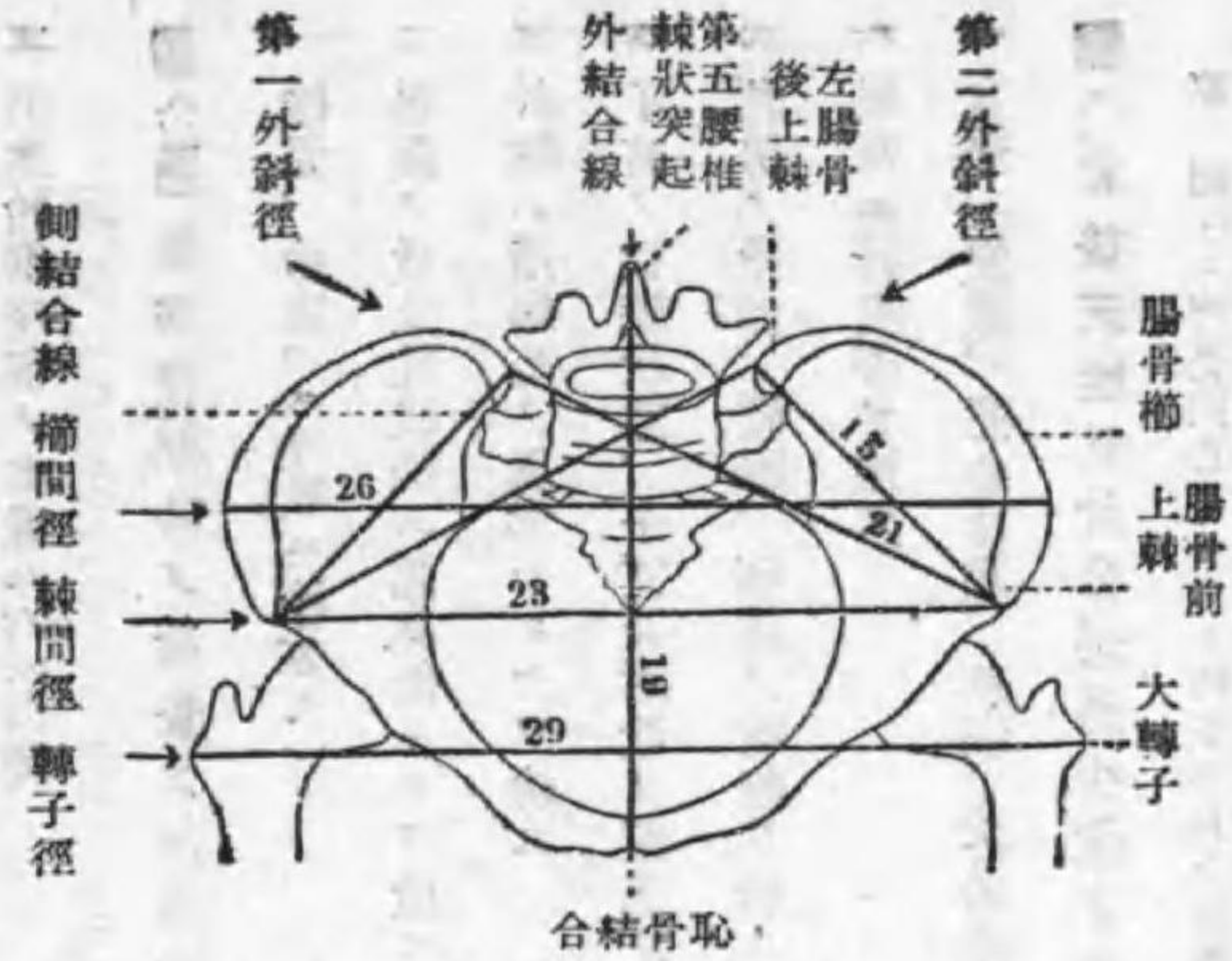
圖八三 後天性乳汁分泌過少症ノ原因及處置○

原因……六三三問乙ノ一ヨリ體質不良ト乳腺發育不全(先天)ヲ

除ク

處置……六三三問

圖八六 大骨盤諸徑線ノ位置模型圖ヲ示セヨ



- (1) 凡テ受驗ノ際ハ、圖解ノ間題ガ出テモ困ラヌ様ニ豫メ黒赤青ノ鉛筆ノコンバ、ス、定木、物差等ヲ準備スルコト。
- (2) 圖ハ鉛筆デモヨイガ、説明ノ文字ハ「インク」ガヨイ。
- (3) 圖ハアル程度マデ大キク畫クコト。
- (4) 圖ノ他ニ簡單ナ文章ヲ説明スルモヨイ。

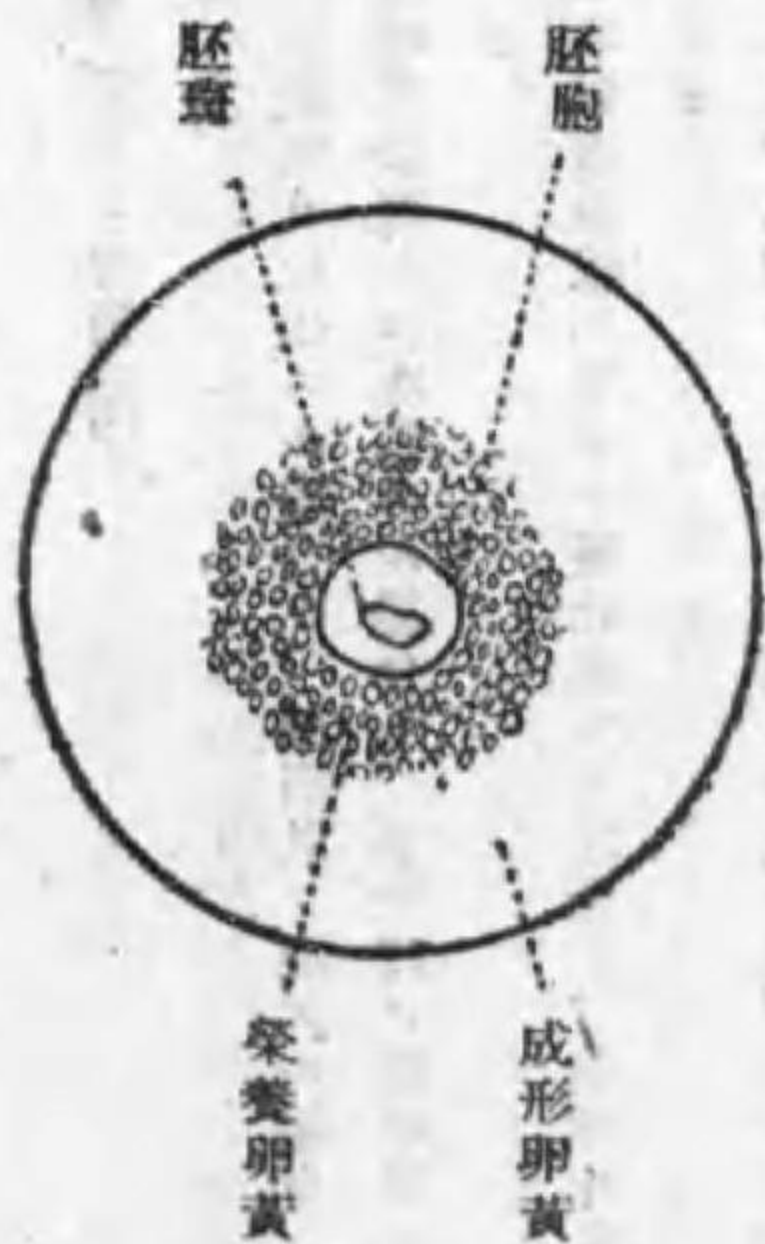
〔註〕

- (1) 豫メ黒赤青ノ鉛筆ノコンバ、ス、定木、物差等ヲ準備スルコト。

圖八六 小骨盤腔ヲ圖示セヨ



圖八六 成熟卵ヲ圖解セヨ



圖八四 性徴トハ如何ヨ

- 第一性徴 外陰其他ノ性器ノ構造ニヨリ既ニ胎生第三ヶ月ヨリ識別シ得ル男女ノ性的徴候。
- 第二性徴 思春期ニ至リ性腺ノ内分泌作用(性ホルモン)ノ相違ニヨリ發スル男女ノ性的徴候。
例ヘバ女性ハ乳房ノ發達、排卵月經ノ開始、其他(二)三(三)同中ノ男子ニ見ザル特性、男子ハ鬚髮發生、聲變リ等。
- 第三性徴 個人的ニ區別シ得ザル男女ノ統計的ノ相違
例ヘバ女子ハ男子ニ比シテ脈搏數多ク、血壓低キ等。

圖八四 分娩ニ際シ消毒スベキ物件ヲ列記セヨ

- 器械類
 - (1) 臍帶剪刀、剪刀、鑷子、コッヘル氏鉗子。
 - (2) 排尿カテーテル、(小兒氣管カテーテル)
 - (3) 嘴管、臍帶結紮器。

二 繙帶材料

- (1) 脫脂綿、「ガーゼ」、晒木綿(何レモ適當ノ大サニ切リタルモノ)。
- (2) 臍帶結紮絲、臍帶用ガーゼ、繙帶。
- (3) 壓抵布、丁字帶、(ゴム手袋)等。

圖八四 ジンチ、ウム細胞ノ機能ニ就イテ

- 一、生理的
 - (1) 酵素ヲ産出シ之ニヨリ周圍組織ヲ融解破壞シ、絨毛ノ突入ヲ容易ナラシム
 - (2) 妊娠中母兒兩血液間ニ介在シテ胎兒ノ新陳代謝ヲ媒介ス。
 - (3) 妊娠中重要ナル特種「ホルモン」ヲ分泌スルモノト見ラル。

二、病的

- (1) 「ホルモン」ノ産生異常ニヨリ妊娠中毒症ヲ起スモノト見ラル。
- (2) ジンチ、ウム細胞ノ異常増殖ニヨリ「ジンチ、オーム」ヲ發生ス。

圖八四 胎盤ノ母兒ニ對スル關係

正 常

母體：胎盤ヨリ生ズル「ホルモン」ニヨリ黃體ホルモンニ類スル重要ナル作用ヲナス。
胎兒：榮養作用、呼吸作用、排泄作用ヲ營ム。
母體：胎盤早期剝離又ハ胎盤滯留ニヨリ出血、貧血一部遺殘ニヨリ子宮復故不全、出血、發熱。
胎兒：胎盤早期剝離ニヨリ假死、死亡、胎盤病變ニヨリ發育障礙、死亡。

圖八、外後頭結節ニ就キ記セ○
「外後頭結節」ハ「後頭結節」トモ稱ス、後頭骨外面ノ最モ隆起セル部ニシテ、レオボルド氏第四段法ニ際シ觸知ヲ要スル部ナリ。

圖八、妊婦全身ノ變化ト之ニ對スル産婆ノ處置○

一、變化：三、三問

二、處置

- (1) 消化器ノ變化ニ對シ……五、三、八問
- (2) 泌尿器ノ變化ニ對シ……三、九問ノ六
- (3) 皮膚ノ變化ニ對シ……五、三、九問ノ上段
- (4) 神経系ノ變化ニ對シ……三、三、九問ノ二
- (5) 腹部膨隆ニ對シ……適當ノ腹帶ヲ施ス。

圖八、妊婦六ヶ月ニ於ケル初産婦ト經産婦トノ差異○

〔解〕 三、三、二問ノ「外診所見」ノ兒頭ヲ省キ、「内診所見」ノ子宮腔部ノ(2)(3)及ビ子宮口ノ(3)ヲ省ク。

圖八、胎兒新陳代謝産物ノ排泄方法○

一、胎盤ニ於ケル絨毛細管内胎兒血液ヨリ、絨毛上皮細胞ヲ通ジテ、絨毛間腔ノ母體血液ヘ排出ス。

二、排尿又ハ皮膚ニヨリ羊水内へ若干排泄スト論ズル學者モアリ、假令之ヲ事實トスルモ前者ニ比シ微量タルヲ疑ナシ。

圖八、臍帶横断面ヲ圖解セヨ○

卵黃管遺物



圖八、三、三、二問ノ「外診所見」ノ兒頭ヲ省キ、「内診所見」ノ子宮腔部ノ(2)(3)及ビ子宮口ノ(3)ヲ省ク。

圖八、妊婦各月子宮底ノ位置○

- 第一、二ヶ月末 骨盤腔内。
- 第三ヶ月末 恥骨結合上縁又ハ其少シ上方。
- 第四ヶ月末 恥骨結合ヨリ三、四指横徑上方。
- 第五ヶ月末 臍ヨリ二、三指横徑下方。
- 第六ヶ月末 略臍高、多クハ其稍上部。
- 第七ヶ月末 臍ヨリ二、三指横徑上方。
- 第八ヶ月末 臍ト劍狀突起トノ中央。
- 第九ヶ月末 劍狀突起ヨリ一、二指横徑下方。
- 第十ヶ月末 前月末ヨリ幾分前下方ニ轉ズ。

〔註〕 他ニ、三、三、二問 子宮底ノ高サノ寸法ヲモ附記スルガヨイ。

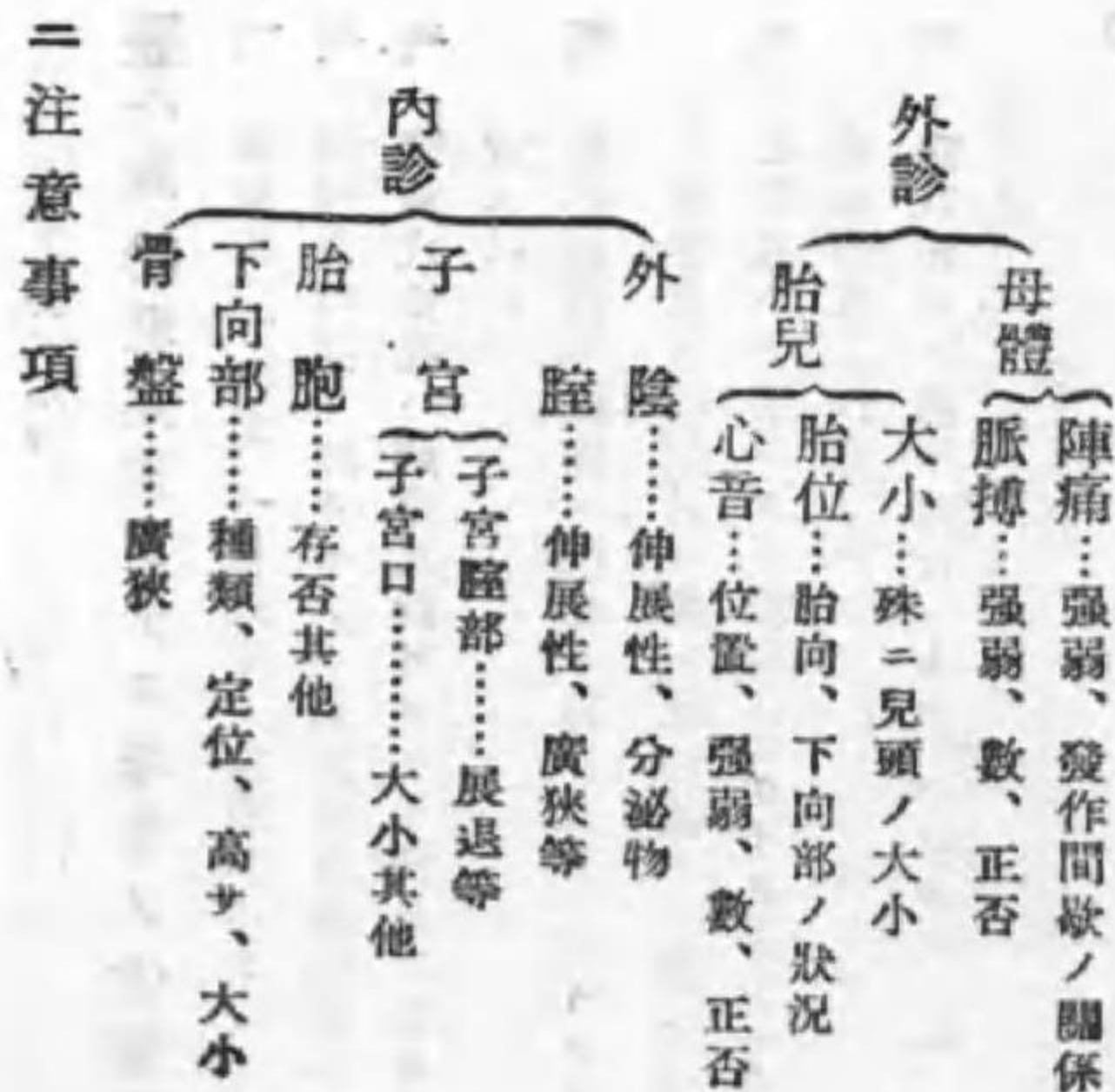
圖八、三、妊婦ノ榮養不足ヨリ來ル影響ニ就イテ○

一、妊娠時 榮養不足ガ或ル程度ヲ超エレバ、胎兒發育不全、胎兒死亡。
ウイタミン不足ニヨリ脚氣等。

二、分娩時 微弱陣痛、弛緩出血。
三、産褥時 子宮復故不全、乳汁缺乏症、産褥熱、結核等ノ補助原因。

圖八、三、産婦ノ外診及内診ノ際検査スベキ事項ト注意ヲ問フ○

一、検査事項



- (一) 外診 (胸診ハ膝ヲ立テ、聽診ハ膝ヲ伸ス)
- (二) 陣痛間歇時ニ於テノミ行フコト
- (三) 内診………(四) 問

圖八五 マツクス、ザミユエル氏法

- (1) 分娩第二期末ニ於テ、胎兒ノ娩出遅延セル時
- (2) 産婦ヲ仰臥位ニシテ上體ヲ高クシ、下肢ヲ股及膝ノ兩關節ニテ得ル限リ強ク屈クシメテ之ヲ支ヘ
- (3) 陣痛發作ニ乗ジテ腹壓ヲ強ク加ヘシムル法。

圖八五 牛乳消毒法ノ種類及其得失

- 一、特別生牛乳 ヲイタミン損失ナシ、成分及香味ニ變化ナシ
- 二、低温消毒法 ヲイタミン損失少ナシ、特別生牛乳ニ比シ安價
- 三、短時間煮沸法 ヲイタミン損失稍少ナシ、方法簡易一又ニ得

短所

僅少細菌殘留一必ず要冷蔵、低温消毒牛乳ニ比シ高價
僅少細菌殘留一必ず要冷蔵、裝置簡單ナラズ一家庭消毒ニ不適
多少細菌殘留一必ず要冷蔵、ヲイタミン若干損失

- 四、長時間煮沸法 細菌全滅
- 五、藥物消毒法 ヲイタミン損失殆ドナク、細菌全滅
- 六、光線消毒法 同 前

ヲイタミン全損、諸成分破壞
小兒ニ有害一使用禁止
多量消毒ノ費用ニ適セズ

圖八五 子宮發育不全ノ妊娠分娩ニ及ボス影響

〔解〕 不妊症、其他五ノ三問ノ二

圖八五 早期破水ト分娩トノ關係

〔解〕 早期破水ハ必ず分娩障礙ヲ起ストハ限ラナイ、殊ニ經産婦ハ無事分娩ヲ經過シ得ルモノガ少ナクナイ。
然シ時々六、七問ノヤウナ障礙ヲ來スコトガアル由ヲ述ベネバナラス。

圖八五 分娩時臍帶難音ヲ聽取スル場合ト其

原因及處置

- 一場合 (1) 臍帶下垂一脱出 (2) 臍帶纏絡 (3) 臍帶真結節
- 二原因 臍帶動脈ノ輕キ壓迫
- 三處置 (1) 二對シ……胎兒下向部ノ偏在側ヲ下ニ側臥

ヲ答ヘル。

圖八五 粉乳營養ヲナス場合ノ注意點

- 一、稀釋法、一回量、一日量等ニ注意スベシ。
- 二、溶解後時間ヲ經タモノハ使用セズニ注意スベシ。
- 三、噴霧式粉乳ハ圓筒式粉乳ヨリモ消化シ易キ故、其選擇ニ注意スベシ。
- 四、製造後古キ粉乳ハ消化シ難ク且ツ「ヲイタミン」量モ減少スル故注意スベシ。(一般ニ國産品ニハ新シキモノ多シ)
- 五、脫脂乳ニテ製シタル粉乳ハ「ヲイタミン」A及ビ「ビ」ニ乏シキ故其選擇ニ注意スベシ。
- 六、粉乳使用ノ際モ果汁ニヨリ「ヲイタミン」ノ補充ニ注意スベシ。

圖八五 橫位ノ種類

- 第一橫位 第一分類 原發橫位
- 第二橫位 第二分類 續發橫位
- 第二橫位 第一分類 上肢脱出橫位
- 第二橫位 第二分類 肩位
- 遷延橫位(舊嵌頓性橫位)

圖八五 胎兒自己廻轉トハ何ゾ

一分娩前半期ニハ羊水量比較的多量ナルヲ以テ、胎兒ノ位置ハ自由ニシテ約半數ハ骨盤位ヲトリ、時ニ橫位斜位ヲトルモ、妊娠末期ニ近ツクニ從ヒ羊水量比較的少量トナリテ窮屈ヲ感ズルニ至レバ、胎兒ハ子宮腔ノ倒卵圓形ニ適合センガ爲メ、多クハ自ら廻轉シテ頭位ニ

變ズ、此ノ如ク胎兒ガ自ラ廻轉シテ其ノ位置ヲ變ズルヲ「胎兒ノ自己廻轉」ト稱ス。

ニ自然分娩ヲ遂ゲ得ザル等ノ横位モ、妊娠末期又ハ分娩初期ノ間ニ、自ラ廻轉シテ縦位ニ變ジテ幸ニモ自然分娩ヲ遂ゲ得ルコトアリ、之ヲ「横位胎兒ノ自己廻轉」ト稱ス。

圖八六二分娩第二期ニ起リ易キ事故及其處置〇

一事故

- (一) 分娩遷延……細別ハ六七間、六九間ヲ參照
- (二) 出血……子宮破裂、頸管裂傷、會陰裂傷
- (三) 其他……遲滯破水、臍帶ノ下垂・脫出、纏絡

ニ處置

- (一) 分娩遷延……微弱陣痛ニ六、三五間ノニ、六、三六間
排尿、排便、クリステレル氏壓出法、三三三間
マツクスザミニエル氏法、八、三五間
- (二) 出血……六、四四間、六、四三、四五間
- (三) 其他……六、三三間、六、三二間、三、三三〇間

「註」母體ニ於ケル事故ト云フ問題ニハ胎兒假死死亡等ノ胎兒ニ關スル件ヲ省イテ答ヘル。

圖八六三何僕病ノ妊娠分娩ニ及ボス影響〇

- (1) 母體栄養不良從ツテ胎兒發育不全、腹腔狹ク妊娠中絶
- (2) 何僕病扁平骨盤ニヨリ胎兒通過障礙

圖八六四產褥後期ノ出血ニ就イテ〇

〔解〕七三三間中ヨリ子宮弛緩ヲ省イテ答ヘル。

圖八六五乳腺炎ノ定義原因症狀經過ニ就イテ〇

定義 乳腺ガ細菌ノ侵害ヲ受ケ灼熱、腫脹、潮紅、疼痛ヲ來シ乳汁分泌ヲ障礙スル疾病ヲ云フ。

圖八六六著乳ノ症狀及ビ處置ヲ問フ〇

- 一 症狀 (1) 乳房ハ緊滿腫脹シ、疼痛及壓痛アリ。
- (2) 放置スレバ遂ニ乳汁分泌減少ス。
- ニ 處置 (1) 授乳持續ノ場合ハ搾乳器ヲ以テ適宜ニ搾出スベシ。
- (2) 分泌制止ノ場合ハ四、三六間

圖八六六產褥性腎盂炎ノ原因症狀並ニ豫防法

一 原因 病原菌ハ五、三四ノ一ト同一ナルモ、産褥時ニハ連鎖狀球菌又ハ葡萄狀球菌ニ由ルモノ少カラズ。

産褥時ニハ膀胱ヨリ尿管内ヲ上昇シテ起スモノ多シ。

ニ豫防法

- (1) 便通及尿利ヲ調ヘ
- (2) 外陰ノ消毒ヲ嚴重ニシ骨盤内臟器ノ傳染ヲ防グコト。

圖八六七先天弱質兒ノ豫防法〇

一 妊娠中ノ攝生法ヲ嚴守シ、殊ニ母體ノ栄養ヲ高ムルコト、ニ、三五間。

ニ 母體ノ疾病、殊ニ梅毒、結核、腎炎其他ノ治療ヲハカルコト。

圖八六八産婆ニ禁ゼラレタル妊婦産褥褥又

ハ胎兒ニ對スル處置〇

一 産婆ハ妊婦産褥褥又ハ胎兒生兒ニ異常アリト認メタ時ハ自ラ其處置ヲシテハナラス。

但シ臨時救急ノ手當ハ差支ヘナイ。

ニ 産婆ハ妊婦産褥褥又ハ胎兒生兒ニ對シ……

- (1) 外科手術ヲ行フテハナラス。
 - (2) 産科器械ヲ用ヒテモナラス。
 - (3) 藥品ヲ授與シ又ハ之ガ指示ヲシテモナラス。
- 但シ消毒、臍帶剪斷、洗腸、點眼等ノ正常取扱又ハ豫防處置ハヨロシイ。

圖八六九産婆ハ妊産褥褥又ハ胎兒生兒ニ異常アリト認メタ時ハ如何ニスルカ〇

必ズ醫師ノ診察ヲ乞ハシメネバナラス、自ラ其ノ處置ヲシテハナラス。

但シ臨時救急ノ手當ハ差支ナイカラ、速カニ之ヲ行ツテ母兒ノ急ヲ救ハナクテハイケナイ。

〔註〕産婆規則第七條參照

圖八七 産婆開業シタル時ノ届出方〇

| | |
|----------|--------|
| 産婆開業届 | |
| 一、本籍 | 何々々地 |
| 二、住所 | 何々々地 |
| 三、氏名 | 何々々誰 |
| 四、生年月日 | 何年何月何日 |
| 五、産婆開業地 | 何々々地 |
| 六、登録番號 | 第何何號 |
| 七、登録年月日 | 何年何月何日 |
| 右及御届候也 | |
| 昭和年月日 | |
| 何警察署長何々殿 | 氏名 |

「産婆が開業シタル時ハ、十日以内ニ前記ノ様ナ「開業届」ニ「産婆名簿謄本ノ寫シ」ヲ添ヘ（謄本ノ實物ヲモ提示シテ）、所轄警察署長ニ届ケ出ル。

「註」産婆が開業セントスル時ニハ、先ヅ産婆名簿ノ登録ヲ地方長官ニ願ヒ出ナケレバナラヌ。

圖八七 産婆ノ地方長官ニ届出テベキ事項〇

一 産婆ノ住所、開業地、族籍、氏名ニ移動ヲ生ジタ時ハ、二十日以内ニ産婆名簿ノ訂正ヲ地方長官ニ願ヒ出ルコト。

但シ、産婆ノ住所ヲ移シタ爲メ管轄地方廳ガ變ツタ時ハ、前ノ地方長官ニ對シ名簿取消ノ登録ヲ願ヒ出デ、後ノ地方長官ニ産婆名簿ノ登録ヲ願ヒ出ルコト。

二 産婆が廢業シタル時ハ、二十日以内ニ産婆名簿ノ取消ノ登録ヲ願ヒ出ルコト。

「註」右ノ法文ハ願出ノ形式ダガ、事實ハ一種ノ届出デアルカラ、本問ニ對シテハ以上ヲ答ヘレバヨイ。

第一集カラ第七集マデノ間ニ出テ居ラヌ解答ハ目次ノ第八集ヲ探シテ下サイ

昭和全國産婆試験問題集

各地問題ハ次表ノ順ニ列ベテアルカラコレヲ記憶シテ置クト便利デス。

第一集 豫備知識

緒論ト數學
骨盤ノ解剖生理
性器ノ解剖生理
其他ノ解剖生理
消毒法

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態
胎兒附屬物、胎兒
母體性器、胎兒
妊婦ノ診察
妊婦ノ衛生法

第三集 正常分娩

分娩ノ状態
胎力、産道
分娩經過
母體影響
分娩時診察
胎兒ノ位置、廻旋
分娩時診察
胎兒ノ位置、廻旋

第四集 正常産褥

産褥ノ状態
褥婦ノ状態
産褥ノ取扱法
褥婦ノ取扱法
新産兒ノ取扱法
新産兒ノ取扱法

解答ノ見出し方

例ヘバ問題集一頁ノ樺太ノ部デ
【真結合線ニ就キ知ル所ヲ記セ】（昭五、二）
トアルノハ、解答第一集ノ四三問ヲ見レバヨイト云フ意味デス（解答ノ10頁ヲアケテ御覽ナサイ）ソシテ此問題ハ昭和五年第一回ノ試験ニ出タコトヲ示シテアリマス。出題場處ハ、各頁端ノ頁數ノ上方ニモ記シテアリマス。

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常
胎兒異常
母體性器異常
母體全身異常
胎兒附屬物異常
胎兒異常
母體性器異常
母體全身異常

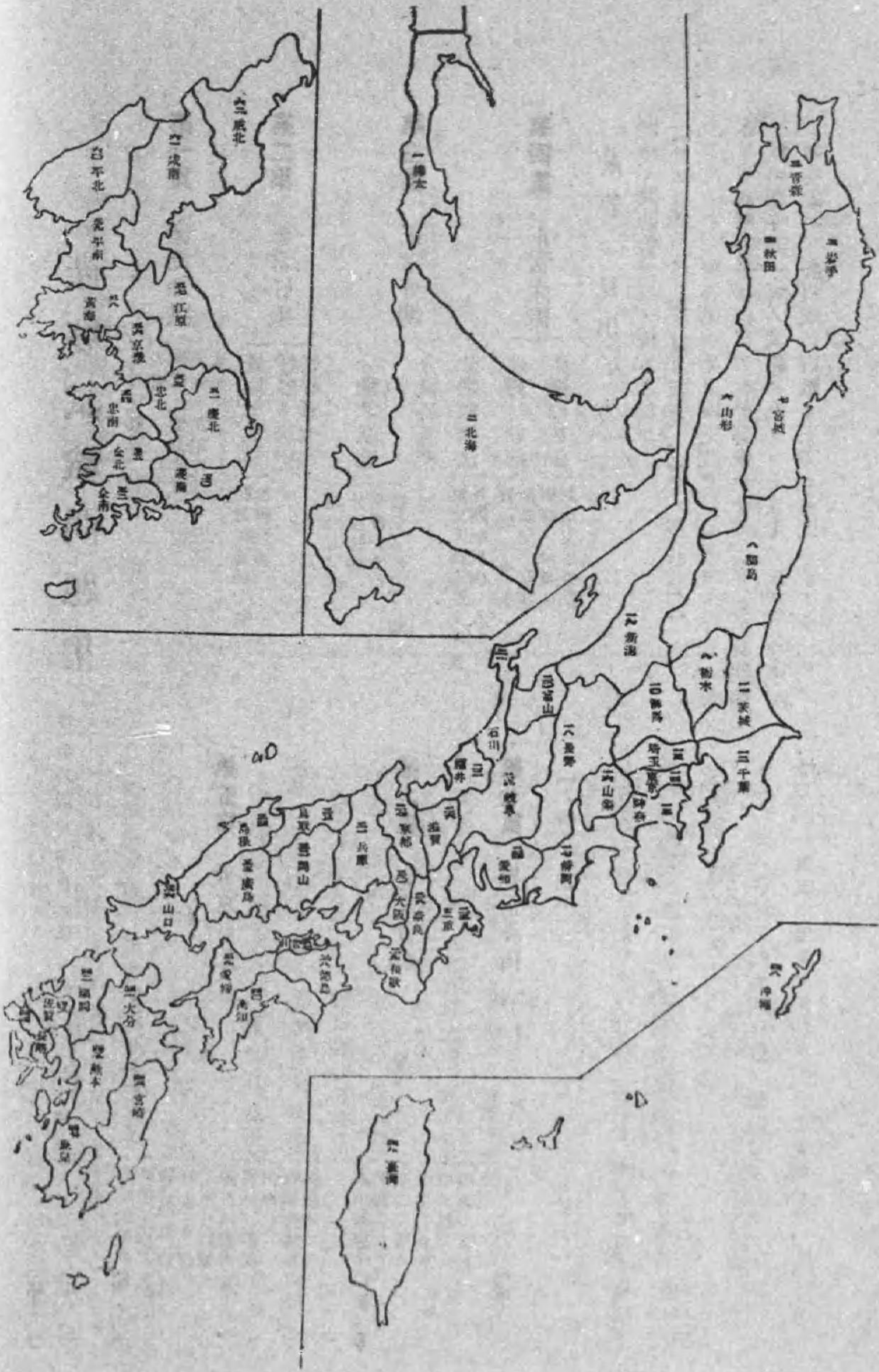
第六集 異常分娩

胎兒異常
母體異常
胎兒異常
母體異常

第七集 異常産褥

褥婦ノ異常
産褥ノ異常
褥婦ノ異常
産褥ノ異常

ノ様ニ（ ）ガアルノハ、第二集九〇問ノ解答ノ全部デナク、其中ノ適當ノ一部分ヲ答ヘレバヨイト云フ意味デス（解答75頁ヲ御覽ナサイ）
◎◎印ハ各地方内出題度數ノ順位ヲ示シタノデス。地方別ハ裏面ノ地圖ノ番別デ引クト便利デス。



〔一〕 樺太

第一集 豫備智識

- 眞結合線ニ就キ知ル所ヲ記セ
- 眞結合線ニツキ知レル處ヲ記セ
- 骨盤軸ニツキ知ル所ヲ記セ

- 連鎖状球菌ヲ説明セヨ
- フニールプリンゲル氏消毒法ヲ説明セヨ

第二集 正常妊娠
妊娠ノ状態

- 胎盤ノ構造及作用
- 假羊水ヲ簡單ニ説明セヨ
- 羊膜ニツキ知レル處ヲ記セ
- 羊水ノ效用ヲ説明セヨ
- 脱落膜ヲ説明セヨ
- 羊水ノ效用ニツキ知ル所ヲ記セ
- 胎盤血行ヲ説明セヨ
- オキスタヒー氏辨ヲ説明セヨ

〔一〕 樺太

- 一〇〇 (昭五、一)
- 一〇一 (昭九、二)
- 一〇二 (昭三、三)

- 一〇三 (昭八、三)
- 一〇四 (昭八、三)

二二六・二二七 (昭五、一)

- 二二八 (昭七、二)
- 二二九 (昭九、二)
- 二三〇 (昭十、二)
- 二三一 (昭十一、二)
- 二三二 (昭十二、二)

- 二三三 (昭十、二)
- 二三四 (昭十一、二)

- 大内門ヲ説明セヨ
- 成熟胎兒ノ特徴ニツキ知ル所ヲ記セ

- 卵巢黃體ヲ簡單ニ説明セヨ
- 妊娠線ヲ簡單ニ説明セヨ

妊婦ノ診察

- 妊娠八ヶ月ト十ヶ月ノ鑑別法
- 各胎位ニ於ケル兒心音聴取部位
- 胎兒生死ノ診斷
- ヘガール氏徵候ヲ簡單ニ説明セヨ
- 妊娠半確徵(疑徵)ニ就テ
- 胎兒ヨリノ徵候ガ尙不明ナル初期ニ於テ胎兒ノ生死ヲ診斷スル法
- 最終月經不明ノ際ニ於ケル妊娠月數ノ判定ニ就イテ
- 妊娠ノ確徵ヲ説明セヨ

- 二〇六 (昭十、二)
- 二〇七 (昭十、二)
- 二〇八 (昭七、二)
- 二〇九 (昭五、一)
- 二一〇 (昭五、一)
- 二一一 (昭六、二)
- 二一二 (昭七、二)
- 二一三 (昭八、二)
- 二一四 (昭九、二)

妊婦攝生法

- 乳房ノ衛生
- 妊婦ノ旅行ニツキ注意スベキ點ニツキ知レル處ヲ記セ

- 二一五 (昭九、二)
- 二一六 (昭十、二)
- 二一七 (昭十一、二)
- 二一八 (昭六、二)
- 二一九 (昭九、二)

第三集 正常分娩
分娩ノ状態

◎胎盤剝離ノ方法及徴候ヲ記セ 三〇六・三〇七(昭五、一)

◎第二後頭位ニ於ケル分娩機轉ヲ簡單ニ説明スベシ 三〇七(昭五、一)

◎陣痛ノ種類及其ノ作用 三〇五(昭五、一)

◎前驅陣痛ヲ簡單ニ説明セヨ 三〇六(昭七、一)

◎胎盤剝離ノ徴候 三〇六(昭六、一)

◎胎盤後血腫ニ答ヘヨ 三〇六(昭六、一)

◎産瘤ニツキ知レル處ヲ記セ 三〇八(昭九、一)

◎兒頭ノ撈露 三〇五(昭七、一)

◎破水ニツキ知ル所ヲ記セ 三〇四(昭七、一)

◎胎盤剝離ノ徴候ニ就キ述ベヨ 三〇六(昭七、一)

◎娩出時ノ第一第二第三第四廻旋ニ就キ述ベヨ 三〇六(昭七、一)

分娩取扱法

◎分娩直後ニ於ケル初生兒ノ取扱法 三〇七(昭五、一)

◎破水時ニ注意スベキ事項 三〇五(昭八、一)

◎クレーデ氏胎盤取出法ヲ行フニ際シ注意スベキ事項 三〇五(昭八、一)

◎クレーデ氏點眼法ヲ説明セヨ 三〇七(昭八、一)

◎初生兒臍帶斷端ノ處置ヲ問フ 三〇七(昭八、一)

◎産婦ニ腹壓ヲ命ジ又ハ禁ズル時期、並ニ其理由 三〇七(昭八、一)

◎分娩第二期ニ於テ産婆ノ注意スベキ事項ヲ簡單ニ述ベヨ 三〇七(昭八、一)

單ニ述ベヨ 三〇七(昭九、一)

◎分娩第二期(娩出期)ノ取扱法ニ就キ其ノ大要ヲ記セ 三〇七(昭十、一)

◎淋毒性疾患ヲ有スル妊婦産婦及産婦ノ處置其ノ新産兒(生兒)ノ眼ノ消毒ノ方法及産婆心得ヲ述ベヨ 三〇五(昭十、一)

◎分娩直後ニ於ケル新産兒ノ處置ヲ問フ 三〇七(昭十、一)

◎臍帶切斷法及臍帶切斷並ニ脫落面ノ處置 三〇七(昭十、一)

◎分娩第三期ニ於ケル處置ニ就キ述ベヨ 三〇七・三〇八(昭十、一)

◎會陰保護法ノ要領並ニ之ヲ行フベキ時期ニ就キ述ベヨ 三〇三・三〇四(昭十、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

◎惡露ニ就テ知ル所ヲ記セ 三〇五(昭五、一)

◎正規産褥ニ於ケル子宮復舊現象及惡露ノ經過 三〇二・三〇三(昭五、一)

◎子宮底ノ高サト産褥時日トノ關係 三〇三(昭六、一)

◎産褥ニ於ケル生殖器官復舊狀態ノ大要ヲ記セ 三〇三(昭八、一)

◎漿液性惡露ノ大要ヲ記セ 三〇五(昭九、一)

◎後陣痛ノ大要ヲ記セ 三〇三(昭九、一)

◎正規産褥經過中一週間以内ニ於ケル子宮底ノ

高サヲ述ベヨ

◎復故作用ニ就キテ記セ 三〇五(昭十、一)

◎産褥子宮ノ位置並ニ子宮底ノ高サニ就テ述ベヨ 三〇三(昭十、一)

◎惡露ニツイテ知ル所ヲ記セ 三〇五(昭十、一)

◎正常産褥ニ於ケル復舊作用トシテ性器ノ示ス變化ヲ述ベヨ 三〇五(昭十、一)

◎生後約二週間以内ノ初生兒ニ起ル主ナル生理的現象ヲ列舉シ簡單ニ説明セヨ 三〇六(昭五、一)

◎初生兒ノ飢餓熱 三〇六(昭六、一)

◎飢餓熱(渴熱)ヲ説明セヨ 三〇六(昭八、一)

産褥取扱法

◎正常産褥ノ陰部ノ處置 三〇五(昭十、一)

◎正規産褥ノ經過及産婦生兒ノ看護法 三〇六・三〇七(昭九、一)

◎早期離床ノ大要ヲ記セ 三〇七(昭九、一)

◎早期離床ノ得失 三〇七(昭十、一)

◎産褥取扱上最モ注意ヲ要スベキ點ヲ列舉セヨ 三〇三(昭十、一)

◎正常(産)産褥ノ處置ノ大要ヲ記セ 三〇六(昭十、一)

◎母乳栄養法 三〇三(昭七、一)

◎乳母選定ノ標準ヲ問フ 三〇七(昭九、一)

◎生母授乳ハ如何ナル場合ニ禁止スベキヤ又乳

母選定ノ標準ヲ問フ

◎臍帶切斷端及脫落面ノ處置 三〇四(昭九、一)

◎臍帶切斷端及脫落面ノ處置ヲ問フ 三〇四(昭十、一)

◎如何ナル場合授乳ヲ禁ズベキカ 三〇四(昭十、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

◎葡萄狀胎ノ診斷及其ノ處置 三〇七・三〇八(昭七、一)

◎葡萄狀胎 三〇七(昭九、一)

◎胎狀胎ノ診斷 三〇七(昭十、一)

◎正常位置ニ於ケル胎盤ノ早期剝離 三〇五(昭九、一)

◎前置胎盤ト正常位置ニ於ケル胎盤ノ早期剝離トノ鑑別法及處置 三〇四・三〇五・三〇六(昭十、一)

◎前置胎盤ノ診斷 三〇三(昭十、一)

◎羊水過多症ノ妊娠分娩及産褥時ニ於ケル經過及處置 三〇七・三〇八(昭八、一)

◎羊水過多症ニ就テ知ルコトヲ記セ 三〇六(昭十、一)

◎稽留性分娩トハ如何 三〇五(昭六、一)

◎流産ノ原因及其ノ處置 三〇五・三〇六(昭十、一)

◎子宮後血腫ニ答ヘヨ 三〇五(昭六、一)

- 子宮内ノ胎兒ノ位置ニツイテ記セ 三三三(昭二、三)
- 胎兒ノ血液循環ニ就テ記セ 三三三(昭三、一)
- 成熟兒ノ徴候ヲ記セ 三三三(昭六、一)
- 成熟兒ノ特徴ヲ記セ 三三三(昭七、一)
- 胎兒ノ血行ニ就テ記セ 三三三(昭九、一)
- 成熟兒ノ徴候ヲ述ベヨ 三三三(昭十、一)
- 子宮内ニ於ケル胎兒ノ位置ニ就イテ知レル所ヲ記セ 三三三(昭十、一)
- 胎兒ノ血液循環ニツイテ記セ 三三三(昭十、一)
- 妊娠各月ニ於ケル徴候ヲ記セ 三三三(昭十、一)
- 妊婦全身ニ於ケル變化 三三三(昭二、一)
- 妊娠子宮ノ膨大ニヨリ起ル身體ノ變化ヲ記セ 三三三(昭三、一)
- 骨盤外計測法及日本婦人ニ於ケル各徑線ノ長ヲ記セ 三三三・一三三(昭二、一)
- 妊婦ノ觸診方式ヲ記セ 三三三(昭三、一)
- 妊婦ノ内診ノ方法及内診ニ對スル注意事項ヲ記セ 三三三・三三三(昭三、一)
- 初産婦ト經産婦トノ鑑別ヲ記セ 三三三(昭四、一)
- 妊娠前半期ニ於ケル半確徵(疑徵)ヲ問フ 三三三(昭六、一)
- 妊娠ノ半確徵及確徵ヲ記セ 三三三・三三三(昭八、一)

妊婦ノ診察

- 妊娠ノ疑徵並ニ確徵ヲ記セ 三三三・三三三(昭四、一)
 - 妊娠後半期ニ於ケル攝生法ヲ記セ 三三三(昭九、一)
- 第三集 正常分娩
- 分娩ノ状態
- 分娩第一期(開口期)ノ經過ヲ述ベヨ 三三三(昭三、一)
 - 娩出力ニ就テ 三三三(昭三、一)
 - 娩出力ニ就テ記セ 三三三(昭六、一)
 - 娩出力ニツイテ知レル所ヲ記セ 三三三(昭七、一)
 - 第一後頭位ノ分娩機轉ニ就テ記セ 三三三(昭七、一)
 - 娩出力ニ就テ記セ 三三三(昭八、一)
 - 分娩開始ノ徴候ヲ記セ 三三三(昭九、一)
 - 正規ノ分娩機轉ヲ記セ 三三三・三三三(昭十、一)
 - 分娩ノ胎兒ニ及ス影響ニツイテ記セ 三三三(昭十、一)
 - 胎盤剝離ノ徴候ヲ記セ 三三三(昭十、一)
 - 分娩第二期ニ於ケル經過ヲ記セ 三三三(昭十、一)
 - 内診ノ目的及内診ニ對スル注意事項ヲ記セ 三三三・三三三(昭六、一)
 - 後頭位ノ診察及分娩ノ經過ヲ記セ 三三三・三三三(昭二、一)

分娩時診察

分娩取扱法

- 第一後頭位ノ診察及分娩經過ヲ記セ 三三三(昭六、一)
- 後産娩出ノ取扱法ヲ記セ 三三三(昭三、一)
- 開口期ニ於ケル處置ヲ記セヨ 三三三(昭六、一)
- 會陰保護ノ目的並ニ其術式ヲ記セ 三三三・三三三(昭六、一)
- 後産娩出時ノ處置及注意事項ヲ記セ 三三三・三三三(昭七、一)
- 分娩用具並ニ分娩時ニ於ケル外陰部ノ消毒ニツイテ述ベヨ 三三三・三三三(昭七、一)
- クレード氏點眼法ニツキ知レル所ヲ述ベヨ 三三三(昭八、一)
- 娩出期ノ處置ヲ記セ 三三三(昭八、一)
- 娩出直後ニ於ケル生兒ニ對スル處置ヲ記セ 三三三(昭九、一)
- 初生兒沐浴ノ方法並ニ後處置ヲ記セ 三三三(昭十、一)
- 正常分娩第一期ニ於ケル處置ヲ記セ 三三三(昭十、一)
- 分娩第三期ニ於ケル處置ヲ記セ 三三三(昭十、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 正規産褥ニ於ケル子宮復舊ノ狀況ヲ記セ 三三三(昭九、一)
 - 正規産褥ニ於ケル復舊作用ヲ記セ 三三三(昭十、一)
 - 産褥ノ復舊機轉ヲ述ベヨ 三三三(昭十、一)
 - 初乳及成乳ニ就テ知レル所ヲ記セ 三三三(昭十、一)
 - 正常産褥ニ於ケル子宮復舊ノ經過ヲ記セ 三三三(昭十、一)
 - 正規産褥ニ於ケル子宮ノ復故機轉ヲ記セ 三三三・三三三(昭十、一)
 - 初乳及常乳ニ就テ記セ 三三三・三三三(昭十、一)
 - 初生兒黃疸ニ就テ記セ 三三三(昭八、一)
- 産褥ノ診察
- 正規産褥ト異常産褥トノ鑑別ヲ記セ 三三三(昭八、一)
- 産褥取扱法
- 産褥ノ取扱法ノ大要ヲ記セ 三三三(昭七、一)
 - 産褥中ニ於ケル産褥ノ攝生法ヲ記セ 三三三(昭八、一)
 - 正常産褥ノ看護法ヲ記セ 三三三(昭十、一)
 - 産褥ノ看護法ヲ記セ 三三三(昭十、一)
- 人工榮養上注意スベキ要項ヲ記セ
- 母乳以外ニヨル乳兒榮養法ニ就テ記セ 三三三・三三三(昭六、一)
 - 授乳ノ方法及ビ注意事項ヲ記セ 三三三・三三三(昭九、一)
 - 初生兒人工榮養法ニツイテ記セ 三三三(昭十、一)
 - 人工榮養法及其ノ實施ニ當リ注意スベキ要項ヲ記セ 三三三・三三三(昭十、一)

- 母乳養法ヲ記セ 昭三三(昭三三、一)
- 人工榮養法ヲ記セ 昭三九(昭三三、一)
- 新産兒臍帶ノ處置並ニ處置ヲ誤レル場合ノ危険ニ就テ記セ 昭三六・昭三七(昭三三、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 葡萄狀鬼胎ノ經過及ビ診斷ヲ記セ 昭五三・昭五七(昭八、二)
- 葡萄狀鬼胎ノ診斷ニツイテ知レル所ヲ記セ 昭一七(昭十、一)
- 胎狀鬼胎ノ症狀及種類鑑別法ヲ記セ 昭二二・昭二七(昭十三、一)
- 胎盤早期剝離症狀及處置ヲ記セ 昭五三・昭五九(昭四、一)
- 前置胎盤ノ分娩ニ及ボス障害並ニ其ノ處置ヲ記セ 昭三五・昭三四(昭六、二)
- 正常位ニ於ケル胎盤早期剝離ニ就テ記セ 昭五一(昭八、二)
- 前置胎盤ノ徵候並ニ分娩時ニ於ケル處置ヲ記セ 昭三〇・昭三三(昭十一、一)
- 前置胎盤ノ妊娠及分娩ニ及ボス影響ヲ記セ 昭三三(昭十三、一)
- 羊水過多ノ妊娠分娩及ビ産褥經過ニ及ボス影響ヲ記セ 昭七二(昭四、一)
- 羊水過多症ノ症狀並ニ鑑別診斷ニ就テ記セ 昭七二・昭七三(昭七、二)

胎兒異常

- 胎兒死亡ノ診斷及其死後ノ運命ニ就テ記セ 昭三五・昭三九(昭三、一)
- 死亡胎兒ノ運命ヲ記セ 昭三九(昭三、二)
- 妊娠ノ早期中絶ノ原因症狀及診斷ヲ問フ 昭一〇五・昭一〇七・昭一一八(昭二、二)
- 第二期産流ノ症狀及處置ヲ記セ 昭一〇六・昭一一三(昭七、一)
- 妊娠早期中絶ノ原因及處置ヲ記セ 昭一〇五・昭一三〇(昭十一、二)
- 妊娠中絶ノ原因トナルベキ卵及母體ノ異常ヲ記セ 昭一〇五(昭十一、一)
- 子宮外妊娠各種類ノ經過ヲ記セ 昭一五三(昭四、一)
- 子宮外妊娠ノ徵候ヲ記セ 昭二四二(昭六、二)
- 子宮外妊娠ノ診斷並ニ經過ヲ記セ 昭一四三・昭一五三(昭十一、一)
- 子宮外妊娠ノ種類及經過ヲ記セ 昭一六・昭一五三(昭十一、一)
- 子宮外妊娠ノ症狀及經過ヲ記セ 昭二二・昭二四(昭十四、一)
- 懸垂腹ノ原因及處置ヲ記セ 昭一六六・昭一七〇(昭六、一)
- 妊娠子宮前傾前屈症ノ症狀及妊娠經過ヲ記セ 昭六九(昭十三、一)
- 妊娠中ニ於ケル陰分泌異常ニ就テ記セ 昭三三(昭九、二)
- 子癩ノ症狀及處置ヲ記セ 昭三三・昭三七(昭七、二)

母體全身異常

- 悪性惡阻ニツキ知レル所ヲ述ベヨ 昭三九(昭八、一)
- 子癩ノ症狀及ビ處置ヲ記セ 昭三三・昭三七(昭九、二)
- 子癩ニ就イテ知レル所ヲ記セ 昭四四(昭十、一)
- 子癩ノ症狀及ビ處置ヲ記セ 昭三三・昭三七(昭十一、一)
- 惡阻ノ種類及症狀ヲ記セ 昭三〇・昭三六(昭十一、一)
- 惡阻ノ種類及症狀ヲ記セ 昭三〇・昭三六(昭十一、一)
- 妊婦ノ靜脈瘤ノ原因及處置ヲ記セ 昭三〇・昭三六(昭十一、一)
- 子癩ノ症狀及處置ヲ記セ 昭三三・昭三七(昭十一、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 臍帶脫出ノ意義ヲ説明セヨ 昭三三(昭二、一)
- 臍帶ノ下垂乃至脫出ノ原因障碍及處置ヲ記セ 昭五三・昭五九・昭六六(昭六、一)
- 早期破水ノ原因障碍及處置ヲ記セ 昭六六・昭七〇・昭七九(昭十三、二)
- 早期破水ノ原因障碍及處置ヲ記セ 昭六六・昭七〇・昭七九(昭十三、一)
- 遷延性横位ニ就イテ 昭一八六(昭二、一)
- 上肢臍帶ノ下垂乃至脫出ノ原因障碍並ニ處置ヲ記セ 昭一九五・昭二〇三・昭二六六(昭三、一)
- 横位ノ診斷及處置ヲ問フ 昭二八一・昭二八三(昭五、一)
- 骨盤端位ノ診斷及其ノ分娩ニ對スル處置ヲ記セ 昭二四二・昭二六九(昭七、一)

- 横位ノ診斷並ニ處置ヲ記セ 昭二八二・昭二八三(昭七、二)
- 骨盤端位分娩ノ危害ニ就イテ記セ 昭二六六(昭九、二)
- 紙狀胎兒ノ意味ヲ説明セヨ 昭一〇九(昭二、一)
- 双胎妊娠ノ診斷及經過ヲ記セ 昭三三・昭三六(昭十一、一)
- 初生兒假死ノ臨床的症狀並ニ其ノ處置ヲ述ベヨ 昭三九・昭四二(昭六、二)
- 初生兒假死ニ對スル處置ヲ問フ 昭三九(昭十、一)
- 初生兒假死ニ就キ原因、症狀及處置ヲ記セ 昭三六・昭三九・昭四二(昭十三、一)

母體異常

- 異常陣痛ノ症狀及處置ヲ記セ 昭三〇〇(昭二、一)
- 微弱陣痛ノ原因及ビ處置ノ大要ヲ記セ 昭三〇五・昭三三四(昭三、二)
- 陣痛微弱ノ分娩ニ及ボス影響ヲ記セ 昭三〇〇(昭五、一)
- 微弱陣痛ノ障害及ビ處置ヲ記セ 昭三〇八・昭三三四(昭九、一)
- 陣痛微弱ノ分娩ニ及ボス影響ニ就テ記セ 昭三〇〇(昭十一、一)
- 過強陣痛ノ原因症狀及處置ヲ記セ 昭三三四・昭三三五・昭三三六(昭十三、二)
- 子宮頸轉症ノ意義ヲ説明セヨ 昭四〇(昭二、一)
- 分娩時ノ子宮出血ニツイテ記セ 昭四四(昭二、二)
- 弛緩性出血ノ症狀及之ニ對スル處置ヲ記セ 昭四四(昭二、二)

記セ

○胎盤積留ノ原因診断及ビ處置ヲ記セ

六四三・六四五(昭七、二)

○急性貧血ノ原因症状及其處置ヲ記セ

六四五(昭三、一)

○急性貧血ノ原因症状及處置ヲ記セ

六四五(昭四、一)

第七集 異常産褥・補足智識

褥婦異常

○産褥時ニ於ケル排尿障害ニツイテ記セ

七二五(昭二、二)

○惡露蓄積症ノ原因及ビ處置ヲ記セ

七八一・七八四(昭三、二)

○産褥性膀胱炎ノ症状及處置ヲ記セ

(七二八)(昭四、一)

○子宮復故不全ノ原因及症状ヲ記セ

七五五・七五六(昭六、一)

○惡露蓄積ノ原因並ニ障害ヲ記セ

七八一・七八二(昭六、二)

○産褥熱ノ原因並ニ豫防ニツキ記セ

七三三・七三〇(昭八、一)

○産褥子宮ノ復舊不全症ニ就テ記セ

七三三(昭八、二)

○産褥性膀胱炎ニ就テ記セ

七八八(昭九、一)

○惡露蓄積症ニツイテ知レル所ヲ記セ

七八九(昭十、一)

○産褥時ニ於ケル異常出血ニ就テ記セ

七七三(昭七、二)

○子宮復古不全ノ症状並ニ處置ヲ記セ

七五五・七五五(昭七、二)

○乳腺炎ノ原因症状及處置ヲ記セ

七九四(昭七、二)

○惡露蓄積症ノ原因症状及處置ヲ記セ

(七七〇)(昭七、一)

○産褥時ニ於ケル異常出血ノ原因及處置ヲ記セ

(七三三)(昭七、二)

○産褥熱ニ就テ記セ

七九〇(昭七、一)

新産兒異常

○頭血腫ヲ説明セヨ

七二七(昭二、一)

○乳兒脚氣ニ就テ記セ

七〇〇(昭二、一)

○初生兒臍部ノ疾患ニツイテ記セ

七二四(昭二、二)

○初生兒消化不良ニ就イテ記セ

七二六(昭三、一)

○頭血腫及産瘤ノ診断並ニ相互ノ鑑別點ヲ舉ゲヨ

七二九(昭五、一)

○乳兒脚氣ノ症状及處置ヲ記セ

七二〇・七二〇(昭七、一)

○初生兒ノ臍疾患ニ就キ記セ

七二四(昭八、一)

○初生兒「メレナ」ノ症状及處置ヲ記セ

七二九(昭八、二)

○頭血腫ニ就テ記セ

七二七(昭九、一)

○初生兒ノ臍疾患ニツイテ記セ

七二四(昭十、一)

○早産兒ノ取扱法ヲ記セ

七二五(昭二、二)

○早産兒ノ看護ニ就テ記セ

七二五(昭五、一)

○早産兒ノ看護法ヲ記セ

七二五(昭七、一)

〔三〕 青森縣

第一集 豫備智識

○小骨盤各部ニケル最大徑線及其ノ測點ヲ記セ

一〇五(昭十、一)

○骨盤軸(又ハ骨盤誘導線)トハ何ゾヤ並ニ其ノ産科學的意義ヲ述ベヨ

一〇五(昭八、一)

○産婆ノ手指消毒ニ就テ記セ

一〇四(昭四、一)

○産婆用器械類ノ消毒法ヲ問フ

一〇七(昭五、二)

○産婆ニ必要ナル消毒法ノ大要ヲ説明セヨ

一〇三(昭十、一)

○内診直前ニ於ケル手指ノ消毒法

一〇四(昭十、一)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

○羊膜ニ就テ説明セヨ

二二四(昭二、二)

○羊水トハ如何ナルモノカ

二二四(昭二、二)

○羊膜、羊水ニ就テ説明セヨ

二二〇・二二六(昭二、二)

○羊水ノ效用ヲ記セ

二二六(昭三、二)

○羊水ニ就テ知ル處ヲ記セ

二二六(昭七、一)

○胎盤ノ構造及其ノ作用ヲ問フ

二二六・二二三(昭七、一)

○胎盤ノ母體及胎兒ニ及ボス生理的作用ヲ記セ

二二三(昭九、一)

〔四〕 青森縣

○胎盤ノ作用ヲ説明セヨ

二二三(昭七、一)

○胎位(體位)胎向(體向)ニ就イテ説明セヨ

二二〇(昭二、一)

○成熟兒ノ徴候ヲ舉ゲヨ

二二四・二二四(昭二、一)

○胎盤血行ニ就テ記セ

二二四(昭三、一)

○胎兒血液循環ノ成人ト異ナル點ヲ舉ゲヨ

二二四(昭四、一)

○子宮内ニ於ケル胎位、胎勢、胎向ニ就イテ説明セヨ

二二三(昭七、二)

○成熟胎兒ト未熟胎兒ノ區別

二二五(昭九、二)

○生殖器以外ニ現ハル、妊娠徴候ヲ問フ

二二二(昭十、一)

○妊娠月數ニ伴フ子宮ノ増大及妊娠ノ全身ニ來ル變化ニ就テ記セ

二二五・二二七(昭六、一)

○妊婦ノ腹壁上ヨリ聴取スベキ音ノ種類

二二〇(昭三、一)

○妊婦ノ腹部聴診時聴キ得ル音ニ就テ記セ

二二〇(昭八、一)

○妊娠十ヶ月ニ於ケル各胎位ノ心音ヲ聴取スベキ部位

二二〇(昭十、一)

○妊娠第十ヶ月ニ於ケル各胎位ノ心音聴取部位

二二〇(昭十、一)

○妊娠ト誤リ易キ疾病及其ノ鑑別

二二三(昭七、一)

○胎盤ト誤リ易キ疾病及其ノ鑑別

二二三(昭七、一)

- 妊娠ノ確徴及妊娠ト誤リ易キ二、三ノ疾病ノ名稱ヲ問フ 三二八〇・三二八二(昭三、一)
- 妊娠後半期ニ於ケル子宮底ノ高サ 三二八〇・三二八二(昭三、一)
- 妊娠ノ診斷ニ際シ注意スベキ點ヲ記セ 三二八六(昭四、二)
- 妊娠ト類似症トノ鑑別ヲ記セ 三二七六(昭五、一)
- 初妊婦ニ於ケル妊娠八ヶ月末ト十ヶ月末トノ鑑別診斷ヲ記セ 三二九五(昭五、一)
- 妊娠八ヶ月ト十ヶ月トノ區別ヲ記セ 三二九五(昭五、二)
- 胎兒ノ母體內ニ於テ生死ノ鑑別診斷ヲ問フ 三二八三(昭七、一)
- 妊娠ト類似症トノ鑑別ヲ記セ 三二七六(昭七、二)
- 妊娠ト誤リ易キ疾病及其ノ鑑別 三二七六(昭九、二)
- 初妊婦ニ於ケル妊娠八ヶ月ト第十ヶ月トノ鑑別法如何 三二九三(昭十、一)
- 妊娠ノ徵候ヲ述ベヨ 三二五七(昭十、一)
- 妊娠ノ確徴並ニ妊娠ト誤診シ易キ疾病ヲ舉ゲ其ノ鑑別スベキ要點ヲ記セ 三二八〇・三二八二(昭十、二)
- 最終月經ノ第一日ガ五月十日ナル妊婦ノ分娩豫定日ヲ問フ 三二九二(昭十、一)
- 妊娠後半期各月ニ於ケル子宮底ノ高サ 三二九二(昭十、一)
- 妊娠第三ヶ月及第五ヶ月末ニ於ケル徵候ヲ記セ 三二〇〇・三二〇二(昭十、一)

妊婦攝生法

- 妊婦ノ攝生法ニ就テ記セ 三二九三(昭四、一)

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

- 胎盤剝離ノ徵候及クレーデ氏ノ胎盤壓出法ヲ記セ 三二六三・三二六五(昭二、一)
- 正規分娩ノ母體ニ及ボス影響ニ就テ記セ 三二八二(昭三、一)
- 分娩ノ母體ニ及ボス影響ヲ記セ 三二八三(昭六、二)
- 腹壓ニ就テ記セ 三二八三(昭七、二)
- 分娩開始ノ徵候ヲ記セ 三二八六(昭八、一)
- 初妊婦經妊婦ノ分娩ノ過程ヲ比較セヨ 三二七九(昭十、二)
- 娩出力トハ如何ナルモシカ知ル所ヲ記セ 三二八三(昭七、二)
- 正常(正規)分娩ノ經過及其ノ持續時間ニ就テ 三二八三(昭七、二)
- 娩出力ヲ説明セヨ 三二七三・三二七五(昭十、一)
- 分娩開始ノ徵候ヲ詳記セヨ 三二八三(昭十、一)
- 正規分娩第二期ニ於ケル處置ヲ記セ 三二九二(昭三、一)
- 初生兒ノ沐浴ニ就テ知ル所ヲ記セ 三二九二(昭四、一)
- 分娩ノ準備及助産婦ノ攜帶スベキ器械及材料ヲ記セ 三二七三・三二七五(昭六、一)
- 胎盤切斷時ノ諸注意並ニ其ノ後ノ處置 三二九三・三二九四(昭八、一)
- 會陰保護ニ就テ知ル所ヲ記セ 三二九三(昭八、一)

分娩取扱法

- 正規分娩第二期ニ於ケル處置ヲ記セ 三二九二(昭三、一)
- 初生兒ノ沐浴ニ就テ知ル所ヲ記セ 三二九二(昭四、一)
- 分娩ノ準備及助産婦ノ攜帶スベキ器械及材料ヲ記セ 三二七三・三二七五(昭六、一)
- 胎盤切斷時ノ諸注意並ニ其ノ後ノ處置 三二九三・三二九四(昭八、一)
- 會陰保護ニ就テ知ル所ヲ記セ 三二九三(昭八、一)

- 會陰保護ノ要件及其ノ時期ヲ問フ 三二八八・三二九〇(昭九、一)
- 分娩直後ニ於ケル褥婦及ビ初生兒ノ處置ヲ問フ 三二九二(昭十、二)
- 分娩第二期ニ於ケル處置並ニ産婆ノ特ニ注意スベキ事項ヲ記セ 三二〇一・三二〇二(昭十、一)
- 胎盤切斷ノ時期及其ノ方法並ニ之ニ要スル消毒法ヲ記セ 三二九三・三二九四(昭十、一)
- 分娩直後ノ新産兒ノ處置 三二九二(昭十、一)
- 分娩第三期ニ於ケル處置 三二九三(昭十、二)
- 胎盤結紮ノ時期及其ノ方法ヲ記セ 三二九三・三二九四(昭十、一)
- 分娩直後ニ於ケル新産兒ノ處置 三二九三(昭十、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 正規産褥ニ於ケル惡露ニ就テ記セ 四二六六(昭二、一)
- 正規産褥ニ於ケル子宮ノ變化ヲ記セ 四二二一(昭四、一)
- 正規産褥ニ於ケル體温及脈搏ニ就テ記セ 四二六六(昭四、二)
- 正規産褥ニ於ケル子宮ノ復舊現象ヲ述ベヨ 四二二一(昭五、一)
- 惡露ニ就テ記セ 四二七三(昭五、二)
- 初乳ト成乳トノ異ナル點ヲ記セ 四二七〇(昭五、二)
- 正規産褥ニ於ケル脈搏ニ就テ知ル處ヲ記セ 四二六六(昭六、一)
- 正規産褥ニ於ケル惡露ノ變化ヲ述ベヨ 四二六六(昭六、二)
- 分娩後生殖器ノ復舊ニ就テ記セ 四二七〇(昭七、一)

産褥取扱法

- 正規産褥ノ體温ト脈搏ニ就テ記セ 四二六六(昭七、二)
- 正規産褥ニ於ケル子宮ノ復舊作用(又ハ復古作用)ニ就テ記セ 四二二一(昭八、一)
- 産褥ニ於ケル子宮ノ復舊作用並ニ惡露ニ就テ 四二二一・四二二二(昭九、一)
- 正規産褥第二日及ビ第十日ニ於ケル子宮底ノ高サ 四二二三(昭十、一)
- 正規産褥ニ於ケル子宮ノ復舊作用ニ就テ 四二二一(昭十、一)
- 正常産褥ニ於ケル子宮復舊作用 四二二一(昭十、一)
- 初生兒ノ脈搏及呼吸ニ就テ記セ 四二八八(昭五、一)
- 褥婦ノ攝生法ヲ記セ 四二六六(昭三、二)
- 産褥婦ノ陰部ノ處置ヲ問フ 四二五三(昭七、一)
- 褥婦第一週ニ於テ産婆トシテ爲スベキ處置並ニ看護上ノ注意ヲ述ベヨ 四二二三・四二二四(昭八、二)
- 産褥中注意スベキ事項ヲ舉ゲヨ 四二二九(昭八、二)
- 褥婦ノ攝生法ニツキ述ベヨ 四二六六(昭十、一)
- 褥婦ノ看護法ニ就テ記セ 四二二七(昭十、二)
- 褥婦ノ攝生法ヲ記セ 四二六六(昭十、一)
- 産褥婦局部ノ消毒方法ニ就テ 四二五三(昭十、一)
- 産褥時ニ於ケル排尿障害ノ原因及其ノ處置 四二五三・四二六六(昭十、二)

○産褥経過ノ良否ヲ判断スルニ必要ナル事項ヲ舉

マ二四(昭五、一)

○初生兒ノ人工栄養ヲ必要トスル場合ニ就テ

記セ

四二七〇(昭五、一)

○乳母ノ選擇ニ就キ要點ヲ記セ

四二七〇(昭五、一)

○産乳ト離乳ノ區別並ニ離乳ノ方法及其ノ目的

ヲ問フ

四二七〇(昭五、一)

○新生兒ノ沐浴上注意スベキ事項ヲ記セ

○初生兒ノ看護スベキ點ヲ舉ゲヨ

○初生兒人工栄養ノ優劣併セテ牛乳稀釋法ヲ記

セヨ

○母乳ノ乳兒ニ及ボス利害ヲ述ベヨ

○乳母ノ乳ノ乳兒ニ及ボス利害ヲ述ベヨ

○煉乳ノ乳兒ニ及ボス利害ヲ述ベヨ

○加熟牛乳ノ乳兒ニ及ボス利害ヲ述ベヨ

○乳母ノ選擇ニ就テ詳記セヨ

○胎兒中ニ來リ易キ妊婦ノ疾病ニツキ記シ其ノ

豫防法並ニ其處置ニマデ及ベ

○胎兒附屬物異常

○葡萄狀鬼胎ノ診斷ヲ記シ之ト羊水過多症ノ區

別ヲ述ベヨ

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

母體全身異常

○妊娠前半期ニ於テ子宮出血ヲ來ス主ナル疾病

ヲ列舉シ各疾病ノ特徴ヲ述ベヨ

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

五二〇二(昭三、一)

五二〇三(昭三、一)

五二〇四(昭六、一)

五二〇五(昭七、一)

五二〇六(昭七、一)

五二〇七(昭七、一)

五二〇八(昭七、一)

五二〇九(昭七、一)

五二一〇(昭七、一)

五二一一(昭七、一)

五二一二(昭七、一)

五二一三(昭七、一)

五二一四(昭七、一)

五二一五(昭七、一)

胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

五二一六(昭七、一)

五二一七(昭七、一)

五二一八(昭七、一)

五二一九(昭七、一)

五二二〇(昭七、一)

五二二一(昭七、一)

五二二二(昭七、一)

五二二三(昭七、一)

五二二四(昭七、一)

五二二五(昭七、一)

五二二六(昭七、一)

五二二七(昭七、一)

五二二八(昭七、一)

第六集 異常分娩

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

五二二九(昭七、一)

五二三〇(昭七、一)

五二三一(昭七、一)

五二三二(昭七、一)

五二三三(昭七、一)

五二三四(昭七、一)

五二三五(昭七、一)

五二三六(昭七、一)

五二三七(昭七、一)

五二三八(昭七、一)

五二三九(昭七、一)

五二四〇(昭七、一)

五二四一(昭七、一)

胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

五二四二(昭七、一)

五二四三(昭七、一)

五二四四(昭七、一)

五二四五(昭七、一)

五二四六(昭七、一)

五二四七(昭七、一)

五二四八(昭七、一)

五二四九(昭七、一)

五二五〇(昭七、一)

五二五一(昭七、一)

五二五二(昭七、一)

五二五三(昭七、一)

五二五四(昭七、一)

胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

五二五五(昭七、一)

五二五六(昭七、一)

五二五七(昭七、一)

五二五八(昭七、一)

五二五九(昭七、一)

五二六〇(昭七、一)

五二六一(昭七、一)

五二六二(昭七、一)

五二六三(昭七、一)

五二六四(昭七、一)

五二六五(昭七、一)

五二六六(昭七、一)

五二六七(昭七、一)

胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

五二六八(昭七、一)

五二六九(昭七、一)

五二七〇(昭七、一)

五二七一(昭七、一)

五二七二(昭七、一)

五二七三(昭七、一)

五二七四(昭七、一)

五二七五(昭七、一)

五二七六(昭七、一)

五二七七(昭七、一)

五二七八(昭七、一)

五二七九(昭七、一)

五二八〇(昭七、一)

胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

五二八一(昭七、一)

五二八二(昭七、一)

五二八三(昭七、一)

五二八四(昭七、一)

五二八五(昭七、一)

五二八六(昭七、一)

五二八七(昭七、一)

五二八八(昭七、一)

五二八九(昭七、一)

五二九〇(昭七、一)

五二九一(昭七、一)

五二九二(昭七、一)

五二九三(昭七、一)

胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

○胎兒附屬物異常

- 早期破水ノ原因及ビ其ノ分娩ニ及ボス影響ヲ述ベヨ 六二六・六二七(昭七、二)
- 早期破水及ビ延滞破水ノ分娩ニ及ボス影響並ニ其ノ處置ヲ問フ 六二七・六二八・六二九・六三〇(昭十、一)
- 早期破水ト遲滞破水ノ分娩ニ及ボス影響並ニ處置ヲ記セ 六二七・六二八・六二九・六三〇(昭十、一)
- 各種胎位ニ於ケル分娩ノ難易ニ就テ記セ 六八五(昭四、一)
- 胎兒ノ自然娩出シ能ハザル場合ヲ列舉セヨ 三七七(昭五、一)
- 遷延性横位トハ何ゾヤ並ニ其ノ處置ヲ問フ 六一六・六一七(昭五、二)
- 産道及娩出力ニ異常ナクシテ分娩ノ遷延シタル場合ニ如何ナル原因ヲ考フベキカ 六六六(昭七、一)
- 双胎分娩ノ經過及其處置ヲ記セ 六一〇四・六一〇五(昭四、二)
- 初生兒假死ノ原因及其ノ處置 六一七八・六一七九(昭二、二)
- 分娩中胎兒危險ノ徴候ニ就イテ記セ 六三六(昭五、一)
- 初生兒假死ノ原因並ニ其ノ蘇生法ニ就テ 六一七八・六一七九(昭二、二)
- 初生兒假死ノ原因及徴候 六一七八・六一七九(昭二、二)
- 過激陣痛トハ如何其ノ原因及處置ヲ記セ 六一七八・六一七九(昭二、二)

母 體 異 常

- 陣痛微弱ノ分娩各期ニ於ケル障害ヲ問フ 六三三・六三四・六三六(昭三、一)
- 陣痛微弱ヲ起スベキ諸原因ヲ舉ゲ其ノ處置ヲ述ベヨ 六三五・六三四(昭九、一)
- 微弱陣痛ノ分娩經過及處置ヲ記セ 六三八・六三四(昭三、二)
- 膀胱及直腸充滿ノ分娩ニ及ボス影響如何 六三七(昭四、一)
- 子宮破裂ノ原因及徴候ヲ記セ 六四二・六四三(昭二、二)
- 弛緩性出血ノ診斷及處置ヲ記セ 六四五・六四四(昭四、一)
- 胎盤殘留ノ處置ヲ記セ 六四六(昭三、一)
- 胎盤殘留ト云フ間ニハ、全部殘留ト一部殘留トノ意味アリ、注意スベシ
- 分娩第一期ニ於ケル出血ノ原因及産婆ノ取ルベキ處置ヲ問フ 六四〇(昭九、一)
- 後産期ニ於ケル異常出血ノ場合ヲ述ベ其ノ處置ヲ記セ 六四三・六四四(昭九、一)
- 子宮破裂ノ原因及其ノ前徴並ニ破裂症狀ヲ記セ 六四二・六四三(昭九、二)
- 胎盤殘留ノ原因及ビ處置ヲ記セ 六四二・六四三(昭九、二)
- 分娩直後ニ於ケル主ナル異常出血ノ原因ヲ舉ゲ診斷及ビ處置ヲ記セ 六四二(昭十二、二)
- 妊娠及分娩中ニ於ケル内出血ヲ起ス疾病ヲ舉ゲソノ主ナル症狀ヲ述ベヨ 六四〇(昭十二、二)

- 弛緩出血ハ如何ニ診斷スルヤ且ツ其ノ處置ヲ述ベヨ 六四五・六四四(昭十三、一)

第七集 異常産褥・補足知識

褥 婦 異 常

- 産褥時ニ於ケル異常出血ノ原因ニ就テ記セ 六四三(昭三、二)
- 産褥中ノ異常出血ノ原因及其ノ處置ヲ記セ 六四三(昭四、二)
- 産褥中ノ異常出血ノ原因及其ノ處置ヲ記セ 六四三(昭五、二)
- 産褥子宮ノ復舊不全ニ就テ記セ 七二五(昭六、二)
- 産褥熱ノ原因及其ノ豫防法ヲ述ベ尙ホ取扱ヒタル産婆ノ義務ヲ問フ 七二二・七二〇・七一九(昭八、一)
- 産褥熱ノ豫防法處置及其ノ理由ヲ説明セヨ 七二〇・七二二・七一九(昭九、一)
- 産褥中ノ異常出血ノ原因及其ノ處置ヲ記セ 七二五・七二五(昭九、一)
- 脚氣ノ妊娠分娩及産褥並ニ初生兒ニ及ボス影響ヲ記セ 七二二(昭九、一)
- 産褥熱ノ豫防處置及其ノ理由ヲ説明セヨ 七二〇・七二二・七一九(昭十、二)
- 産褥子宮ノ復舊不全ノ原因及ビ症狀 七二五・七二六(昭十一、一)
- 産褥熱ノ症候處置豫防法ヲ記セ 七二六・七二二・七一九(昭十一、二)

新産兒異常

- 乳腺炎ノ原因症狀處置如何 七一九(昭十三、一)
- 産褥熱ノ症狀及處置 七一九・七二二(昭十三、一)
- 乳兒脚氣ニ就テ知ル處ヲ記セ 七二〇(昭三、一)
- 初生兒眼瞼漏眼ニ就テ知ル處ヲ記セ 七二〇(昭三、二)
- 初生兒ニ發シ易キ疾患ノ名稱ヲ舉ゲヨ 七二〇(昭四、一)
- 驚口瘡ノ原因症狀及處置ヲ問フ 七二〇(昭六、一)
- 驚口瘡ノ原因症狀及處置ヲ記セ 七二〇(昭六、二)
- 母體ノ病氣ヨリ起ル乳兒ノ疾病ト其ノ豫防法ヲ記セ 七二〇(昭七、二)
- 初生兒眼炎、肺炎、「メレナ」ニ就テ知ル所ヲ記セ 七二二・七二四・七一九(昭九、二)
- 驚口瘡ノ原因及處置ヲ記セ 七二四(昭九、二)
- 初生兒ノ疾病ニ就テ述ベヨ 七二四(昭十、二)
- 初生兒疾患ヲ列舉シ各々其ノ處置ヲ記セヨ 七二四(昭十一、一)
- 頭産瘤ト頭血腫トノ鑑別如何 七二四(昭十一、二)
- 新産兒膿漏眼及驚口瘡ニ就テ記セ 七二四・七二五(昭十一、一)
- 新産兒ノ臍輪炎ニ就テ記セ 七二四(昭十一、二)
- 乳兒脚氣ニ就テ記セ 七二四(昭十三、一)
- 早熟兒ノ看護法ヲ記セ 七二四(昭六、一)
- 早産兒トハ如何其ノ看護方法ニ就テ記セ 七二四(昭十二、一)

〔四〕 秋 田 縣

第一集 豫備智識

○骨盤ヲ形成スル骨ノ名稱ヲ舉ゲ骨盤外計測法ニテ如何ナル箇所ヲ測定スルカ其平均距離ヲ示セ

- 卵巢ノ位置構造及作用ヲ記セ 一三三・一三六(昭三、三)
- 產婆手指ノ消毒方法ヲ述ベヨ 一三四〇(昭八、二)
- 分娩介助ニ當リテ必要ナル消毒ニ就テ記セ 一三三九(昭三、三)
- 黃體ニ就キ知ル所ヲ記セ 一三三〇(昭三、三)

第二集 正常妊娠

- 胎盤ノ構造及機能 二一五〇・二一五五(昭二、一)
- 胎盤ノ構造及生理的作用 二一五六・二一五九(昭五、三)
- 胎盤ノ構造及生理的作用 二一五六・二一五九(昭六、二)
- 羊水ノ效用ヲ問フ 二一六〇(昭三、一)
- 胎盤完成後ニ於ケル子宮ノ斷面ヲ圖解セヨ 二一五九(昭三、二)
- 羊水ニ就テ述ベヨ 二一六一(昭三、一)

- 胎兒頭蓋ノ縫合及肉門ノ名稱 二一八八(昭二、二)
- 胎兒ノ血液循環ニ就イテ記セ 二一八四(昭三、一)
- 胎兒血液循環ニ就イテ記セ 二一八四(昭六、一)
- 成熟胎兒トハ如何 二一〇七(昭七、一)
- 胎盤血行ト肺血行トノ差異ヲ問フ 二一八七(昭九、三)
- 胎盤血行ノ特徴ヲ説明セヨ 二一八八(昭三、二)
- 妊娠中ニ起リ易キ消化器系ノ障礙ヲ問フ 二一七三(昭九、二)

妊婦ノ診察

- 妊娠十ヶ月ニ於ケル各胎位ノ心音聽取部位 二一三〇(昭三、一)
- 妊娠十ヶ月各胎位ノ心音聽取部位 二一三〇(昭五、一)
- 妊婦ノ腹部聽診ニ際シ聽取シ得ル音ノ種類ヲ問フ 二一〇六(昭九、一)
- 胎兒心音ノ診斷的意義ニ就テ記セ 二一三四(昭三、一)

妊婦攝生法

- 初妊婦ト經産婦トノ鑑別 二一六一(昭二、二)
- ヘガール氏妊娠徵候 二一七三(昭三、二)
- 妊娠ノ徵候ニ就キ記セ 二一五七(昭三、二)
- 妊娠ノ確徵ヲ記セ 二一六〇(昭四、一)
- 妊娠ノ確徵ニ就イテ記セ 二一六〇(昭六、一)
- 妊娠ノ確徵ニ就イテ記セ 二一六〇(昭七、二)
- 妊娠ノ確徵半確徵ヲ説明セヨ 二一五九・二一六〇(昭八、二)
- 妊婦ノ攝生法ヲ記セ 二一五九(昭五、二)

妊婦ノ攝生法

第三集 正常分娩

- 第一後頭位ニ於ケル分娩機轉 二一〇六(昭四、二)
- 胎盤ノ剝離セル徵候ヲ記セ 二一〇六(昭八、一)
- 產瘤ニ就キ知ル處ヲ記セ 二一〇八(昭九、一)
- 陣痛ト胎兒心音トノ關係ヲ問フ 二一〇九(昭九、二)
- 產瘤ノ發生スル原因ヲ問フ 二一〇九(昭九、二)
- 胎盤剝離ノ方式ヲ問フ 二一〇九(昭十、一)
- 陣痛ノ特性ヲ問フ 二一〇九(昭十、二)
- 胎盤剝離ノ方式ヲ問フ 二一〇九(昭十、二)
- 分娩持續ノ長短ヲ生ズル原因ヲ列舉セヨ 二一〇九(昭十一、一)
- 收縮輪トハ何ゾ 二一〇九(昭十一、二)
- 收縮輪トハ何ゾ 二一〇九(昭十二、二)
- 胎盤後血腫ニ就テ知レル所ヲ記セ 二一〇九(昭十三、一)
- 腹壓ノ異常ガ分娩ニ及ボス影響ニ就テ記セ 二一〇九(昭十三、二)
- 分娩時ニ於ケル腹壓ニ就テ知レル所ヲ記セ 二一〇九(昭十三、二)
- 胎盤剝離ノ徵候ニ就テ述ベヨ 二一〇九(昭十四、一)
- 產婦内診ノ際検査スベキ事項ヲ問フ 二一〇九(昭十四、二)
- クレーデ氏點眼法 二一〇九(昭三、一)

分娩時診察

分娩取扱法

- 後産娩出ノ處置 二一〇六(昭六、一)
- 分娩第一期ノ取扱法ヲ記セ 二一〇八(昭八、一)
- クレーデ氏點眼法ニ就テ記セ 二一〇九(昭八、一)
- 開口期ニ於ケル產婦ノ取扱法ヲ述ベヨ 二一〇八(昭十、一)
- 分娩直後ニ於ケル新生兒ノ處置 二一〇七(昭三、二)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 正規産褥中ニ於ケル子宮收縮ノ状態ヲ記セ 二一〇三・二一〇四(昭八、一)
- 正規産褥ニ於ケル體溫脈搏ニ就キ知ル處ヲ記セ 二一〇六(昭八、一)
- 惡露ニ就テ知ル處ヲ記セ 二一〇七(昭九、二)
- 産褥第五日目ニ於ケル子宮ノ状態ヲ述ベヨ 二一〇五・二一〇六(昭十一、一)
- 惡露ノ種類及排泄ノ經過 二一〇〇(昭十一、二)
- 産褥ニ於ケル生殖器ノ復舊状態ヲ述ベヨ 二一〇〇(昭十二、一)
- 産褥ニ於ケル子宮ノ復舊状態ニ就イテ 二一〇一(昭十二、二)
- 正常産褥期ニ於ケル泌乳機能ニ就テ記セ 二一〇七(昭十三、一)
- 産褥ニ特有ナル分泌物ニ就テ知レル所ヲ記セ 二一〇四(昭十三、二)
- 初生兒ノ黃疸ニ就イテ 二一〇八(昭二、一)
- 初生兒黃疸ニ就キ知レル所ヲ記セ 二一〇八(昭十、一)
- 胎糞ヲ説明セヨ 二一〇九(昭十一、一)

- 膈孔ヲ説明セヨ 四〇六(昭十一、一)
- 新産兒ニ特異ナル主ナル生理的變化ニ就テ記セ 四〇八(昭十一、一)
- 新産兒ノ大便ニ就テ記セ 四〇九(昭十一、一)

産褥取扱法

- 産褥ノ攝生法ニ就テ記セ 四〇六(昭七、二)
- 産褥第一日ニ於ケル尿閉ノ原因ヲ舉ゲヨ 四〇七(昭九、一)
- 産褥ニ全身浴ヲ許ス時期ヲ問フ 四〇八(昭九、二)
- 産褥尿閉ノ處置ヲ記セ 四〇九(昭十一、二)
- 産褥ノ尿閉ノ原因及ビ處置ヲ記セ 四〇七(昭十、二)
- 正規産褥攝生法及取扱方ニ就テ述ベヨ 四〇六・四〇七(昭十一、一)

- 哺乳兒ニ用フル牛乳ノ稀釋方法ニ就テ記セ 四二〇(昭八、一)
- 人工營養ニ於ケル授乳注意事項ヲ記セ 四二二(昭八、二)
- 牛乳ト人乳トノ差異ヲ説明シ初生兒人工營養ノ注意事項ヲ述ベヨ 四二五・四二六(昭九、一)
- 牛乳ヲ以テ行フ人工營養法ニツキテ知ル處ヲ記セ 四二〇(昭十一、一)
- 乳母選定ニ必要ナル事項ヲ述ベヨ 四二七(昭十一、二)
- 離乳ノ時期及方法如何 四二六(昭十一、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 葡萄狀胎トハ如何ナルモノカ且ツ其診斷上ニ必要ナル徴候ヲ記セ 五七・五七(昭十一、一)
- 胎盤早期剝離ノ原因ニ就テ記セ 五三三(昭四、一)
- 胎盤ノ早期剝離(正シキ位置ニ附着セルモノ)ノ原因及處置 五三三・五三八(昭七、一)
- 前置胎盤ノ症狀及處置 五三〇・五三四(昭七、二)
- 前置胎盤ノ診斷ヲ問フ 五三三(昭九、二)
- 前置胎盤トハ如何ナルモノカ、且ツツノ頻度ヲ問フ 五二八(昭十、二)
- 羊水過多症ノ診斷ヲ問フ 五七三(昭十一、二)
- 胎兒異常
 - 妊娠中胎兒死亡ノ原因症狀 五七・二三五(和六、一)
 - 妊娠中胎兒死亡ノ原因及胎兒死亡後ノ運命ニ就テ記セ 五九七・五九九(昭十一、一)
 - 流産ノ原因及其ノ處置 五〇五・五二〇(昭五、一)
 - 常習性流産ヲ説明セヨ 五二〇(昭十一、一)
 - 子宮外妊娠ノ症狀及處置 五二二・五二六(昭五、二)
 - 輸卵管妊娠ノ原因並ニ經過ヲ説明セヨ 五二〇・五二五(昭八、二)
 - 輸卵管妊娠ノ原因並ニ經過ヲ記セ 五二〇・五二三(昭十、二)
 - 子宮外妊娠ノ種類原因症狀並其ノ處置ニ就テ記セ 五二八・五二四〇・五二四二・五二四六(昭十四、一)

母體性器異常

- 懸垂腹ノ原因及處置ニ就テ記セ 五二六・五二七(昭三、一)
- 妊娠子宮後屈症並ニ嵌頓症ノ症狀及診斷如何 五二七・五二八・五二九(昭九、一)
- 淋疾ハ母體及初生兒ニ如何ナル障害ヲ與フルヤ 五二九(昭九、一)

母體全身異常

- 妊娠中ニ於ケル出血ノ原因及處置 五二八・五二九(昭四、二)
- 妊娠中ノ異常出血及其ノ處置 五二八・五二九(昭六、二)
- 惡阻 五三〇(昭三、二)
- 生理的妊娠嘔吐ト惡阻トノ區別ヲ問フ 五三〇(昭十一、一)
- 妊娠腎ノ原因及ビ症狀ヲ問フ 五三〇(昭十一、一)
- 妊娠浮腫ノ原因ヲ問フ 五三〇(昭十一、二)
- 惡阻ニ就キ知ルトコロヲ記セ 五三〇(昭十一、一)
- 妊娠腎ノ原因ト經過ニ就テ記セ 五三〇(昭十一、二)
- 妊娠腎ニ就テ知レル所ヲ記セ 五三〇(昭十一、一)
- 妊娠時腎臟疾患ガ母兒ニ及ス影響ニ就テ記セ 五三〇(昭十一、二)
- 急性傳染病ガ妊娠ニ及ボス影響 五三〇(昭十一、二)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 早期破水及其ノ處置ヲ問フ 六二五・六二九(昭八、二)

胎兒異常

- 延滞破水ノ處置ヲ問フ 六三〇(昭九、一)
- 卵膜強靱ナル時ハ分娩ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤ、及之ガ處置ニ就テ記セ 六三〇・六三七(昭十一、二)
- 外廻轉術 六二八(昭三、二)
- 分娩時ニ於ケル骨盤端位ノ種類ヲ問フ 六二八(昭十一、二)
- 横位ノ種類ヲ問フ 六二八(昭十一、二)
- 横位ノ主ナル原因ヲ列舉セヨ 六二八(昭十一、二)
- 双胎妊娠ノ診斷及之ト誤診シ易キ疾病 六二五・六三三(昭十一、一)

母體異常

- 陣痛微弱ノ原因處置 六三〇五・六三四(昭十一、一)
- 微弱陣痛ノ原因及處置 六三〇五・六三四(昭四、二)
- 微弱陣痛ノ原因及處置 六三〇五・六三四(昭六、二)
- 過強陣痛ニヨリテ起ル障碍ヲ問フ 六三九(昭八、一)
- 開口期ニ於ケル陣痛微弱ノ處置ヲ記セ 六三八(昭十、二)
- 弛緩性出血ノ原因診斷及處置 六四二・六四四(昭二、一)
- 子宮破裂ノ症狀及處置 六四三・六四四(昭四、一)
- 弛緩性出血ノ原因及處置 六四三・六四四(昭五、二)
- 會陰破裂ノ處置ヲ記セ 六四三(昭八、一)
- 會陰破裂ニ就テ記セ 六四三(昭十一、二)

第七集 異常產褥・補足知識

褥婦異常

- 產褥熱ノ症狀及處置 七二六・七二二 (昭六、一)
- 產褥熱ニ就キ知ル所ヲ記セ 七一九 (昭九、一)
- 產褥熱ノ豫防上注意スベキ事項ヲ擧ゲヨ 七二〇 (昭九、二)
- 產褥熱ノ症狀ヲ問フ 七二六 (昭十、一)
- 產褥性白膜腫ノ意義 七二四 (昭十、一)
- 產褥時ニ於ケル異常出血ノ原因ト處置ニ就テ記セ 七二三・七二五 (昭十二、一)
- 產褥時ニ於ケル異常出血ノ場合ヲ述ベ其ノ處置ニ就テ述ベヨ 七二七 (昭十二、一)

新産兒異常

- 先天性梅毒ノ徴候 七二五 (昭十一、一)
- 初生兒黃疸ニ就テ記セ 七二〇 (昭十一、一)
- 先天性梅毒兒ノ特徴ニ就テ記セ 七二五 (昭三、一)
- 初生兒ニ發シ易キ疾病ノ名稱 七二三 (昭三、二)
- 初生兒ニ發生シ易キ疾病ノ名稱 七二三 (昭四、二)

- 先天性梅毒兒ノ特徴 七二五 (昭五、一)
- 初生兒ニ發シ易キ疾病ノ名稱 七二三 (昭七、一)
- 初生兒丹毒ノ原因及症狀ヲ記セ 七二〇・七二二 (昭八、一)
- 初生兒驚口瘡ノ症狀及處置ヲ問フ 七一九 (昭八、二)
- 初生兒「メレナ」ニ就キ知ル處ヲ記セ 七一九 (昭九、二)
- 初生兒膿漏眼ノ原因、並ニ其ノ豫防法ヲ問フ 七二五・七二〇 (昭十、一)
- 乳兒脚氣ノ症狀及其ノ處置ヲ問フ 七二〇・七二二 (昭十一、一)
- 初生兒「メレナ」假性「メレナ」ヲ説明セヨ 七二〇 (昭十二、一)
- 初生兒膿漏眼ニ就テ知ル處ヲ記シ且ツ豫防法ヲ述ベヨ 七二六 (昭十二、一)
- 頭血腫ハ如何ニシテ生ズルヤ 七二五 (昭十二、一)
- 初生兒メレナノ意義 七一九 (昭十二、一)
- 新生兒メレナニ就テ知ル所ヲ記セ 七二五 (昭十三、一)
- 初生兒ノ肺炎患ニ就テ記セ 七二四 (昭十三、一)
- 早熟兒ノ看護法 七二五 (昭五、一)
- 早熟嬰兒ノ看護法 七二五 (昭七、一)
- 早産兒看護上ノ注意ヲ記セ 七二二 (昭十一、一)

〔五〕 岩手縣

第一集 豫備知識

- 骨盤ノ構造及骨盤内(婦人)ニ於ケル臟器ノ名稱ヲ記セ 一三三・一三五 (昭四、一)
- 女子骨盤底ニ就テ述ベヨ 一四八 (昭七、一)
- 人體骨盤ノ構成ヲ説明シ男女ニ就キ其ノ差異ヲ述ベヨ 一三三・一三六 (昭八、二)
- 小骨盤各部ノ平面ヲ包圍スル骨線ノ名稱ヲ擧ゲヨ 一四五 (昭九、一)
- 小骨盤各部ニ於ケル徑線ノ測定點並ニ其ノ平均數ヲ記セ 一三五 (昭九、二)
- 骨盤各部ニ於ケル最大徑線ヲ有スル部分ト其ノ長サヲ記セ 一三五・一四四・一四五・一四七 (昭十、一)
- 骨盤ノ高さ及傾斜ニ就テ問フ 一三九・一四一 (昭十三、一)
- 骨盤誘導線ニ就テ問フ 一三五 (昭十三、一)
- 左記臟器ニツキ、其位置及相互ノ關係ヲ記セ 一六六 (昭二、一)
- 一、陰 二、子宮 三、輸卵管 四、卵巢
- 子宮ト膀胱及直腸トノ關係 一八三 (昭二、二)
- 子宮ノ位置構造及其ノ機能如何 一八九 (昭三、一)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ狀態

- 卵巣ノ位置構造及生理的機能ヲ記セ 一〇一・一〇二 (昭三、一)
- 女子外陰部ノ構造ニツキテ知ル處ヲ記セ 一〇五 (昭四、二)
- 輸卵管及卵巣ノ位置並ニ其ノ生理的機能 一〇三・一〇一・一〇二 (昭五、一)
- 子宮ノ位置、形狀、大サ、姿勢、構造及骨盤膜靱帶トノ關係ニ就テ述ベヨ 一〇九・一〇五 (昭六、二)
- 卵巣細胞ノ發生ト排卵後ニ於ケル變化ニ就テ 一〇八・一〇七 (昭七、一)
- 喇叭管ノ位置形狀及機能ヲ問フ 一〇七・一〇八 (昭七、二)
- 手指ノ消毒法ヲ記セ 一〇〇 (昭七、一)
- 胎盤ノ形成及其機能如何 一三五・一三四 (昭二、一)
- 卵膜ノ形成ニ就テ知レル處ヲ記セ 一三〇 (昭三、一)
- 胎兒附屬物ノ名稱性質及機能ヲ記セ 一三八 (昭八、二)
- 羊水ノ性状及效用ニ就キテ記セ 一三六・一三九 (昭九、一)
- 胎盤ノ構造及其效用ヲ述ベヨ 一三五・一三四 (昭十、一)
- 胎盤完成ノ時期 一三三 (昭十一、一)
- 胎盤ト子宮壁トノ間ニ於ケル血液循環關係 一三四 (昭十二、一)
- 胎盤正常ノ位置 一三三 (昭十三、一)

- 胎位胎向胎勢及其ノ分類ニ就テ記セ 三二二・三二四(昭四、一)
- 受精卵ヨリ初生兒ニ至ルマデノ血液循環ニ就テ記セ 三二六(昭六、一)
- 妊卵ノ子宮腔内ニ於ルケ變化ニ就テ知レル處ヲ記セ 三二七(昭七、一)
- 初生兒ノ頭蓋ヲ構成スル骨ト縫合及肉門ノ名稱ヲ記セ 三二八(昭八、一)
- 胎兒頭蓋骨ノ縫合ニ就テ問フ 三二八(昭八、一)
- 胎兒頭蓋骨ノ縫合及肉門ニ就テ説明セヨ 三二八・三二九(昭八、一)
- 胎位胎向及ビ胎勢ニ就テ説明セヨ 三三三(昭十、一)
- 妊婦ニ於ケル乳房ノ變化及診斷上ノ價値如何 三三九(昭三、一)
- 女子外陰部ノ構造及妊娠時ノ變化ニ就テ知レル處ヲ記セ 三三五・三三六(昭四、一)
- 妊婦ノ視診上注意スベキ事項及觸診法ヲ記セ 三三九(昭五、一)
- 骨盤ノ構造及外測法ヲ述ベ且ツ其ノ徑線ノ長サヲ記セヨ 三三三・三三四・三三六(昭六、一)
- 骨盤ノ各部ヲ説明シ且外徑線ノ測定法ヲ記セ 三三三・三三四(昭七、一)
- 對角結合線ニ就テ問フ 三三七(昭七、一)
- 外診上妊娠ト確定スベキ徵候如何 三三五(昭八、一)
- 妄想妊娠ニ就テ知レル處ヲ記セ 三三七(昭三、一)

妊婦ノ診察

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

- 妊娠ノ確徵及各月ニ於ケル子宮ノ大サ如何 三二〇・三二八(昭四、一)
- 外診ニ依ル妊娠時期ノ診斷法如何 三三〇(昭五、一)
- 妊娠子宮ノ大サガ其ノ月數ニ相當セザル時ハ如何ナルコトニ留意スベキカ 三三八(昭六、一)
- 最終月經ヨリ算スル分娩期日ノ推定法 三三二(昭七、一)
- 妊娠五ヶ月ニ於ケル徵候 三三二(昭七、一)
- 妊娠ノ確徵(疑徵)及不確徵トハ如何 三三六・三三九・三三〇(昭十、一)
- 妊娠各月ニ於ケル子宮ノ大サト子宮底ノ高サ及妊娠八ヶ月ト十ヶ月ノ區別ヲ記セ 三三四・三三五(昭十一、一)
- ヘガール氏徵候ニ就テ問フ 三三三(昭十一、一)
- ビスカツエツク氏徵候ニ就テ問フ 三三三(昭十一、一)
- 妊娠半確徵ヲ説明シ其診斷的價値ヲ論ゼヨ 三三九・三三〇(昭十二、一)
- 最終月經不明ノ經産婦十一月二十日ヨリ胎動ヲ自覺シ同月二十四日突然流産セリ胎兒ノ身長二十六種アリ此ノ胎兒ハ普通何日頃分娩スベキモノナリヤ 三三三・三三七(昭十三、一)
- 第二後頭位ノ分娩機轉 三三〇(昭十一、一)

- 分娩第二期ノ經過ヲ問フ 三五五(昭二、一)
- 陣痛ノ種類及其作用ニ就テ記セ 三五五(昭三、一)
- 分娩時ニ於ケル胎兒ノ變化ニ就テ記セ 三五三(昭四、一)
- 第一頭蓋位ノ分娩經過ヲ記セ 三五三(昭四、一)
- 産痛ニ就テ知レル處ヲ記セ且ツ第一後頭位ニ於ケル其ノ發生部位ヲ問フ 三三八・三三九(昭六、一)
- 陣痛ニ就テ記セ 三三九(昭七、一)
- 分娩時ニ於ケル母體ノ變化如何 三三三(昭八、一)
- 收縮輪ヲ説明セヨ 三三〇(昭八、一)
- 第一後頭位ノ分娩機轉ヲ説明セヨ 三三〇(昭七、一)
- 排露ヲ説明セヨ 三三五(昭八、一)
- 頭蓋微隆ヲ説明セヨ 三三八(昭八、一)
- 正規分娩ノ經過及其持續時間ヲ問フ 三三三・三三四(昭九、一)
- 産痛ノ診斷的價値ニ就テ説明セヨ 三三三(昭九、一)
- 後頭位ニ於ケル第二及第三廻轉ヲ説明シ且ツ後頭位分娩ノ最モ容易ナル理由ヲ記セ 三三三・三三四(昭九、一)
- 胎盤剝離ノ徵候 三三三(昭十、一)
- 分娩時診察 三三三(昭十、一)
- 外診ニヨリテ分娩進行ノ程度ヲ知ル方法 三三三(昭十、一)
- 産婆ハ内診ニヨリ如何ニシテ分娩進行程度ヲ知ルカ 三三三(昭十、一)

分娩取扱法

第四集 正常産褥 産褥ノ状態

- 會陰保護法ニ就テ記セ 三三三(昭三、一)
- 初生兒ノ沐浴及臥床ニ就テ注意スベキ事項如何 三三六・三三七(昭三、一)
- 後産娩出時ノ取扱法ニ就テ記セ 三三八(昭四、一)
- 正規分娩第一期ニ於ケル取扱法ニ就テ記セ 三三八(昭五、一)
- 正規分娩第三期ノ經過及處置ヲ問フ 三三九・三三八(昭五、一)
- 分娩第二期ニ於ケル取扱法ニ就テ記セ 三三〇(昭六、一)
- 分娩直後ニ於ケル初生兒ノ處置如何 三三六(昭八、一)
- クレデー氏法ヲ説明セヨ 三三五・三三九(昭八、一)
- 初生兒臍帶ノ處置及沐浴法ニ就テ記セ 三三六・三三九(昭九、一)
- 會陰保護法ヲ行フベキ時期 三三〇(昭十一、一)
- 臍帶ノ切断法及臍帶剪刀ノ特徴ヲ記セ 三三五(昭十一、一)
- クレデー氏胎盤壓出法ニ就テ記セ 三三五(昭十二、一)
- クレデー氏點眼法ニ就テ 三三九(昭十三、一)
- 肩胛娩出術ハ如何ナル場合ニ應用スルカ及其方法ヲ記セ 三三五・三三四(昭十三、一)
- クリステレル氏胎兒壓出法ニ就テ述ベヨ 三三六(昭十三、一)
- 破水時ノ注意 三三九(昭十四、一)
- 臍帶縮絡時ノ處置 三三〇(昭十四、一)
- 會陰保護ノ目的ト時期 三三三・三三〇(昭十四、一)

- ◎正規産褥ニ於ケル惡露ノ經過
四〇〇(昭二、一)
- ◎産褥トハ如何
四〇一(昭三、一)
- ◎正規産褥ニ於ケル全身ノ變化如何
四〇二(昭三、二)
- ◎褥瘡ニ就キ説明セヨ
四〇三(昭五、一)
- ◎正規産褥ノ體温脈搏及呼吸ニ就イテ記セ
四〇四(昭五、二)
- ◎正規産褥ニ於ケル乳汁分泌ノ状態ニ就テ記セ
四〇五(昭六、一)
- ◎産後ニ於ケル生殖器ノ變化ニ就テ注意スベキ事項ヲ記セ
四〇六(昭七、一)
- ◎正規産褥ニ於ケル子宮及陰ノ變化ニ就テ記セ
四〇七(昭八、一)
- ◎惡露ノ性状及經過ニ就テ記セ
四〇八(昭九、一)
- ◎分娩直後ヨリ一週間ニ於ケル産褥婦ノ一般状態ニ就テ記セ
四〇九(昭九、二)
- ◎産褥子宮ノ復故現象ヲ記セ
四一〇(昭九、三)
- ◎初乳トハ如何及其ノ効用
四一一(昭十、一)
- ◎惡露トハ何ゾヤ及其ノ産褥中ニ於ケル經過
四一二(昭十、二)
- ◎正規産褥婦ニ於ケル子宮復舊状態ヲ説明セヨ
四一三(昭十、三)
- ◎正規産褥婦ニ於ケル惡露ノ性状ヲ説明セヨ
四一四(昭十、四)
- ◎初産兒ニ就テ左記ヲ問フ
四一五(昭十一、一)
- (イ) 體温 (ロ) 脈搏 (ハ) 呼吸
四一六(昭十一、二)
- (ニ) 體重
四一七(昭十一、三)
- ◎産乳ニ就キ知ル所ヲ記セ
四一八(昭十一、四)

- ◎初生兒ノ啼泣及糞便ニ就テ注意スベキ事項ヲ記セ
四一九(昭三、一)
- ◎初生兒ノ生後十日以内ニ於ケル生理的變化如何
四二〇(昭五、一)
- ◎初生兒體重及其測定法ヲ問フ
四二一(昭五、二)
- ◎初生兒ノ便通及尿利ヲ問フ
四二二(昭六、一)
- ◎初生兒ノ睡眠及啼泣ヲ問フ
四二三(昭六、二)
- ◎新産兒ノ脈搏體温體重尿及大便ニ就イテ
四二四(昭六、三)
- ◎新産兒臍出血ニ就テ問フ
四二五(昭十、一)
- ◎新産兒飢餓熱ニ就テ問フ
四二六(昭十、二)
- ◎新産兒體重ノ變化ニ就テ記セ
四二七(昭十一、一)
- ◎新産兒饑餓熱ノ原因症状及處置ヲ記セ
四二八(昭十一、二)
- ◎新生兒ノ脈搏體温身長體重尿及大便ニ就テ記セ
四二九(昭十一、三)
- ◎産褥婦ノ診察ニ就テ産褥ノ注意スベキ事項如何
四三〇(昭十二、一)
- ◎産褥ノ離床シテ可ナル時期ヲ問フ
四三一(昭十二、二)
- ◎産褥ノ攝生法ヲ記セ
四三二(昭十二、三)
- ◎産褥ノ便通及尿利ニ就テ
四三三(昭十二、四)
- ◎正規産褥婦ノ攝生ニ就テ知ル處ヲ記セ
四三四(昭十三、一)
- ◎産褥經過ノ良否ヲ知ベキ條項如何
四三五(昭十三、二)
- ◎産褥婦外陰部ニ對スル處置
四三六(昭十三、三)
- ◎正常位胎盤ノ早期剝離ト前置胎盤ノ原因症状及診斷上ノ鑑別點ヲ述ベヨ
四三七(昭十、一)
- ◎常位胎盤早期剝離ノ診斷並ニ産褥ノ探ルベキ處置
四三八(昭十、二)
- ◎前置胎盤ノ定義ヲ述ベヨ
四三九(昭十一、一)
- ◎前置胎盤ノ發生機轉ヲ述ベヨ
四四〇(昭十一、二)
- ◎前置胎盤ノ妊娠中ノ症状ニ就キ述ベヨ
四四一(昭十一、三)
- ◎前置胎盤ノ分娩時母體ニ及ボス危険ヲ述ベヨ
四四二(昭十一、四)
- ◎前置胎盤ノ産褥經過ニ就テ述ベヨ
四四三(昭十二、一)
- ◎臍帶異常ニ就テ記セ
四四四(昭十二、二)
- ◎羊膜水腫ニ就テ記セ
四四五(昭十二、三)
- ◎羊水過多症ノ診斷、妊娠經過及分娩時ノ處置ヲ問フ
四四六(昭十二、四)
- ◎妊娠中胎兒死亡ノ原因徴候及處置ヲ問フ
四四七(昭十三、一)
- ◎流産並ニ早産ノ原因徴候及其ノ處置
四四八(昭十三、二)
- ◎流産ノ原因ヲ問フ
四四九(昭十三、三)
- ◎胎兒異常
四五〇(昭十三、四)
- ◎胎兒胎盤ノ後屈症ニ就テ知ル處ヲ記セ
四五一(昭十三、一)
- ◎妊娠ノ淋疾ニ就テ知ル處ヲ記セ
四五二(昭十三、二)

産褥取扱法

- ◎正規産褥婦ニ於ケル離床ノ時期ヲ説明セヨ
四三〇(昭十、一)
- ◎人工榮養法ニ就イテ
四三一(昭十一、一)
- ◎新産兒ノ啼泣及糞便ニツキ注意スベキ事項
四三二(昭十一、二)
- ◎乳兒ノ混合榮養法ニ就テ知ル處ヲ記セ
四三三(昭十一、三)
- ◎母乳榮養ノ人工榮養ニ優ル理由並ニ人工榮養上注意スベキ點ヲ問フ
四三四(昭十一、四)
- ◎新産兒體重測定法
四三五(昭十二、一)
- ◎授乳期中ニ於ケル母體ノ攝生法ニ就テ述ベヨ
四三六(昭十二、二)
- ◎生母自ラ授乳スベカラザル場合如何並ニ乳母ノ資格ニ就テ記セ
四三七(昭十二、三)
- ◎乳母ノ資格ニ就テ
四三八(昭十二、四)
- ◎授乳ニ就テ知レル處ヲ記セ
四三九(昭十三、一)
- ◎新産兒ノ人工榮養法特ニ離乳期ニ於ケル注意事項ヲ述ベヨ
四四〇(昭十三、二)
- ◎補葡狀鬼胎ニ就テ知レル處ヲ記セ
四五三(昭十四、一)
- ◎葡萄狀鬼胎ノ徴候ヲ記セ
四五四(昭十四、二)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- ◎正常位胎盤ノ早期剝離ト前置胎盤ノ原因症状及診斷上ノ鑑別點ヲ述ベヨ
四三七(昭十、一)
- ◎常位胎盤早期剝離ノ診斷並ニ産褥ノ探ルベキ處置
四三八(昭十、二)
- ◎前置胎盤ノ定義ヲ述ベヨ
四三九(昭十一、一)
- ◎前置胎盤ノ發生機轉ヲ述ベヨ
四四〇(昭十一、二)
- ◎前置胎盤ノ妊娠中ノ症状ニ就キ述ベヨ
四四一(昭十一、三)
- ◎前置胎盤ノ分娩時母體ニ及ボス危険ヲ述ベヨ
四四二(昭十一、四)
- ◎前置胎盤ノ産褥經過ニ就テ述ベヨ
四四三(昭十二、一)
- ◎臍帶異常ニ就テ記セ
四四四(昭十二、二)
- ◎羊膜水腫ニ就テ記セ
四四五(昭十二、三)
- ◎羊水過多症ノ診斷、妊娠經過及分娩時ノ處置ヲ問フ
四四六(昭十二、四)
- ◎妊娠中胎兒死亡ノ原因徴候及處置ヲ問フ
四四七(昭十三、一)
- ◎流産並ニ早産ノ原因徴候及其ノ處置
四四八(昭十三、二)
- ◎流産ノ原因ヲ問フ
四四九(昭十三、三)
- ◎胎兒異常
四五〇(昭十三、四)
- ◎胎兒胎盤ノ後屈症ニ就テ知ル處ヲ記セ
四五一(昭十三、一)
- ◎妊娠ノ淋疾ニ就テ知ル處ヲ記セ
四五二(昭十三、二)

母體性器異常

○後屈妊娠子宮ノ徵候並ニ其ノ經過ヲ問フ

五、一七三・五、一七九(昭九、二)

○妊娠子宮後屈症ノ運命如何

五、一八〇(昭十、一)

母體全身異常

○妊婦ノ浮腫ニ就テ知ル處ヲ記セ

五、二六三(昭二、三)

○妊婦ノ浮腫ニ就キ述ベヨ

五、二六三(昭六、一)

○子嗣ノ前驅症候及其處置

五、二五二・五、二五七(昭三、一)

○妊婦ノ盲腸炎ニ就キ記セ

五、三三三(昭七、二)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

○破水延滞ニ就テ知ル處ヲ記セ

六、三三(昭六、一)

○早期破水ヲ説明セヨ

六、二五(昭八、二)

○早期破水ノ原因症狀及ビ其ノ分娩ニ及ボス影響ト處置ヲ述ベヨ

六、一六・六、一五・六、一九(昭十、一)

○臍帶ノ異常ニ就イテ記セ

六、四七(昭五、一)

○羊水ノ異常ニ就イテ知ル處ヲ記セ

六、六三(昭九、一)

胎兒異常

○鎖肛及「ヘルニア」ニ就テ記セ

六、七四・六、七五(昭三、一)

○第一前頭位ノ診斷及分娩機轉如何

六、一〇四・六、一〇五(昭三、一)

○骨盤端位分娩ノ難易及小兒ノ危險ニ陥リ易キ

六、一〇四・六、一〇五(昭三、一)

理由如何

六、一六五・六、一六三(昭三、一)

○第三頭蓋位トハ如何ナル胎位ナルヤ及其分娩機轉ヲ問フ

六、二二四・六、二一七(昭四、一)

○上肢ノ下垂及脱出ヲ來シ易キ原因並ニ之ヲ來シタル場合母兒兩者ニ於ケル危險及其ノ處置ヲ問フ

六、一九五(昭五、一)

○頭部ノ深在横定位ニ就キ説明セヨ

六、九八(昭五、二)

○第一顔面位ノ分娩機轉ヲ説明セヨ

六、三三四(昭六、二)

○前頭位ノ原因診斷分娩機轉及處置ヲ記セ

六、一〇三・六、一〇四・六、一〇五・六、一〇六(昭七、二)

○足位脱出術ニ就イテ記セ

六、二六二(昭八、二)

○前頭位ノ診斷及其ノ分娩機轉ニ就テ記セ

六、一〇四・六、一〇五・六、一〇六(昭八、二)

○顔面位ノ分娩機轉ニ就イテ説明セヨ

六、三四四(昭九、一)

○骨盤位ノ分娩機轉ヲ説明シ且ツ内診上口ト肛門トノ差異ヲ記セ

六、二五九・六、二三三(昭十、一)

○前頭頂骨定位ヲ説明セヨ

六、九八(昭十、一)

○横位ノ診斷及分娩經過ヲ問フ

六、一八二・六、一八五(昭十、一)

○初生兒假死ノ原因及處置ヲ問フ

六、二七六・六、二七三(昭三、一)

○胎兒ノ假死ヲ招來シ易キ場合ニ就テ説明セヨ

六、三三五(昭五、一)

○新生兒假死處置如何

六、二二二(昭六、二)

○分娩時母體並ニ胎兒ノ危險切迫時ニ於ケル主要徵候ヲ擧ゲヨ

六、九・六、三六(昭八、二)

○新生兒ノ假死ニ對シ人工蘇生術ヲ行フ場合ニ注意スベキ事項如何

六、二二六(昭十、一)

母體異常

○微弱陣痛ノ母體ト胎兒ニ及ボス影響如何

六、二〇八(昭十、一)

○狭窄骨盤ノ種類及其ノ診斷法ヲ問フ

六、三五四・六、三五七(昭四、一)

○妊婦診察時如何ナル徵候アル場合狭窄骨盤ヲ疑フベキカ

六、三五七(昭十、一)

○子宮破裂ニツキテ記セ

六、四四〇(昭二、一)

○分娩時ニ於ケル異狀出血ノ原因ヲ問フ

六、四〇四(昭二、二)

○胎盤稽留ニ就イテ知ル處ヲ記セ

六、四四八(昭六、一)

○子宮破裂ノ前驅徵候ニ就イテ記セ

六、四四三(昭八、一)

○弛緩性出血ノ原因症狀處置及裂傷出血トノ鑑別如何

六、四四三・六、四四四・六、四四五・六、四四六(昭十、一)

第七集 異常產褥・補足知識

褥婦異常

○產褥過速早離褥ノ障礙ヲ問フ

七、六〇〇(昭二、一)

○產褥熱ノ原因症狀及豫防法如何

七、三三三・七、三三〇(昭二、二)

○產褥時ニ於ケル異常出血

七、三三三(昭三、一)

○產褥婦ニ於ケル尿瘻及尿失禁ニ就テ記セ

七、二二九(昭五、一)

○乳汁分泌ノ異常ニ就テ説明セヨ

七、一〇〇(昭五、二)

○惡露異常

七、六五(昭六、一)

○產褥熱ノ患者ヲ取扱ヒタル產婆ノ義務如何

七、三三四(昭八、一)

○產褥熱ト其豫防法及患者ノ處置ニ就テ記セ

七、三三四(昭八、一)

○產褥中發熱ノ原因トナル主ナル疾患ヲ問フ

七、四三(昭九、一)

○產褥熱ノ種類及其發生徑路ヲ述ベヨ

七、二五(昭九、二)

○惡露蓄積症ノ原因症狀及其處置ヲ問フ

七、八二・七、八三・七、八四(昭十、一)

○產褥中發熱ヲ來ス主ナル疾患ヲ擧ゲ其ノ原因ト症狀ヲ記セ

七、四四八(昭十、一)

○產褥婦ニ來ル泌尿器障害ニ就テ記セ

七、二二三(昭十、二)

○產褥熱ノ病原菌及傳染徑路ヲ述ベヨ

七、七三(昭十、一)

○產褥中異常出血ノ原因ヲ列記セヨ

七、七三(昭十、一)

○惡露蓄積症ノ原因及處置ヲ記セ

七、七三(昭十、一)

○產褥時ニ於ケル異常出血ニ就テ述ベヨ

七、七三(昭十、一)

新生兒異常

○驚口瘡ノ原因症狀及豫防法

七、一七(昭二、一)

○乳兒ニ於ケル丹毒ノ原因症狀及豫防法ヲ記セ

七、三三(昭二、一)

○初生兒ニ於ケル傳染性疾患ノ名稱及其ノ豫防法ニ就テ知レル處ヲ記セ

七、三三(昭四、一)

○初生兒ノ臍部疾患ニ就テ

七、三三(昭五、一)

○初生兒黑吐病(メレナ)ニ就テ記セ

七、一九(昭五、二)

○成熟兒分娩ニ於テ母體ニ發毒アル場合ノ兒ノ

七、一九(昭五、二)

- 榮養法ニ就テ知ル處ヲ記セ 七〇二八(昭六、一)
- 初生兒臍ヨリ傳染スル疾病ニ就テ知ル處ヲ記セ 七〇三五(昭六、一)
- 初生兒「メレナ」及丹毒ニ就テ知ル所ヲ記セ 七〇九〇・七〇九一(昭六、一)
- 新生兒敗血症ニ就テ記セ 七〇三六(昭七、一)
- 微毒性初生兒ノ徴候ニ就テ記セ 七〇五五(昭八、一)
- 初生兒ニ於ケル破傷風ニ就テ記セ 七〇三五(昭八、一)
- 初生兒ニ於ケル丹毒ニ就テ記セ 七〇三九(昭八、一)
- 頭蓋内出血ニ就テ知ル處ヲ記セ 七〇八五(昭九、一)
- 乳兒脚氣ニ就テ知ル處ヲ記セ 七〇〇六(昭九、一)
- 初生兒ノ臍疾患ヲ列舉シ其ノ症狀ヲ記セ 七〇四三(昭九、一)

- 初産兒「メレナ」及假性「メレナ」ニ就テ問フ 七〇〇〇(昭十一、一)
- 産瘤及頭血腫ニ就テ記セ 三〇八八・三〇七七(昭十一、一)
- 新産兒ノ臍ヨリ傳染スル疾病ニ就テ記セ 七〇五二(昭十一、一)
- 未熟兒ノ看護法ニ就テ記セ 七〇五九(昭八、一)
- 早産兒ノ看護法ヲ述ベヨ 七〇五九(昭十、一)
- 早産兒取扱ノ要點ニ就テ記セ 七〇六一(昭十一、一)
- 看護法及介助法
- 産瘤塞法ヲ行フベキ場合 七〇七四(昭二、一)
- 検脈及呼吸測定法ヲ問フ 七〇七〇(昭五、一)

〔六〕山形縣

第一集 豫備知識

- 大骨盤ト小骨盤トノ境界線 一〇三四(昭三、一)
- 骨盤各部ノ名稱及徑線ヲ舉ゲヨ 一〇〇〇(昭六、一)
- 骨盤上口(入口)ノ構成及其ノ徑線ヲ述ベヨ 一〇四二(昭十、一)
- 骨盤上口ノ構成及徑線 一〇四二(昭十一、一)
- 婦人骨盤内ニアル臟器ノ名稱及生理的作用ヲ

- 一〇三四(昭三、一)
- 一〇〇〇(昭六、一)
- 一〇四二(昭十、一)
- 一〇四二(昭十一、一)

- 子宮ノ位置、形狀、大サ及ビ部分の名稱 一〇九一(昭五、一)
- 子宮及子宮腔各部ノ名稱ヲ舉ゲ且此レヲ説明セヨ 一〇九一(昭七、一)
- 卵巢ノ位置形狀及構造ヲ述ベヨ 一〇〇一(昭八、一)
- 子宮ノ位置構造部分の名稱ヲ記セ 一〇九一・一〇九二(昭八、一)
- 卵巢ノ位置形狀及構造ヲ述ベヨ 一〇〇一(昭九、一)
- 乳房ノ構造及ビ作用ヲ記セ 一〇七三(昭十一、一)
- 手指ノ消毒法ヲ詳細ニ述ベヨ 一〇四〇(昭十、一)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 胎盤完成ノ時期 二〇七〇(昭三、一)
- 羊水ノ必要ナル理由ヲ問フ 二〇六九(昭五、一)
- 胎盤ノ構造及ビ生理的作用ヲ記セ 二〇六六・二〇六七(昭六、一)
- 臍帯ニ就テ記セ 二〇五〇(昭八、一)
- 胎盤ニ就テ記セ 二〇三三(昭八、一)
- 羊水ニ就テ記セ 二〇六六(昭九、一)
- 卵膜ニツイテ記セ 二〇四〇(昭十、一)
- 羊水トハ如何其效用ヲ問フ 二〇六九(昭十一、一)
- 胎盤ノ構造及機能ヲ述ベヨ 二〇六六・二〇六七(昭十一、一)
- 成熟胎兒ノ頭蓋ヲ構成スル骨ノ名稱結合及肉門ノ種類ヲ記セ 二〇八八(昭七、一)
- 正規ノ胎勢ヲ説明セヨ 二〇二七(昭七、一)
- 妊娠ニヨリテ起ル子宮内膜ノ變化ニ就テ記セ 二〇一五(昭十一、一)
- 妊娠線ニ就テ説明セヨ 二〇一七(昭十一、一)
- 妊婦ニ於ケル乳房並ニ皮膚ノ變化ヲ問フ 二〇一五・二〇一四(昭十一、一)
- 骨盤外計測法 二〇一四(昭十一、一)

〔六〕山形縣

妊婦ノ診察

- 二〇一五・二〇一四(昭十一、一)
- 二〇一七(昭十一、一)
- 二〇一五(昭十一、一)
- 二〇一四(昭十一、一)

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

- 第五腰椎ノ棘状突起ノ位置測定法 二〇三三(昭三、一)
- 妊婦ノ腹部ニ於テ聴診上聴取シ得ル音ノ種類及其ノ大體ノ鑑別ニ就テ述ベヨ 二〇二九(昭七、一)
- 骨盤外計測法ヲ記セ 二〇三三(昭九、一)
- 内診ニ就イテノ注意並ニ検査スベキ事項ヲ記セ 二〇三三・二〇三四(昭十、一)
- 妊娠八ヶ月ト十ヶ月ノ鑑別法 二〇二五(昭二、一)
- 妊娠持續日數 二〇四〇(昭三、一)
- 胎動初感ノ時期 二〇二〇(昭三、一)
- 外診上妊娠タルコトヲ確診スル徴候ヲ記セ 二〇二五(昭三、一)
- 妊娠中胎兒死亡セル時ノ徴候ヲ記セ 二〇三三(昭五、一)
- 妊娠ノ半確徵及確徵ヲ記セ 二〇二九・二〇三〇(昭六、一)
- 妊娠中ノ半確徵(疑徵)トハ如何 二〇二九(昭九、一)
- 妊娠中胎兒ノ死亡セル時ノ徴候如何 二〇三三(昭九、一)
- ヘガール氏妊娠徴候ヲ説明セヨ 二〇二七(昭十、一)
- 想像妊娠ヲ説明セヨ 二〇二七(昭十、一)
- 妊娠ト確定シ得ル徴候ヲ問フ 二〇二六(昭十、一)
- ヘガール氏妊娠徴候ヲ説明セヨ 二〇二五(昭十一、一)
- 正規分娩時ニ於ケル胎盤剝離ノ徴候ヲ記セヨ 二〇三三(昭三、一)

- 分娩第三期ヲ説明セヨ 三〇五 (昭五、一)
- 娩出力ニ就イテ述ベヨ 三〇三 (昭六、一)
- 第一後頭位ノ分娩機轉ヲ説明セヨ 三〇二 (昭七、一)
- 分娩第一期(開口期)ヲ説明セヨ 三〇一 (昭八、一)
- 分娩期ヲ説明セヨ 三〇〇 (昭八、一)
- 陣痛トハ如何 三〇〇 (昭九、一)
- 娩出力ニ就テ知ル處ヲ記セ 三〇〇 (昭十、一)
- 産瘤ニ就テ述ベヨ 三〇〇 (昭十一、一)
- 分娩第二期ノ經過ヲ記セ 三〇〇 (昭十二、一)
- 分娩開始ノ徴候ニ就テ 三〇〇 (昭十三、一)
- 正規分娩第二期ヲ説明セヨ 三〇〇 (昭十四、一)
- 分娩ノ前後ヲ如何ニシテ知ルヤ詳細ニ説明セヨ 三〇〇 (昭十五、一)
- 分娩開始ノ徴候及其ノ處置ヲ問フ 三〇〇 (昭十六、一)
- 分娩第一期ニ於ケル處置ヲ問フ 三〇〇 (昭十七、一)
- 沐浴ニ就テ問フ 三〇〇 (昭十八、一)
- 分娩直後ノ母體ニ對スル取扱法ヲ記セ 三〇〇 (昭十九、一)
- 臍帶結紮法及其ノ斷端ノ處置ヲ記セ 三〇〇 (昭二十、一)
- クレーデル氏點眼法ヲ詳細ニ述ベ且其ノ目的ト注意スベキ事項ヲ記セ 三〇〇 (昭二十一、一)
- 正規分娩第一期ニ於ケル産婦ノ處置如何 三〇〇 (昭二十二、一)
- 排出胎盤ノ完否ヲ如何ニシテ知ルヤ詳細ニ説 三〇〇 (昭二十三、一)

明セヨ

第四集 正常産褥

産褥状態

- 産褥中注意スベキ諸件 三〇〇 (昭三、一)
- 産褥ノ外陰部ニ對スル處置ヲ問フ 三〇〇 (昭四、一)
- 産褥ノ養生法ヲ記セ 三〇〇 (昭五、一)
- 正規産褥ノ經過並ニ其ノ看護上ノ注意事項ヲ記セ 三〇〇 (昭六、一)
- 産褥入浴ニ差シ支ナキ時期 三〇〇 (昭七、一)
- 産褥ニ常食ヲ與ヘテ差シ支ナキ時期 三〇〇 (昭八、一)
- 授乳ノ方法如何 三〇〇 (昭九、一)
- 初乳ニ就テ説明セヨ 三〇〇 (昭十、一)
- 惡露ニ就テ述ベヨ 三〇〇 (昭十一、一)
- 惡露ニ就テ記セ 三〇〇 (昭十二、一)
- 産褥ノ子宮全復舊ノ時期 三〇〇 (昭十三、一)
- 産褥惡露消失ノ時期 三〇〇 (昭十四、一)
- 産褥乳汁分泌ノ始マル時期 三〇〇 (昭十五、一)
- 産褥脱落ノ時期ヲ説明セヨ 三〇〇 (昭十六、一)
- 産褥中注意スベキ諸件 三〇〇 (昭十七、一)
- 産褥ノ外陰部ニ對スル處置ヲ問フ 三〇〇 (昭十八、一)
- 産褥ノ養生法ヲ記セ 三〇〇 (昭十九、一)
- 正規産褥ノ經過並ニ其ノ看護上ノ注意事項ヲ記セ 三〇〇 (昭二十、一)
- 産褥入浴ニ差シ支ナキ時期 三〇〇 (昭二十一、一)
- 産褥ニ常食ヲ與ヘテ差シ支ナキ時期 三〇〇 (昭二十二、一)
- 授乳ノ方法如何 三〇〇 (昭二十三、一)

分娩取扱法

- 分娩開始ノ徴候及其ノ處置ヲ問フ 三〇〇 (昭十六、一)
- 分娩第一期ニ於ケル處置ヲ問フ 三〇〇 (昭十七、一)
- 沐浴ニ就テ問フ 三〇〇 (昭十八、一)
- 分娩直後ノ母體ニ對スル取扱法ヲ記セ 三〇〇 (昭十九、一)
- 臍帶結紮法及其ノ斷端ノ處置ヲ記セ 三〇〇 (昭二十、一)
- クレーデル氏點眼法ヲ詳細ニ述ベ且其ノ目的ト注意スベキ事項ヲ記セ 三〇〇 (昭二十一、一)
- 正規分娩第一期ニ於ケル産婦ノ處置如何 三〇〇 (昭二十二、一)
- 排出胎盤ノ完否ヲ如何ニシテ知ルヤ詳細ニ説 三〇〇 (昭二十三、一)

- 授乳ノ方法如何 三〇〇 (昭九、一)
- 新産兒人工養法ニ就テ記セ 三〇〇 (昭十、一)
- 母乳ト牛乳トノ比較及母乳ヲ與フベカラザル場合ヲ記セ 三〇〇 (昭十一、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 胎盤早期剝離ノ症状及其ノ原因ヲ問フ 五〇五 (昭十、一)
- 羊水過多症(羊膜水腫)ノ症状並ニ産婆ノ注意スベキ事項ヲ記セ 五〇三 (昭八、一)
- 妊娠中死亡セル胎兒ハ如何ナル經過ヲトルヤ 五〇二 (昭九、一)
- 流産早産ノ原因及處置ヲ述ベヨ 五〇一 (昭六、一)
- 早産ト流産トノ別ヲ説明セヨ 五〇〇 (昭七、一)
- 子宮外妊娠ノ種類徴候及豫後ニ就テ記セ 五〇〇 (昭八、一)
- 惡阻ノ症状並ニ處置ヲ問フ 五〇〇 (昭七、一)
- 惡阻ノ症状及處置ヲ問フ 五〇〇 (昭九、一)
- 妊娠腎ニ就テ記セ 五〇〇 (昭十、一)
- 妊娠中ニ發スル浮腫ノ原因ヲ問フ 五〇〇 (昭十一、一)

母體全身異常

- 惡阻ノ症状並ニ處置ヲ問フ 五〇〇 (昭七、一)
- 惡阻ノ症状及處置ヲ問フ 五〇〇 (昭九、一)
- 妊娠腎ニ就テ記セ 五〇〇 (昭十、一)
- 妊娠中ニ發スル浮腫ノ原因ヲ問フ 五〇〇 (昭十一、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 胎盤經絡ノ障害及ビ其ノ處置ヲ記セ 三〇〇 (昭六、一)
- 臍帶脫出ノ原因及處置ヲ説明セヨ 三〇〇 (昭八、一)
- 臍帶經絡ニ就テ記セ 三〇〇 (昭九、一)
- 第一臀位ノ診斷ニ就テ記セ 三〇〇 (昭七、一)
- 横位ノ徴候及處置ニ就テ記セ 三〇〇 (昭十、一)
- 双胎兒妊娠ノ主徴候及其取扱法ヲ記セ 三〇〇 (昭十一、一)
- 双胎妊娠ノ徴候ヲ記セ 三〇〇 (昭十二、一)
- 分娩中死亡セル胎兒ノ症状並ニ其ノ處置如何 三〇〇 (昭十三、一)
- 分娩中胎兒危險ノ徴候及處置如何 三〇〇 (昭十四、一)
- 分娩中胎兒危險ノ徴候並ニ其ノ處置ヲ述ベヨ 三〇〇 (昭十五、一)
- 微弱陣痛ニ對スル處置ヲ問フ 三〇〇 (昭十六、一)

母體異常

- 微弱陣痛ニ對スル處置ヲ問フ 三〇〇 (昭十六、一)

- 陣痛微弱ノ原因及症候ヲ記セ 六〇五・六〇六(昭十二、一)
- 狭窄骨盤ノ分娩ニ對スル影響如何 六〇七(昭五、一)
- 分娩ト膀胱、直腸トノ關係ヲ記セ 六〇七(昭五、一)
- 後産期子宮出血ニ就テ説明シ處置ヲ記セ 六〇三・六〇四(昭三、一)
- 會陰破裂ノ原因及種別ヲ記セ 六〇七・六〇八(昭八、一)
- 胎盤遺殘ノ症狀及其ノ處置問フ 六〇八・六〇九(昭九、一)
- 胎盤ノ自然娩出不能及症狀及處置ニ就テ 六〇三・六〇四(昭三、一)
- 分娩時異常出血ノ症狀ヲ問フ 六〇三(昭七、一)

- 産褥熱ノ原因症狀及豫防法ヲ記セ 七〇三・七〇四(昭八、一)
 - 産褥中ノ異常出血ノ原因及其ノ處置ヲ問フ 七〇三・七〇四(昭八、一)
 - 惡露蓄積症ノ原因及處置ヲ問フ 七〇三・七〇四(昭八、一)
 - 初生兒及梅毒ニ發シ易キ疾病ノ名稱及豫防法ヲ記セ 七〇三・七〇四(昭八、一)
- 新産兒異常
- 初生兒ニ最モ發シ易キ疾病ニ就テ記セ 七〇三(昭三、一)
 - 乳兒脚氣並ニ初生兒破傷風ニ就テ記セ 七〇三・七〇四(昭七、一)
 - 初生兒ニ起リ易キ眼疾患ニ就テ記セ 七〇三(昭八、一)
 - 乳兒脚氣ニ就テ述ベヨ 七〇三(昭九、一)
 - 遺傳梅毒兒ノ症狀ヲ問フ 七〇三(昭九、一)
 - 初生兒黃疸ニ就テ記セ 七〇三(昭十、一)
 - 新産兒ニ發シ易キ傳染病ノ名稱及其豫防方法 七〇三(昭十、一)
 - 産褥ト頭血腫トノ區別ヲ記セ 七〇三(昭十、一)

〔七〕宮城縣

第一集 豫備知識

○産婆ハ如何ナル業務ナルヤ、尙其ノ權限ニ就

- 女性骨盤ニ就テ略圖ヲ記シ各骨ノ名稱ヲ記セ 一〇六(昭二、一)
- 男女骨盤ノ差異點ヲ記セ 一〇六(昭二、一)
- 骨盤外計測法ニ依ル各線ノ距離ヲ問フ 一〇六(昭五、一)

- 骨盤腔内ニ在ル諸器官ノ名稱並ニ相互ノ位置ヲ述ベヨ 一〇二(昭六、一)
- 外結合線ヲ説明セヨ 一〇六・一〇七(昭七、一)
- 骨盤ノ位置形狀構成並ニ聯接及入口(上口)ノ各徑線ヲ記セ 一〇〇・一〇一・一〇二(昭八、一)
- 小骨盤各部ノ名稱並ニ其ノ最大徑線ニ就テ記セ 一〇二(昭五、一)

- 胎盤ノ形成構造並ニ效用ヲ記セ 一〇三・一〇四(昭十二、一)
- 羊水ノ性状並ニ效用ヲ記セ 一〇三・一〇四(昭十二、一)
- 胎盤血行ト肺臟血行トノ差異如何 一〇三(昭三、一)
- 胎盤形成後ノ胎兒ノ血行ニ就テ記セ 一〇三(昭十二、一)

妊婦ノ診察

- 月經ニ伴フ症狀 一〇四(昭三、一)
- 月經ニ伴フ症狀 一〇四(昭三、一)
- 卵巢ノ位置、形狀並ニ其ノ機能 一〇一(昭六、一)
- 排卵機能ト妊娠トノ關係 一〇三(昭八、一)
- 排卵機能ト妊娠トノ關係ニ就テ記セ 一〇三(昭十、一)

- 妊婦ノ腹部ニ於テ聴取シ得ベキ音ニ就テ 一〇九(昭七、一)
- 妊婦ノ視診及觸診ニテ知リ得ベキ事項ヲ記セ 一〇九(昭七、一)
- ミハエリス氏菱形窩ヲ説明セヨ 一〇三(昭十、一)
- 妊婦腹部ニ於テ聴取シ得ベキ音及ビ其ノ音ノ特徴並ニ意義ニ就テ記セ 一〇三(昭十、一)
- 妊婦腹部ニ於テ聴取シ得ベキ音ノ種類特徴原因並ニ聴取シ得ベキ事項ヲ記セ 一〇三(昭十、一)

第二集 正常妊娠 妊娠ノ状態

- 羊水ノ效用 一〇九(昭二、一)
- 胎盤ニ就テ知ル處ヲ記セ 一〇三(昭二、一)
- 胎盤ノ構造及機能 一〇三・一〇四(昭五、一)
- 羊水ノ性状及效用 一〇三・一〇四(昭六、一)
- 卵膜ニ就テ知ル處ヲ記セ 一〇三(昭七、一)
- 羊水ノ性状並ニ效用ヲ記セ 一〇三・一〇四(昭九、一)
- 胎盤ノ形成構造並ニ機能ヲ記セ 一〇三・一〇四(昭九、一)

- 初妊ト經産トノ鑑別 一〇三(昭二、一)
- 妊娠三ヶ月ニ於ケル内診所見ヲ問フ 一〇三(昭三、一)
- 初妊ト經産トノ鑑別ヲ問フ 一〇三(昭四、一)
- 妊娠ノ確徵ヲ記セ 一〇三(昭六、一)
- ハガール氏ノ妊娠徵候ヲ説明セヨ 一〇三(昭七、一)
- 妊婦診察ノ結果正規分娩ヲ爲シ得ベキモノト認ムル状態ヲ記セ 一〇三(昭七、一)
- 左記妊娠徵候ヲ分類セヨ 一〇三(昭十、一)

閉止

(昭三三・昭三六)(昭三三、二)

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

- 後産期ニ就イテ (昭三三・昭三六・昭三九)(昭三三、二)
- 分娩経過ノ時期ヲ問フ (昭三三)(昭四、一)
- 分娩開始ノ徴候 (昭三六)(昭五、一)
- 娩出力トハ何ゾ並ニ其ノ成因ヲ問フ (昭三七)(昭六、二)
- 收縮輪ヲ説明セヨ (昭三〇)(昭七、二)
- 成熟胎兒ノ自然分娩ヲ遂ゲ得ザル場合ヲ記セ (昭三七)(昭七、二)
- 胎盤剝離ノ時期並ニ徴候ヲ記セ (昭三六・昭三六)(昭八、二)
- 分娩ト腹壓トノ關係ヲ記セ (昭三六)(昭九、一)
- 前羊水ヲ説明セヨ (昭三六)(昭十、一)
- 戦慄陣痛ヲ説明セヨ (昭三六)(昭十、一)
- 卵胞ニ就イテ知ル所ヲ記セ (昭三六)(昭十、一)
- 收縮輪ヲ説明セヨ (昭三六)(昭十、一)
- 産褥ヲ説明セヨ (昭三六)(昭十、一)
- 分娩時ニ於ケル兒頭ノ變化ニ就テ記セ (昭三六)(昭十、一)
- 分娩ト腹壓トノ關係並ニ其ノ必要ナル時期ト禁ズベキ時期ヲ記セ (昭三三)(昭十、一)
- 陣痛ニ就テ知レル所ヲ記セ (昭三九)(昭十、一)
- 後頭位分娩第二期ノ経過ヲ記セ (昭三五)(昭十、一)

分娩時診察

三六

分娩取扱法

- 子宮口全開大ヲ知り得ル徴候ヲ説明セヨ (昭三四)(昭七、二)
- 初生兒沐浴ニ就キ注意スベキ點如何 (昭三七)(昭四、一)
- 後産期ニ於ケル産婆ノ處置ヲ述ベヨ (昭三六)(昭五、二)
- 後産期ニ於テ注意スベキ事項ヲ記セ (昭三四)(昭六、一)
- 分娩各期ニ於テ産婦ニ對シ與フベキ心得如何 (昭三六)(昭八、一)
- 分娩第一期トハ如何ナル時期ナリヤ、尙コノ時期ニ於テ注意スベキ事項並ニ處置ヲ記セ (昭三六・昭三六)(昭九、二)
- 臍帶斷端ノ處置 (昭三六)(昭十、一)
- 分娩第二期ニ於ケル處置ノ事項ヲ記セ (昭三六)(昭十、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 後陣痛トハ如何 (昭三三)(昭二、二)
- 正規産褥ノ経過ヲ問フ (昭三六)(昭三、一)
- 後陣痛ニ就テ記セ (昭三三)(昭三、一)
- 産褥期ニ於ケル子宮ノ變化並ニ惡露ニ就イテ述ベヨ (昭三三・昭三三)(昭五、二)
- 産褥第五日ノ子宮底ノ位置ヲ説明セヨ (昭三三)(昭七、二)
- 惡露消失ノ時期ヲ説明セヨ (昭三五)(昭七、二)

- 産褥第一週目ニ於ケル子宮ノ状態及惡露ノ性狀ヲ記セ (昭三五・昭三六)(昭八、二)
- 産褥ニ於ケル子宮復舊ノ狀況ヲ詳述セヨ (昭三三)(昭九、二)
- 惡露ニ就イテ知ル所ヲ記セ (昭三七)(昭十、一)
- 初乳ニ就テ記セ (昭三三)(昭十、一)
- 産褥子宮腹壁上ヨリ觸知シ得ザル時期 (昭三三)(昭十、二)
- 産褥第七日目ニ於ケル惡露ノ狀況 (昭三三)(昭十、二)
- 正規産褥ニ於ケル子宮復舊ト惡露ノ狀況ヲ記セ (昭三三・昭三三)(昭十、二)
- 正規産褥ニ於ケル子宮ノ變化並ニ惡露ニ就テ記セ (昭三三・昭三三)(昭十、二)
- 新生兒ノ體重變化ヲ問フ (昭三五)(昭三、二)
- 初生兒黃疸ニ就テ (昭三五)(昭三、二)
- 臍帶脱落ノ時期並ニ處置ヲ記セ (昭三三・昭三三・昭三七)(昭十、二)
- 新産兒ノ正常ナル發育ヲ成シツ、アル徴候ヲ記セ (昭三三)(昭十、二)

産褥取扱法

- 産褥ノ攝生法ニ就テ記セ (昭三六)(昭二、二)
- 産褥ノ處置並ニ看護法 (昭三七)(昭五、二)
- 産褥第一週ニ於ケル處置並ニ看護上ノ注意ヲ記セ (昭三五・昭三三・昭三三)(昭七、二)
- 分娩後入浴離床ノ時期ヲ説明セヨ (昭三三・昭三三)(昭七、二)

産褥ノ飲食物ハ如何ニスベキヤ

- 産褥ノ飲食物ハ如何ニスベキヤ (昭三八)(昭八、二)
- 産褥第一週目ニ於ケル看護上ノ注意ヲ記セ (昭三三)(昭八、二)
- 産褥ノ尿閉ノ原因及其處置ヲ記セ (昭三三)(昭九、二)
- 正規産褥ノ離床時期並ニ入浴ノ時期ヲ記セ (昭三七)(昭十、二)
- 産褥ニ於ケル排尿排便ニ就テノ看護法ヲ記セ (昭三三・昭三三)(昭十、二)
- 産褥ニ於ケル外陰部ノ處置並ニ排尿排便ニ就テノ看護法ヲ記セ (昭三三・昭三三・昭三三)(昭十、二)
- 産褥ノ飲食物ハ如何ニスベキヤ具體的ニ記セ (昭三三)(昭十、二)
- 産褥中注意スベキ事項ヲ記セ (昭三七)(昭十、二)
- 産褥就褥ノ期間及早期離床ノ利害ニ就テ記セ (昭三七)(昭十、二)
- 産褥ノ徴候並ニ處置ニ就テ記セ (昭三七)(昭十、二)
- 産褥第一週ニ於ケル産褥ノ處置並ニ看護法ヲ記セ (昭三五)(昭十、二)
- 初生兒ノ取扱法 (昭三三)(昭三、二)
- 乳母ノ選擇ヲ如何ニスベキヤ (昭三七)(昭五、二)
- 初生兒ノ人工榮養法ヲ問フ (昭三三)(昭六、二)
- 初生兒第一週ニ於テ人工榮養トシテ牛乳ヲ用フル場合ノ稱量法ト一回ノ分量ヲ説明セヨ (昭三六)(昭七、二)

- 産褥中に於ケル乳房ノ變化並ニ授乳ニ就テ
四ノ七・四ノ三四(昭九、一)
- 授乳ニ就テ記セ
四ノ三四(昭十、一)
- 臍帶脱落ノ時期並ニ處置
四ノ二六(昭十、一)
- 母乳栄養ノ人工栄養ニ優ル理由並ニ授乳法ヲ
記セ
四ノ三〇・四ノ三五(昭十一、一)
- 乳汁分泌ヲ多クスル法
四ノ三五(昭十一、一)
- 新生兒ノ取扱法ニ就テ記セ
四ノ二九(昭十二、一)
- 乳母ノ選擇ニ就テ記セ
四ノ二五(昭十二、一)

第五集 異常妊娠

- 妊娠中に來リ易キ妊婦ノ疾病ヲ列舉セヨ
五ノ三〇(昭三、一)
- 胎兒附屬物異常
 - 葡萄狀胎ニ就テ識ルトコロヲ記セ
五ノ六(昭六、一)
 - 胎狀鬼胎妊娠ノ徵候及診斷法ヲ記セ
五ノ三・五ノ七(昭十、一)
 - 前置胎盤ノ種別及徵候
五ノ七・五ノ三〇(昭五、一)
 - 胎盤ノ早期剝離ノ原因及徵候
五ノ三・五ノ三三(昭五、一)
 - 前置胎盤ノ徵候並ニ處置ヲ記セ
五ノ三〇・五ノ三四(昭九、一)
 - 前置胎盤ト胎盤早期剝離トノ鑑別及處置ヲ記セ
五ノ四・五ノ四・五ノ四・五ノ五(昭七、一)
 - 正常位胎盤早期剝離ト前置胎盤トノ鑑別ヲ記セ
五ノ四(昭十二、一)
 - 羊水過多ノ妊娠分娩ニ及ボス影響如何
五ノ七(昭四、一)

- 羊水過多ノ妊娠分娩ニ及ボス影響
五ノ七(昭五、一)
- 羊水過多症ノ診斷並ニ妊娠及分娩ニ及ボス影響ヲ記セ
五ノ七三・五ノ七六(昭十、一)
- 羊水過多症ノ診斷及分娩ニ及ボス影響ヲ記セ
五ノ七三・五ノ七六(昭十、一)

胎兒異常

- 早産ト流産ノ原因ヲ問フ
五ノ一〇五(昭四、一)
- 流産ノ原因
五ノ一〇四(昭五、一)
- 妊娠早期中絶ノ原因並ニ其ノ處置
五ノ一〇三・五ノ一〇〇(昭六、一)
- 子宮外妊娠及其徵候並ニ産婆トシテ爲スベキ處置如何
五ノ一〇二・五ノ一〇一(昭二、一)
- 子宮外妊娠ノ原因及徵候
五ノ一〇二・五ノ一〇一(昭二、一)
- 子宮外妊娠ノ徵候並ニ處置
五ノ一〇四・五ノ一〇四(昭五、一)
- 妊娠後半期ノ出血ノ原因及ビ其ノ徵候ヲ記セ
五ノ一〇三(昭十、一)
- 花柳病ト妊娠トノ關係ニ就テ記セ
五ノ一〇六(昭十一、一)
- 母體全身異常
 - 妊婦ノ下肢ニ來ル浮腫ノ原因並ニ處置
五ノ九二(昭三、一)
 - 妊娠ニ依リテ起ル疾病ノ名稱ヲ記セ
五ノ九三(昭三、一)
 - 子癩ト鑑別ス可キ疾病ヲ問フ
五ノ九五(昭三、一)
 - 妊娠時浮腫ノ原因ヲ記セ
五ノ九三(昭三、一)
 - 妊娠惡阻ノ處置法如何
五ノ九二(昭四、一)

- 妊娠浮腫ノ原因並ニ其ノ處置
五ノ二六・五ノ二九(昭六、一)
- 妊娠中注意スベキ主ナル母體ノ疾患三種ヲ舉
ゲ且ツ妊娠トノ關係ヲ説明セヨ
五ノ三五(昭八、一)
- 妊娠ニ於ケル浮腫ノ原因並ニ處置ヲ記セ
五ノ二三・五ノ二九(昭九、一)
- 子癩ノ原因症狀及ビ處置ヲ記セ
五ノ二〇・五ノ二七(昭七、一)
- 妊婦ノ浮腫ニ就テ記セ
五ノ二二(昭七、一)
- 妊婦浮腫ヲ起ス疾病ヲ舉ゲ其ノ處置ヲ記セ
五ノ二三・五ノ二六(昭十四、一)

第六集 異常分娩

- 分娩遲延ヲ來スベキ原因及其ノ處置ヲ記セ
六ノ七・六ノ八(昭七、一)
- 胎兒附屬物異常
 - 早期破水ノ原因及之ニ因リテ起ル分娩ノ障礙並ニ其ノ處置
六ノ六・六ノ七・六ノ九(昭八、一)
 - 早期破水ノ原因症狀及ビ處置ヲ記セ
六ノ六・六ノ五・六ノ九(昭十一、一)
 - 臍帶ノ異常ヲ列記セヨ
六ノ四七(昭三、一)
 - 臍帶脱出ノ原因ニ就イテ記セ
六ノ五(昭五、一)
 - 臍帶脱出ノ所見並ニ之レガ處置ヲ記セ
六ノ四・六ノ五(昭十、一)

胎兒異常

- 第二骨盤端位ノ兒心音聽取部位ヲ説明セヨ
六ノ二五〇(昭七、一)
- 各頭位ニ於ケル分娩ニ際シ最初恥骨弓下ニ現
ハル胎兒ノ部位ヲ記セ
六ノ七(昭十一、一)
- 一卵性ト二卵性双胎トハ如何ニシテ區別シ得
ベキヤ尙双胎分娩時ノ取扱ニ就キ注意スベキ
事項ヲ記セ
六ノ一〇一・六ノ一〇二(昭八、一)
- 双胎分娩ノ障礙及處置ニ就テ記セ
六ノ一〇三・六ノ一〇六(昭十一、一)
- 双胎妊娠ノ徵候ヲ記セ
六ノ一〇三(昭十一、一)
- 初生兒假死ノ取扱法處置
六ノ二二(昭二、一)
- 初生兒假死ノ處置
六ノ二二(昭四、一)
- 初生兒假死ノ原因ヲ列記セヨ
六ノ二八(昭十一、一)
- 母體異常
 - 微弱陣痛ノ原因
六ノ三〇五(昭二、一)
 - 痙攣性陣痛ニ對スル處置
六ノ三〇六(昭三、一)
 - 陣痛微弱ノ原因
六ノ三〇五(昭六、一)
 - 陣痛微弱ノ症狀及母兒ニ及ボス影響ヲ記セ
六ノ三〇九・六ノ三〇八(昭十、一)
 - 分娩第二期ニ於ケル陣痛微弱ニ對スル處置ヲ
記セ
六ノ三九(昭十一、一)
 - 狭窄骨盤トハ如何且ツ其ノ分娩ニ及ボス影響
ヲ記セ
六ノ三五九・六ノ三五五(昭十一、一)

- 會陰破裂ノ原因 六四七(昭二、一)
- 弛緩性出血トハ何ゾ及共ノ原因ヲ問フ 六四五・六四一(昭六、一)
- 分娩第三期ニ於ケル異常出血ノ原因及處置ヲ記セ 六四三・六四四(昭七、二)
- 弛緩性出血トハ何ゾヤ及其ノ原因並ニ處置ヲ記セ 六四五・六四五・六四五(昭八、二)
- 子宮破裂ノ原因及徵候ヲ記セ 六四二・六四三(昭八、二)
- 胎盤ノ娩出遅延ノ原因並ニ處置ヲ記セ 六四八・六四五・六四五(昭九、一)
- 分娩後出血多量ナル場合ハ如何ナル原因ニヨルカ其ノ處置ヲ問フ 六四七・六四七(昭十、二)
- 弛緩性出血ノ原因徵候並ニ處置ヲ記セ 六四五・六四五・六四五(昭十、二)
- 第三期出血ノ原因並ニ應急處置ヲ記セ 六四二・六四四(昭十、二)
- 弛緩性出血ノ原因及處置ニ就テ記セ 六四五・六四五(昭十、二)

第七集 異常産褥・補足知識

褥婦異常

- 産褥期ニ於ケル膀胱直腸障害ニ就テ述ベヨ 七二六(昭二、一)
- 子宮復舊不全ノ原因ヲ問フ 七五五(昭二、二)
- 産褥中子宮出血ノ原因ヲ記セ 七三三(昭四、一)
- 産褥熱ノ看護法並ニ豫防法ヲ述ベヨ 七三六・七三六(昭五、三)
- 乳房炎ノ症状及其ノ處置ヲ問フ 七四〇・七四〇(昭六、一)
- 子宮復舊不全ノ原因並ニ其ノ處置 七五五・七五五(昭六、二)
- 産褥ニ於ケル異常出血ノ原因ヲ説明セヨ 七五五(昭七、一)
- 子宮復舊不全ノ原因症状並ニ處置ヲ記セ 七五五・七五五・七五五(昭九、一)
- 産褥熱ノ原因症状ノ大要並ニ注意スベキ事項ヲ記セ 七二二・七二六・七二四(昭十、二)
- 褥婦ノ乳房疾患ニ就テ記セ 七九〇(昭十、二)
- 産褥熱ノ原因症状並ニ豫防法ヲ記セ 七二二・七二六・七二〇(昭十、一)
- 褥婦ノ原因症状及處置ヲ記セ 七九〇(昭十、二)

新産兒異常

- 初生兒ニ發シ易キ疾病ノ名稱 七二二(昭二、一)
- 初生兒ノ臍ニ來リ易キ疾病ノ名稱ヲ列記セヨ 七二四(昭三、一)
- 驚口瘡ノ原因、症状手當法ヲ述ベヨ 七二五(昭四、一)
- 先天性梅毒兒ノ徵候ニ就テ記セ 七二五(昭五、一)
- 初生兒丹毒ノ原因並ニ其ノ症状 七二〇・七二二(昭六、一)
- 驚口瘡トハ何ゾ並ニ其ノ處置 七二二(昭六、二)
- 初生兒臍部ノ疾病ノ名稱及原因ヲ説明セヨ 七二四(昭七、一)
- 母體ノ疾病ニ因リ起ル初生兒ノ疾病ヲ舉ゲ簡單ニ説明セヨ 七二二(昭七、二)
- 初生兒臍部ノ疾病ヲ説明セヨ 七二四(昭八、一)

- 初生兒「メレナ」ニ就テ記セ 七一九(昭九、一)
- 初生兒丹毒ノ原因並ニ症状ヲ記セ 七三〇・七三一(昭十、一)
- 初生兒臍部ノ傳染性疾患ニ就テ記セ 七三二(昭十、二)
- 新産兒ニ現ハルル徵毒ノ症状ヲ記セ 七三三(昭十、二)
- 新産兒消化不良症ノ原因症状及處置ヲ記セ 七三九(昭十、二)
- 産褥ト頭血腫ノ鑑別並其ノ處置ヲ記セ 七三九・七三九(昭十、一)
- 新産兒メレナニ就テ記セ 七三九(昭十、二)

- 乳兒脚氣ノ症状ヲ記セ 七二〇(昭十、一)
- 早産兒及生活力微弱ナル乳兒ノ看護法 七二九(昭五、一)
- 産婆ニ關スル法令 七二九(昭五、一)
- 死産證書ハ如何ナル場合ニ作製スベキヤ死産證書ノ項目中死胎ノ「臍出子、庶子、私生兒ノ別」ノ記載方ニ就テ説明セヨ 七三六・七三六・七三六(昭十、一)

[八] 福島縣

第一集 豫備知識

- 骨盤各部ノ名稱及徑線ヲ問フ 一五〇(昭五、二)
- 骨盤傾斜ニ就テ簡單ニ記セ 一五六(昭九、二)
- 骨盤ニ就テ記セ 一五三(昭十、二)
- 骨盤ノ高サニ就テ簡明ニ記セ 一四〇(昭十、一)
- 骨盤軸ニツイテ記セ 一五七(昭十、一)
- 骨盤軸ニツキ簡單ニ記セ 一五七(昭十、一)
- 圓靱帯ニ就テ簡明ニ記セ 一四九(昭十、一)
- グラウフ氏濾胞ニ就テ簡明ニ記セ 一四〇(昭十、一)
- 左ノ事項ニ就テ簡明ニ記セ 一四〇(昭十、一)

- (イ)無名線 (ロ)モントイメリー氏線 一三六・一三六
- (ハ)バルトリニー氏線 (ニ)白線 一三六・一三六(昭十、一)
- 廣靱帯ニ就テ簡明ニ記セ 一三六(昭十、一)
- 前庭ニツキ記セ 一三六(昭十、一)
- 内診ノ際消毒ノ必要ナル所以及其消毒方法 一三三・一三四(昭十、二)
- 産婆ニ必要ナル消毒法ノ種類及其應用 一三三(昭十、二)
- 内診ノ際ニ於ケル消毒法ヲ記セ 一四〇・一四四(昭四、一)
- 分娩時ニ於ケル産婆及介助者ノ消毒法ヲ記セ 一三三(昭十、二)
- 妊婦内診時ニ於ケル消毒法ニ就テ記セ 一三三・一三四(昭十、一)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 羊水ノ效用ヲ述ベヨ 三二九八(昭四、三)
- 假羊水ニ就テ簡單ニ記セ 三二九五(昭九、二)
- 臍帶ノ構造ニ就テ簡明ニ記セ 三二九四(昭十、一)
- 胎盤ノ構造ニ就テ簡明ニ記セ 三二九三(昭十、一)
- 胎盤ノ大サ重量及其ノ構造ニ就テ記セ 三二九二・三二九一(昭十、一)
- 羊水ニ就テ記セ 三二九一(昭十、一)

- 胎位胎向胎勢トハ何ゾヤ 三二九〇(昭三、三)
- 成熟胎兒ノ徴候ヲ記セ 三二八九(昭六、一)
- 胎位胎向胎勢トハ何ゾヤ 三二八八(昭七、一)
- 胎(體)勢ニ就テ知ル所ヲ記セ 三二八七(昭九、二)
- 正規體勢ニ就テ簡單ニ記セ 三二八六(昭十、一)
- 肉門ニツイテ記セ 三二八五(昭十、二)

- 生殖器以外ニ現ハル妊娠徴候ヲ記セ 三二八四(昭三、三)
- 妊娠ニヨリ起ル子宮ノ變化ヲ問フ 三二八三(昭六、一)
- 妊娠子宮ノ膨大ニ因リ近隣臓器ニ如何ナル影響ヲ及ボスコトアリヤ 三二八二(昭十、一)
- 妊娠時母體ニ起リ易キ全身的變化ニ就テ簡明ニ記セ 三二八一(昭十、三)
- 妊娠線ニ就テ簡單ニ記セ 三二八〇(昭十、二)
- 妊娠子宮ノ膨大ニヨリ妊娠ノ全身ニ起リ易キ變化ニ就テ記セ 三二七九(昭十、二)

妊婦ノ診察

- 胎兒各部分ノ外診上ノ特徴 三二七八(昭二、一)
- 内診時ノ消毒方法ヲ記セ 三二七七(昭五、三)
- ミハニス氏菱形ニ就テ知ル所ヲ記セ 三二七六(昭九、一)
- 妊娠婦ノ診察ニ際シ胎兒心音ハ診察上如何ナル價值アリヤ 三二七五(昭九、二)
- 對角結合線ニ就テ記セ 三二七四(昭十、二)
- 妊婦ノ内診時ニ際シ診定スベキ主要事項ヲ列舉セヨ 三二七三(昭十、一)
- 妊娠末期ニ於テ觸診上檢スベキ事項ヲ列記セヨ 三二七二(昭十、一)
- 妊娠婦ノ診察ニ際シ胎兒心音ハ診察上如何ナル價值アリヤ 三二七一(昭十、二)

- 妊娠中胎兒死亡ノ徴候 三二七〇(昭二、一)
- 妊娠ノ確徴ヲ詳記セヨ 三二六九(昭二、二)
- 妊娠ノ確徴ヲ舉ゲヨ 三二六八(昭四、一)
- 分娩豫定日測定法ヲ問フ 三二六七(昭五、一)
- 妊娠ノ確徴ヲ問フ 三二六六(昭六、二)
- 妊娠中胎兒死亡ノ徴候ヲ問フ 三二六五(昭七、一)
- 妊娠第八ヶ月ト第十ヶ月トノ區別ヲ問フ 三二六四(昭七、二)
- 分娩豫定日測定法ヲ問フ 三二六三(昭八、一)
- 想像妊娠ニ就テ簡明ニ記セ 三二六二(昭十、一)
- 妊娠中胎兒ノ死亡シタル場合ニ於ケル他覺的症狀ヲ詳記セヨ 三二六一(昭十、二)

○分娩豫定日ニツキ記セ

第三集 正常分娩

分娩ノ狀態

- 娩出力ニツイテ 三二六〇(昭二、一)
- 腹壓トハ何ゾ其必要ナル時期ト禁ズベキ時期 三二五九(昭三、一)
- 正規分娩ニ於ケル陣痛ニ就テ記セ 三二五八(昭四、一)
- 分娩ノ際胎兒ニ如何ナル變狀ヲ呈スルヤ 三二五七(昭四、二)
- 腹壓ハ分娩ニ對シ如何ナル關係アリヤ 三二五六(昭五、一)
- 正規陣痛ニ就テ記セ 三二五五(昭六、二)
- 腹壓ハ分娩ニ對シ如何ナル關係アリヤ 三二五四(昭八、一)
- 分娩開始ノ徴候ヲ問フ 三二五三(昭八、二)
- 分娩經過ノ良否ハ何ニヨリテ判定スルヤ 三二五二(昭八、三)
- 産痛ノ産科學的意義ニ就テ記セ 三二五一(昭九、一)
- 收縮輪ニ就テ知ル所ヲ記セ 三二五〇(昭九、二)
- 娩出力ニ就テ簡單ニ記セ 三二四九(昭九、三)
- 兒頭ノ排臨ニ就テ記セ 三二四八(昭十、二)
- 正規分娩ノ最モ容易ナル理由如何 三二四七(昭十、三)
- 收縮輪ニ就テ簡明ニ記セ 三二四六(昭十、一)
- 分娩開始ハ如何ナル事項ニヨリ診斷シ得ルヤ 三二四五(昭十、二)
- 兒頭ノ應形機能ニ就テ簡明ニ記セ 三二四四(昭十、三)
- 分娩ノ母體ニ及ボス影響ヲ記セ 三二四三(昭十、一)

三二六八(昭十、二)

- 收縮輪ニ就テ簡單ニ記セ 三二六八(昭十、二)
- 産痛トハ如何ナルモノカ及之ガ診斷的價値ニ就テ記セ 三二六七(昭十、三)

分娩取扱法

- 會陰保護法ヲ行フ時期及其ノ方法ヲ述ベヨ 三二六六(昭十、一)
- 臍帶斷端ノ處置法ヲ問フ 三二六五(昭十、二)
- 後産期ニ於ケル産婆ノ取扱法 三二六四(昭十、三)
- クレーデ氏胎盤壓出法ヲ記セ 三二六三(昭三、一)
- 臍帶切斷端及脱落後ノ處置ヲ記セ 三二六二(昭四、一)
- 初生兒沐浴ニツキテ記セ 三二六一(昭四、二)
- 分娩第三期ニ於ケル處置ヲ記セ 三二六〇(昭四、三)
- 初生兒臍帶ノ處置ヲ記セ 三二五九(昭五、二)
- 會陰保護ノ目的及時期ヲ問フ 三二五八(昭五、三)
- 臍帶經絡ノ妊娠及分娩ニ對スル影響ヲ記セ 三二五七(昭七、一)
- 分娩第三期ノ處置ヲ記セ 三二五六(昭七、二)
- 初生兒臍帶ノ處置ヲ問フ 三二五五(昭八、一)
- 分娩直後ニ於ケル初生兒ノ處置ヲ問フ 三二五四(昭八、二)
- 正規分娩ニ於テ兒頭娩出後並ニ胎兒娩出直後ニ於ケル處置ニ就テ記セ 三二五三(昭十、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ狀態

- ◎產褥ニ於ケル子宮ノ變化
四二(昭二、一)
- ◎正常惡露ノ性質
四六(昭三、一)
- ◎產褥ニ於ケル子宮ノ變化
四二(昭三、一)
- ◎正規惡露ノ經過ヲ問フ
四四(昭四、一)
- ◎產褥ニ於ケル子宮復舊狀態ニ就テ記セ
四二(昭四、一)
- ◎初乳ノ效用ヲ述ベヨ
四三(昭五、一)
- ◎正規惡露ニ就テ述ベヨ
四四(昭六、一)
- ◎初乳ニ就テ記セ
四四(昭六、一)
- ◎正規惡露ノ經過ヲ述ベヨ
四四(昭六、一)
- ◎初乳ニ就テ記セ
四四(昭六、一)
- ◎後陣痛トハ如何
四三(昭七、一)
- ◎惡露ノ性状ニ就テ記セ
四三(昭九、一)
- ◎初乳ニ就テ記セ
四三(昭九、一)
- ◎正規產褥ノ經過ニ就テ記セ
四三(昭十、一)
- ◎初乳ニ就キ簡單ニ記セ
四三(昭十、一)
- ◎乳熱ニ就キ簡單ニ記セ
四三(昭十、一)
- ◎惡露ニ就テ記セ
四二(昭十、一)
- ◎正規產褥ニ於ケル子宮復古作用ヲ記セ
四二(昭十、一)
- ◎初生兒ノ尿利及便通ニ就テ記セ
四二(昭七、一)
- ◎胎糞ニ就テ記セ
四二(昭九、一)
- ◎胎糞ニ就テ記セ
四二(昭十、一)
- ◎飢餓熱ニ就テ記セ
四二(昭十、一)

產褥取扱法

- ◎產褥經過ノ良否ハ何ニヨリテ判斷スルカ
四二(昭五、一)
- ◎產褥ニ就テ注意スベキ事項ヲ問フ
四二(昭五、一)
- ◎產褥ヲ週診シ注意スベキ事項ヲ問フ
四二(昭七、一)
- ◎產褥經過ノ良否ハ何ニ依リテ判定スルヤ
四二(昭八、一)
- ◎產褥ニ於ケル排尿排便障害ノ原因竝ニ之ガ處
置ニ就テ記セ
四二(昭十、一)
- ◎褥婦ニ就テノ注意事項ヲ記セ
四二(昭十、一)
- ◎褥婦ノ授乳ニ就テ詳記セヨ
四三(昭二、一)
- ◎授乳ニ就テ注意スベキ諸點
四三(昭三、一)
- ◎母乳營養法ニ就テ知ル處ヲ述ベヨ
四三(昭七、一)
- ◎初生兒看護法ニ就テ記セ
四二(昭十、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- ◎葡萄狀鬼胎ノ診斷及其處置
四二(昭十、一)
- ◎葡萄狀鬼胎ノ診斷及其處置ヲ記セ
四二(昭十、一)
- ◎胎狀鬼胎ニ就テ簡明ニ記セ
四二(昭十、一)
- ◎正常位胎盤早期剝離ノ原因及ビ症狀ニ就テ
記セ
四二(昭十、一)
- ◎胎盤早期剝離ノ原因並ニ症狀ニ就テ記セ
四二(昭十、一)

胎兒異常

- ◎羊水過多症ノ症狀及處置ヲ述ベヨ
四三(昭六、一)
- ◎羊水過多症ニ就テ知レル所ヲ記セ
四三(昭六、一)
- ◎胎兒異常
四三(昭五、一)
- ◎妊娠中胎兒死亡ノ原因及其ノ徵候ヲ記セ
四三(昭五、一)
- ◎妊娠中死亡シタル胎兒ノ運命ニ就テ記セ
四三(昭九、一)
- ◎胎狀胎兒ニ就テ簡明ニ記セ
四三(昭十、一)
- ◎浸軟胎兒ニ就テ記セ
四三(昭十、一)
- ◎妊娠中ニ死亡シタル死亡胎兒ノ運命ニ就テ記セ
四三(昭十、一)
- ◎妊娠中絶ノ原因及徵候ヲ記セ
四三(昭十、一)
- ◎子宮外妊娠ノ診斷ニ就テ記セ
四三(昭三、一)
- ◎石兒ニ就テ記セ
四三(昭九、一)

母體性器異常

- ◎強度ノ妊娠子宮前傾前屈症ノ原因及ビ處置ニ
就テ記セ
四三(昭十、一)
- ◎子宮嵌頓症ニ就テ記セ
四三(昭十、一)
- ◎妊娠後半期ニ於ケル出血原因並ニ應急處置法
ヲ記セ
四三(昭三、一)
- ◎妊娠中子宮出血ニ就テ記セ
四三(昭三、一)
- ◎妊娠後半期ニ於ケル出血及其處置ヲ問フ
四三(昭三、一)
- ◎妊娠前半期ニ於ケル子宮出血ノ原因三ツヲ擧ゲ
其ノ各々症狀ニ就テ記セ
四三(昭三、一)

母體全身異常

- ◎妊婦ニ發スル浮腫ノ原因及其處置ヲ問フ
四三(昭四、一)
- ◎妊娠中ニ於ケル浮腫ノ原因並ニ其處置ヲ問フ
四三(昭四、一)
- ◎妊娠中ニ於ケル浮腫ノ原因並ニ處置
四三(昭五、一)
- ◎妊娠浮腫ノ原因及處置ヲ問フ
四三(昭七、一)
- ◎惡阻ニ就テ詳記セヨ
四三(昭八、一)
- ◎子癇ノ症狀及其ノ處置ヲ記セ
四三(昭八、一)
- ◎惡疽ニ就テ記セ
四三(昭十、一)
- ◎妊娠惡阻ニ就テ簡明ニ記セ
四三(昭十、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- ◎早期破水ノ分娩ニ及ボス影響ヲ述ベヨ
四三(昭七、一)
- ◎早期破水トハ如何ナルモノカ之ガ分娩ニ及ボ
ス影響ニ就テ詳記セヨ
四三(昭九、一)
- ◎幸賴兒ニ就テ記セ
四三(昭九、一)
- ◎幸賴兒ニ就テ記セ
四三(昭十、一)
- ◎延滞破水ニ就テ記セ
四三(昭十、一)
- ◎分娩中屢々見ル臍帶異常ヲ擧ゲ且其ノ各ノ場
合ニ就テ之ニ對スル處置ヲ問フ
四三(昭九、一)
- ◎臍帶下垂及脫出ノ原因及其ノ處置ニ就テ記セ
四三(昭九、一)

胎兒異常

- 狼咽ニ就イテ 六五五・六五六 (昭十五、一)
- 膈水腫ニ就テ簡明ニ記セ 六七二 (昭十五、一)
- 遷延性横位ニ就イテ記セ 六八六 (昭十二、一)
- 双胎妊娠ノ徵候ヲ述ベヨ 六二〇a (昭四、一)
- 双胎妊娠ノ診斷 六二〇b (昭四、一)
- 双胎妊娠ノ徵候及其ノ經過ニ就テ記セ 六〇三 (昭十、一)
- 紙様胎兒ニ就イテ 六〇九 (昭十二、一)
- 初生兒假死ノ原因徵候ヲ問フ 六二七・六二八 (昭四、一)
- 分娩中胎兒死亡ノ徵候ヲ問フ 六二七 (昭六、三)
- 分娩中胎兒死亡ノ原因及其徵候ヲ記セ 六二五・六二七 (昭八、一)

母體異常

- 陣痛微弱ノ障礙及其ノ處置ヲ問フ 六〇八・六〇九 (昭八、一)
- 墜落分娩ニ就イテ 六三三 (昭十二、一)
- 過強(強劇)陣痛ノ原因處置及急速(墜落)分娩ノ母體並ニ胎兒ニ及ボス危険ニ就テ記セ 六三四・六三六・六三七 (昭十二、一)
- 墜落分娩ニ就テ簡明ニ記セ 六三七 (昭十三、一)
- 膀胱直腸ノ充滿ハ分娩ニ如何ナル障礙アリヤ 六三七 (昭六、一)

- 分娩中出血ノ原因 六二〇a (昭二、一)
- 分娩時ニ於ケル生殖器出血ノ原因ヲ列舉セヨ 六四四 (昭二、一)
- 弛緩性出血トハ如何 六四六 (昭三、一)
- 弛緩性出血ノ原因及其處置ヲ記セ 六四二・六四三 (昭五、一)
- 子宮頸轉トハ如何其ノ原因ヲ記セ 六四〇・六四一 (昭五、一)
- 胎盤娩出後ニ於ケル異常出血ノ原因及診斷ヲ問フ 六四二・六四三 (昭七、一)
- 弛緩性出血ノ症狀及其ノ處置ヲ問フ 六四二・六四三 (昭八、一)
- 第三期異常出血ノ症狀及處置ヲ記セ 六四三・六四四 (昭七、一)
- 急性貧血ノ處置ヲ問フ 六四八 (昭六、一)

第七集 異常產褥・補足知識

褥婦異常

- 妊婦、產婦、褥婦ノ罹リ易キ疾病ヲ列舉セヨ 五二二・六三三・七一 (昭二、一)
- 產褥子宮ノ復舊不全症ニ就テ記セ 七三三 (昭三、一)
- 乳腺炎ノ症狀及其處置法 七三〇・七三一 (昭四、一)
- 乳腺炎ノ原因及其ノ處置ヲ述ベヨ 七三〇・七三一 (昭五、一)
- 妊婦、產婦、褥婦ノ罹リ易キ疾病ヲ列舉セヨ 五二二・六三三・七一 (昭七、一)
- 產褥出血ノ原因及處置ニ就イテ記セ 七三三・七三五 (昭九、一)
- 產褥子宮ノ復舊不全ニヨル出血ノ原因症狀及

- 處置ニ就テ記セ 七三五・七三六 (昭十、一)
- 白朧腫ニ就テ記セ 七三三 (昭十一、一)
- 產褥敗血症ニ就テ記セ 七三三 (昭十二、一)
- 惡露分泌ノ異常ニ就テ簡明ニ記セ 七三五 (昭十二、一)
- 產褥熱ノ原因及之豫防法ヲ記セ 七三三・七三〇 (昭十二、一)

新産兒異常

- 初生兒膿漏眼ノ原因、徵候、處置 七三三 (昭十二、一)
- 初生兒膿漏眼ノ原因症狀及豫防法 七三三 (昭十二、一)
- 初生兒肺炎ノ原因及其ノ豫防法ヲ記セ 七三三 (昭十二、一)
- 驚口瘡ニ就テ記セ 七三三 (昭十二、一)
- 遺傳梅毒ノ徵候ヲ問フ 七三三 (昭十二、一)
- 初生兒膿漏眼ノ原因及豫防法ヲ記セ 七三三 (昭十二、一)
- 驚口瘡ニ就テ記セ 七三三 (昭十二、一)
- 初生兒膿漏眼ノ原因症狀及豫防法 七三三 (昭十二、一)

〔九〕 栃木縣

第一集 豫備知識

○ 骨盤外計測ニ於テ測定スベキ徑線及及其ノ正親的長サヲ問フ

〔九〕 栃木縣

一八六 (昭六、一)

- 骨盤外計測法ニ就テ 一八三 (昭八、一)
- 骨盤外計測部位名稱距離 一八三 (昭十二、一)
- 小骨盤腔内ノ内臟器ノ名稱ト位置ヲ記セ 一八三・一八四 (昭十二、一)
- 卵巢ノ機能ニ就テ 一八三 (昭十二、一)

- 手指ノ消毒法ヲ記セ 一三〇〇(昭二、一)
- 三%石炭酸水五〇〇瓦ノ製法ニ就キ簡單ニ説明セヨ 一三一(昭四、二)
- 消毒法ノ種類及産婆ノ使用スベキ消毒薬ヲ舉ゲヨ 一三三(昭五、一)
- ネラトシカチーテルノ適當ナル消毒法ハ如何 一三〇(昭七、二)
- 二%リゾール水八〇〇ccノ製法ヲ記セ 一三三(昭七、二)
- 消毒剪刀ノ適當ナル消毒方法如何 一三三(昭七、二)
- 結紮糸ノ適當ナル消毒方法如何 一三五(昭七、二)
- 綿帯材料ノ適當ナル消毒方法如何 一三五(昭七、二)
- 産婦ノ外陰部ニ最モ適切ナル消毒方法ヲ記セ 一三四(昭八、一)
- 導尿カチーテルニ最モ適切ナル消毒方法ヲ記セ 一三五(昭八、一)
- 手指ニ最モ適切ナル消毒法ヲ記セ 一三四(昭八、一)
- ガーゼ脱脂綿ニ最モ適當ナル消毒方法ヲ記セ 一三五(昭八、一)
- 五%「リゾール」水五「リットル」ノ調整法ヲ問フ 一三二(昭八、二)
- 五%「クレゾール」水二「リットル」ノ調整方法 一三四(昭九、二)
- 導尿カチーテルノ消毒方法 一三四(昭九、二)
- 迅速ニシテ最モ適切ナル手指消毒法ヲ記セ 一三四(昭十、一)
- 糞合糸ノ消毒ノ迅速ニシテ最モ適切ナル消毒法ヲ記セ 一三五(昭十、一)
- 術者又ハ介補者等昇水ニ耐ヘザル體質ヲ有スル場合昇水以外ノ薬液(クレゾール石炭酸液)ヲ用ヒル手指ノ消毒方法ヲ述ベヨ 一三三(昭十、二)
- クレゾール水ノ調整法並ニ使用ニツキ注意スベキ諸點ヲ説明セヨ 一三三(昭十、一)
- 左ノ最モ適切ナル消毒方法ヲ記セ 一三三(昭十、二)
- 手摺、食器、消毒剪刀、結紮糸、ネトラン氏排尿カチーテル 一三四〇・一三四一・一三四九・一三五一・一三五〇(昭十一、二)
- クレゾール石炭酸ニ立製法 一三七(昭十五、二)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 胎盤ニ就イテ 一三五〇(昭二、一)
- 胎盤ニ就テ記セ 一三六(昭二、二)
- 妊娠中及分娩時ニ於ケル羊水ノ效用ヲ述ベヨ 一三六(昭六、一)
- 胎盤ノ構造及其ノ效能ヲ記セ 一三六・一三六(昭六、二)
- 妊娠中及分娩時ニ於ケル羊水ノ效用ヲ記セ 一三六(昭八、一)
- 胎盤ノ效用及其ノ作用 一三六(昭九、一)
- 羊水トハ如何及妊娠分娩ニ必要ナル理由ヲ問フ 一三六・一三六(昭十、一)
- 胎盤ノ構造及作用ニ就テ 一三六・一三六(昭十、二)
- 羊水ニ就テ詳記セヨ 一三六(昭十、二)
- 成熟胎兒ノ特徴 一三〇五(昭四、二)
- 成熟兒ノ特徴 一三〇五(昭八、一)

○ 妊娠各月ニ於ケル胎兒及子宮ノ大サヲ記セ 一三七・一三九(昭九、一)

○ 左ノ語ヲ説明セヨ 胎位、胎勢、胎向、骨盤軸 一三三・一三五(昭十一、一)

妊婦ノ診察

- 骨盤ノ外計測法ヲ問フ 一三四(昭五、一)
- 内診ヲ要スベキ實際的ノ場合數例ヲ舉ゲ且ツ之ノ際注意スベキ事項ヲ舉ゲヨ 一三一・一三二(昭十、一)
- 妊娠十ヶ月ニ於ケル各胎位ノ心音聴取部位ヲ問フ 一三〇(昭十、二)
- 妊娠ノ鑑別法 一三六(昭四、一)
- 妊娠十ヶ月トハケ月トノ診斷上ノ鑑別ニ付キ説明セヨ 一三五(昭五、一)
- 妊娠各月ニ於ケル子宮ノ大サ及子宮底ノ高サヲ述ベヨ 一三五・一三四(昭六、二)
- 妊娠ノ確微ヲ問フ 一三六(昭七、一)
- 分娩日豫定法ヲ記セ 一三五(昭七、二)
- 最終月經不明ナル場合妊娠第八ヶ月ト第十ヶ月ト如何ニシテ鑑別スルヤ 一三五(昭九、一)
- 妊娠ノ確微ヲ説明シ且ツコレト鑑別ヲ要スベキ疾患ヲ舉ゲヨ 一三〇・一三〇(昭十、一)
- 妊娠ノ徴候ヲ順序ヨク述ベヨ 一三五(昭十一、一)

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

- 分娩時ニ於ケル體勢ヲ推定シ得ベキ兒頭ノ變形ニ就テ記セ 一三六(昭二、一)
- 正規分娩(第一體向)ノ機械的作用(正規分娩機構) 一三六(昭二、二)
- 分娩ノ種類ヲ問フ 一三六(昭三、一)
- 第一後頭位ニ於ケル分娩機構ヲ問フ 一三六(昭三、二)
- 後産期ニ於ケル胎盤剝離ノ徴候及娩出ノ様式ヲ述ベヨ 一三六・一三六(昭五、二)
- 分娩各期ニ於ケル腹壓ノ作用及ヒ其ノ利用法ヲ問フ 一三六(昭四、一)
- 排胎撥露ニ付キ説明セヨ 一三六(昭五、一)
- 後産期ニ於ケル胎盤剝離ノ徴候ヲ述ベヨ 一三六(昭七、二)
- 正規分娩第二期ノ經過ヲ記セ 一三五(昭七、一)
- 分娩各期ニ於ケル腹壓ノ作用並ニ其ノ利用法ヲ述ベヨ 一三六(昭八、一)
- 胎盤剝離ノ徴候ヲ記セ 一三六(昭十、二)
- 陣痛正常ニ就イテ 一三六(昭十五、一)
- 娩出力ニ就テ記セ 一三六(昭十五、二)

分娩取扱法

- 分娩直後ニ於ケル初生児ノ處置 三〇三七(昭三、二)
- クレイデ氏胎盤壓出法ニ就テ記セ 三〇三五(昭三、二)
- 分娩直後ニ於ケル褥婦ノ處置 三〇二七(昭四、二)
- 初生児沐浴ノ效用及臍帶斷端ノ處置 三〇二七・三〇二七(昭五、一)
- 初生児臍帶切斷ノ時期及ビ其ノ方法 三〇三三・三〇三四(昭五、二)
- 臍帶結紮ノ時期及處置ヲ問フ 三〇三九・三〇四一(昭六、一)
- 初生児沐浴ニ就テ 三〇二六・三〇二七(昭七、一)
- 分娩直後ニ於ケル褥婦ノ處置如何 三〇二七(昭七、一)
- 分娩直後ニ於ケル初生児ノ處置 三〇二七(昭八、一)
- 新生児臍帶ノ處置ヲ記セ 三〇二七(昭九、一)
- 分娩直後ニ於ケル褥婦ノ取扱法 三〇二七(昭九、二)
- クレイデ氏胎盤壓出法ヲ説明シ且其ノ應用ヲ記セ 三〇二五(昭九、一)
- 胎盤剝離ノ徴候ヲ記シ且ツ後産排出ノ完否検査法ヲ述ベヨ 三〇二二・三〇二二(昭十、一)
- 後産排出ノ完否検査法ヲ述ベヨ 三〇二二(昭十、一)
- 新生児臍帶ノ處置及方法 三〇二七(昭十、二)
- 分娩直後ニ於ケル新生児ノ處置 三〇二七(昭十、一)
- 臍帶ノ剪斷及ビ其ノ後ノ處置 三〇二七・三〇二九(昭十、二)
- クレイデ氏點眼法ニ就テ記セ 三〇二七(昭十、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 分娩後ニ於テ子宮底ノ一時上昇スル理由如何 四〇二五(昭二、一)
- 産褥經過ノ可良ナル徴候如何 四〇二五(昭四、一)
- 産褥時ニ於ケル排尿障碍ノ原因及其處置 四〇二七(昭四、二)
- 正規産褥ニ於ケル惡露ノ状態ヲ記セ 四〇二六(昭五、一)
- 惡露トハ如何並ニ其ノ成分性状及種類ニ就イテ記セ 四〇二六(昭六、一)
- 正規産褥第五日ニ於ケル褥婦及初生児ノ主ナル所見ヲ述ベヨ 四〇二〇・四〇二二(昭六、二)
- 正規産褥ニ於ケル生殖帯ノ復舊状態ヲ記セ 四〇一〇(昭七、二)
- 正規産褥ニ於ケル惡露ノ状態ヲ記セ 四〇二六(昭七、二)
- 初乳ヲ簡單ニ説明セヨ 四〇二〇(昭八、一)
- 褥汗ヲ簡單ニ説明セヨ 四〇二六(昭八、一)
- 正規惡露ノ性状及經過ヲ記セ 四〇四〇(昭八、二)
- 正規産褥時ニ於ケル子宮底ノ高サ及惡露ノ状態ヲ記セ 四〇三三・四〇三六(昭九、一)
- 正規産褥ニ於ケル惡露ノ状態ヲ記セ 四〇三三(昭九、一)
- 正規産褥時ニ於ケル體温脈搏及惡露ノ状態ヲ記セ 四〇二六・四〇二六(昭九、二)
- 産褥ノ經過ノ良好ナル主ナル徴候ヲ述ベヨ 四〇二二(昭十、一)
- 褥婦ノ尿閉ニツイテ記セ 四〇二二(昭十、一)
- 産褥子宮底ノ一時上昇スル場合ハ何時カ及ビ其ノ理由ヲ問フ 四〇二二(昭十、二)
- 産褥トハ如何 四〇二二(昭十、一)

- 正常産褥時ニ於ケル體温脈搏子宮底ノ高サ及ビ惡露ノ状態ヲ記セ 四〇二二・四〇三三(昭十、一)
- 産褥經過 四〇二〇(昭十、二)
- 正規産褥ニ於ケル生殖帯ノ復舊ニ就テ 四〇一〇(昭十、一)
- 褥婦ノ尿閉ニ就テ 四〇二二(昭十、一)
- 産褥經過ノ良好ナル徴候 四〇二二(昭十、一)
- 正常産褥ノ經過ニ就テ記セ 四〇二〇(昭十、二)
- 初生児ノ脈搏呼吸ノ數及體温ニ付テ記セ 四〇二六(昭二、一)
- 魔乳ヲ簡單ニ説明セヨ 四〇二六(昭八、一)
- 胎糞ヲ簡單ニ説明セヨ 四〇二九(昭八、一)
- 娩出後ニ於ケル新生児ノ臍帶脱落、表皮脱落、新産児黄疸、魔乳(鬼乳)、排尿便通ノ状況ヲ記セ 四〇一〇・四〇一〇・四〇一六・四〇一六・四〇二四(昭十、一)
- 健康ナル新産児ノ經過ニ就テ 四〇二四(昭十、一)
- 餓餓熱ニ就テ記セ 四〇二九(昭十、一)
- 新産児黄疸ニ就テ記セ 四〇二六(昭十、一)

産褥取扱法

- 産褥早期離床ノ利害並ニ臍帶切斷ノ時期ヲ記セ 四〇二七・四〇二九(昭十一、一)
- 産褥時ニ於ケル排尿障碍ノ處置 四〇二二(昭四、一)
- 産褥經過ノ良否ハ何ヲ根據トシテ判定スルヤ 四〇二四(昭五、二)
- 褥婦生殖帯ニ關シ産婆ノ注意スベキ諸點 四〇二六(昭七、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 産褥トハ如何並ニ褥婦離床ノ時期ヲ問フ併テ早期離床ノ不可ニ就テ記セ 四〇二一・四〇二一・四〇二七(昭十、一)
- 褥婦ノ離床ニ就イテ 四〇二〇(昭十、二)
- 人工營養ニ就テノ注意及ビ牛乳ノ稀釋法並ニ市中販賣ノ煉乳ニハ如何ナル種類アリヤ 四〇二二・四〇二二・四〇二九(昭十一、一)
- 乳兒營養法ノ種類ヲ舉ゲ各其ノ利害ヲ記セ 四〇二六・四〇三〇(昭三、一)
- 初生児看護法 四〇二二(昭四、一)
- 母乳ヲ禁ズベキ場合ヲ舉ゲ牛乳ノ稀釋法ヲ記セ 四〇二二・四〇二二(昭四、一)
- 牛乳稀釋法ヲ記セ 四〇二二・四〇二二(昭四、一)
- 初生児ノ看護法 四〇二二(昭四、一)
- 人工營養ニ特ニ注意スベキ點ヲ記セ 四〇二二(昭五、一)
- 生母自ラ授乳シ得ザル場合及ビコレニ對スルソレトノ處置ヲ述ベヨ 四〇二二・四〇二二(昭六、一)
- 初乳ノ効用及廢乳スベキ場合 四〇二五・四〇二六・四〇二六(昭十一、一)
- 牛乳營養法ニ就テ 四〇二六(昭十一、一)
- 葡萄狀胎兒ノ症状及處置 四〇二二・四〇二二(昭四、一)

- 葡萄胎胎ノ診断及其ノ分娩後ニ於ケル注意
如何
五二七・五二八(昭五、一)
- 胎(葡萄)胎ノ症狀ヲ記セ
五二九(昭十、一)
- 前置胎盤ト胎盤早期剝離トノ鑑別
五三〇(昭二、一)
- 前置胎盤ノ種類及前置胎盤ト胎盤早期剝離トノ鑑別
五三〇・五三一(昭六、一)
- 中央前置胎盤ニ就テ
五三〇(昭三、一)
- 羊水過多症ノ妊娠及分娩ニ及ボス影響並ニ其處置
五三二・五三三(昭七、一)
- 羊水過多症ニ就テ
五三二(昭五、一)
- 胎 兒 異 常
五三三(昭四、一)
- 妊娠中胎兒死亡ノ原因
五三三・五三四(昭五、一)
- 早産ト流産ノ區別及其取扱法
五三四・五三五(昭二、一)
- 流産及早産ノ原因並ニ處置
五三四・五三五(昭九、一)
- 懸垂腹ニ就テ簡單ニ説明セヨ
五三六(昭四、一)
- 微毒ト妊娠トノ關係ニ就テ記セ
五三六(昭三、一)
- 妊娠時ニ於ケル生殖系出血ノ原因ヲ記セ
五三六(昭八、一)

- 妊娠中出血ノ原因ニ就テ
五三六(昭十、一)
- 母體全身異常
五三六・五三七(昭二、一)
- 惡阻ノ原因及處置
五三六・五三七(昭二、一)
- 妊婦浮腫ノ原因及處置法ヲ記セ
五三六・五三七(昭二、一)
- 妊婦急病發病ノ前兆及發作中ノ狀態ニ就テ記セ
五三六・五三七(昭六、一)
- 子癇ノ前驅症狀及發作時ニ於ル應急處置
五三六・五三七(昭七、一)
- 子癇ノ前驅症狀並ニ發作時ノ救急處置ヲ問フ
五三六・五三七(昭十、一)
- 子癇ノ症狀及處置ヲ記セ
五三六・五三七(昭十、一)
- 妊婦ノ浮腫ニ就テ記セ
五三六(昭十、一)
- 肺結核ノ妊娠ニ及ボス影響
五三六(昭十、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 分娩中母體及胎兒ニ及ボス危險
五三六(昭十、一)
- 分娩ト直接關係アル疾患ニ就テ
五三六(昭十、一)
- 早期破水ノ原因及其處置ヲ記セ
五三六・五三七(昭三、一)
- 早期破水ニ就テ述ベヨ
五三六(昭六、一)
- 早期破水ノ原因並ニ分娩ニ及ボス影響
五三六・五三七(昭九、一)
- 早期破水ノ原因及障害
五三六・五三七(昭十、一)

胎 兒 異 常

- 早期破水ニ就テ記セ
五三六(昭十、一)
- 分娩時胎帶經絡セルトキハ如何ナル危險ヲ伴フカ及其ノ處置
五三六・五三七(昭四、一)
- 骨盤端位ノ提出法
五三六(昭二、一)
- 骨盤(端)位ノ種類並ニ其分娩ノ難易如何
五三六・五三七(昭十、一)
- 骨盤端位分娩取扱上注意スベキ點ヲ記セ
五三六(昭十、一)
- 骨盤位ニ來リ易キ分娩異常ニ就テ
五三六(昭十、一)
- 双胎妊娠ノ徴候並ニ其ノ分娩時ニ特ニ注意スベキ事項ヲ述ベヨ
五三六・五三七(昭五、一)
- 双胎妊娠ノ徴候及其ノ分娩取扱上特ニ注意スベキ事項如何
五三六・五三七(昭八、一)
- 双胎妊娠ノ特徴
五三六(昭十、一)
- 假死ノ原因處置
五三六・五三七(昭二、一)
- 初生兒第二度假死ノ徴候及其ノ所置
五三六・五三七(昭六、一)
- 初生兒假死ノ原因並ニ徴候
五三六・五三七(昭八、一)
- 初生兒假死ノ原因及徴候ヲ記セ
五三六・五三七(昭九、一)
- 新産兒假死ノ原因及徴候
五三六・五三七(昭十、一)
- 破水後ニ於ケル陣痛微弱ノ處置ヲ記セ
五三六(昭四、一)
- 微弱陣痛ノ原因
五三六(昭八、一)

母 體 異 常

- 破水後ニ於ケル陣痛微弱ノ處置ヲ記セ
五三六(昭四、一)
- 微弱陣痛ノ原因
五三六(昭八、一)

- 微弱陣痛ノ分娩ニ及ボス影響ヲ述ベヨ
五三六(昭十、一)
- 微弱陣痛ノ原因及處置ニ就テ
五三六・五三七(昭十、一)
- 褥婦膀胱ノ充盈ハ如何ナル障害ヲ起スカ及其ノ處置
五三六(昭三、一)
- 狹窄骨盤ノ種類及診断ヲ記セ
五三六・五三七(昭六、一)
- 高年ノ初産婦ニ來リ易キ分娩異常ニ就テ記セ
五三六(昭十、一)
- 會陰破裂ノ原因種類及其ノ豫防法ヲ記セ
五三六(昭五、一)
- 分娩直後ニ於テ褥婦ヲ最モ危險ナラシムルモノ何カ及ビ其ノ處置ヲ述ベヨ
五三六・五三七(昭五、一)
- 弛緩性出血ノ原因及其ノ處置
五三六・五三七(昭七、一)
- 分娩中ノ異常出血ノ原因並ニ處置
五三六(昭七、一)
- 子宮破裂ノ原因及徴候
五三六・五三七(昭八、一)
- 胎兒娩出後ニ於ケル異常出血ノ原因及ビコレニ對スル處置ヲ記セ
五三六(昭十、一)
- 弛緩性出血ニ就テ
五三六(昭十、一)

第七集 異常産褥・補足知識

褥 婦 異 常

- 産褥時ニ於ケル異常出血ノ原因及其處置
五三六・五三七(昭三、一)
- 産褥熱ノ原因及傳染経路並ニ豫防法
五三六・五三七(昭四、一)
- 産褥子宮復舊不全トハ如何
五三六(昭五、一)
- 産褥熱ノ原因症狀及豫防方法ヲ記セ
五三六(昭五、一)

- 梅毒ノ乳腺炎ニ就イテ 七二二・七二六・七二〇(昭五、一)
- 産褥時ニ於ケル異狀出血ノ原因及其ノ處置ニ就イテ述ベヨ 七二四(昭六、一)
- 産褥熱ノ原因症狀及其ノ豫防法ヲ記セ 七二五・七二六(昭六、一)
- 産褥熱ノ原因及其ノ症狀 七二二・七二六・七二〇(昭七、一)
- 梅毒ノ乳頭(乳嚙)創傷ニ就テ知ル所ヲ述ベヨ 七二二・七二六(昭九、一)
- 産褥子宮ノ復古不全症ニ就テ述ベヨ 七二五(昭十、一)
- 産褥中ノ發熱ニ就テ其ノ原因及處置ヲ記セ 七二五(昭十、一)

新産兒異常

- 驚口瘡ニ就テ知ル所ヲ記セ 七二五(昭二、一)
- 驚口瘡ノ症候、豫防、處置ヲ記セ 七二四(昭三、一)
- 初生兒腹瀉ニ就テ 七二四(昭四、一)
- 頭血腫ニ就テ簡單ニ説明セヨ 七二五(昭四、一)
- 驚口瘡ニ就テ述ベヨ 七二五(昭六、一)
- 初生兒腹瀉ニ就テ述ベヨ 七二五(昭七、一)
- 乳兒脚氣ニ就テ 七二五(昭八、一)
- 驚口瘡ノ原因及症狀豫防法 七二五(昭九、一)
- 腹瀉ニ就テ 七二五(昭十、一)
- 驚口瘡ニ就テ記セ 七二五(昭十、一)
- 臍部ノ疾患ニ就テ記セ 七二五(昭十、一)
- 早熟兒ノ養護法及處置 七二五(昭八、一)
- 早産ノ原因及早産兒ノ看護法 七二五(昭十、一)

[10] 群馬縣

第一集 豫備知識

- 小骨盤入口ヲ形成スル骨ノ名稱及其各徑線ニ就テ記セ 一四三(昭三、一)
- 小骨盤各部ニ於ケル最大徑線及ビ其測定點ヲ記セ 一四五(昭五、一)

- 男女骨盤ノ差異ハ如何 一四六(昭七、一)
- 骨盤測ニ就テ知ル處ヲ記セ 一四四(昭九、一)
- 坐骨棘ニ就テ簡單ニ記セ 一四六(昭十、一)
- 左ノ語ヲ簡單ニ説明セヨ 一四三・一四四(昭十、一)
- 閉鎖孔、薦骨岬、腎盂、バルトリン氏腺 一四六・一四七(昭十、一)
- 卵巣ノ位置及作用 一四〇(昭二、一)
- 月經ト排卵機能トノ關係ニ就テ記セ 一四三(昭三、一)
- 黃體ニ就テ知ル處ヲ記セ 一四〇(昭四、一)

- 輸卵管ノ位置形狀及作用ヲ記セ 一四七・一四八(昭五、一)
- 卵巣ノ位置形狀及作用ヲ記セ 一四〇(昭八、一)
- 月經ト排卵トノ關係ハ如何 一四八(昭八、一)
- 會陰ニ就テ知ル處ヲ記セ 一四七(昭九、一)
- グラーフ氏細胞ニ就テ知ル處ヲ記セ 一四七(昭九、一)
- 眞黃體ト假黃體トニ就テ記セ 一四七(昭十、一)
- 子宮及ビ卵巣ニ就テ知ル處ヲ記セ 一四九・一五〇(昭十、一)
- 卵巣ノ構造及機能ヲ記セ 一四〇(昭十、一)
- 子宮ノ構造及機能ヲ記セ 一四九・一五〇(昭十、一)
- 排卵機能ト月經ニ就テ記セ 一四八(昭十、一)
- △横隔膜ノ位置形狀及生理的作用ヲ問フ 一四九(昭四、一)
- △腹腔内ニ於ケル諸臟器ノ名稱ヲ記セ 一四六(昭六、一)
- △腎臟ノ位置形狀及作用 一四九・一五〇(昭六、一)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 胎盤ノ機能 一五〇(昭二、一)
- 羊水ノ效用ハ如何 一四九(昭四、一)
- 絨毛膜ニ就テ知ルトコロヲ記セ 一五〇(昭八、一)
- 妊婦ノ子宮粘膜炎ニ着床スル状態如何 一四八(昭十、一)
- 絨毛膜(脈落膜)ニ就テ知ル所ヲ記セ 一五〇(昭十、一)
- 絨毛膜ニ就テ簡單ニ記セ 一五〇(昭十、一)
- 胎位胎向胎勢ヲ説明セヨ 一五三(昭二、一)
- 未熟兒トハ如何ナルモノヲ云フヤ 一五〇(昭三、一)
- 胎盤血行ヲ説明セヨ 一五二(昭五、一)
- 胎位、胎勢、胎向ヲ説明セヨ 一五三(昭六、一)
- 胎盤血行ト肺血行トノ差異ヲ問フ 一五二(昭八、一)
- 卵圓孔ニ就テ知ル所ヲ記セ 一五二(昭八、一)
- 卵圓孔ニ就テ簡單ニ記セ 一五二(昭十、一)
- 卵圓孔ニ就テ簡單ニ記セ 一五二(昭十、一)
- 妊娠ニ依リテ起ル子宮内膜ノ變化 一五二(昭九、一)
- モンツゴメリ氏腺ニ就テ簡單ニ記セ 一五二(昭十、一)
- 子宮雀斑ニ就テ説明セヨ 一五二(昭十、一)

妊婦ノ診察

- 胎兒各部分ノ觸診上ノ特徴ヲ記セ 一五三(昭六、一)
- 妊婦ノ腹部聽診ニ際シ聽取シ得ル音ノ種類並ニ其ノ診斷的價値ヲ問フ 一五三・一五四(昭七、一)
- 臍棘線ニ就テ知ルトコロヲ記セ 一五三(昭八、一)
- ミハエル氏菱形窩ニ就テ説明セヨ 一五三(昭十、一)
- ツオンデツク、アツシユハイム氏反應ニ就テ説明セヨ 一五三(昭十、一)
- 臍棘線ニ就テ簡單ニ記セ 一五三(昭十、一)
- 初産婦ト經産婦トノ鑑別 一五三(昭十、一)
- ヘガール氏徴候トハ如何 一五三(昭十、一)

◎初産婦ト經産婦トノ鑑別點ヲ舉ゲヨ
◎妊娠半確徵(疑徵)トハ如何且ツ其ノ診斷的價
値ヲ問フ
二二五九・(昭七)二二
二二六〇・(昭七)二二

◎初妊ト經妊トノ鑑別點ヲ舉ゲヨ
◎ヘガール氏徵候トハ如何
二二六一・(昭十)二二
二二六二・(昭十)二二
◎妊娠ト誤リ易キ疾病ノ名稱ト其ノ鑑別ヲ記セ
二二七六・(昭三)二二
◎ヘガール氏第一徵候ニ就キ説明セヨ
二二七七・(昭三)二二
◎妊娠ノ半確徵ニ就キ説明セヨ
二二五九・(昭七)二二
二二六〇・(昭七)二二

妊婦衛生法

◎妊婦ニ腹帯ヲ施ス目的及其ノ利害ヲ問フ
二二五三・(昭三)二二

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

◎正規分娩ヲ遂ゲルニ必要ナル條件ヲ問フ
二二六六・(昭十)二二
◎娩出力ニ就イテ
二二六三・(昭二)二二
◎戰慄陣痛ニ就キ知ル所ヲ記セ
二二六九・(昭三)二二
◎收縮輪ニ就キ知レル處ヲ記セ
二二七〇・(昭三)二二
◎頭蓋ノ應形作用トハ如何
二二八五・(昭四)二二
◎腹壓ノ效用ヲ問フ
二二八五・(昭四)二二
◎頭蓋骨重疊ニ就イテ説明セヨ
二二八七・(昭五)二二
◎産瘤ニ就イテ説明セヨ
二二八八・(昭五)二二
◎陣痛ノ種類ヲ舉ゲ各其ノ作用ニ就キテ説明セヨ
二二八五・(昭四)二二
◎分娩ノ際胎兒ノ廻轉ヲ起ス理由並ニ其ノ數及
由ヲ問フ
二二八五・(昭四)二二

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

◎惡露ニ就イテ
二二九七・(昭二)二二
◎産褥期ニ於ケル子宮復舊ノ經過ヲ記セ
二二九七・(昭二)二二

場所ヲ舉ゲヨ

◎收縮輪ニ就イテ説明セヨ
二二九三・(昭九)二二
◎産瘤ニ就イテ説明セヨ
二二九三・(昭九)二二
◎戰慄陣痛ニ就イテ説明セヨ
二二九三・(昭九)二二

分娩取扱法

◎クレード氏胎盤壓出法ヲ記セ
二二九五・(昭二)二二
◎會陰保護法ヲ施ス目的如何
二二九四・(昭三)二二
◎胎盤切斷ノ時期及其ノ術式ヲ問フ
二二九六・(昭五)二二
◎會陰保護術ヲ行フニ當リ仰臥位ト側臥位トノ
優劣ヲ問フ
二二九六・(昭五)二二

◎分娩第二期ニ於ケル處置ヲ記セ
二二九六・(昭六)二二

◎分娩第二期ニ於ケル産婆ノ注意スベキ事項
二二九七・(昭七)二二
◎産婦ニ腹壓ヲ命ジ又ハ禁ズル時期並ニ其ノ理
由ヲ問フ
二二九七・(昭七)二二

◎クレード氏點眼ニ就キ知ルコトヲ記セ
二二九七・(昭七)二二

◎胎盤切斷ノ術式ニ就キ記セ
二二九七・(昭七)二二

◎會陰保護法ニ就キ簡單ニ述ベヨ
二二九七・(昭七)二二

◎會陰保護法ニ就キ記セ
二二九七・(昭七)二二

◎初乳ニ就キ知ル處ヲ記セ
二二九八・(昭四)二二
◎正規産褥ニ於ケル子宮復古ノ經過
二二九八・(昭四)二二
◎産褥中ニ於ケル乳房ノ變化ニ就キ記セ
二二九八・(昭四)二二
◎正規産褥ニ於ケル惡露ノ經過及性状ヲ記セ
二二九八・(昭四)二二
◎産婦ノ子宮ノ全ク復舊スル時期ヲ問フ
二二九八・(昭四)二二
◎産婦ニ惡露ノ消失スル時期ヲ問フ
二二九八・(昭四)二二
◎産褥ニ乳汁分泌ノ始マル時期ヲ問フ
二二九八・(昭四)二二
◎産褥時ニ於ケル子宮復舊ノ經過ヲ記セ
二二九八・(昭四)二二
◎産褥時ニ於ケル子宮底ノ高サヲ問フ
二二九八・(昭四)二二
◎産褥期ノ子宮復舊ノ經過ヲ記セ
二二九八・(昭四)二二
◎惡露ノ消失スル時期
二二九八・(昭四)二二

◎初生兒饑餓熱トハ如何
二二九八・(昭四)二二
◎渴熱(饑餓熱)ニ就キ簡單ニ記セ
二二九八・(昭四)二二
◎饑餓熱ニ就キ簡單ニ答ヘヨ
二二九八・(昭四)二二
◎臍帯脱落ノ時期
二二九八・(昭四)二二

産褥取扱法

◎産褥經過ノ良否ハ何ニ依リテ判斷スルヤ
二二九八・(昭三)二二
◎産婦ノ取扱上注意スベキ諸要點ヲ列舉セヨ
二二九八・(昭三)二二
◎産褥離床ノ時期ヲ論ゼヨ
二二九八・(昭四)二二
◎産婦ノ仰臥安褥ヲ要スル時期ヲ問フ
二二九八・(昭七)二二
◎産婦ノ全ク離床スベキ時期ヲ問フ
二二九八・(昭七)二二
◎就床期間ノ長短ト産褥經過トノ關係ヲ説明セヨ
二二九八・(昭八)二二

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

◎早期離床ニ就キ簡單ニ記セ
二二九八・(昭四)二二
◎産褥早期離床ノ利害
二二九八・(昭四)二二
◎牛乳稀釋法ヲ記セ
二二九八・(昭三)二二
◎産婦ノ授乳ヲ禁ズベキ場合如何
二二九八・(昭五)二二
◎産婦ニ授乳ヲ禁ズベキ場合如何
二二九八・(昭五)二二
◎初生兒ノ沐浴ノ利害ニ就キ述ベヨ
二二九八・(昭十)二二

胎兒異常

異常妊娠ノ診斷及處置

◎葡萄狀胎ノ徵候ハ如何
二二九八・(昭六)二二
◎葡萄狀胎ニ疑ハシキ徵候ニ就キ簡單ニ記セ
二二九八・(昭六)二二
◎葡萄狀胎ノ徵候
二二九八・(昭六)二二

◎前置胎盤ノ種類及其出血ノ模様ヲ説明セヨ
二二九八・(昭四)二二

◎胎盤早期剝離ノ原因及ビ徵候
二二九八・(昭五)二二

◎前置胎盤ノ徵候
二二九八・(昭五)二二

◎胎盤早期剝離ノ徵候
二二九八・(昭五)二二

◎前置胎盤ニヨリテ起ル分娩障礙ニ就キ述ベヨ
二二九八・(昭五)二二

◎羊水過少ハ胎兒ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤ
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

◎胎兒異常
二二九八・(昭五)二二

- 妊娠中胎兒死亡ノ徵候ヲ記セ 五二五(昭三、一)
- 妊娠中死亡セル胎兒ノ運命 五九(昭四、一)
- 妊娠中死亡セル胎兒ハ如何ナル經過ヲ取ルヤ 五九八・五九九(昭十、一)

母體異常

- 續發性陣痛微弱ノ原因ヲ記セ 六〇五(昭五、一)
- 陣痛微弱ノ原因及處置 六〇五・六二四(昭八、一)
- 陣痛ト病の陣痛トノ區別及ビ陣痛ト分娩痛トノ差異ヲ問フ 六二二・六二〇・六二〇(昭六、一)

- 稽留性流産トハ如何 五二五(昭六、一)
- 妊娠中絶ノ原因及徵候ヲ記セ 五〇五・五〇六(昭八、一)
- 流産及早産ノ種類ヲ舉ゲ説明セヨ 五〇四・五〇九等(昭七、一)

- 狹骨盤ノ狭窄程度ニヨル區別ヲ簡單ニ記セ 六二六(昭十一、一)
- 先天性股關節脫臼ニ就テ知ル所ヲ記セ 六三五(昭十一、一)

- 輸卵管流産ノ症狀ハ如何 五二四(昭五、一)
- 子宮外妊娠ノ徵候及處置 五二四・五二六(昭十一、一)
- 母體全身異常 五二五・五二六(昭七、一)

- 子宮破裂ノ症狀ハ如何 六四三(昭七、一)
- 子宮破裂ノ部位及其ノ理由ヲ問フ 六四三(昭十、一)
- 胎盤殘留ノ原因 六四三(昭十一、一)
- 分娩時ニ於ケル異常出血ノ原因ヲ列記セヨ 六四四(昭十一、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 早期破水ノ分娩ニ及ボス影響如何 六二七(昭三、一)
- 先天性畸形ノ主ナルモノヲ列舉シ並ニ之レニ對スル産婆ノ處置 六二八(昭七、一)

產婦異常

- 產褥中出血ノ原因及ビ處置 四三六・七三三・七三五(昭二、一)
- 產褥時異常出血ノ原因ヲ記セ 七三三(昭三、一)
- 產褥ニ創傷傳染病ノ起リ易キ理由及ビ其ノ主ナル豫防法 七三三・七三〇(昭六、一)
- 產褥熱ノ原因及ビ徵候 七三三・七三六(昭十、一)
- 產褥期ニ起リ易キ疾病ノ名稱並ニ症狀ノ大要ヲ記セ 七三六(昭十一、一)
- 產褥時ニ於ケル異常出血ノ原因及處置 七三三・七三五(昭十二、一)

- 及胎分娩ノ一般の經過ヲ問フ 六〇四(昭七、一)
- 雙胎兒ノ性ニ就キ簡單ニ記セ 六二〇(昭十一、一)
- 新生兒假死ノ原因及症狀ヲ問フ 六二八・六三九(昭十四、一)

新産兒異常

- 乳兒ニ於ケル丹毒ノ原因症狀及豫防法ヲ記セ 七二五(昭二、一)
- 遺傳梅毒ノ症狀ヲ記セヨ 七二五(昭二、一)
- 乳兒脚氣ノ症狀ハ如何 七二八(昭四、一)
- 頭血腫ニ就テ説明セヨ 七二七(昭五、一)
- 初生兒「メレナ」ノ症狀及處置 七二九(昭五、一)
- 先天性梅毒ノ特徵ヲ記セ 七二五(昭六、一)
- 初生兒肺疾患ノ種類ヲ舉ゲテ簡單ニ説明セヨ 七二四(昭六、一)
- 初生兒驚口瘡ノ症狀及處置 七二五(昭七、一)
- 初生兒ノ肺疾病ヲ列記セヨ 七二四(昭八、一)

- 初生兒驚口瘡ノ徵候及處置 七二五(昭八、一)
- 遺傳梅毒ノ徵候ヲ記セ 七二五(昭九、一)
- 驚口瘡ニ就キ知ル所ヲ記セ 七二五(昭十二、一)
- 新生兒膿漏眼ニ就キ知ル所ヲ記セ 七二六(昭十二、一)
- 先天性梅毒ノ徵候ニ就キ簡單ニ答ヘヨ 七二五(昭十三、一)
- メレナニ就キ簡單ニ答ヘヨ 七二九(昭十三、一)
- 乳兒脚氣ニ就テ記セ 七二六(昭十三、一)
- 早産兒看護上ノ主眼點ハ如何 七二八(昭五、一)
- 未熟兒ノ看護上ノ注意點 七二八(昭十、一)
- 早産兒看護上ノ注意事項 七二八(昭十二、一)

茨城縣

第一集 豫備知識

- 男女骨盤ノ差異 一五六(昭三、一)
- 骨盤内ニ於ケル腸骨無名線ニ答ヘヨ 一五六(昭七、一)
- 骨盤ヲ圖解シ左ノ名稱ヲ記入セヨ 一五六(昭七、一)
- 薦骨、坐骨棘、尾骶骨、腸骨前上棘、腸骨後上棘、腸骨、大轉子、薦腸關節、恥骨弓、第五腰

- 子官ノ位置形狀構造 一五六(昭三、一)
- 婦人尿道及尿道外口ノ位置並ニ長サ 一六〇(昭五、一)
- 卵巢黃體ニ答ヘヨ 一六〇(昭七、一)
- 子宮ノ位置ヲ圖解シ且ツ綫帶名稱ヲ記セ 一六三・一六四・一六四(昭七、一)
- 骨盤誘導線ニ答ヘヨ 一六五(昭七、一)
- 骨盤軸(誘導線)ヲ圖解セヨ 一六六(昭八、一)
- 骨盤境界線ヲ簡單ニ説明セヨ 一六六(昭九、一)
- 子官ノ位置形狀構造 一六九(昭三、一)
- 婦人尿道及尿道外口ノ位置並ニ長サ 一七〇(昭五、一)
- 卵巢黃體ニ答ヘヨ 一七〇(昭七、一)

○卵胞、胎胞、濾胞ヲ簡單ニ説明セヨ 一七〇〇(昭九、一〇)
○産婆ノ用フル消毒藥ノ種類用法 一七三三(昭二、一)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 羊水ノ性状及效用ヲ記セ 一七五三・一七六九(昭三、一)
- 内卵膜ヲ説明セヨ 〇一三三(昭六、一)
- 羊水ノ效用ヲ記セ 一七六九(昭八、一)
- 胎盤完成ノ時期構造及其ノ機能ヲ記セ 一七七〇・一七七八・一七九三(昭九、一)
- 胎盤發生ノ時期ト完成ノ時期ヲ簡單ニ説明セ 一七四一・一七五七(昭十、一)
- 卵膜トハ如何及其ノ種類ヲ記セ 一七九(昭十、一)
- 胎兒ノ子宮内ニ於ケル状態ヲ記セ 一七二二・一七二四(昭二、一)
- 肉門ト結合トヲ圖解シ其數及ビ産産期ニ於テ必要ナル理由 一七九二・一七九六(昭二、一)
- 胎盤形成以前ニ於テ何ニ依ツテ葉葉ヲ攝取シ得ルヤ 一七三九(昭四、一)
- 肉門ヲ圖解シ其ノ效用ヲ述ベヨ 一七九二・一七九六(昭七、一)
- 胎兒血行ト成人血行トノ區別如何 一七三三(昭七、一)
- 胎兒血液循環ヲ略圖シ大人ト異ナル點ヲ示セ 一七四二(昭七、一)
- 肉門結合ヲ圖解シ其ノ必要ナル理由 一七九二・一七九六(昭九、一)

○ボタロ氏(ボタロ氏)管アラシクニ記セ 一七四二・一七四三(昭十、一)

○成熟胎兒ノ徴候ヲ記セ 一七〇〇(昭十、一)

○胎兒血液循環ト成人トノ異ナル點ヲ記セ 一七四二(昭七、一)

妊婦ノ診察

- 産婆ノ診察法ニヨリテ診定シ得ラル、條目ヲ擧ゲヨ 一七三三・一七四九(昭三、一)
- 初妊婦ナラザルモノノ同診事項 一七九〇・一七九三(昭五、一)
- 内診ノ目的及内診時ノ注意 一七三〇(昭五、一)
- 妊娠十ヶ月ニ於ケル各胎位ノ音聴取ノ部位 一七三三(昭十、一)
- 胎兒心音ノ診察上ノ價値 一七三三(昭十、一)
- 妊娠後半期ニ於ケル胎兒ノ生死ハ何ニ依リテ確定スルカ 一七三七(昭二、一)
- △妊娠豫定日ヲ算出スル法ヲ記セ 一七〇〇(昭四、一)
- 妊娠中胎兒死亡ノ徴候 一七三三(昭五、一)
- 初期妊娠ヲ診察スベキ要點、妊娠ト誤診シ易キ疾病ヲ擧ゲ其ノ區別 一七九〇・一七九六(昭六、一)
- 妊娠ノ確證ヲ列記シ更ニ其種類區別ヲ記セヨ 一七六〇・一七六六(昭八、一)
- 妊娠第二ヶ月ノ子宮ト妊娠第五ヶ月ノ子宮ノ縱斷面ヲ圖解セヨ 一七三三(昭八、一)

○妊娠八ヶ月ノ胎兒ノ状態ヲ記セ 一七九九(昭八、一)

○妊娠五ヶ月末ノ徴候ヲ記セ 一七九四(昭九、一)

○ビスカツエツク氏徴候(ガール氏徴候)ニ就イテ知レル處ヲ記セ 一七七一・一七七三(昭十、一)

○ツオンデツク、アツシユハイム氏ノ反應ニ就イテ知レル處ヲ記セ 一七三三(昭十、一)

○妊娠中胎兒死亡ノ徴候 一七三三(昭十、一)

○妊娠ノ類症及鑑別ヲ記セ 一七三六(昭十、一)

妊婦攝生法

○妊婦ノ攝生法 一七三九(昭十、一)

第三集 正常分娩

○流産早産ノ區別 一七三三(昭二、一)

分娩ノ状態

- 初生兒ノ始メテ呼吸スル理由 一七五七(昭三、一)
- 陣痛ト認定スベキ事項及假陣痛ヲ問フ 一七三三(昭四、一)
- 分娩開始ノ徴候 一七三三(昭五、一)
- 産痛ノ發生理由並ニ診斷價値ヲ述ベヨ 一七九〇・一七九三(昭六、一)
- 收縮輪ニ答ヘヨ 一七三三(昭七、一)
- 卵胞ニ答ヘヨ 一七三三(昭七、一)
- 胎胞(卵胞)ヲ簡單ニ説明セヨ 一七三三(昭九、一)
- 收縮環(收縮輪)ヲ簡單ニ説明セヨ 一七三三(昭九、一)
- 破水ニ就テ記セ 一七三三(昭九、一)

○應形機能(微感機能)ヲ簡單ニ説明セヨ 一七八五(昭九、一)

○腹壓ハ分娩ニ如何ナル作用ヲ及ボスヤ 一七三三(昭十、一)

○正常陣痛ノ特性ヲ述ベヨ 一七三三(昭十、一)

○胎胞形成ノ時期ヲ簡單ニ説明セヨ 一七三三(昭十、一)

○第一期ノ期間及經過ニ就テ 一七三三(昭十、一)

○分娩ノ前驅徴候「前徴」ニ就テ 一七三三(昭十、一)

○各胎位ニ於ケル産痛ノ發生部位 一七三三(昭十、一)

○陣痛ノ種類及作用 一七三三(昭十、一)

分娩時診察

- 後頭位第一胎向ノ徴候 一七三三(昭二、一)
- 後頭位第一胎向内診上ノ所見並ニ産痛發生部位 一七三三・一七三三(昭七、一)

分娩取扱法

- 分娩前妊婦ヲシテ準備セシムベキ物品ノ名稱數量價格 一七三三(昭二、一)
- 産婆ノ携帶スベキ器具ノ名稱並ニ之ガ使用ノ主タル目的ヲ記セ 一七三三(昭三、一)
- 産室ノ適當ナル廣サ温度及消毒清潔法 一七三三(昭四、一)
- 胎盤斷端ノ處置 一七三三(昭五、一)
- 分娩第二期ノ處置 一七三三(昭八、一)
- 産婦ニ腹壓ヲ用フル時期ト禁ズベキ時期ヲ簡單ニ説明セヨ 一七三三(昭十、一)

○會陰保護法ヲ行フベキ時期ヲ簡單ニ説明セヨ 三〇〇六(昭十、二)
○クリステレル氏胎兒壓出法ヲ行フ場合ト其ノ方法 三〇〇七(昭十、二)

○胎帯切斷ノ時期ヲ簡單ニ説明セヨ 三〇〇八(昭十、二)
○破水時及ソノ前後ニ如何ナル事ヲ注意スベキカ 三〇〇九(昭十、二)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

○正規産褥ニ於ケル子宮復古ノ状態如何 四〇二(昭五、一)
○産褥ニ於ケル褥婦ノ特有ナル分泌物ニ就テ 四〇三(昭十、一)
○正規産褥第三日ニ於ケル子宮底ノ高サト惡露ノ性状ヲ記セ 四〇四(昭十、一)
○産褥ニ就テ記セ 四〇五(昭十、一)
○惡露ノ性状 四〇六(昭十、一)

○胎帯脱落ノ時期ニ就テ知ル處ヲ記セ 四〇七(昭九、一)
○産褥經過ノ良否ノ判定ニ資スベキ主ナル事項 四〇八(昭六、一)
○産褥ニ就キ注意スベキ諸點及其ノ理由 四〇九(昭六、一)
○正規産褥經過並ニ之ニ對スル看護上ノ注意事項 四一〇(昭七、一)

○褥婦離床ノ時期ニ就テ知ル處ヲ記セ 四一一(昭九、一)
○褥婦ノ排尿障礙ニ就テ詳細ニ記セ 四一二(昭三、一)

○胎帯脱落前ニ於テ初生兒ニ沐浴ヲ禁ズベキ場合 四二〇六(昭二、一)
○母乳ヲ與フベカラザル場合ヲ舉ゲヨ 四二〇七(昭三、一)
○初乳ト成乳トノ區別並ニ初乳ヲ初生兒ニ飲用セシムル利害ヲ記セ 四二〇八(昭五、一)

○母乳ノ選擇法 四二〇九(昭五、一)
○授乳ヲ禁ズベキ母體ノ疾病ノ名稱 四二一〇(昭六、一)
○胎帯脱落前ニ沐浴ヲ禁ズベキ場合 四二一一(昭七、一)
○授乳禁忌症ニ就テ記セ 四二一二(昭七、一)
○離乳ノ時期ニ就テ知ル處ヲ記セ 四二一三(昭九、一)
○母乳營養ト人工營養トノ利害得失 四二一四(昭十、一)
○初乳ノ性質及母乳ヲ廢スベキ場合 四二一五(昭十、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

○葡萄狀胎胎ノ意義ト診斷 五七〇(昭十、一)
○常位胎盤早期剝離ノ徵候症狀 五七一(昭二、一)
○前置胎盤ノ診斷 五七二(昭四、一)
○胎盤早期剝離ノ原因及胎盤早期剝離ト前置胎盤ノ症狀上異ナル點ヲ表示セヨ 五七三(昭五、一)
○前置胎盤ト常位胎盤早期剝離トノ區別如何 五七四(昭七、一)

○羊膜水腫ニ就テ記セ 五八六(昭五、一)

胎兒異常

○妊娠中胎兒死亡ノ原因及ビ症狀 五九七・二〇三五(昭三、一)
○妊娠三ヶ月ノ流産ト妊娠五ヶ月ノ流産ノ區別 五〇四・五〇五・五〇六(昭六、一)
○常習性流産トハ如何 五〇七(昭三、一)
○完全流産ト不完全流産ノ區別及特長 五〇八・五〇九(昭四、一)
○子宮外妊娠中最モ多キ種類及之ガ妊娠經過ヲ問フ 五一一(昭五、一)
○子宮外妊娠ノ種類及徵候、豫後 五一一・五一二・五一三(昭六、一)
○子宮外妊娠中絶ノ症狀トソノ鑑別ヲ要スル疾病 五一一・五一二(昭十、一)

母體性器異常

○妊娠ト微毒トノ關係 五二九(昭六、一)
○微毒性胎盤ノ特長及微毒性胎兒ノ運命 五三〇(昭十、一)
○妊娠中出血ヲ來ス場合ヲ舉ゲヨ 五三二(昭六、一)
○妊娠前半期ニ於テ生殖器出血ヲ起ス場合ヲ舉ゲヨ 五三三(昭八、一)

母體全身異常

○妊婦ニ對シ檢尿ヲ要スベキ場合並ビニ簡易ナル檢尿法二三ヲ記セ 五三八(昭二、一)

○妊娠中浮腫ノ原因症狀及處置 五三九・五四〇(昭八、一)
○子癩ノ診斷及產婆トシテノ應急處置 五四一・五四二(昭九、一)
○妊娠腎ノ妊娠分娩産褥ニ及ボス影響ヲ記セ 五四三(昭九、一)
○妊娠腎腫ノ原因症狀及處置 五四四・五四五(昭十、一)
○妊娠腎ノ診斷及處置ヲ記セ 五四六(昭十、一)
○子癩發作時ニ於ケル救急處置 五四七(昭十、一)
○惡阻ノ種類及症狀並ニ助産婦トシテ心得ベキ處置 五四八・五四九(昭十、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

○早期破水ノ原因及ビ分娩ニ及ボス影響ヲ記セ 五六一・五七〇(昭七、一)
○早期破水ノ分娩ニ及ボス影響 五七一(昭八、一)
○胎帯經絡ハ分娩ニ對シ如何ナル影響ヲ及ボスヤ 五七二(昭四、一)

○臍帶脫出ヲ來スベキ場合ヲ列舉シ之ニ依テ起ル危害ヲ記セ

六五三・六五四(昭九、二)

胎兒異常

○外診上ニ於ケル顔面部ノ所見ヲ述ベヨ

六二八(昭三、二)

○骨盤端位分娩ハ後頭位分娩ニ比シ何故胎兒生命ノ豫後ヲ不良トナスヤ

六二六三(昭八、一)

○胎位異常ノ原因ヲ問フ

六一四(昭三、二)

○頭部ト臀部トノ内診上ノ區別

六一五(昭三、一)

○双胎(二子)妊娠ノ確徵ヲ述ベヨ

六一〇五(昭三、二)

○分娩後ノ初生兒假死ニ遭遇セル時ハ如何ナル順序ヲ以テ之ヲ手當スルヤ

六一二二(昭四、一)

○分娩中ニ胎兒生命ニ危險ヲ發シタル徵候

六一三六(昭七、二)

母體異常

○過激陣痛トハ如何

六一三三(昭三、一)

○分娩第二期ニ於ケル陣痛微弱ノ診斷及ビ豫後ヲ記セ

六一三三(昭九、二)

○原發性微弱陣痛ノ原因ヲ記セ

六一〇六(昭三、一)

○狭窄骨盤ノ疑ヲ起スベキ症狀

六一七(昭三、一)

○過大骨盤ノ分娩ニ及ボス影響

六一四八(昭六、一)

○分娩時排尿ノ必要ナル理由及排尿法

六一三八(昭九、一)

○分娩時子宮破裂ノ主ナル原因ヲ問フ

六四二(昭二、二)

○後産娩出遅延スル原因並ニ處置

六四二・六四三(昭二、二)

○胎盤殘留ノ原因及處置

六四六(昭二、二)

○會陰破裂ハ如何ナル場合ニ生ズルカ

六四七(昭五、二)

○分娩中ノ異常出血ニ就イテ

六四四(昭七、二)

○會陰破裂ノ原因及ビ症狀ヲ記セ

六四七・六四三(昭七、二)

○分娩第三期ニ腔内ヨリ多量ノ出血ヲ認メタル時ハ其ノ原因ハ何ヲ考フベキヤ且ツ之ガ鑑別點ヲ記セ

六四二・六四七(昭八、一)

○弛緩性出血ト頸管破裂トノ鑑別及其處置

六四六・六四五(昭九、一)

○分娩第三期ニ於ケル異常出血トダンカン氏式胎盤剝離ニ於ケル出血トノ鑑別點ヲ記セ

六四八(昭十、一)

○分娩直後ノ異常出血ノ原因及處置ヲ記セ

六四七・六四四(昭十、二)

○弛緩性子宮出血ニ就テ述ベヨ

六四七(昭三、二)

○產褥熱ノ病原菌並ニ傳染徑路

七一三(昭五、一)

○產褥熱ノ豫防法

七一〇(昭五、二)

○異常惡露トハ何ゾヤ及其ノ原因ヲ問フ

七一六・七一七(昭五、二)

○產褥熱ノ原因症狀豫防法

七一三・七一六・七一〇(昭九、一)

第七集 異常產褥・補足知識

褥婦異常

- 產褥熱ノ病原菌並ニ傳染徑路 七一三(昭五、一)
- 產褥熱ノ豫防法 七一〇(昭五、二)
- 異常惡露トハ何ゾヤ及其ノ原因ヲ問フ 七一六・七一七(昭五、二)
- 產褥熱ノ原因症狀豫防法 七一三・七一六・七一〇(昭九、一)

○產褥期異常出血子宮出血ニ就イテ記セ

七一三(昭九、二)

○母乳ノ分泌量及其ノ性質ニ影響ヲ及ボス母體ノ疾病ニ就イテ知ル處ヲ記セ

七一五(昭九、二)

○產褥時ニ於ケル異常出血ノ原因ヲ列記セヨ

七一三(昭十、二)

○產褥熱ノ原因症狀及豫防法ヲ記セ

七一三・七一六・七一〇(昭十、二)

新産兒異常

○初生兒膿漏眼ノ原因及豫防法

七一五・七一七(昭二、一)

○小兒ノ消化不良ノ原因並ニ徵候

七一九(昭二、一)

○産瘤ト頭血腫トノ鑑別

七一九(昭二、二)

○頭血腫ト産瘤トノ鑑別

七一七(昭三、一)

○乳兒脚氣ノ症狀

七一〇(昭三、一)

○初生兒眼炎(淋毒性結膜炎)ハ分娩中如何ナル時期ニ感染スルヤ之ガ豫防方法如何

七一六・七一七(昭三、二)

○初生兒臍部ノ疾病

七一四(昭三、二)

○先夫微毒ノ徵候

七一五(昭六、二)

○産瘤ト頭血腫トノ鑑別及處置 七一七・七一八(昭六、二)

○初生兒ニ來ル主ナル疾病ノ名稱 七一三(昭七、一)

○先夫性微毒兒ノ徵候 七一五(昭八、一)

○初生兒ニ發スル疾患トソノ原因 七一六(昭十、一)

○初生兒口瘡ノ症狀及豫防法ヲ記セ 七一六(昭十、一)

○膿漏眼ノ原因症狀本症ニ對シ産婆ノトルベキ處置 七一五・七一八・七一七(昭十、一)

○初生兒丹毒ニ就イテ詳細ニ述ベヨ 七一三(昭十、二)

○頭血腫産瘤ノ原因及其ノ區別ヲ記セ 七一〇(昭十、二)

○死胎檢案書ノ具備スベキ事項及之ヲ交付スベキ場合如何 七一六・七一七(昭十、二)

○死胎檢案書ト死産證書トノ區別並ニ死産證書ノ記載事項ヲ例示セヨ 七一〇・七一六(昭六、一)

〔一二〕 千葉縣

第一集 豫備知識

○正中縱斷面ニ於ケル骨盤内臓器ノ位置ヲ圖解

〔三〕 千葉縣

○産婆ノ手指ノ消毒法

一八〇(昭二、一)

○骨盤軸ニ就テ記セ

一八五(昭六、一)

○正中縱斷面ニ於ケル骨盤内臓器ノ位置ヲ圖解

一八五(昭五、一)

○骨盤軸ニ就テ知ル處ヲ記セ

一八三(昭四、一)

○正中縱斷面ニ於ケル骨盤内臓器ノ位置ヲ圖解

一八五(昭五、一)

- 産婆ノ使用スル「リゾール」水ノ製法及本液ノ他ノ消毒薬ヨリ優レル點ヲ詳記セヨ
- 産婆ノ消毒ヲ必要トスル理由ヲ述ベ併セテ脱脂綿ガーゼノ適切ナル消毒法ヲ記セ
- 産婆ノ使用スル「クレゾール」水ノ製法及之ガ適用ヲ記セ

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 卵膜ニ就テ知ル所ヲ記セ
- 胎向ニ就テ記セ
- 如何ナル場合尋常分娩ヲ遂ゲ得ルヤ、妊娠時之ガ診断法、如何
- 妊娠前半期ノ診断
- 胎兒心音ニ就テ述ベヨ
- ミハエリス菱形ニ就キ簡單ニ説明セヨ
- 初妊ト經妊ノ鑑別
- 妊娠子宮ノ異常ニ強ク膨大スル場合ヲ舉ゲ各場合ノ主ナル症状ヲ記セ
- 妊娠第三ヶ月初妊婦ノ診察所見ヲ述ベヨ
- 妊娠第十ヶ月末初妊婦ノ腹部外診所見ヲ記セ

- 但シ胎兒ノ位置ハ第二頭蓋位トス
- 妊娠ノ半確徵ヲ舉ゲ子宮雜音ト臍帶雜音トヲ鑑別セヨ
- 想像妊娠ニ就キ簡單ニ説明セヨ
- ツオンデツク、アツシユハイム氏反應ニ就キ簡單ニ説明セヨ
- ビスカウエツク氏徵候ニ就キ簡單ニ説明セヨ
- ヘガール氏徵候ニ就テ記セ

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

- 分娩開始後ニ於テ如何ナル場合「自然分娩可能ナルベシ」ト推定シ得ルヤ
- 正規分娩ヲ遂グルニ必要ナル條件ヲ舉ゲヨ
- 娩出力ヲ説明セヨ
- 分娩ノ母體ニ及ボス影響ハ如何
- 正常分娩ノ持續時間及ソレニ影響ヲ及ボス主ナル事項ヲ記セ
- 娩出力ニ就テ記セ
- 陣痛ノ經過ヲ説明セヨ
- 分娩時ニ於テ胎兒先進下向部ノ骨盤腔内ニ於ケル高サノ測定法

分娩取扱法

- 初生兒沐浴ノ方法並ニ注意
- 分娩第二期ニ於ケル産婆ノ特ニ注意スベキ事項ヲ問フ
- 分娩開始後ニ内診ヲ行フ場合ヲ述ベ且ツ之ニ依リテ知ルベキ事項ヲ舉ゲヨ
- 分娩第三期ニ於テ産婆ノ注意スベキ事項
- 胎盤ノ検査ニ就テ知ル所ヲ記セ
- 會陰保護術ヲ行フ時期目的及其ノ實施法ヲ問フ

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 惡露ニ就イテ
- 産褥中ノ分泌ニ就テ記セ
- 正規産褥ニ於ケル子宮ノ状態ニ就イテ知ル處ヲ記セ
- 正規産褥ニ於ケル惡露ニ就テ記セ
- 正規産褥ニ於ケル復舊現象ニ就テ記セ
- 褥婦ノ子宮收縮状態及惡露ニ就テ記セ
- 産褥中ニ於ケル子宮底ノ高サヲ問フ
- 産褥ニ於ケル復古作用ヲ記セ
- 初乳ニ就キ簡單ニ説明セヨ

- 初生兒ノ呼吸、脈搏、體温、及ビ體重ニ就テ記セ
- 褥婦身體ノ状態ニ就テハ常ニ如何ナル點ニ注意スベキカ
- 産褥ノ養生法ニ就テ記セ
- 新産兒ノ衣服及襁褓ニ就イテ記セ
- 産褥ニ授乳ヲ禁ズベキ場合
- 新産兒看護上注意スベキ要點如何
- 新産兒沐浴ノ方法並ニ注意ニ就テ記セ

産褥取扱法

- 前置胎盤並ニ正常位置ニ於ケル胎盤ノ早期剝離ノ症状ヲ述ベヨ
- 羊水過多ノ分娩ニ及ボス影響ヲ記セ
- 人工破膜ヲ行フベキ場合ヲ列舉シ其ノ理由ヲ説明セヨ
- 羊水過多症ト及胎妊婦トノ鑑別
- 妊娠中胎兒死亡ノ原因ヲ列舉セヨ

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 胎兒異常

- 子宮外妊娠ノ種類及徴候 五二八・五二九(昭三、一)
- 妊娠中腹部ニ疼痛ヲ起ス場合(但シ妊娠ニ關係アル場合ノミ)ヲ舉ゲ且ツ各場合ノ主ナル症狀ヲ簡單ニ記セ 五二五(昭七、一)
- 妊娠中腹部ニ疼痛ヲ起ス場合(但シ妊娠ニ關係アル場合ノミ)ヲ舉ゲ且ツ各々ノ場合ノ重要點ヲ記セ 五二五(昭七、一)
- 喇叭管妊娠ヲ疑フベキ場合ヲ列舉セヨ 五二五(昭七、一)
- 母體性器異常 五二五(昭七、一)
- 妊娠前半期ニ出血ヲ起ス場合ノ處置ヲ述ベヨ 五二六(昭五、一)
- 母體全身異常 五二六(昭五、一)
- 妊娠中如何ナル場合浮腫ヲ起スヤ各場合ニ於ケル產婆ノ處置如何 五二六・五二九(昭三、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 早期破水ニ就イテ知ル所ヲ記セ 六二四(昭四、一)
- 早期破水ノ原因並ニ其ノ分娩ニ及ボス障礙ヲ記セ 六二六・六二七(昭五、一)
- 分娩ノ際羊水ノ潤滑ニ就イテ知ル處ヲ記セ 六二四(昭十、一)
- 早期破水ニ就テ知ル所ヲ記セ 六二四(昭十一、一)
- 臍帶脫出ノ原因及障害 六二五・六二六(昭三、一)

- 臍帶纏絡ノ原因、障害並ニ其處置ヲ記セ 六二〇・六二三・六二四(昭四、一)
- 臍帶纏絡ノ母兒ニ及ボス影響 六二三(昭五、一)
- 臍帶下垂ヲ起スベキ原因並ニ其ノ處置 六二五・六二六(昭十、一)
- 骨盤端位分娩ノ母體並ニ胎兒ニ及ボス影響ニ就テ記セ 六二六(昭十一、一)
- 双胎妊娠ニ於ケル卵膜及胎盤ノ關係ヲ圖解セヨ(六二〇)(昭八、一)
- 人工蘇生術ノ種類ヲ舉ゲ其ノ中ノ一方法ニ就イテ詳記セヨ 六二七・六二八(昭二、一)
- 分娩中胎兒生命ニ危險ヲ生ズル場合ヲ列記シ其ノ胎兒危險ノ徴候ヲ記セ 六二五・六二六(昭八、一)
- 母體異常 六二六(昭八、一)
- 過激陣痛ノ障礙並ニ其ノ處置 六二六・六二七(昭二、一)
- 陣痛微弱ノ原因及處置 六二五・六二四(昭三、一)
- 微弱陣痛ノ處置 六二四(昭六、一)
- 過激陣痛ノ障礙並ニ其處置 六二六・六二七(昭七、一)
- 微弱陣痛ノ原因並分娩ニ及ボス影響ニ就テ 六二四・六二五(昭五、一)
- 弛緩性出血ノ處置ヲ問フ 六二四(昭七、一)
- 分娩中並ニ分娩直後ニ於ケル異常出血ノ原因 六二四(昭七、一)

ヲ列記セヨ

○分娩時ニ於ケル出血ノ原因及ビ處置

六二〇(昭九、一)

第七集 異常產褥・補足知識

褥婦異常

- 産褥熱ノ原因並ニ主ナル症狀ヲ記セ 七二二・七二六(昭十一、一)
- 惡露蓄積症ノ原因並ニ症狀 七二二・七二六(昭十一、一)
- 新産兒異常 七二二(昭三、一)
- 産褥ト頭血腫トノ區別 七二二(昭三、一)
- 初生兒膿漏眼ノ原因及豫防法 七二二・七二六(昭四、一)
- 頭血腫嚙口瘡初生兒黃疸ニ就テ記セ 七二二(昭四、一)

- 初生兒傳染性疾患ノ種類並ニ其ノ豫防法 七二七・七二八(昭五、一)
- 産褥ト頭血腫トノ區別ヲ問フ 七二二(昭六、一)
- 初生兒口腔粘膜炎及眼疾患中主ナルモノヲ各一ツ舉ゲ且之ニ就キ簡單ニ説明セヨ 七二四(昭九、一)
- 看護法及介助法 七二五(昭九、一)
- 導尿法ヲ詳記セヨ 七二五(昭三、一)
- 産婆ニ關スル法令 七二五(昭三、一)
- 毎日診察中ノ妊婦突然死兒ヲ分娩シタリトテ死産證書ノ交付ヲ要求シ來レリ、此ノ場合如何ニスベキヤ 七二五(昭九、一)

〔三三〕 埼玉 縣

第一集 豫備知識

- 大小骨盤ノ境界ヲ簡單ニ答ヘヨ 一三四(昭三、一)
- 骨盤入口ノ徑線ニ就テ記セ 一三四(昭七、一)
- 骨盤ニ於テ產科學上必要ナル部位ノ名稱位置ヲ記セ 一三三(昭八、一)
- 骨盤ノ區別及各部ノ諸徑線ヲ記セ(一三四・一三六・一三五)(昭九、一)

- 骨盤誘導線ニ就テ記セ 一三五(昭三、一)
- 骨盤ニ於ケル產科學上最も必要ナル部位ノ名稱ヲ記セ 一三三(昭七、一)
- 子宮ノ位置ヲ詳記セヨ 一三九・一四〇(昭三、一)
- 受胎作用ヲ説明セヨ 一三三(昭四、一)
- 黃體ヲ説明セヨ 一四〇(昭四、一)
- 女性内生殖器ノ名稱位置、並ニ其ノ機能ヲ記セ 一三九・一四〇(昭五、一)
- 卵巢ノ位置構造及其機能ヲ記セ 一三九・一四〇(昭六、一)
- 婦人生殖器ノ名稱及其ノ一般作用ヲ簡明ニ記セ(一四〇)(昭七、一)

- 輸卵管ノ位置形状及ビ構造ヲ記セ
- 卵巢ノ位置形状及ビ作用ヲ記セ
- 卵巢黄體ニ就テ知ル處ヲ記セ
- 輸卵管ニ就テ知ル所ヲ記セ

一七九(昭十、二)
一八〇(昭十、二)
一八〇(昭十、二)
一八〇(昭十、二)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 臍帯及胎盤ノ構造並ニ機能 二一五・二一五・二一六・二一六(昭三、二)
- 胎盤完成ノ時期 二一七(昭三、二)
- 胎盤ノ構造及其ノ效用ヲ記セ 二一六・二一七(昭四、二)
- 假羊水ヲ問フ 二一五(昭四、二)
- 胎盤完成ノ時期ヲ記セ 二一七(昭六、二)
- 臍帯ノ構造及其ノ作用ヲ記セ 二一五・二一五(昭八、二)
- 胎盤ノ機能ニ就テ詳記セヨ 二一六(昭九、二)
- 胎勢、胎位、胎向 二一三・二一四(昭二、一)
- 大肉門ヲ形成スル骨ノ名稱ヲ説明セヨ 二一四(昭四、一)
- アランチー氏靜脈管ヲ問フ 二一四(昭四、二)
- 初生兒ノ頭蓋ヲ構成スル骨及縫合ノ名稱 二一六(昭五、二)
- 妊娠線ヲ問フ 二一六(昭四、二)
- 妊婦ノ生殖器以外ニ現ル、變化ヲ記セ 二一七(昭五、二)
- 妊娠ノタメニ起ル子宮ノ變化ニ就テ記セ 二一六(昭十、二)

二一五(昭三、二)
二一六(昭四、二)
二一五(昭四、二)
二一五(昭六、二)
二一五・二一五(昭八、二)
二一六(昭九、二)
二一三・二一四(昭二、一)
二一四(昭四、一)
二一四(昭四、二)
二一六(昭五、二)
二一六(昭四、二)
二一七(昭五、二)
二一六(昭十、二)

妊婦ノ診察

- 對角結合線ヲ説明セヨ 二一七(昭四、一)
- 内検査ノ方式及注意事項 二一四・二一五(昭六、二)
- 各胎位ニ於ケル胎兒心音ヲ聴取シ得ル部位 二一四(昭九、一)
- 妊娠ノ診察ニ際シ注意スベキ事項ヲ記セ 二一六(昭九、二)
- 骨盤ヲ構成スル骨ノ名稱ト骨盤外計測法ニ就テ記セ 二一三・二一四(昭十、一)
- 妊婦ノ腹部觸診ノ順序及ビ之ニモリテ知り得ベキ事項ヲ記セ 二一六・二一七(昭十、二)
- 妊娠ノ診察ニ就テ注意スベキ事項ヲ列舉セヨ 二一六(昭十、二)
- 妊娠第八ヶ月ト第十ヶ月トノ鑑別ヲ記セ 二一五(昭二、一)
- 妊娠五ヶ月ノ終リニ於ケル徴候ヲ記セ 二一五(昭六、一)
- 妊娠初期ノ徴候並ニ妊娠ト區別スベキ類症ヲ記セ 二一六(昭八、二)
- 妊娠五ヶ月ハ八ヶ月十ヶ月ニ於ケル徴候ヲ記セ 二一五(昭十、一)
- 主ナル妊娠時期診定法ノ優劣ニ就テ記セ 二一五(昭十、二)
- 妊娠ト診察スベキ徴候ヲ舉ゲ他病トノ鑑別ヲ記セ 二一六・二一七(昭十、一)
- 妊娠中ニ於ケル攝生法ノ要項ヲ記セ 二一六(昭十、一)

妊婦攝生法

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

- 娩出力ニ就テ説明セヨ 三二五(昭三、二)
- 子宮收縮輪 三二〇(昭三、二)
- 兒頭ノ排臨トハ如何 三二五(昭三、二)
- 陣痛ヲ説明セヨ 三二一(昭四、一)
- 娩出力ヲ問フ 三二五(昭四、二)
- 第二後頭位ノ分娩機轉ヲ問フ 三二〇(昭四、二)
- 産瘤ヲ問フ 三二八(昭四、二)
- 分娩開始ノ徴候 三二五(昭五、二)
- 分娩ニ要スル時間ヲ記セ 三二〇(昭六、一)
- 收縮輪ヲ記セ 三二〇(昭六、一)
- 陣痛ノ種類及作用ヲ記セ 三二五(昭八、一)
- 初妊妊婦ノ區別並ニ其ノ正規分娩經過ノ差異ヲ記セ 三二六・三二七(昭八、一)
- 分娩ノ母體ニ及ボス影響ニ就テ記セ 三二八(昭八、二)
- 後頭位分娩ニヨル兒頭ノ變化ニ就テ記セ 三二五(昭九、一)
- 正規分娩ノ胎兒ニ及ボス影響ヲ記セ 三二八(昭九、二)
- 分娩開始ノ徴候及診察ニ就テ記セ 三二八(昭十、一)
- 陣痛トハ何ゾヤ併セテ其ノ種類ヲ記セ 三二二・三二四(昭十、二)
- 子宮收縮輪ニ就テ記セ 三二〇・三二二(昭十、二)

三二五(昭三、二)
三二〇(昭三、二)
三二五(昭三、二)
三二一(昭四、一)
三二五(昭四、二)
三二〇(昭四、二)
三二八(昭四、二)
三二五(昭五、二)
三二〇(昭六、一)
三二〇(昭六、一)
三二五(昭八、一)
三二六・三二七(昭八、一)
三二八(昭八、二)
三二五(昭九、一)
三二八(昭九、二)
三二八(昭十、一)
三二二・三二四(昭十、二)
三二〇・三二二(昭十、二)

分娩時診察

- 産瘤左顛頂骨ノ後部ニ生ジタル場合ノ胎位胎向 三二九(昭三、二)
- 分娩時内診ニヨリ診定シ得ル主要事項ヲ記セ 三二四(昭四、一)
- 第一後頭位ノ診察及分娩機轉ヲ記セ 三二〇・三二〇(昭七、一)
- 分娩時内診ニヨリ診定シ得ル主要事項ヲ記セ 三二四(昭七、二)
- 産婦ノ内診ノ際遵守スベキ注意事項ヲ記セ 三二〇(昭十、二)
- 分娩ノ準備 三二四(昭二、一)
- 會陰保護ノ目的及方法 三二〇・三二〇(昭二、一)
- 會陰保護ノ種類及之ヲ行フベキ時期並ニ目的ヲ問フ 三二〇・三二〇(昭二、一)
- 分娩第二期ニ於ケル産婆ノ職責 三二七(昭四、一)
- 正規分娩各期ニ於ケル處置ヲ記セ 三二五(昭五、二)
- 正規分娩第二期ノ處置 三二五(昭六、二)
- 分娩直後ニ於ケル初生兒ノ處置ヲ記セ 三二六(昭七、一)
- 産婦ニ腹壓ヲ命ジ又ハ禁ズル時期並ニ其ノ理由ニ就キテ記セ 三二四・三二五(昭十、一)
- 臍帯ノ構造作用及臍帯切斷法ニ就イテ記セ 三二五(昭十、二)
- 分娩直後ノ母體取扱法ニ就テ記セ 三二六(昭十、一)
- 會陰保護ニ當リ仰臥位ト側臥位トノ優劣ヲ記セ 三二六(昭十、二)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 正規産褥期ニ於ケル悪露ノ状態ニ就イテ記セ 四三六(昭四、二)
- 正規産褥期ニ於ケル子宮及悪露ノ状態ニ就テ記セ 四二二(昭四、三)
- 産褥ニ於ケル排尿障碍ニ就テ記セ 四二二(昭四、三)
- 初生兒ノ脈搏體温體重ニ就イテ記セ 四八九(昭五、一)
- 初生兒黄疸ニ就テ知ル處ヲ記セ 四九八(昭八、一)
- 生後約二週間ノ初生兒ニ起ル生理的現象ヲ述ベ 四二六(昭十、三)
- 健康ナル初生兒ノ生活現象ニ就テ記セ 四八四(昭七、一)
- 産褥ノ攝生法 四六八(昭二、一)
- 産褥婦ニ對スル注意事項ヲ記セ 四三二(昭八、三)
- 就床期間ノ長短ト産褥經過トノ關係ヲ説明セヨ 四七六(昭三、一)
- 産褥ノ取扱上注意スベキ事項ヲ記セ 四三二(昭三、一)
- 母乳栄養法ニツキテ記セ 四三三(昭三、一)
- 離乳ノ時期ヲ説明セヨ 四三三(昭四、一)
- 人乳營養法並ニ乳母選定法 四三三(昭六、二)
- 人乳栄養法 四三三(昭六、二)

産褥取扱法

- 人工營養兒ニ對スル看護法ヲ記セ 四三三(昭七、一)
- 乳母ノ選定ヲ記セ 四三三(昭七、一)
- 天然營養ト人工營養法ノ優劣ヲ記セ 四三三(昭七、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 葡萄胎胎ノ診斷處置 五七〇(昭六、二)
- 正規妊娠ト鬼胎妊娠トノ診斷上ノ相違點ヲ記セ 五二八(昭七、三)
- 正規妊娠ト鬼胎妊娠トノ診斷上ノ相違點ヲ記セ 五二八(昭七、三)
- 流産及ビ葡萄胎胎排出後産褥ノ注意スベキ事項ヲ記セ 五二二(昭七、一)
- 正常位置ニ於ケル胎盤早期剝離ノ診斷及處置ヲ問フ 五五五(昭二、一)
- 常位胎盤早期剝離ノ原因症狀處置 五三三(昭六、三)
- 前置胎盤ノ症狀及處置ヲ記セ 五三〇(昭十、一)
- 中央前置胎盤ノ症狀及ビ處置ヲ記セ 五三〇(昭十、一)
- 羊水過多症ノ障礙診斷處置ヲ記セ 五七二(昭七、三)
- 胎兒異常 五九七(昭三、二)
- 妊娠中胎兒死亡ノ原因及症狀 五九七(昭三、二)
- 流産、早産ノ原因及處置 五二〇(昭三、一)

常習性流産及早産ノ辨アル妊娠ニ對スル産褥ノ注意點ヲ記セ

- 流産ノ原因症候及其ノ處置ヲ記セ 五二〇(昭七、一)
- 完全流産ト不完全流産ニ就テ記セ 五二二(昭七、一)
- 子宮外妊娠ノ種類診斷及處置 五二六(昭二、二)
- 子宮外妊娠ノ種類診斷及處置ヲ記セ 五二六(昭二、二)

母體性器異常

- 妊娠子宮ノ後屈症ニ就テ記セ 五七三(昭五、一)
- 強度ノ妊娠子宮前傾前屈症ノ原因及其ノ妊娠分娩ノ經過ヲ記セ 五八八(昭七、二)
- 強度妊娠子宮脱出ノ症狀及分娩經過ニ就テ記セ 五八五(昭九、一)
- 後屈子宮妊娠ノ症狀經過及處置ヲ述ベヨ 五七三(昭十、二)
- 妊娠子宮下垂及脱出ノ原因症狀處置ヲ記セ 五八五(昭五、一)
- 子癩ノ症狀及豫防法 五二五(昭四、一)
- 妊娠ト肺結核トノ關係 五三三(昭二、一)
- 妊娠腎臓炎ニ就テ記セ 五三三(昭四、二)
- 妊娠腎臓炎ノ症狀及處置ニ就イテ記セ 五三六(昭十、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 分娩經過中産褥及胎兒ニ危險ヲ來ス場合如何 六二〇(昭五、一)
- 胎膜破開術ヲ施スベキ時期ヲ説明セヨ 六二四(昭四、一)
- 早期破水ノ原因及其分娩ニ及ボス影響 六二六(昭三、二)
- 早期破水ヲ記セ 六二六(昭六、一)
- 早期破水ノ原因及其分娩障碍ヲ記セ 六二六(昭八、一)
- 早期破水ノ原因及其ノ分娩障害ヲ記セ 六二六(昭八、二)
- 胎帯脱出ト下垂トノ區別及其ノ原因處置ヲ問フ 六三三(昭五、二)

胎兒異常

- 初産兒ノ先天性畸形ニ對シ産褥ノ取ルベキ注意點ニ其ノ重ナルモノノ名稱ヲ記セ 六六八(昭七、一)
- 頭位ト臀位トノ分娩機轉ヲ比較セヨ 六二九(昭三、一)
- 胎兒ノ位置ニ就テ記セ、並ニ其ノ分娩ニ及ボス影響ヲ問フ 六〇〇(昭五、一)
- 胎兒ノ位置ニ就テ記セ、並ニ其ノ分娩ニ及ボス影響ヲ問フ 六〇〇(昭六、一)
- 産道ニ於ケル手足トノ鑑別點 六二四(昭三、二)
- 口及肛門ノ内診上ノ鑑別點 六二四(昭七、一)

- 各種胎位ニ於ケル分娩ノ難易ニ就テ記セ 六〇九(昭七、一)
- 雙胎妊娠ノ診斷 六〇九(昭三、一)
- 双胎分娩ノ經過及其取扱法ヲ記セ 六〇九・六〇九(昭九、二)
- 初生児假死ノ原因及其ノ種類ヲ記セ 六〇八・六〇九(昭九、一)
- 早期呼吸ハ如何ナル時ニ來ルヤ 六〇八(昭十、一)
- 初生児假死ノ原因ヲ記セ 六〇八(昭十、二)
- 初生児假死ノ原因及處置ヲ記セ 六〇八・六〇九(昭九、一)
- 母 體 異 常
 - 陣痛微弱ノ原因及分娩ニ及ボス影響ヲ記セ 六〇九・六〇九(昭五、一)
 - 痙攣性陣痛ニ就イテ記セ 六〇九(昭八、一)
 - 陣痛微弱ノ母體及胎児ニ及ボス影響ヲ分娩各期ニ就イテ記セ 六〇九(昭十、一)
 - 陣痛微弱ノ原因ヲ記セ 六〇九(昭十、二)
 - 過強陣痛ノ原因徴候及母體ニ及ボス影響ヲ記セ 六〇九・六〇九・六〇九(昭十、一)
 - 大骨盤ト小骨盤ノ差違ヲ舉ゲ並ニ狹窄骨盤ノ種類ヲ記セ 六〇九・六〇九(昭二、一)
 - 膀胱及直腸充盈ノ分娩ニ及ボス影響ヲ記セ 六〇九(昭六、一)
 - 膀胱及直腸充盈ノ分娩ニ及ボス影響 六〇九(昭六、二)
- 胎盤殘留ノ診斷及其ノ處置ヲ記セ 六〇九(昭七、一)
- 子宮ノ弛緩性出血ノ原因症狀及其ノ處置ヲ記セ 六〇九・六〇九・六〇九(昭九、一)
- 分娩第二期ヲ説明シ且ツ第二期ニ伴フ危險ニ就テ記セ 六〇九・六〇九・六〇九(昭十、一)
- 弛緩性子宮出血ト鑑別スベキ異常出血ヲ舉ゲ其ノ鑑別法ヲ述ベヨ 六〇九・六〇九・六〇九(昭十、一)
- 胎盤殘留ノ原因ヲ記セ 六〇九(昭十、二)
- 分娩第一期ニ於ケル出血ノ原因及處置ヲ記セ 六〇九(昭十、二)
- 産婦急性貧血ノ原因症狀及處置ヲ記セ 六〇九(昭九、一)

第七集 異常産褥・補足知識

褥 婦 異 常

- 産褥ニ發生シ易キ疾病ノ名稱及豫防法ヲ記セ 七〇一(昭二、一)
- 産褥熱ノ原因及豫防法ヲ問フ 七〇一・七〇一(昭五、一)
- 異常惡露ニ就イテ記セ 七〇一(昭五、二)
- 産褥時ニ於ケル異常出血ニ就テ記セ 七〇一(昭五、三)
- 産褥ノ罹リ易キ疾病ノ種類及豫防法ヲ記セ 七〇一(昭六、一)
- 尿失禁ヲ記セ 七〇一(昭六、二)
- 産褥子宮回復不全ノ原因症狀及處置ヲ記セ 七〇一・七〇一・七〇一(昭七、一)

〔一四〕 東京府

第一集 豫備知識

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 骨盤誘導線ニ就イテ説明セヨ 七〇五(昭六、一)
- 羊水ニ就テ記セ 七〇六(昭三、一)
- 胎盤ノ構造及機能 七〇六(昭五、一)
- 胎盤ノ機能ヲ記セ 七〇六(昭六、一)
- 胎盤殘留ノ診斷及其ノ處置ヲ記セ 七〇六(昭七、一)
- 子宮ノ弛緩性出血ノ原因症狀及其ノ處置ヲ記セ 七〇六・七〇六・七〇六(昭九、一)
- 分娩第二期ヲ説明シ且ツ第二期ニ伴フ危險ニ就テ記セ 七〇六・七〇六・七〇六(昭十、一)
- 弛緩性子宮出血ト鑑別スベキ異常出血ヲ舉ゲ其ノ鑑別法ヲ述ベヨ 七〇六・七〇六・七〇六(昭十、一)
- 胎盤殘留ノ原因ヲ記セ 七〇六(昭十、二)
- 分娩第一期ニ於ケル出血ノ原因及處置ヲ記セ 七〇六(昭十、二)
- 産婦急性貧血ノ原因症狀及處置ヲ記セ 七〇六(昭九、一)

新産兒異常

- 産褥時ニ起リ易キ疾病ノ名稱ヲ列記セヨ 七〇一(昭十、一)
- 産褥時ニ於ケル創傷傳染ノ種類及豫防上ノ主要點ヲ記セ 七〇一(昭十、二)
- 初生児ニ發生シ易キ疾病ノ名稱及豫防法ヲ記セ 七〇二(昭二、一)
- 先天梅毒兒ノ徴候 七〇二(昭三、一)
- 乳兒脚氣ノ症狀及豫防法 七〇二・七〇二(昭三、一)
- 初生児ニ發生シ易キ疾病ノ名稱ニ就テ記セ 七〇二(昭五、一)
- 初生児臍輪炎ノ原因徴候及處置ヲ記セ 七〇二(昭九、一)
- 初生児破傷風ノ原因症狀及豫防法ヲ記セ 七〇二(昭十、一)
- 早産兒ノ看護上注意スベキ事項ヲ記セ 七〇二(昭十、二)
- 導尿カテーテルノ種類ト消毒方法及使用法 七〇二・七〇二(昭二、一)
- 導尿カテーテルノ種類及其ノ消毒法ニ就イテ記セ 七〇二(昭五、一)
- 脫落膜ニ就イテ説明セヨ 七〇三(昭六、一)
- 臍帯ノ構造及機能 七〇三・七〇三(昭九、一)
- 羊水ノ起源並ニ其ノ妊娠分娩ニ對スル效用 七〇三・七〇三(昭十、一)
- 初生児成熟ノ徴候 七〇三(昭二、一)
- 胎勢胎向胎位ヲ記セ 七〇三・七〇三(昭三、一)
- 胎位ニ就イテ説明セヨ 七〇三(昭六、一)
- 初生児ノ成熟徴候 七〇三・七〇三(昭七、一)
- 胎位胎向ニ就イテ記セ 七〇三・七〇三(昭七、二)
- 胎勢ニ答ヘヨ 七〇三(昭十、一)
- 胎兒ト新産兒(初生児)トノ血液循環ノ相違ヲ記セ 七〇三(昭十、二)

- 正規産褥婦ノ食餌ニ就イテ 昭八、二
- 正規産褥婦ニ對スル處置 昭九、一
- 褥婦ノ排尿異常ヲ起ス場合及其ノ處置 昭九、二
- 褥婦離床ニ就テ述ベヨ 昭九、三
- 産褥中産婆ノ注意スベキ事項ヲ舉ゲヨ 昭九、四
- 初生兒體重ノ變化ヲ記シ注意スベキ點ヲ舉ゲヨ 昭九、五
- 母乳ノ營養ニ就テ記セ 昭九、六
- 生後一週間以内ノ人工營養法 昭九、七
- 母乳栄養ト牛乳栄養トノ優劣ヲ説明セヨ 昭九、八
- 新産兒人工營養法ハ如何ナル場合ニ行フカ並ニ牛乳消毒法ニ就テ記セ 昭九、九

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 葡萄胎胎ノ診斷 昭三、一
- 双胎妊娠ト似タル症狀ヲ呈スルモノヲ舉ゲ且鑑別法ヲ略記セヨ 昭三、二
- 前置胎盤ニ就テ知ル所ヲ記セ 昭三、三
- 正常位置胎盤早期剝離ノ徵候及處置 昭三、四
- 前置胎盤ト正常位置胎盤早期剝離トノ鑑別點ヲ列記セヨ 昭三、五

- 分娩開始前ニ於ケル前置胎盤ノ診斷ニ就テ記セ 昭三、六
- 急性羊水過多症ノ症狀ヲ記シ之ト類似ノ症狀ヲ呈スルモノトノ區別ヲセヨ 昭三、七
- 羊水過多症ノ徵候及診斷 昭三、八
- 胎兒異常
- 常習流産常習早産ノ原因及其ニ對スル注意 昭三、九
- 流産ノ際ノ内診所見ニ就テ 昭三、一〇
- 流産ノ原因及徵候 昭三、一一
- 子宮外妊娠破裂ノ徵候 昭三、一二
- 母體性器異常
- 妊娠中出血ノ原因及其處置 昭三、一三
- 妊娠中ニ起ル生殖器出血ノ原因ヲ記セ 昭三、一四
- 妊娠中ノ出血ノ原因 昭三、一五
- 母體全身異常
- 妊婦ノ浮腫ニ就テ 昭三、一六
- 浮腫アル産婦ニ對シテ注意スベキ事ヲ記セ 昭三、一七
- 妊婦ノ浮腫ニ就イテ 昭三、一八
- 妊婦ノ浮腫ニ就イテ 昭三、一九
- 惡阻ニ就テ 昭三、二〇
- 類子瘤症(子瘤前驅症)ノ徵候及處置 昭三、二一
- 妊娠腎ノ診斷ト處置 昭三、二二

妊娠腎ノ症狀ト處置

(昭三、二二)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 早期破水ノ分娩障害 昭三、二二
- 前期破水及早期破水トハ何ゾヤ及ソレガ母兒ニ及ボス影響如何 昭三、二三
- 分娩第二期ニ於テ兒頭ノ骨盤入口上ニ固定セザル場合ヲ列舉シ産婆ノ之ニ對スル處置ヲ述ベヨ 昭三、二四
- 早期破水ノ母兒ニ對スル影響 昭三、二五
- 胎帶纏結アル時ノ處置及初生兒(新産兒)假死ノ手當法 昭三、二六
- 胎兒異常
- 骨盤端位分娩ノ處置 昭三、二七
- 臀位分娩ニ於ケル注意事項 昭三、二八
- 骨盤端位ノ診斷 昭三、二九
- 上肢脱出ト下肢脱出トハ何レガ分娩困難ナリヤ且ツ其ノ理由ヲ記セ 昭三、三〇
- 骨盤端位分娩ニ對スル産婆ノ注意事項 昭三、三一
- 深在(低在)横定位トハ何ゾヤ 昭三、三二
- 双胎妊娠診斷 昭三、三三

- 双胎兒ノ卵膜ニ就イテ 昭三、三四
- 分娩中胎兒危險ノ徵候 昭三、三五
- 初生兒假死ノ處置 昭三、三六
- 新産兒(初生兒)假死ニ對スル處置法ヲ述ベヨ 昭三、三七
- 母體異常
- 過強陣痛ニ就イテ記セ 昭三、三八
- 微弱陣痛ノ原因 昭三、三九
- 種々ノ原因ニヨル陣痛微弱ヲ列記シ各々ニ就キ適當ナル處置ヲ記セ 昭三、四〇
- 狭窄骨盤ニ就イテ記セ 昭三、四一
- 狭窄骨盤ノ一度二度ノ區別及其ノ分娩經過並ニ其ノ處置ヲ一般的ニ記セ 昭三、四二
- 高年ノ初産婦分娩ハ如何ナル經過ヲトルヤ、産婆トシテノ注意事項 昭三、四三
- 分娩第一期第二期ニ於ケル異常出血ノ原因ヲ列舉セヨ 昭三、四四
- 弛緩性出血ヲ説明シ特ニ子宮頸管破裂ノ鑑別法 昭三、四五
- 子宮頸管ニ答ヘヨ 昭三、四六
- 弛緩性出血ニ對スル處置ヲ記セ 昭三、四七
- 子宮破裂ノ原因及徵候 昭三、四八

○分娩第一期及第二期ニ於ケル異常出血ノ原因ニ就テ述ベヨ
大石・大石(昭十、一)

第七集 異常産褥・補足知識

褥婦異常

- 産褥發熱ノ原因ニ就テ
七四三(昭二、二)
- 産褥熱ニ就イテ記セ
七九(昭三、二)
- 産褥期ニ於ケル子宮ノ異常位置形狀ヲ起ス原因及其ノ豫防法ヲ記セ
四一六(昭五、一)
- 褥婦ノ泌尿障礙ニ就テ記セ
七二四(昭五、二)
- 異常惡露ニ就テ
七四五(昭七、一)
- 敗血症膿毒症ニ答ヘヨ
七二八(昭八、一)
- 膀胱腫脹ニ答ヘヨ
七二九(昭八、一)
- 異常惡露ニ就テ
七四五(昭九、一)
- 惡露蓄積症ノ原因徵候ヲ問フ
七二二(昭十、二)
- 産褥子宮復舊不全症ニツイテ
七三三(昭十、二)
- 褥婦發熱ノ原因ニ就イテ
七三三(昭十、二)

〔一五〕 神奈川

第一集 豫備知識

○小骨盤各部ニ於ケル最大徑線及其測點ヲ記セ
一三五(昭二、一)

○排卵機能ヲ説明シ且ツ受胎トノ關係ヲ記セ
二二七・二三三(昭四、一)

○ゼンメルワイズノ氏名ニ就テ産婆學上知ル所ヲ記セ
一三七(昭九、二)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 假羊水トハ如何ナルモノカ
二七五(昭三、一)
- 胎盤ト子宮壁トノ血液循環ノ關係
二二八(昭四、一)
- 羊水ノ妊娠時及分娩時ニ於ケル效用
二六九(昭五、一)
- 胎盤ノ外觀及厚サ廣サ重サ
二二〇・二三三(昭五、二)
- 羊水トハ如何及其ノ效用ニ就テ記セ
二六三・二六九(昭八、一)
- 胎盤ノ重量
二二三(昭十、二)
- 羊水ノ妊娠中及分娩中ノ效用
二六九(昭十、二)
- 胎兒及ビ初生兒ノ血液循環ノ差異ヲ述ベヨ
二一六(昭三、二)
- 産毛ニツキ知ル事ヲ記セ
二八三(昭四、一)
- 妊娠各月ニ於ケル胎兒ノ發育状態
二七七(昭六、一)
- 成熟兒頭ノ諸徑線及周圍
二九七(昭六、一)
- 妊娠線ハ何故生ズルヤ及ビ其發生ノ部位ハ何處ナルヤ
二七六(昭三、一)

妊婦ノ診察

〔五〕 神奈川 縣

- 乳腺炎ノ豫防ニ就イテ記セ
七〇三(昭十二、一)
- 異常惡露ニ就イテ
七四五(昭十五、一)
- 産褥ニ於ケル異常血性惡露ニ就キ就中其ノ經過及注意ヲ記セ
七三三(昭十五、一)

新産兒異常

- 産褥ト頭血腫トノ鑑別
七三九(昭二、一)
- 頭血腫ニ就イテ記セ
七三七(昭四、一)
- 頭蓋血腫ヲ説明シ産褥トノ區別
七二六・七二〇(昭六、二)
- 初生兒肺炎ニ答ヘヨ
七三四(昭八、一)
- 頭血腫トハ如何並ニ産褥トノ鑑別ヲ記セ
七二七・七二〇(昭八、二)
- 新産兒驚口瘡ニ就イテ
七一九三(昭十、一)
- 新産兒「メレナ」ニ就イテ
七一九九(昭十、一)
- 新産兒死亡ノ原因ニツイテ
七二四(昭十一、二)
- 早産兒ノ看護法
七三五(昭七、一)
- 早産兒トハ何ゾヤ並ニ其ノ哺育法ニ就テ記セ
七三四(昭十、一)
- 骨盤軸又ハ骨盤誘導線トハ何ヲ云フカ
一七七(昭三、一)
- 男女骨盤ノ差異ヲ述ベヨ
一八八(昭三、一)
- 卵巢ニツキ知ル事ヲ記セ
一〇四(昭四、一)
- 月經ト排卵トノ關係
一八八(昭七、一)
- 卵巢ノ位置
一〇四(昭九、一)

○「ハロツトマン」ニツキ知ル事ヲ記セ
二二〇(昭四、一)

○骨盤内計測法
二二六(昭九、一)

- 妊娠ト誤診サレ易キ疾病ハ何々カ
二二六(昭二、一)
- 妊娠成立並ニ前半期ノ比較的確徵
二二六(昭四、一)
- 妊娠八ヶ月ト十ヶ月トノ鑑別
二二五(昭六、一)
- 妊娠ノ徵候ヲ述ベ併セテ之ト認リ易キ各種疾病トノ區別ノ要點ヲ述ベヨ
二二五・二二六(昭七、一)
- ピスカツエツク氏徵候ヲ記セ
二二七(昭七、一)
- ピスカツエツク氏妊娠徵候トハ如何ナルモノカ
二二七(昭七、一)
- 胎兒生死ノ診斷ヲ詳記セヨ
二二七(昭八、一)
- 妊娠子宮ノ異常ナル膨大ヲ起ス主要ナル原因並ニ鑑別法ヲ記セ
二二〇(昭九、二)
- 妊娠ノ診斷
二二六(昭十、一)
- 月經閉止後第六ヶ月ノ婦人ノ妊娠診察上注意スベキ事項ヲ擧ゲ若シ妊娠ナリトセバ其ノ徵候如何
二二五(昭十四、一)

第三集 正常分娩

○正規分娩トハ如何ナル場合ヲ言フカ
二二〇(昭二、一)

○分娩時各體位ニ於ケル胎兒先進部ヲ記セ
一〇四(昭十一、一)

分娩ノ状態

- 娩出力ト何ゾヤ 三五 (昭二、二)
- 日本婦人正規分娩経過ノ時間如何 三〇七三 (昭三、二)
- 排露ニツキ知ル事ヲ記セ 三〇七三 (昭四、一)
- 第一後頭位診断及分娩経過 三〇七三・三〇七五 (昭四、二)
- 分娩開始ヲ知ルベキ徴候 三〇七六 (昭六、二)
- 前陣痛ト分娩陣痛ヲ説明セヨ 三〇七六・三〇七五 (昭七、二)
- 第一後頭位ノ分娩機轉 三〇七六 (昭六、一)
- 分娩ハ母體及胎兒ニ如何ナル影響ヲ及ボスカ 三〇八二・三〇八三 (昭十、一)
- キュストネル氏ニ就キ産婆學上知レル所ヲ記セ 三〇八二 (昭十、二)
- シュルツエ氏ニ就キ産婆學上知レル所ヲ記セ 三〇八二 (昭十、二)
- 第二後頭位ノ診断、分娩機轉 三〇八二・三〇八三 (昭十、一)
- 産婦内診ノ方法及利害ニ就テ述ベヨ 三〇八二・三〇八三 (昭十、二)

分娩取扱法

- 後産期ニ於ケル産婆ノ處置ヲ問フ 三〇八三 (昭三、一)
- 正規分娩第三期處置法 三〇八三 (昭五、一)
- 分娩第三期トハ如何ナル時期ヲ云フカ 三〇八三 (昭十、二)
- 胎盤剝離ノ徴候トハ 三〇八三 (昭十、二)
- 胎盤ノ剝離サレル時間ハドノ位カ、ソレ以上 三〇八三 (昭十、二)
- 剝離後出サレマ時ハドウスルカ、娩出サレテ 三〇八三 (昭十、二)

分娩時診察

- 注意スベキ事 三〇八三 (昭十、二)
- 分娩第二期ニ於テ介助スベキ要點ニ就テ 三〇八三 (昭十、二)
- クレーデ氏ニ就キ産婆學上知レル所ヲ記セ 三〇八三 (昭十、二)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 産褥トハ何ゾヤ 三〇八四 (昭四、一)
- 汗トハ何ゾヤ及ビ其ノ處置 三〇八四 (昭四、一)
- 惡露ノ變化ニ就テ 三〇八四 (昭四、二)
- 褥婦乳腺ノ分泌機能 三〇八四 (昭五、一)
- 正規産褥ニ於ケル母體ニ現レル變化ヲ記セ 三〇八四 (昭五、一)
- 正規産褥ニ於ケル惡露ニ就テ記セ 三〇八四 (昭八、一)
- 惡露ニ就テ 三〇八四 (昭九、一)
- 正規産褥九―十日ノ子宮底ノ位置 三〇八四 (昭九、一)
- 正規産褥四―五日ノ子宮底ノ位置 三〇八四 (昭九、一)
- 分娩直後正規産褥二日終リノ子宮底ノ位置 三〇八四 (昭九、一)
- 産褥第三日ノ妊婦ノ状態ヲ述ベヨ 三〇八四 (昭九、二)
- 妊婦子宮底腹壁上ヨリ觸レナクナル時ヲ問フ 三〇八四 (昭十、一)
- 褥婦血性惡露ノ消失スル時ヲ問フ 三〇八四 (昭十、一)
- 褥婦トハ何時マデヲ云フカ 三〇八四 (昭十、二)
- 産褥トハ如何ナルモノヲ云フカ 三〇八四 (昭十、二)
- 産褥第五日ノ子宮底ノ高サハ 三〇八四 (昭十、二)
- 白色惡露ノ消失スル時期ハ 三〇八四 (昭十、二)

- 惡露ニ就テ知レル所ヲ記セ 三〇八四 (昭十、二)
- 正規産褥ニ於ケル子宮底ノ高サ及惡露ノ性状 三〇八四 (昭十、二)
- 産褥第十日頃ニ於ケル子宮復古ノ状態並ニ惡露ノ性状及褥生ニ就テ記セ 三〇八四 (昭十、二)
- 初生兒黃疸ニ就テ 三〇八四 (昭十、二)
- 初生兒ノ脈搏數、排便及排尿回数ヲ問フ 三〇八四 (昭六、一)
- 生後二週間以内ニ起ル初生兒ノ生理的現象(變化)ノ主ナルモノヲ説明セヨ 三〇八四 (昭九、一)

産褥取扱法

- 産褥経過ノ良否ハ何ニ依リテ判断シ得ルヤ 三〇八四 (昭七、一)
- 正規産褥母體及初生兒ニ對シ常ニ注意スベキ事項 三〇八四 (昭七、一)
- 褥婦ニ入浴ヲ許ス時期ヲ問フ 三〇八四 (昭九、一)
- 産褥時ニ於ケル注意事項 三〇八四 (昭十、一)
- 産褥ノ経過良好ナル徴候 三〇八四 (昭十、一)
- 褥婦離床ノ時期及早期離床ノ可否ニ就テ述ベヨ 三〇八四 (昭十、二)
- 褥婦乳腺ノ分泌機能及授乳ノ時期ニ就テ 三〇八四 (昭十、二)
- 人乳ノ効用及ビ其ノ性質 三〇八四 (昭五、一)
- 生兒哺乳ノ障害及ビ禁忌併セテ之ニ對スル處 三〇八四 (昭五、二)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 置ヲ問フ 三〇八五 (昭八、一)
- 母乳栄養ヲ避クベキ疾患ヲ列舉シ其理由ヲ記セ 三〇八五 (昭九、一)
- 人乳ト牛乳ト成分ノ差異 三〇八五 (昭十、一)
- 生後一ヶ月ノ授乳量回数及ビ稀釋度、砂糖ノ補給ハドノ位カ 三〇八五 (昭十、一)
- 母乳栄養法(授乳法)ニ就テ 三〇八五 (昭十、一)
- 新産兒ニ對スル授乳(母乳)ニ就テ記セ 三〇八五 (昭十、一)

胎兒附屬物異常

- 葡萄狀胎胎ノ症状及續發症ニ就テ 三〇八五 (昭四、一)
- 前置胎盤ノ診断 三〇八五 (昭三、一)
- 正常位置ニ附着セル胎盤早期剝離ノ原因及ビ徴候 三〇八五 (昭六、一)
- 胎盤早期剝離ノ原因及處置 三〇八五 (昭六、二)
- 羊膜水腫ト懸垂腹ヲ説明セヨ 三〇八五 (昭五、一)
- 羊水過多症ニ就テ知レル所ヲ記セヨ 三〇八五 (昭五、二)
- 羊水過多症ノ診断並ニ分娩時ノ障礙ニ就テ記セ 三〇八五 (昭五、二)
- 胎兒異常 三〇八五 (昭三、一)
- 妊娠中胎兒死亡セル原因ヲ問フ 三〇八五 (昭三、二)

- 流産ノ徴候ヲ記セ 五二〇(昭二、二)
- 流産ノ徴候及外因 五二〇・五二五(昭五、二)
- 稽留流産ヲ簡單ニ説明セヨ 五二五(昭十、二)
- 流産及子宮外妊娠ノ徴候 五二〇・五二四(昭四、二)
- 母體性器異常
 - 梅毒ノ妊娠ニ及ボス影響又梅毒新産兒ノ徴候及處置 五二六・五二五・五二七(昭五、二)
- 妊娠中子宮出血ノ主ナル原因ヲ問フ 五二〇(昭七、二)
- 母體全身異常
 - 子癇ノ症状及ビ處置法ヲ記セ 五二五・五二七(昭七、二)
 - 子癇ノ症候 五二五(昭九、二)
 - 妊娠ノ浮腫ノ主ナル原因及母子ニ及ボス影響 五二五・五二五(昭十、二)
 - 妊娠腎ニ就テ 五二五(昭十、二)
 - 妊娠ノ浮腫ノ原因並ニ其ノ主ナルモノニツキ就キ妊娠分娩トノ關係ヲ記セ 五二五(昭十、二)
 - 腎臓炎ノ妊娠ニ及ボス影響 五二五(昭六、二)
- 早期破水ノ主ナル原因 五二六(昭七、二)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 早期破水ノ原因及障害 五二六・五二七(昭十、二)
- 胎兒異常
 - 臍水腫トハ如何ナルモノカ及ビ其ノ分娩時診斷並ニ經過如何 五二九(昭八、二)
 - 顔面位ノ分娩機轉ヲ記セ 五二五(昭二、二)
 - 骨盤端位分娩ハ胎兒ニ危険ヲ來スト云フ其ノ理由如何 五二五(昭五、二)
 - 骨盤端位ノ分娩機轉ヲ説明セヨ 五二五(昭五、二)
 - 横位ノ診斷及ビ分娩ニ及ボス影響 五二二・五二五(昭七、二)
 - 横位ヲ引起スベキ主ナル原因 五二〇(昭五、二)
 - 深在性横位トハ如何ナル状態ヲ言フヤ 五二九(昭六、二)
 - 遷延性横位ヲ簡單ニ説明セヨ 五二八(昭十、二)
 - 双胎妊娠ノ診斷並ニ分娩時ノ處置ヲ記セ 五二五・五二〇(昭十、二)
 - 初生兒假死ノ徴候ト傳染性初生兒疾病ノ名稱 五二九・五二五(昭五、二)
 - 氣管「カテーテル」ノ挿入法 五二五(昭九、二)
 - 妊娠及分娩中ノ胎兒死亡ノ原因ニ就イテ 五二五(昭十、二)
- 母體異常
 - 微弱陣痛(又ハ陣痛微弱)トハ何カ 五二〇(昭三、二)
 - 痙攣性陣痛ノ種類及ビ原因 五二二・五二四(昭八、二)

第七集 異常産褥・補足知識

褥婦異常

- 陣痛微弱ノ場合ニ於ケル分娩經過並ニ第二期ニ於ケル處置ヲ記セ 五二〇・五二九(昭七、二)
- 墜落分娩トハ何ゾヤ 五二五(昭三、二)
- 扁平骨盤トハ何ゾヤ及其分娩ニボス影響ヲ三六・五二六(昭四、二)
- 墜落分娩ノ原因 五二五(昭九、二)
- ワルヘル氏懸垂位ヲ簡單ニ説明セヨ 五二五(昭十、二)
- 墜落産ヲ簡單ニ説明セヨ 五二五(昭十、二)
- 狭小(狹窄)骨盤ノ分娩ニ及ボス影響 五二五(昭十、二)
- ワルヘル氏懸垂位トハドンナコトカ 五二五(昭十、二)
- 子宮破裂ノ原因及症状ヲ述ベヨ 五二二・五二三(昭二、二)
- 會陰破裂ノ種類原因及處置 五二五・五二五・五二五(昭六、二)
- 分娩時ニ出血ヲ來ス原因ヲ分娩時間ニ分チテ記セ 五二五・五二五・五二五(昭八、二)
- 胎兒娩出後ニ於ケル異常出血ノ原因及ビ應急處置ニ就イテ 五二五(昭八、二)
- モンブルヒノ氏名ニ就イテ産婆學上知ル所ヲ記セ 五二五(昭九、二)
- 弛緩性出血ニ就テ 五二五(昭七、二)
- 弛緩性出血ノ徴候並ニ處置ヲ記セ 五二五・五二五(昭五、二)
- 急性貧血トハ如何ナル症状ヲ呈スル場合ヲ云フカ 五二五(昭三、二)

- 産褥中發熱ノ原因トナル主ナル疾患ヲ列記セヨ 五二五(昭二、二)
 - 過激後陣痛トハ如何ナルモノカ又如何ニ處置スベキカ 五二五(昭二、二)
 - 産褥中異常出血ノ原因 五二五(昭四、二)
 - 産褥中ノ尿管 五二五(昭四、二)
 - 惡露蓄積症ノ主ナル原因ト徴候 五二五・五二五(昭七、二)
 - 産褥熱ノ原因及ビ誘因徴候豫防法 五二五・五二五・五二五(昭十、二)
 - 子宮復故不全症ノ原因症状並ニ處置ヲ記セ 五二五(昭十、二)
- 新産兒異常
- 臍輪炎ノ症状ヲ記セ 五二五(昭二、二)
 - 先天性梅毒兒ノ徴候 五二五(昭四、二)
 - 初生兒破傷風 五二五(昭四、二)
 - 初生兒臍出血ノ原因徴候及處置 五二五(昭六、二)
 - 初生兒臍創傷傳染病ノ發生機轉及豫防法 五二五(昭七、二)
 - 初生兒ニ來ル傳染疾患ノ種類並ニ徴候ニ就テ記セ 五二五(昭九、二)
 - 初生兒臍漏眼ノ原因、症状、豫防法 五二五(昭十、二)
 - 新産兒傳染性疾患ニ就テ 五二五(昭十、二)

◎初生兒ノ傳染性疾患ノ種類症狀及豫防法

昭三(昭七) 昭四(昭八)

◎新産兒肺炎ノ原因症狀並ニ豫防法ヲ記セ

昭三(昭七) 昭四(昭八)

昭五(昭九) 昭六(昭一〇)

〔一六〕 山梨縣

第一集 豫備知識

◎産婆ノ職責ニ就テ記セ

昭七(昭一〇)

◎骨盤ヲ構成スル諸骨ノ名稱並ニ産科ニ於テ特ニ注意スベキ骨盤ノ諸點ヲ問フ

昭五(昭八)

◎骨盤ノ外結合線對角結合線及ビ眞結合線ノ各々ノ長サヲ舉ゲソレ等相互ノ關係ヲ述ベヨ

昭八(昭一〇)

◎骨盤腹膜ト婦人ノ内生殖器トノ關係ヲ記セ

昭十(昭一三)

◎月經ト妊娠トノ關係ヲ述ベヨ

昭三(昭六)

◎人類ノ卵ノ運命ニ就テ簡單ニ記セ

昭五(昭八)

◎婦人ニシテ月經ヲ見ザル場合ノ凡テヲ舉ゲヨ

昭六(昭九)

◎卵巢ノ黃體ニ就イテ知レル處ヲ記セ

昭六(昭九)

◎月經ナキ婦人モ妊娠ノ可能ナル理由ヲ説明セ

昭七(昭一〇)

◎受胎ト妊娠トノ異同ヲ記セ

昭八(昭一〇)

期ニ於テハ如何ニシテ推定シ得ルカ

◎妊娠ノ確徵ヲ舉ゲ其ノ發現時期ヲ問フ

◎妊娠時ノ攝生法ニ就イテ記セ

◎分娩經過ノ時間ヲ記セ

◎分娩時子宮ノ收縮輪ハ如何ニシテ起ルカ

◎妊娠、分娩及産褥ノ三者ノ境界ヲ説明セ

◎分娩時陣痛ト腹壓トノ異同ヲ記セ

◎陣痛ガ胎兒心音ニ及ボス影響如何

◎娩出力ノ種類及其ノ各々ノ成因ニ就テ記セ

◎初生兒頭部ノ變化ガ診斷學上ニ及ボス價値ニ就テ例ヲ舉ゲテ説明セヨ

◎正常ナル陣痛ハ常ニ正規分娩ニ必要缺クベカラザルモノナル理由ヲ説明セヨ

◎分娩機轉トハ如何ナルコトヲ云フカ

◎如何ナル必要アリテ妊娠及分娩中胎兒ノ位置ヲ精査スルカ

◎正規ノ頭位分娩ニ於テ兒頭及ビ肩胛ハ何故ニ規定ノ廻轉ヲセザルベカラザルカ

◎胎兒乃至胎芽ノ生活シ得ルヤ否ヤヲ妊娠前半トスルカ、ソレヲ簡條書ニセヨ

◎産婆ハ妊娠ヲ診察シテ如何ナルコトヲ知ラントスルカ、ソレヲ簡條書ニセヨ

◎胎兒乃至胎芽ノ生活シ得ルヤ否ヤヲ妊娠前半トスルカ、ソレヲ簡條書ニセヨ

◎胎兒乃至胎芽ノ生活シ得ルヤ否ヤヲ妊娠前半トスルカ、ソレヲ簡條書ニセヨ

◎胎兒乃至胎芽ノ生活シ得ルヤ否ヤヲ妊娠前半トスルカ、ソレヲ簡條書ニセヨ

◎胎兒乃至胎芽ノ生活シ得ルヤ否ヤヲ妊娠前半トスルカ、ソレヲ簡條書ニセヨ

◎胎兒乃至胎芽ノ生活シ得ルヤ否ヤヲ妊娠前半トスルカ、ソレヲ簡條書ニセヨ

◎胎兒乃至胎芽ノ生活シ得ルヤ否ヤヲ妊娠前半トスルカ、ソレヲ簡條書ニセヨ

◎胎兒乃至胎芽ノ生活シ得ルヤ否ヤヲ妊娠前半トスルカ、ソレヲ簡條書ニセヨ

◎胎兒乃至胎芽ノ生活シ得ルヤ否ヤヲ妊娠前半トスルカ、ソレヲ簡條書ニセヨ

◎胎兒乃至胎芽ノ生活シ得ルヤ否ヤヲ妊娠前半トスルカ、ソレヲ簡條書ニセヨ

◎胎兒乃至胎芽ノ生活シ得ルヤ否ヤヲ妊娠前半トスルカ、ソレヲ簡條書ニセヨ

◎胎兒乃至胎芽ノ生活シ得ルヤ否ヤヲ妊娠前半トスルカ、ソレヲ簡條書ニセヨ

◎胎兒乃至胎芽ノ生活シ得ルヤ否ヤヲ妊娠前半トスルカ、ソレヲ簡條書ニセヨ

◎胎兒乃至胎芽ノ生活シ得ルヤ否ヤヲ妊娠前半トスルカ、ソレヲ簡條書ニセヨ

◎胎兒乃至胎芽ノ生活シ得ルヤ否ヤヲ妊娠前半トスルカ、ソレヲ簡條書ニセヨ

◎胎兒乃至胎芽ノ生活シ得ルヤ否ヤヲ妊娠前半トスルカ、ソレヲ簡條書ニセヨ

○死産兒及急産兒ニ産瘤ヲ見ナイ理由ヲ説明セ

三〇九(昭九、一)

○分娩時子宮口及ビ頸管ハ如何ニシテ擴大サレ

三〇六(昭十、一)

ルカ、ソノ模様ヲ記セ

○分娩ノ持續時間ノ長短ハ何ニヨツテ左右サレ

三〇七(昭十、二)

ルカ併テ正常分娩ノ平均的持續時間ニ就テ記

セ

三〇五(昭十、二)

○分娩ノ前後ハ如何ニシテ知ルヤ

三〇四(昭十、二)

○陣痛ト腸痙攣トノ鑑別ヲ問フ

○骨盤測ニ於ケル第二後頭位ノ内診所見如何

三〇三(昭九、一)

○産婦ノ内診ヲ必要トスル場合ヲ問フ

三〇二(昭十、一)

○分娩時骨盤内ニ於ケル兒頭ノ高サヲ知ルニハ

三〇一(昭十、一)

如何ニスベキカ

○第二後頭位ノ外診所見内診所見及新生兒所見

三〇〇(昭十、一)

ヲ記セ

○内診シテ兒頭ノ位置ヲ診定スルニ目標トナル

二九八(昭十、一)

ベキモノハ何カ

○正規分娩初期ノ徴候及ビ同期ニ産婆ノトル

二九七(昭十、一)

ベキ處置如何

○分娩時會陰保護法並ニ其ノ必要ヲ説明セヨ

二九六(昭十、一)

分娩時診察

産褥ノ状態

第四集 正常産褥

○産婆ハ破水ニ對シテ如何ニ處置スベキカ

三〇九(昭六、一)

○胎帯臍絡ノ診斷如何

三〇八(昭八、二)

○分娩時胎帯ガ胎兒ノ頸部ニ纏着セルコトヲ知

三〇七(昭九、二)

ラバ産婆ハ如何ニ處置スベキカ

○胎帯切斷端及脱落面ノ處置

三〇六(昭十、二)

○會陰保護ノ目的時期及其方法

三〇五(昭十、二)

○卵膜ノ子宮壁癒着ニ對スル處置如何

○分娩直後ノ母體ノ處置如何

三〇四(昭十、二)

○胎帯分焼及産褥ノ三者ノ境界ヲ説明セヨ

三〇三(昭十、二)

○産褥期間ヲ述ベヨ

三〇二(昭十、二)

○惡露ヲ閉止期ヲ述ベヨ

三〇一(昭十、二)

○乳汁分泌ニ就テ知レル所ヲ記セ

三〇〇(昭十、二)

○妊娠分娩及ビ産褥ハ互ニ如何ニシテ區別シ得

二九八(昭四、二)

ルカ

○子宮腫部ハ妊娠ノ當初ヨリ産褥末期ニ至ル迄

二九七(昭六、二)

順次如何ニ變化スルカ

二九六(昭七、一)

○産褥子宮復舊ノ完成時期ヲ答ヘヨ

二九五(昭七、一)

○初乳ノ分泌量及其ノ性質ニ影響ヲ及ボス事項

二九四(昭八、一)

如何

二九三(昭八、一)

分娩取扱法

○初乳ト成乳トハ如何ニシテ區別スルカ

二九〇(昭九、一)

○産褥子宮ノ漸次縮小スル原因ニ就テ記セ

二八八(昭十、一)

○妊娠中休止シテ居ツタ月經及ビ排卵機能ガ再

ビ起ツテ來ル狀況ニ就テ述ベヨ

二八七(昭十、一)

○子宮底ガ産褥第五日目ナルニモ拘ラズ分娩直

後ニ等シイ高サニアル時ニ考ヘラレル凡テノ

場合ヲ舉ゲヨ

二八六(昭十、一)

○産褥ノ定義及其ノ持續ヲ問フ

二八五(昭十、一)

○産褥子宮ノ縮小スル原因ニ就テ記セ

二八四(昭十、二)

○正常惡露ニ就テ記セ

二八三(昭十、一)

○胎帯脱落スル時期ヲ答ヘヨ

二八二(昭七、一)

○産褥ノ經過ヲ良好ナラシムルニハ如何ニスベ

キカ

二八〇(昭三、一)

○産褥ニ關シテノ時期ヲ述ベヨ

二七九(昭三、一)

○(イ)離床期 (ロ)浴期 (ハ)産

褥期間 (ニ) (ヒ)惡露ノ閉止期

○産褥經過ノ善惡ハ何ニヨツテ判斷スルカ

二七八(昭四、一)

○初生兒ノ體重增加ガ正常ナラザル際ハ産婆ハ

如何ナル注意ヲナスベキカ

二七七(昭四、一)

○褥臥床ヲ離レテ差支ヘナキ時期ヲ答ヘヨ

二七六(昭七、一)

○産褥第五日ニ於ケル母兒ノ處置如何

二七五(昭七、二)

○産褥經過ノ良否ヲ如何ニシテ判斷スルカ

二七四(昭十、一)

○初生兒ノ發熱ニ際シ産婆ノトルベキ處置如何

二七三(昭三、一)

○初生兒ノ體重增加ガ正常ナラザル時産婆ハ如

何ナル注意ヲナスベキカ

二七二(昭四、一)

○授乳ノ褥婦ニ及ボス影響如何

二七一(昭六、一)

○母乳榮養ヲ避クベキ場合ヲ列舉セヨ

二七〇(昭六、二)

○最初ノ授乳時期ヲ答ヘヨ

二六九(昭七、一)

○産褥第五日ニ於ケル母兒ノ處置

二六八(昭七、二)

○新産兒ノ榮養ニ母乳ノ最モ優レル理由ヲ述ベ

二六七(昭十、一)

○正シキ離乳ノ時期及方法ヲ問フ

二六六(昭十、一)

○新生兒ノ榮養ニ母乳ノ最モ優レル理由ヲ舉ゲヨ

二六五(昭十、一)

○次ノ疾病ハ何故ニ恐ルベキヤ

二六四(昭三、一)

○(イ)葡萄狀鬼胎 (ロ)前置胎盤 (ハ)子宮破裂

(ニ)子癩 (ホ)妊婦ノ脚氣

二六三(昭三、一)

胎兒附屬物異常

○葡萄狀鬼胎ハ母體ニ對シテハ何故危險ナリヤ

○子宮外妊娠、葡萄狀鬼胎及流産ノ症狀ヲ比較

シ其ノ異同ヲ舉ゲヨ

二六二(昭六、二)

- 前置胎盤分焼ニ死産多キ理由ヲ舉ゲヨ 五七三(昭七、D)
- 胎盤ノ子宮内ニ於ケル正常位置ニ就テ記シ併セテ其ノ異常位置ノ起ル原因及ビ種類ヲ舉ゲヨ 五二〇・五二二・五二七(昭七、D)
- 前置胎盤ノ種類及障礙ニ就テ述ベヨ 五二七・五三二(昭七、D)
- 羊水過多症ニ於ケル妊娠分焼産褥ノ經過ヲ述ベヨ 五七二(昭五、D)

胎兒異常

- 妊娠中胎兒死亡ノ原因 五七五(昭二、D)
- 子宮内デ死亡シタ胎兒(胎芽ヲモ含ム)ハ如何ナル運命ヲトルカ 五九九(昭十、D)
- 常習性流産ノ原因ニ就テ記セ 五二〇(昭三、D)
- 完全流産、不完全流産、切迫流産、稽留性流産、常習性流産ヲ記セヨ 五二一・五二九・五二五・五二〇(昭七、D)
- 流産及早産ヲ其ノ經過ニヨツテ分類セヨ 五〇六・五〇七・五〇八・五〇九(昭三、D)
- 妊娠中腹痛ヲ起ス總テノ場合ヲ舉ゲヨ 五二七(昭四、D)
- 妊娠前半期ニ於ケル子宮出血ノ主ナルモノヲ舉ゲ其ノ症状ヲ略記セヨ 五二二(昭三、D)
- 妊娠時ニ於ケル性器出血ハ何ヲ考フルカ 五〇八(昭四、D)

母體性器異常

- 臀位分焼ト足位分焼トハ何レガ多ク母兒兩者ニ惡影響ヲ及ボスカ 六一四(昭九、D)
- 第二横位第二分類ノ外診及内診所見ヲ述ベヨ 六一二(昭九、D)
- 横位分焼ニ際シテ産婆ノトルベキ處置如何 六一三(昭十、D)
- 分娩時ノ胎兒位置ヲ舉ゲ其ノ各々ニ於ケル先通部ノ名稱ヲ記セ 六一六(昭十、D)
- 遷延性横位ニ就テ知ル所ヲ記セ 六一六(昭十、D)
- 高度ノ初生兒假死トハ如何ナルモノカ 六一二(昭二、D)
- 臍帶ト初生兒假死トノ關係如何 六一九(昭六、D)
- 分娩中胎兒ノ急死スル場合ヲ舉ゲヨ 六一五(昭六、D)
- 過強陣痛ニヨツテ分焼ハ如何ナル影響ヲ受ケルカ 六三三・六三九(昭八、D)
- 腹歴異常ノ種類ヲ舉ゲソノ各々ノ原因ニ就テ記セヨ 六三三・六三九・六四二(昭十一、D)
- 妊娠時診察ニ際シテ狭窄骨盤ヲ疑フベキ徴候ヲ舉ゲ其ノ際産婆トシテトルベキ處置ヲ問フ 六三六・六三八(昭五、D)
- 狭窄骨盤ヲ疑ハシメル場合ヲ舉ゲヨ 六三九(昭十、D)
- 子宮頸管破裂ニ就イテ記セ 六四三(昭五、D)
- 頸管破裂ノ診斷如何 六四三(昭五、D)
- 弛緩子宮出血ニ對スル産婆ノ取ルベキ處置ヲ

母體全身異常

- 妊娠中毒症トハ如何ナルモノカ 五三三(昭九、D)
- 産婆ハ靜脈痛ノアル妊婦ヲ如何ニ指導シ如何ニ處置スベキカ 五〇六(昭三、D)
- 妊娠腎盂炎ノ原因及症候ヲ問フ 五三四・五三五(昭三、D)
- 妊婦ニ腎盂炎ノ起リ易キ理由ヲ述ベヨ 五三九(昭八、D)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 早期破水ノ主ナル原因ト其ノ分娩ニ及ボス影響トニ就テ述ベヨ 六一六・六一七(昭三、D)
- 早期破水ノ分娩及産褥ニ及ボス影響如何 六一七(昭四、D)
- 早期破水ノ分娩ニ及ボス影響如何 六一七(昭七、D)
- 臍帶ノ異常ニヨル分娩異常ヲ記セ 六一〇(昭二、D)
- 胎盤ノ形状異常ガ分娩ニ障礙ヲ及ボス場合ニ就テ記セ 六一二(昭三、D)
- 無胎兒ノ分娩ニ際シテ注意スベキ點ヲ記セ 六一〇(昭三、D)
- 自己遂焼ヲ説明セヨ 六一九(昭二、D)
- 顔面位分娩ノ機轉ヲ述ベヨ 六一二(昭四、D)
- 分娩時脱出セル四肢ノ鑑別及其處置 六一五・六一六(昭六、D)

胎兒異常

- 産褥中ノ發熱ニ就テ記セ 七四五・七四八(昭二、D)
- 産褥熱ノ豫防法如何 七二〇(昭二、D)
- 妊娠分焼産褥ニ關シテ起リ得ル内出血ノ凡テノ場合ヲ列舉セヨ 七七七(昭三、D)
- 分娩後ノ子宮殘留物ニ就テ記セ 七六三(昭四、D)
- 産褥期ニ於テ褥婦ノ體温脈搏呼吸ニ異常ヲ來ス場合ヲ列舉シ簡單ニ説明セヨ 七七八(昭五、D)
- 惡露蓄積ノ原因診斷及ビソレガ産褥ノ經過ニ及ボス影響如何 七八一・七八三・七八五(昭七、D)
- 妊婦ノ膀胱障礙ニ就テ記セ 七二七(昭八、D)
- 子宮復舊不全症ノ原因及ビ徴候ヲ記セ 七五五・七五八(昭八、D)
- 乳汁過少症ノ原因及ビ處置ヲ述ベヨ 七九七(昭九、D)
- 乳汁過少症ノ原因及ビ處置ヲ述ベヨ 七九七(昭十、D)
- 産褥時ノ性器(生殖器)異常出血ニ就テ記セ 七七七(昭十、D)
- 産褥性子宮萎縮症ニ就テ記セ 七六四(昭三、D)
- 妊婦産褥褥婦ノ罹リ易キ疾病ヲ列舉セヨ 七一・七一五・七一(昭三、D)
- 褥婦ノ腎盂炎ニ就テ記セ 七二三(昭十三、D)

第七集 異常産褥・補足知識

褥婦異常

新産兒異常

第六集 異常分娩
胎兒附屬物異常

- 臍帶脫出ノ原因及其ノ影響ヲ記セ 六五・六五 (昭七、二)
- 臍帶纏絡ノ分娩ニ及ボス影響及ビ其處置法ヲ記セ 三三三・三三〇 (昭十、二)

胎兒異常

- 第一臀位ニ於ケル外診所見ヲ記セ 六一四 (昭六、二)
- 羊膜水腫ト双胎妊娠トノ鑑別 六三二 (昭三、一)
- 双胎妊娠ノ鑑別 五二七 (昭三、二)
- 双胎妊娠ノ徴候ヲ問フ 六〇三 (昭五、二)
- 双胎妊娠ノ徴候ヲ問フ 六〇三 (昭九、一)

母體異常

- 陣痛微弱ノ原因及處置ヲ問フ 六三三・六三四 (昭五、二)
- 痙攣性陣痛微弱ニ於ケル分娩經過 六三〇 (昭六、二)
- 痙攣性陣痛ノ原因及症候ヲ記セ 六三三・六三六 (昭七、二)
- 過強陣痛ニ於ケル分娩經過並ニ其影響 六三三・六三六 (昭八、二)
- 娩出力ヲ微弱ナラシムル原因ヲ問フ 六三三・六三六 (昭九、二)
- 陣痛ノ過強ナル場合ノ症狀及其原因如何 六三三・六三六 (昭十、二)
- 原發性微弱陣痛ノ原因ヲ問フ 六三三 (昭十、二)
- 狭窄骨盤ト如何ナルモノヲ謂フヤ及其ノ分娩ニ及ボス影響ヲ記セ 六三三・六三三 (昭三、一)

- 過廣骨盤ノ分娩經過ヲ問フ 六三三 (昭十、二)
- 骨盤内臓器ノ異常ト分娩トノ關係ヲ記セ 六三三 (昭十、二)
- 分娩第三期ニ於ケル出血ノ處置 六四四 (昭五、二)
- 子宮破裂ノ原因及症候ヲ問フ 六四二・六四三 (昭七、二)
- 分娩第三期ニ於ケル出血ノ原因及其ノ處置ヲ問フ 六四三・六四四 (昭七、二)
- 會陰破裂ノ原因ニ就キテ記セ 六四三 (昭七、二)
- 分娩中ニ起ル異常出血ノ主ナルモノヲ列舉シコレ等ニ對スル處置ヲ述ベヨ 六四三 (昭十、一)
- 會陰破裂ノ症狀ヲ記セ 六四三 (昭十、一)

第七集 異常產褥・補足知識

褥 婦 異常

- 褥婦ノ罹リ易キ傳染性疾患ノ名稱及各原因ヲ舉ゲヨ 七二 (昭二、一)
- 產褥熱ノ豫防法 七二〇 (昭四、一)
- 惡性惡露ヲ説明セヨ 七二〇 (昭四、一)
- 乳腺炎ノ原因及症候及其ノ處置ヲ記セ 七二〇 (昭六、二)
- 產褥子宮復舊不全ノ原因及症狀 七二〇 (昭八、二)
- 產褥時ニ於ケル異常出血ノ原因 七二〇 (昭九、二)
- 褥婦ノ罹リ易キ傳染性疾患ノ名稱及原因ヲ舉ゲヨ 七二〇 (昭十、一)

- 惡露蓄積症ノ原因及其處置ヲ記セ 七二〇 (昭十、二)
 - 產褥性膀胱炎ノ原因及處置ヲ問フ 七二〇 (昭十、二)
- 新産兒異常
- 乳兒脚氣ノ徴候及豫防法 七二〇 (昭十、二)
 - 初生兒消化不良症ノ原因及症狀 七二〇 (昭十、二)
 - 初生兒膿漏眼ノ原因及症候 七二〇 (昭十、二)
 - 初生兒膿漏眼ノ原因及處置ニ就キテ記セ 七二〇 (昭十、二)
 - 兒頭血腫ト産瘤トノ鑑別ニ就キテ記セ 七二〇 (昭十、二)

- 初生兒ニ發生シ易キ傳染性疾患ノ名稱及其ノ豫防法ニ就キテ記セ 七二〇 (昭十、二)
- 初生兒ニ發シ易キ傳染性疾患ノ名稱及各豫防法如何 七二〇 (昭十、二)
- 初生兒丹毒ノ原因及症狀及處置 七二〇 (昭十、二)
- 初生兒ノ臍輪炎並ニ臍破傷風ノ原因及症狀及其ノ處置ヲ記セ 七二〇 (昭十、二)
- 初生兒臍輪炎ノ原因及處置 七二〇 (昭十、二)

[18] 長野縣

第一集 豫備知識

- 婦人固有ノ體格ニ就テ記セ 一〇〇 (昭二、二)
- 骨盤軸ニ就テ説明セヨ 一〇〇 (昭三、一)
- 男女骨盤(廣義)ノ差異ニ就テ記述セヨ 一〇〇 (昭四、一)
- 骨盤傾斜ニ就テ簡單ニ記述セヨ 一〇〇 (昭四、一)
- 成人ノ骨盤構成並ニ其ノ内容 一〇〇 (昭五、一)
- 大骨盤ノ徑線ニ就テ簡單ニ記セヨ 一〇〇 (昭九、一)

- 月經ト排卵機能トノ關係 一一八 (昭三、一)
- 春機發動期男女ニ就テ簡單ニ記述セヨ 一一八 (昭四、一)
- バルトリン氏腺ヲ説明セヨ 一一八 (昭五、一)
- モントゴメリー氏腺ヲ説明セヨ 一一八 (昭五、一)
- ドウグラス氏高ヲ説明セヨ 一一八 (昭五、一)
- 成熟女子ノ内生殖器ノ名稱及ビ之ト腹膜トノ關係ヲ併記セヨ 一一八 (昭六、一)
- 女子内生殖器ノ名稱及其ノ機能ニ就テ記セ 一一八 (昭七、一)
- 圓靱帶ニ就テ記セ 一一八 (昭八、一)
- 月經血ノ特徴ニ就テ記セ 一一八 (昭八、一)
- 月經性黃體ニ就テ簡單ニ記セ 一一八 (昭九、一)

- 產婦外陰部、ネラトシ氏カーテル、臍帶剪刀
- 綿紗ノ消毒方法ヲ記セ 一三二四・一三五〇・一三五四・一三五二(昭十、二)
- 急迫分娩ニ對スル消毒ニ就テ記セ 一三四二(昭十、二)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 胎盤ノ生理的作用ヲ述ベヨ 一三三三(昭四、三)
- 胎盤ノ構造及ビ其生理的作用 一三五・一三三(昭七、三)
- 羊水ニ就テ記セヨ 一三六一(昭八、二)
- 臍帶ノ構造ニ就テ記セ 一三五(昭八、三)
- 臍肉ニ就テ簡單ニ記セ 一三九(昭九、二)
- 胎盤内ニ於ケル母兒兩血行ノ相互關係ヲ記セ 一三三(昭九、二)
- 臍帶ノ構造及其ノ機能ニ就テ記セ 一三五・一三五(昭十、二)
- 胎盤ノ生理的作用及其ノ完成ノ時期ヲ問フ 一三三・一三七(昭十、二)
- 品胎ニ就テ簡單ニ記述セヨ 一三六(昭四、二)
- 胎向ニ就テ記セヨ 一三二(昭七、二)
- 胎芽ニ就テ簡單ニ記セ 一三二(昭九、二)
- 大斜徑ニ就テ簡單ニ記セ 一三九(昭九、二)
- 正規胎勢ニ就テ記セ 一三七(昭八、二)
- モントゴメリー氏腹 一三七・一三三(昭三、二)

- 妊娠時ニ於ケル子宮各部ノ變化 一三六(昭三、二)
- 妊娠各月ノ子宮ノ大キサ 一三六・一三四(昭五、二)
- 正規妊娠ノ生殖器以外ニ現ハル、變化ヲ記セ 一三七(昭九、二)
- 正規妊娠中生殖器以外ニ起ル變化ニ就テ 一三八(昭八、二)
- 初乳ニ就テ記セ 一三八(昭八、二)

妊婦ノ診察

- 骨盤外計測法 一三三(昭二、二)
- 對角結合線ヲ説明セヨ 一三三(昭二、二)
- 胎兒心音ノ妊娠及分娩時ニ於ケル診斷的價値ヲ簡單ニ記セ 一三六(昭七、二)
- 妊婦ヲ内診スル際ノ注意及検査スベキ事項ヲ記セ 一三三・一三三(昭八、二)
- ミハエリス氏菱形ニ就テ記セ 一三三(昭八、二)
- 妊婦ノ腹部觸診法ニヨリ觸知シ得ベキ事項及觸診上注意スベキ點ヲ舉ゲヨ 一三〇・一三〇(昭十、二)
- 妊娠ノ腹部聽診ニヨリテ知リ得ル事ヲ列舉セヨ 一三三(昭十、二)
- 初妊婦ト經産婦トノ鑑別上ノ要點ヲ記セ 一三二(昭四、二)
- 妊娠月數ニ比シ子宮增大過度ノ原因及其ノ鑑別ヲ記セ 一三〇(昭四、二)
- 想像妊娠ニ就テ記述セヨ 一三七(昭七、二)
- 妊娠月數ニ比シ子宮增大過度ヲ起ス原因ヲ舉 一三七(昭七、二)

ゲテ各鑑別の徴候ヲ記セ

- 正規妊娠ト鑑別ヲ要スル類症ノ名稱ヲ舉ゲ之 一三四(昭八、二)
- ト正規妊娠トノ鑑別ニ就テ記セ 一三六(昭九、二)
- 分娩豫定日ノ判定ニ就テ記セ 一三五(昭九、二)
- 妊娠第八ヶ月ト第十ヶ月トノ鑑別點ヲ記セ 一三五(昭九、二)
- 妊娠ノ確徵ニ就テ記セ 一三〇(昭十、二)
- 妊娠月數ノ判定ニ就テ記セ 一三二(昭十、二)
- 妊婦ノ養生ニ就テ記セ 一三三(昭十、二)

妊婦攝生法

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

- 排露露露 一三五(昭三、二)
- 陣痛ニ就テ記述セヨ 一三九(昭七、二)
- 破水ニ就テ記述セヨ 一三四(昭七、二)
- 收縮輪ニ就テ記述セヨ 一三〇(昭七、二)
- 分娩開始ノ徴候ニ就テ記述セヨ 一三六(昭七、二)
- 分娩直後ニ於ケル成熟初生兒ノ表徵ニ就テ記セ 一三六(昭七、二)
- 陣痛ニ就テ記セ 一三〇(昭八、二)
- 正常分娩ノ持續時間ニ就テ記セ 一三七(昭十、二)
- 陣痛ニツキテ記セ 一三七(昭十、二)
- 正規分娩ニ於ケル胎盤剝離ノ他覺的徴候ヲ述 一三九(昭十、二)

メ

- 分娩開始ノ徴候並ニ分娩時兒頭ニ起ル變化ヲ簡單ニ述ベヨ 一三六・一三五(昭十、二)
- 分娩各期ニ於ケル娩出力トシテノ陣痛及腹壓ノ効用ヲ述ベヨ 一三五・一三五(昭十、二)
- 矢狀縫合ノ内診上ノ特徴ヲ記セ 一三三(昭十、二)
- 分娩直後ニ於ケル産婆トシテノ母子ニ對シ注意スベキ要點ヲ舉ゲヨ 一三六(昭十、二)
- 分娩第一期ノ處置 一三六(昭十、二)
- 正規分娩第三期ノ處置ヲ記セ 一三六(昭十、二)
- 分娩直後ノ母體並ニ初生兒ニ對スル處置及注意ニ就テ 一三六・一三六(昭十、二)
- 分娩直後ニ於ケル新産兒ノ處置 一三六(昭十、二)
- 正常分娩破水前後ニ於ケル母體及胎兒ノ状態處置ヲ記セ 一三六(昭十、二)
- 會陰保護ノ目的及其ノ時期ニ就テ 一三六・一三六(昭十、二)
- 梅毒ノ意義 一三六(昭十、二)
- 初乳ヲ説明セヨ 一三六(昭十、二)

第四集 正常產褥

- 初乳ヲ説明セヨ 一三六(昭十、二)
- 產褥ノ状態 一三六(昭十、二)